北杜市埋蔵文化財調査報告　第32集

山梨県北杜市

KASHIRANASHI・A－SITE

頭無A遺跡

中山間活性化ふれあい支援農道整備事業（八ヶ岳南地区　長坂４工区）
に伴う埋蔵文化財発掘調査

2008
北杜市教育委員会
山梨県中北農務事務所

北杜市埋蔵文化財調査報告　第32集

山梨県北杜市

KASHIRANASHI・A－SITE

頭無A遺跡

中山間活性化ふれあい支援農道整備事業（八ヶ岳南地区　長坂４工区）
に伴う埋蔵文化財発掘調査

2008
北杜市教育委員会
山梨県中北農務事務所

頭無Ａ遺跡　Ｃ区全景（南から）

Ｃ区 周溝墓群（真上から）

５号周溝墓（北から）

５号周溝墓　埋葬主体部（南から）

鉄剣出土状況

鉄釧出土状況

鉄釧

ガラス玉片

鉄剣

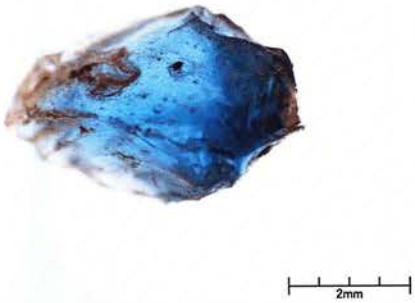


写真１（ａ）遺物No.10075

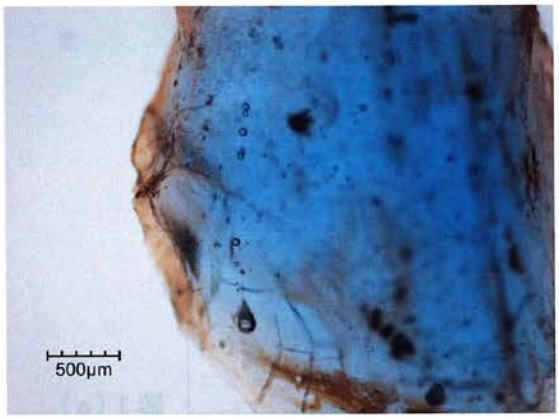


写真１（ｂ）

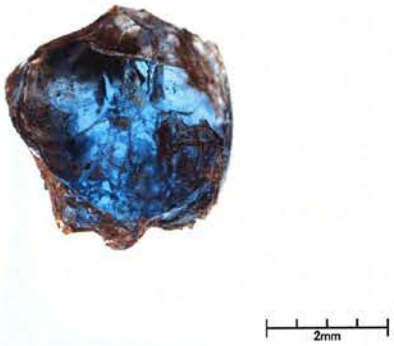


写真２（ａ）遺物No.10076

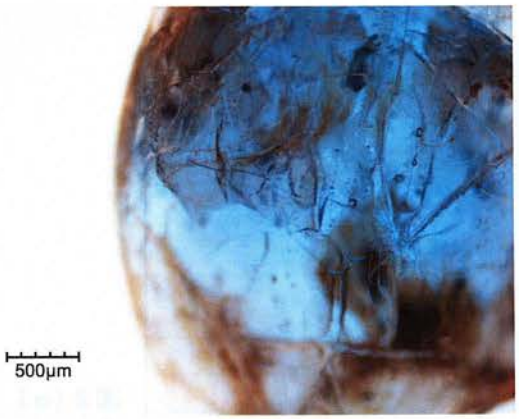


写真２（ｂ）

写真３（ａ）遺物No.10077

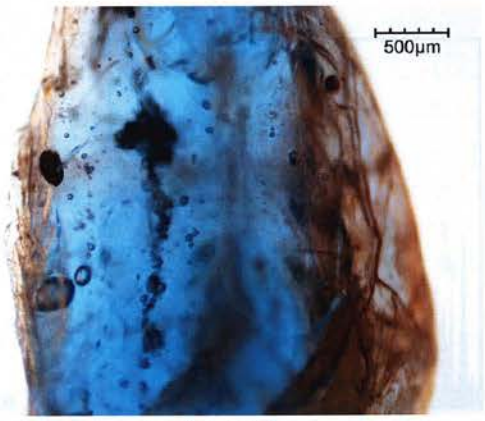


写真３（ｂ）

写真４（ａ）遺物No.10074

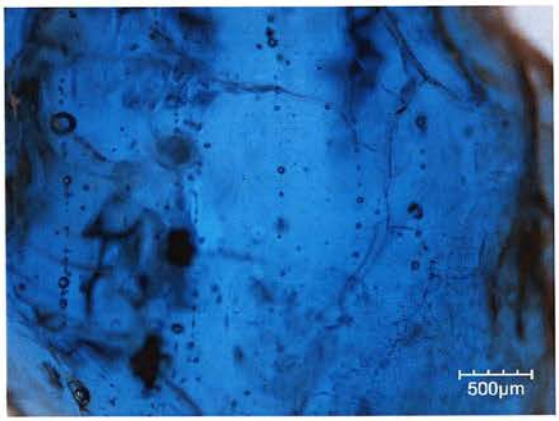


写真４（ｂ）

ガラス玉片拡大写真

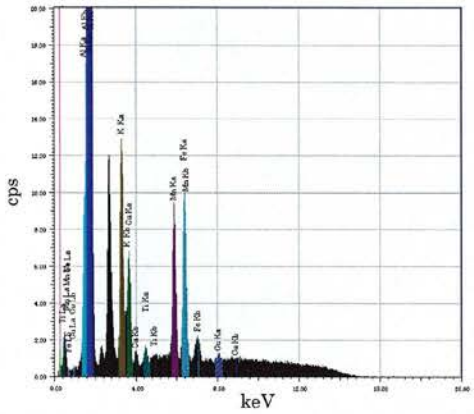


図１（ａ）
遺物No.10075

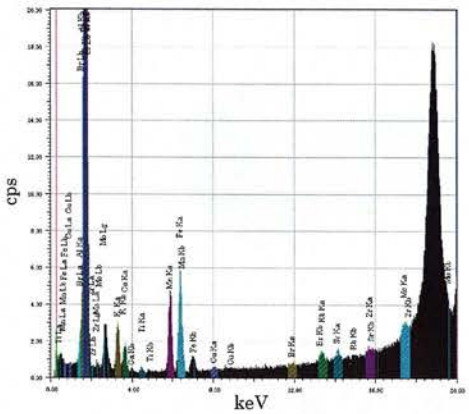


図１（ｂ）

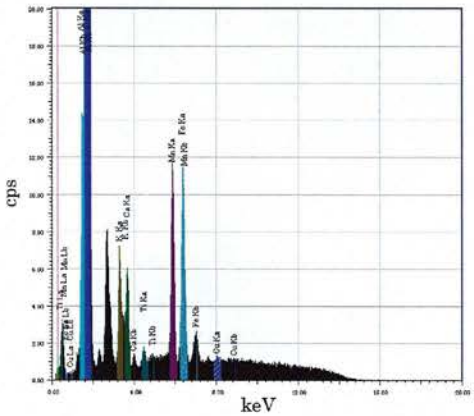


図２（ａ）
遺物No.10076

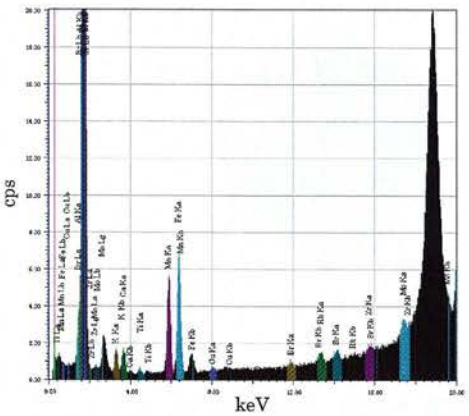


図２（ｂ）

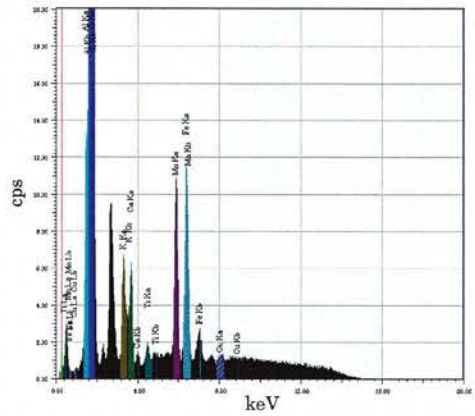


図３（ａ）
遺物No.10077

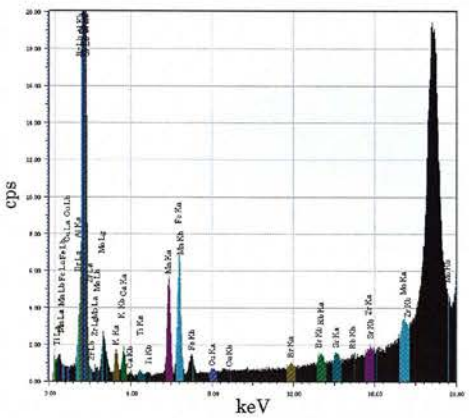


図３（ｂ）

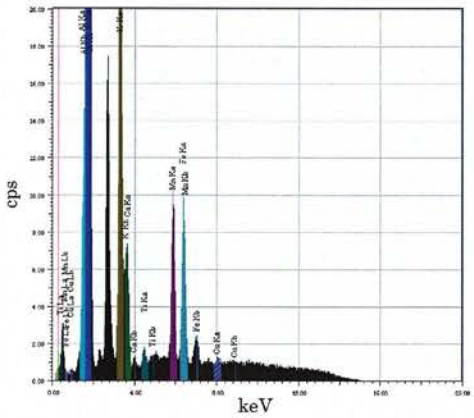


図４（ａ）
遺物No.10074

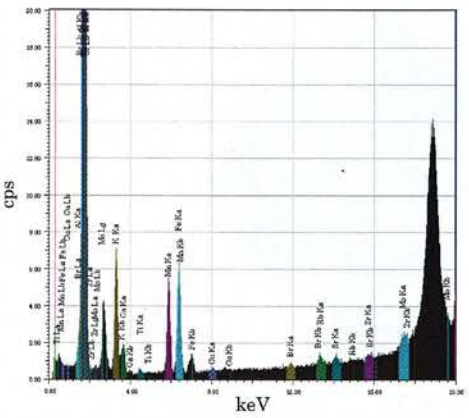


図４（ｂ）

蛍光Ｘ線分析から得られたスペクトル

例　言

1．本書は、2006（平成18）年度に実施した山梨県北杜市長坂町塚川地内に所在する頭無A（かしらなしえー）遺跡の緊急発掘調査報告書である。

2．発掘調査は、中山間活性化ふれあい支援農道整備事業（八ヶ岳南地区・長坂４工区）に伴う事前調査であり、事業主体である山梨県中北農務事務所より委託を受けて北杜市教育委員会が実施した。

3．発掘調査は2006（平成18）年10月16日から2007（平成19）年２月22日まで実施した。整理作業・報告書作成については2007（平成19）年４月４日から2008（平成20）年３月31日まで実施した。

4．発掘調査および整理作業において一部の調査・業務を以下の各機関に委託した。

航空写真撮影　㈱スカイ・サーヴェイ
鉄剣・鉄釧の保存処理　㈶帝京大学山梨文化財研究所
一部の石器分析・実測図作成　㈱アルカ
ガラス玉片科学分析　山梨県立博物館

5．本書の執筆・編集は、村松佳幸（北杜市教育委員会生涯学習課長坂郷土資料館担当兼文化財担当）が行った。旧石器時代石器については㈱アルカ角張淳一氏に、ガラス玉片科学分析については山梨県立博物館沓名貴彦氏に原稿を執筆していただき掲載した。

6．遺構・遺物の写真撮影は村松が行った。旧石器時代石器写真は㈱アルカ角張氏が、ガラス玉片拡大写真は山梨県立博物館沓名氏が、鉄釧のレントゲン写真は㈶帝京大学山梨文化財研究所鈴木稔氏が撮影した。

7．本報告書に関わる出土品及び記録図面・写真等は、北杜市教育委員会に保管している。

8．発掘調査および報告書作成にあたって以下の諸氏、諸機関のご協力・ご指導を賜った。記して深く感謝の意を表す次第である（五十音順・敬称略）。

山梨県教育委員会学術文化財課、山梨県中北農務事務所、山梨県立考古博物館、山梨県立博物館
石神孝子、角張淳一、沓名貴彦、小林健二、小林広和
下島綾美、杉山和徳、鈴木　稔、大工原豊、土屋了介
中山誠二、保坂和博、保坂康夫、三田村美彦
八巻與志夫

凡　例

1．第７～９図の座標値は日本測地系（旧日本測地系，Tokyo Datum）の数値である。第７図のグリッドの左下と右上の座標値を世界測地系数値に変換すると以下のとおりである。

		日本測地系		世界測地系
左下	X座標：	－20590.0 m	→	－20237.9550 m
	Y座標：	－9520.0 m	→	－9801.7956 m
右上	X座標：	－20300.0 m	→	－19947.9655 m
	Y座標：	－9410.0 m	→	－9691.7962 m

遺構図版中の北を示す方位はすべて座標北である。

2．掲載した遺構・遺物実測図の縮尺は、原則として以下のとおりである。

遺構　調査区全体図：1/1,200、1/400、1/200
住居跡・竪穴状遺構・溝：1/60
周溝墓：1/120、1/60
土坑・ピット・炉跡・組石遺構ほか：1/30
遺物　土器：1/3・1/4、土製品：1/2、ガラス玉片：1/1
石器：2/3・1/3・1/6、鉄製品：1/2・1/3

3．遺構図版中の遺物分布のマークは、●が土器を、△が黒曜石を示す。遺構図版中の網掛けは焼土を示す。遺構図版中の断面図脇にある数値は標高を示す。

4．遺物図版中の網掛けは磨面・木質部・繊維痕・赤彩・黒彩を示す。土器断面図中の黒塗りは須恵器を示す。拓影図で両面を載せているものは、外面－内面－断面の並びで配置している。

5．遺構図版中の平面・断面図中の遺物番号、遺物実測図番号、遺物観察表番号は一致している。表中の括弧付き数値は残存値である。

6．土層説明における土色表示は、小山正忠・竹原秀雄2003『新版　標準土色帖』農林水産省農林水産技術会議事務局監修・財団法人日本色彩研究所色票監修を使用した。

7．第２図は、国土地理院発行1/200,000地勢図「甲府」（昭和55年編集　平成10年修正）を基に作成した。第３・５図は、国土地理院発行1/25,000地形図「若神子」（平成元年発行）を基に作成した。第４・６図は、国際航業株式会社1994年調整1999年修正、1/10,000長坂町全図を基に作成した。

頭無A遺跡　目次

例言・凡例
本文目次
図版目次
表目次
写真図版目次
第１章　調査の経緯と概要…… 1
　第１節　発掘調査に至る経緯
　第２節　発掘調査の概要
　第３節　発掘調査組織
第２章　遺跡周辺の環境…… 2
　第１節　地理的環境
　第２節　歴史的環境
第３章　発見された遺構と遺物…… 3
　第１節　基本層序
　第２節　旧石器時代
　第３節　縄文時代
　第４節　弥生時代
　第５節　平安時代
　第６節　時期不明
第４章　調査の成果と課題…… 95
　第１節　調査区内における遺構の変遷
　第２節　旧石器時代石器について
　第３節　縄文時代中期後半の集落について
　第４節　弥生時代中期の遺構・遺物について
　第５節　弥生時代後期の周溝墓について
　第６節　５号周溝墓埋葬主体部の出土遺物について
　　１）鉄剣
　　２）鉄釧
　　３）ガラス玉片
　　４）埋葬状態の復元
　　５）鉄剣と鉄釧の出土の意義
　参考文献…… 99

　附編
　頭無A遺跡出土のガラス破片の科学調査について… 101

図　版　目　次

第１図　頭無A遺跡位置図…… 5
第２図　八ヶ岳南麓主要遺跡分布図（1/200,000）…… 5
第３図　頭無A遺跡周辺の遺跡分布図（1/25,000）… 6
第４図　頭無A遺跡周辺地形図（1/5,000）…… 7
第５図　2006（平成18）年度試掘調査範囲および試掘坑配置図…… 8
第６図　頭無Ａ遺跡調査区位置図（1/2,500）…… 9
第７図　調査区全体図（1/1,200）…… 10
第８図　C区全体図（1/400）、Ｂ区・Ｃ区基本層序… 11
第９図　A区・B区全体図（1/400）…… 13
第10図　遺構分布図①（1/200）…… 14
第11図　遺構分布図②（1/200）…… 15
第12図　遺構分布図③（1/200）…… 16
第13図　遺構分布図④（1/200）…… 17
第14図　遺構分布図⑤（1/200）…… 18
第15図　遺構分布図⑥（1/200）…… 19
第16図　遺構分布図⑦（1/200）…… 20
第17図　旧石器時代石器①…… 21
第18図　旧石器時代石器②…… 22
第19図　旧石器時代石器分布図…… 23
第20図　６号住居跡…… 24
第21図　６号住居跡炉、１号埋甕、２号埋甕出土遺物①…… 25
第22図　６号住居跡遺物出土状況…… 26
第23図　６号住居跡出土遺物②…… 27
第24図　６号住居跡出土遺物③…… 28
第25図　７号住居跡、炉、埋甕…… 29
第26図　７号住居跡遺物出土状況、出土遺物…… 30
第27図　８号住居跡…… 31
第28図　８号住居跡１号炉、２号炉、１号埋甕２号埋甕、１号ピット…… 32
第29図　８号住居跡遺物出土状況…… 33
第30図　８号住居跡出土遺物①…… 34
第31図　８号住居跡出土遺物②…… 35
第32図　８号住居跡出土遺物③…… 36
第33図　８号住居跡出土遺物④、住居跡変遷図６号住居跡住居変遷図…… 37
第34図　９号住居跡、炉、埋甕…… 38
第35図　９号住居跡遺物出土状況、出土遺物①…… 39
第36図　９号住居跡出土遺物②…… 40
第37図　11号住居跡、炉、出土遺物①…… 41
第38図　11号住居跡遺物出土状況、出土遺物②１号炉跡…… 42

第39図　1～5号土坑、出土遺物 …… 43
第40図　6・12・13号土坑、出土遺物 …… 44
第41図　7・8・14号土坑、出土遺物 …… 45
第42図　9・17・18号土坑、出土遺物 …… 46
第43図　10・11・19・54号土坑、2号ピット出土遺物 …… 47
第44図　56・58・59・61号土坑、出土遺物 …… 48
第45図　遺構外出土縄文土器① …… 49
第46図　遺構外出土縄文土器② …… 50
第47図　遺構外出土縄文土器③ …… 51
第48図　遺構外出土縄文土器④ …… 52
第49図　遺構外出土縄文土器⑤ …… 53
第50図　出土石器① …… 54
第51図　出土石器② …… 55
第52図　出土石器③ …… 56
第53図　出土石器④ …… 57
第54図　出土石器⑤ …… 58
第55図　出土石器⑥ …… 59
第56図　出土石器⑦ …… 60
第57図　出土石器⑧ …… 61
第58図　55号土坑、遺物出土状況 …… 62
第59図　55号土坑出土遺物 …… 63
第60図　1号組石遺構、遺物出土状況 …… 64
第61図　遺構外出土弥生土器① …… 65
第62図　遺構外出土弥生土器②、1号組石遺構出土石器 …… 66
第63図　1号周溝墓 …… 67
第64図　2・3号周溝墓 …… 68
第65図　2・3号周溝墓遺物出土状況、出土遺物 …… 69
第66図　4号周溝墓遺物出土状況、出土遺物 …… 70
第67図　4号周溝墓、6号溝 …… 71
第68図　5号周溝墓 …… 73
第69図　5号周溝墓遺物出土状況 …… 75
第70図　5号周溝墓埋葬主体部、出土遺物① …… 76
第71図　5号周溝墓出土遺物② …… 77
第72図　6号周溝墓 …… 78
第73図　7・8号周溝墓 …… 79
第74図　6～8号周溝墓遺物出土状況、出土遺物 …… 80
第75図　1号住居跡、カマド …… 81
第76図　1号住居跡遺物出土状況、出土遺物 …… 82
第77図　2号住居跡、カマド、出土遺物 …… 83
第78図　3号住居跡、カマド、1～3号ピット …… 84
第79図　3号住居跡遺物出土状況、出土遺物 …… 85
第80図　4号住居跡、カマド …… 86
第81図　4号住居跡遺物出土状況、出土遺物① …… 87
第82図　4号住居跡出土遺物② …… 88
第83図　5号住居跡、カマド、1号ピット …… 89
第84図　5号住居跡遺物出土状況、出土遺物① …… 90
第85図　5号住居跡出土遺物②、10号住居跡、遺物出土状況、出土遺物、50号ピット出土遺物 …… 91
第86図　1号竪穴状遺構、1・2号溝 …… 92
第87図　3・8号溝 …… 93
第88図　B区土坑・ピット群、C区土坑・ピット群 …… 94
第89図　5号周溝墓埋葬状態推定図 …… 100
第90図　遺構変遷案 …… 102
第91図　周溝墓群の形成過程案 …… 103
第92図　黒曜石産地推定判別図1 …… 116
第93図　黒曜石産地推定判別図2 …… 116
第94図　日本の黒曜石産地 …… 117

表　目　次

第1表　頭無A遺跡周辺の遺跡地名表 …… 6
第2表　スペクトルから得られたガラス破片の構成元素 …… 101
第3表　住居跡・周溝墓他遺構観察表 …… 104
第4表　土坑・ピット一覧表 …… 107
第5表　土器観察表 …… 108
第6表　石器観察表 …… 114
第7表　5号周溝墓埋葬主体部出土遺物観察表 …… 115
第8表　旧石器時代石器属性表 …… 115
第9表　頭無A遺跡出土黒曜石製石器産地推定結果 …… 116
第10表　判別図に用いた産地原石判別群 …… 117
第11表　頭無A遺跡出土黒曜石産地組成 …… 117
第12表　縄文土器遺構別内訳表 …… 118
第13表　弥生土器遺構別内訳表 …… 120
第14表　平安土器遺構別内訳表 …… 121
第15表　出土石器遺構別内訳表 …… 122

写　真　図　版

口絵１　頭無Ａ遺跡Ｃ区全景（南から）
Ｃ区周溝墓群（真上から）
５号周溝墓（北から）
口絵２　５号周溝墓埋葬主体部（南から）
鉄剣出土状況、鉄釧出土状況
鉄剣、鉄釧、ガラス玉片
口絵３　ガラス玉片拡大写真
口絵４　蛍光Ｘ線分析から得られたスペクトル

図版１　Ａ区近景（北から）、Ｂ区北側近景（北から）
Ｃ区北側近景（南から）、Ｃ区南側近景（北から）
６号住居跡、６号住居跡炉、６号住居跡１号埋甕
６号住居跡２号埋甕
図版２　７号住居跡、７号住居跡炉、７号住居跡埋甕
８号住居跡、８号住居跡１号炉
８号住居跡２号炉、８号住居跡１号埋甕
８号住居跡２号埋甕
図版３　９号住居跡、９号住居跡炉、９号住居跡埋甕
11 号住居跡、11 号住居跡炉
55 号土坑遺物出土状況
55 号土坑埋設土器出土状況①
55 号土坑埋設土器出土状況②
図版４　１号組石遺構周辺遺物出土状況①
１号組石遺構周辺遺物出土状況②
１号組石遺構①、１号組石遺構②
１号周溝墓（北から）
２号（奥）・３号（手前）周溝墓（東から）
４号周溝墓①（南から）、４号周溝墓②（北から）
図版５　５号周溝墓①（西から）、５号周溝墓②（南から）
５号周溝墓埋葬主体部①（北から）
５号周溝墓埋葬主体部②（東から）
５号周溝墓埋葬主体部③（南東から）
鉄剣（手前）と鉄釧（奥）①
鉄剣（左）と鉄釧（右）②
図版６　５号周溝墓鉄剣出土状況
５号周溝墓鉄釧出土状況
５号周溝墓甕出土状況、６号周溝墓
７号周溝墓、７号周溝墓甕出土状況
８号周溝墓、１号住居跡
図版７　１号住居跡カマド、２号住居跡、３号住居跡
３号住居跡カマド、４号住居跡
４号住居跡カマド、５号住居跡
５号住居跡カマド
図版８　５号土坑、９号土坑、54 号土坑遺物出土状況①
54 号土坑遺物出土状況②、61 号土坑、６号溝
Ｂ区土坑・ピット群、Ｃ区土坑・ピット群
図版９　旧石器時代石器
図版10　６号住居跡１号埋甕、６号住居跡出土土器①
６号住居跡２号埋甕、７号住居跡埋甕
８号住居跡１号埋甕、８号住居跡２号埋甕
８号住居跡出土土器①、８号住居跡出土土器②
８号住居跡出土土器③、８号住居跡出土土器④
図版11　55号土坑出土土器①、55号土坑出土土器②
５号周溝墓出土土器、７号周溝墓出土土器
６号周溝墓出土土器、８号周溝墓出土土器
２・４号周溝墓出土土器
遺構外出土弥生土器①
遺構外出土弥生土器②
図版12　鉄剣、鉄釧、鉄釧レントゲン写真
ガラス玉片、鉄剣の木質部
鉄釧の付着布

第１章　調査の経緯と概要

第１節　発掘調査に至る経緯

山梨県は、八ヶ岳南麓において南北に走る国道や地方主要道路を東西に結び、地域間の連結・連携を強化するために中山間活性化ふれあい支援農道（以下、ふれあい支援農道）の整備を計画した。それは農産物及び畜産飼料などの流通・輸送を合理化し、地域の農業や酪農の振興を促進するためでもあり、事業の推進が急がれた。

2000（平成12）年、長坂町産業課（当時）を通し長坂町教育委員会（当時）に、工事施工区間内の埋蔵文化財包蔵地有無の照会があり、その該当箇所を回答した。それ以降、長坂町内では段道遺跡、蟻塚遺跡、上条宮久保遺跡が同事業に先立ち発掘調査されている。

同事業と並行して農道建設予定地西側に大規模太陽光発電実証研究施設建設の計画があり、2006（平成18）年度それに先立ち、農道整備部分を含めて試掘調査を実施した（第５図）。試掘調査の結果、縄文時代・平安時代・中世の遺構・遺物が確認され、特に縄文時代の遺構は中期後半の馬蹄形集落と推定され、農道整備部分にも縄文時代中期後半の集落の一部が存在することが分かった。事業主体である山梨県農政部中北農務事務所、北杜市役所産業観光部農政課と協議した上で工事範囲2,600㎡を対象に、2006（平成18）年度に発掘調査を、2007（平成19）年度に整理作業・報告書刊行を実施することとした。

2006（平成18）年度の発掘調査経費は、5,455,855円で、調査経費負担協定に基づき山梨県中北農務事務所が5,450,000円を負担し、北杜市が5,855円を負担した。2007（平成19）年度の発掘調査経費（整理作業）は、3,064,339円で、調査経費負担協定に基づき山梨県中北農務事務所が3,040,000円を負担し、北杜市が24,339円を負担した。頭無Ａ遺跡の発掘調査経費の総額は8,520,194円である。

この発掘調査に係わる事務手続きは次のとおりである。

文化財保護法第94条による通知：平成18年９月28日付け中北農第1781号

同通知に係わる指示通知：平成18年10月13日付け教学文第1891号

調査経費負担協定書（発掘）：平成18年10月２日付け中北農第1789号-1

文化財保護法第99条による発掘着手報告：平成18年10月23日付け北杜生学第789-4号

同条による発掘終了報告：平成19年２月22日付け北杜生学第789-5号

発掘調査実施結果報告書（発掘）：平成19年４月13日付け北杜生学第1058-2号

埋蔵物発見届：平成19年２月22日付け北杜生学第789-6号

埋蔵物保管請書：平成19年２月22日付け北杜生学第789-8号

埋蔵文化財保管証：平成19年２月22日付け北杜生学第789-7号

調査経費負担協定書（整理）：平成19年４月２日付け中北農第1590号

発掘調査実施結果報告書（整理）：平成20年４月９日付け北杜生学第34号

本発掘調査の日程は以下のとおりである。

2006年９月14日～15日：調査対象範囲の除草
　　10月16日～20日：重機による表土剥作業
　　10月23日～：発掘調査着手
2007年２月８日：航空写真撮影
　　２月22日：発掘調査終了
　　４月４日：整理作業着手
2008年３月31日：整理作業終了

第２節　発掘調査の概要

本遺跡内における今回の調査は、農道整備ということもあり、南北約300ｍ、東西約10ｍと南北に細長い形をしている（第４・６図）。既存道路との関係で調査区は３つに分かれ、北から順にＡ～Ｃ区として調査を行った（第７図）。Ａ区は670㎡、Ｂ区は483㎡、Ｃ区は1,447㎡で、合計面積は2,600㎡である。

調査区は基準点測量を行い、この点に基づき調査区の南西側に原点を設け、そこから10ｍ四方のグリッドを設定した。西から東に１～12、南から北へＡ～ADとグリッド名をつけた。

調査は、重機により表土層を剥ぎ、その後人力で遺構確認面まで掘削した。遺構確認面に至ると丁寧に精査を行い、順次遺構の確認を行った。遺物はある程度大きいものは出土した原位置で光波測量機による記録・取り上げ作業をし、小さいものについては一括遺物として取り上げた。遺構は土層断面・遺構平面図を光波測量機により図化した。調査の状況に応じて遺物出土状況や土層断面、遺構完掘状況などの写真撮影を行い、Ｃ区の一部で航空写真を撮影した。

発見された遺構は、縄文時代の竪穴住居跡５軒、平安時代の竪穴住居跡６軒、縄文時代の土坑11基・ピット１基、弥生時代中期の土坑１基、弥生時代後期の周溝墓８基、溝７条、土坑55基、ピット129基、炉跡１基、組石遺構１基、竪穴状遺構１基である。出土遺物は、縄文・弥生・平安時代の土器・石器が30箱分出土した。

第３節　発掘調査組織

発掘調査組織は以下のとおりである。

調査主体　北杜市教育委員会

事務局　教育長　小清水淳三（～平成 19 年 11 月）
櫻井義長（平成 19 年 11 月～）
生涯学習課長　原哲也（～平成 19 年３月）
原一元（平成 19 年４月～）
調査担当　村松佳幸
（長坂郷土資料館担当兼文化財担当）

発掘作業員　秋山かつゑ　浅川八重子　浅野　好生
粟沢　美香　小尾トヨ子　加藤　歩美
菊地美千代　酒巻　正道　清井ゆき枝
関　祐二　田中　彰　津布久功二
豊浦　和子　名取　初子　野口　和政
日向登茂子　矢ケ崎健三　矢ケ崎重浩
矢ケ崎　初

整理作業員　有野　明子　井出　由美　白倉めぐみ
清井ゆき枝　原　万紀子

第２章　遺跡周辺の環境

第１節　地理的環境

北杜市は山梨県の北西部に位置し、北巨摩郡下の８町村が合併して誕生した市である。北は八ヶ岳、東は瑞牆山・金峰山を代表とする秩父山地や茅ヶ岳、西は甲斐駒ケ岳などが連なる南アルプスと、周囲の山々を含む広大な面積をもつ市である。

本遺跡は山梨県北杜市長坂町塚川地内に所在し、八ヶ岳南麓のほぼ中央に位置する（第２図）。山体が崩壊して起こった韮崎岩屑流により形成された八ヶ岳南麓は、標高 1,200 m以上が急峻な山岳地帯になっており、それ以下は比較的緩やかな地形となり、高原や台地等が広がる。裾野は釜無川と塩川によって浸食され、特に釜無川側は七里岩と呼ばれる長さ約 30 kmにおよぶ侵食崖が形成されている。

八ヶ岳台地の上も中小河川により浸食され、南に下がるにつれてその度合いを増す。本遺跡は鳩川が浸食した河岸段丘上にあるが、その段丘面でも幾つかの沢が入り込み、大小の舌状台地が発達する。その中のやや広い平坦面をもつ舌状台地に本遺跡は立地する。

本遺跡の範囲は南北約 700 m、東西約 200 mと細長く、台地全体に展開する。今回の調査区は遺跡の南側にあたり、南に下がる緩傾斜面と、それから続く平坦面からなる。標高は 658 ～ 670 mである。

現在、東隣の舌状台地上に中央自動車道が南北に走っている。遺跡南端には両台地の間の沢を利用した溜池が作られ、周辺田畑への灌漑用水として利用されている。

第２節　歴史的環境

本遺跡の周辺には台地上を中心にさまざまな遺跡が存在する。本調査区の北端で夏秋地区と塚川地区との境界がある。両地区で調査された遺跡をいくつか紹介する。

塚川地区では、本遺跡から南東約 200 mのところに頭無遺跡があり（第３図 4120）、1973（昭和 48）年に中央自動車道建設に先立ち発掘調査された（山梨県教委 1975）。縄文時代中期後半と古墳時代前期の集落が発見された。中期後半は曽利Ⅰ式～Ⅴ式期の住居跡 16 軒あり、環状集落の半分が調査された。

塚川十三塚群は、1969（昭和 44）年に中央自動車道建設により東前田遺跡として発掘調査されている（山梨県教委 1970）。十三塚と呼ばれる小丘群の調査ではあったが、出土遺物はなく時期や性格を論じるだけの考古学的証拠は見つからなかった。

宮久保遺跡は、1997（平成 9）年に団体営圃場整備事業に先立ち発掘調査されている（長坂町教委 1999）。縄文時代中期末～後期初頭の住居跡２軒、後期前半の敷石住居跡２軒、後期前半の弧状の列石遺構１基、平安時代の竪穴住居跡４軒・掘立柱建物跡１棟、中世の竪穴状遺構２基、集石遺構２基、溝状遺構２条などが発見された。

下村遺跡（第３図 4127）は、2006（平成 18）年に農道改良工事に伴い発掘調査され、中世の竪穴状遺構１基・溝９条・地下式坑１基などが発見された。

塚川の土塁は、本遺跡から南に約１kmのところにある（第３図 4126）。発掘調査はされてない。台地を横断するように東西方向に造られ、約 100 mが現存している。屋敷の土塁と考えられるが、その伝承はなく、性格は不明である。

夏秋地区では、本遺跡から北東約 500 mのところに夏秋天王塚古墳がある（第３図 4189）。中央自動車道の脇に存在し、一部壊され石室が露出している。昭和初期に発掘された記録が残り、人骨や大刀・馬具・土器などの副葬品が石室内の見取図とともに記されている（北巨摩郡教育会 1932）。

本遺跡から北約 100 mのところに大々神十三塚がある（第３図 4113）。現在、塚らしきマウンドが４基存在するがその性格は不明である。平成 13 年に宅地造成に伴い発掘調査が行われ、塚からやや離れたところから平安時代住居跡２軒が発見されている。

第３章　発見された遺構と遺物

第１節　基本層序

Ａ～Ｃ区の基本層序は次の通りである。Ａ区の基本層序は図示しなかったが、暗褐色の表土層の下に褐色土があり、その下は直ぐに黄褐色土になる。黄褐色土で遺構確認面となり、その深さは現地表面から約20㎝である。Ｂ・Ｃ区とも遺構確認面までの深さは同様である。

Ｂ区は第８図のとおり、上から暗褐色土層、褐色土層、にぶい黄褐色土層である。３層は２層から変化する漸位層と考えられる。遺構確認面は３層上面である。旧石器時代石器は、一部は２層や遺構内から出土しているが、主に３層から出土した。

Ｃ区は第８図のとおり、上から暗褐色土層、褐色土層、にぶい黄褐色土層、黄褐色土層である。２層は遺物包含層であり、３層上面が遺構確認面である。

第２節　旧石器時代

旧石器時代遺物と考えられる石器を選び出し、㈱アルカに図化等の整理を委託した。以下はその所見である。

１）頭無Ａ遺跡の石器《㈱アルカ》

１．石器の選択

石器はあらかじめ教育委員会から選択されたものを、さらに選択を重ねて20点の石器を提示することにした。ナイフ形石器が２点出土しているので、その石質・剥離面の風化に近い石器を選択した。結果は、黒曜石が18点、頁岩１点、水晶１点となった。

なお、この選択は肉眼での選択であるので、縄文時代の石器が部分的に混在している可能性もある。

２．石器の説明（第17・18図）

ナイフ形石器（１と２）は一側縁基部加工のナイフ形石器である。とくに１のナイフ形石器は調整打面をもつ打面を残しており、先端が開くのが特徴である。こうした調整打面の石刃は間接打撃の可能性が高い。２のナイフ形石器は１とほぼ同じであるが、打面と先端が欠損している。

３は頁岩の石刃で、巾の狭い平坦打面をもつ。コーン形状からはソフトハンマーである。剥離軸が捻れていることから直接打撃の所産であろう。

４は使用痕のある石刃である。打面・末端辺ともに折れている。裏面右辺に連続したマイクロフレイキングがみられるが、これは対象物に押しつけて掻き取るようにした際にできるものである。またマイクロフレイキングの形状が均一で剥離痕がやや深いため、対象物は黒曜石よりも硬い物体であろうと推定される。５は水晶の縦長剥片である。水晶は非常に硬く、割れにくい。おそらくハードハンマー（素材は水晶と同等の硬さの石など）の直接打撃であろう。打面が線状のため、作業面の縁をこするように剥離作業が行われたと思われる。

６は楔形石器とした。裏面の右向こうの剥離面のみがポジ面で、その他の面はすべてネガ面である。背面の上方向からの剥離面はコーンが潰れた状態で残り、背面末端辺の下方向の剥離面はコーンが吹き飛んでいる。こうした状態の剥離面ができるには、台石の上にこの石器を置き、上方向から垂直打撃を行うのが妥当である。したがって楔形石器とした。しかし、何度も打撃を繰り返しているわけではなく、数回の打撃でとどまっている。

７は剥片素材の石核転用の使用痕石器である。背面向こうから掻器の加工状の剥離面があるが、これは石核の歪んだ稜線を矯正するための石核調整加工である。裏面の手前に下方向からの剥離面が２枚あるが、これは主要剥離面を切っており、この石器が縦長剥片の分厚い末端辺を打面に、主要剥離面を作業面とした石核であることがわかる。その剥離作業は２枚の剥離面で終わっているが、打面となる元の剥片の末端辺はステップ状に折れており、やや不可解な打面となっている。そして、その後に裏面右側辺向こうにマイクロフレイキングが付いている。８はソフトハンマーの直接打撃の使用痕剥片である。節理面の平坦打面で、コーンが歪んでいるのがよくわかる資料である。.

９は平坦打面の縦長剥片。剥離軸にねじれが無く、打面厚も３㎜と小さい。おそらくソフトハンマーのパンチによる間接打撃であろう。10は末端が石核底面まで取り込まれた石刃である。調整打面で、ソフトハンマーのパンチによる間接打撃と思われる。11は石核成形剥片である。平坦打面で、打面厚2.4㎜。ソフトハンマーのパンチによる間接打撃であろう。背面には旧作業面の縦長剥片剥離面が観察できる。12は剥片断片。13は右側辺にわずかに旧作業面が残るので、打面再生剥片であろう。打面は点状で、ハンマーが石核縁辺を擦るようにして剥離されたものである。

14、15は剥片。16は剥離の開始部が曲げタイプの剥片である。従ってコーンはみられない。剥離角が150°であることが、曲げの剥離を示している。17は打面と末端辺が欠けている石刃である。18は二次加工剥片とした。加工は打面を切るように反方向からの剥離があり、また右側辺を叩き折っている。このような加工は、しばしば縄文文化にみられる削器にあるので、この石器が旧石器時代のものであるのかは、加工の点で確証がもてない。

しかし素材は両設打面の石刃である。こうした石器は類例が必要である。19はハードハンマーの直接打撃の剥片。20は偏平で小形の原石である。

3．石器群の様相と編年的位置

この石器群の特徴は2つある。それは一側縁基部加工のナイフ形石器をもつ石刃石器群であること、もうひとつは黒曜石の原産地が蓼科冷山群に偏っていることである。ナイフ形石器の特徴からは、南関東のⅦ層相当の石器群に類似するが、一側縁の基部加工は類例を求めなくてはならない。原産地の問題は、こうした編年的位置相当の石器群が存在するか否かを課題としなければならないだろう。いずれにしても、蓼科冷山群の黒曜石に偏在する石刃石器群が稀少例であることは今のところ確かであろう。　　＜文責　角張淳一＞

第3節　縄文時代

縄文時代の竪穴住居跡は、6・7・8・9・11号住居跡の5軒発見された。いずれもC区南側からの発見である。6～9号住は曽利Ⅳ式期、11号住は曽利Ⅳ～Ⅴ式期に帰属する。6～9号住は埋甕を伴い、6・8号住は埋甕が2基埋設されており、それぞれ拡張された住居と考えられる。炉は石が抜かれていたが、11号住を除き石囲炉であろう。6・8号住は5本の主柱穴をもつ住居である。5・6・7・9・10・11・12・13・14・54・56号土坑と、2号ピットが縄文時代のものと考えられる。

縄文土器は曽利式土器が数多く出土し、次いで中期末の土器が多く出土した。曽利式の中でも曽利Ⅳ式の出土が多い。五領ヶ台式・狢沢式・新道式・藤内式・井戸尻式の中期前半の土器は数点しか出土していない。後期初頭の称名寺式・後期前半の堀之内式も数点の出土である。

6号住から土偶4点・土鈴1点が出土している。14号土坑から土錘が1点出土している。

各住居跡の詳細は第3表、各土器・石器の詳細は第5・6表を参照されたい。

第4節　弥生時代

組石遺構がA区から1基発見されている（第60図）。方形の石囲炉のような形態で、区画中に礫が埋まっていた。焼土や炭化物が確認できなかったので炉と断定はできない。遺構内から弥生中期条痕文土器片がわずかに出土している。周辺からも条痕文土器や石鏃と考えられる打製石斧が出土している。おそらく掘り込みがごく浅い竪穴住居か、平地式住居であったと思われる。

55号土坑は弥生時代中期の土坑で、長軸1.68m、短軸1.42m、深さ40cmである（第58図）。底部から小型壺の胴下半部が正位で出土し、南壁に石皿が立てかけられていた。覆土中から数多くの条痕文土器と、黒曜石や石鏃等の石器も出土した。人骨は出土していない。壺の胴下半部が出土しているので墓壙とも考えられるが、貯蔵穴の可能性も否定できない。

弥生時代後期の周溝墓が8基発見された。全てC区に存在し、南北約70mの範囲に造られている。方台部の大きさから2つのグループに分けられる。10～13mの大型のものが3基（1・4・5号周溝墓）、5～6mの小型のものが5基（2・3・6・7・8号周溝墓）である。溝の共有は2・3号周溝墓だけで、それ以外はそれぞれ独立して造られている。1・4号周溝墓の主軸はほぼ同じであるが、5号周溝墓の主軸は異なっている。これは、1・4号周溝墓と5号周溝墓とでは築造時期に差があった可能性がある。6・8号周溝墓は、遺構全体を調査していないので断定できないが、円形になる可能性がある。

5号周溝墓の中央に埋葬主体部が1基確認され、その中から鉄剣1振・鉄釧1点・ガラス玉片4点が出土した（第70・71図）。

遺構外からは弥生時代中期～後期の土器が出土している（第61・62図）。後期の土器は周溝墓群周辺から出土しているが数は少ない。中期の土器はA区とC区を中心に数多く出土している（第89図）。

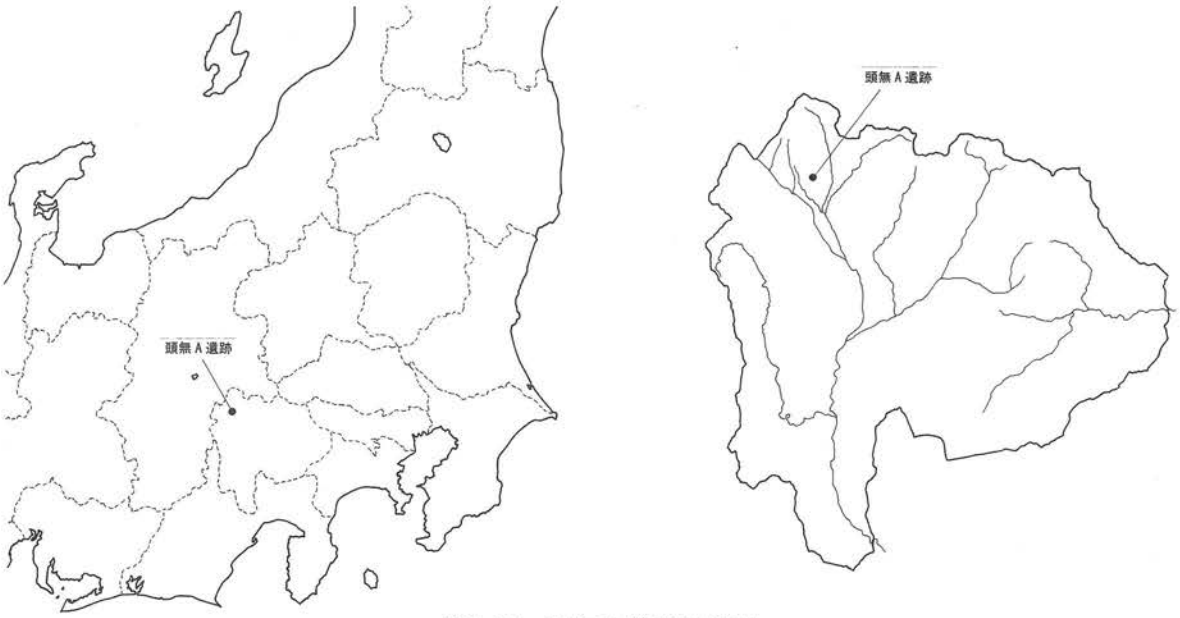
各遺構の詳細は第3・4表、各遺物の詳細は第5・6・7表を参照されたい。

第5節　平安時代

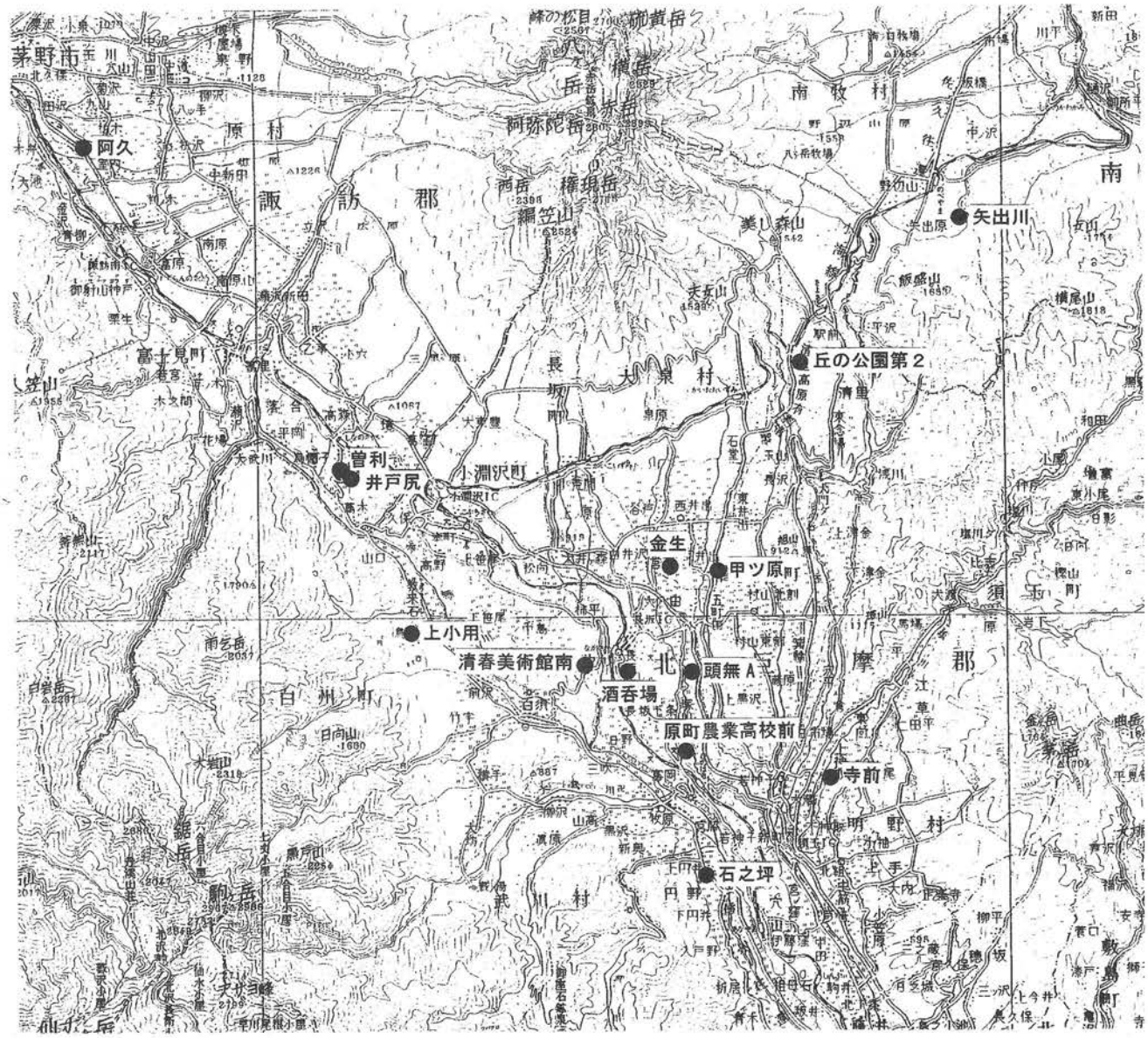
平安時代の竪穴住居跡は1・2・3・4・5・10号住居跡の6軒発見された。1号住はA区、2号住はB区、3・4・5・10号住はC区にある。縄文時代の住居跡や弥生時代の周溝墓より広い範囲に分布する。帰属時期は、出土した甲斐型坏等から判断し、3号住が宮ノ前編年Ⅵ期（830～860年頃）、2・4・5・10号住が同Ⅶ期（860～890年頃）、1号住が同Ⅷ期（890～920年頃）と考えられる。9世紀中頃から10世紀初頭の集落である。カマドが確認できた1～5号住では全て東壁に構築されていた。中でも2号住のカマドは南東隅に近くに作られている。50号ピットから土錘が1点出土し、形態から平安時代のものであろう。詳細は第3・5表を参照されたい。

第6節　時期不明

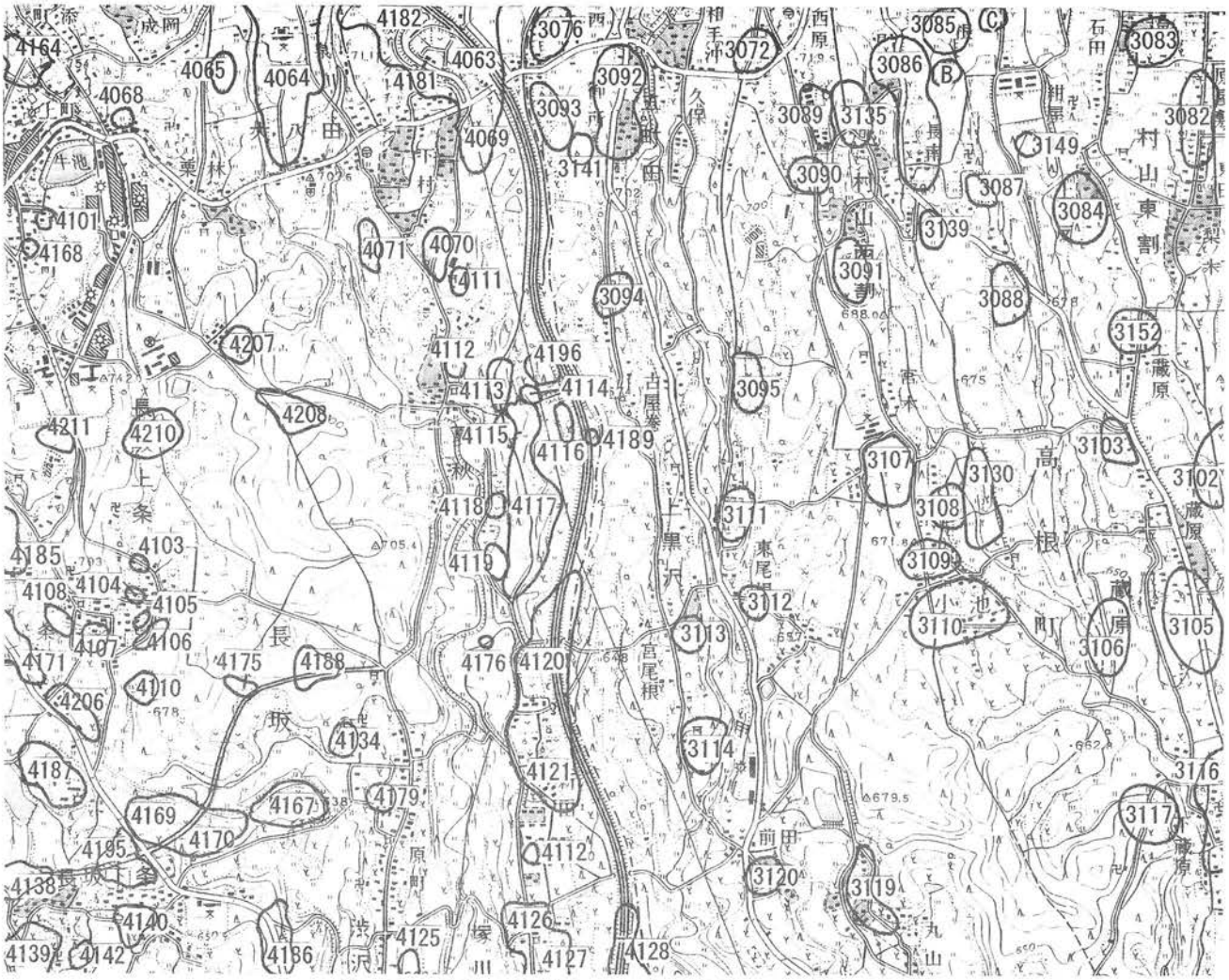
土坑55基、ピット129基、1号竪穴状遺構・1～6・8号溝が時期不明な遺構である。詳細は第3・4表を参照されたい。なお7号溝は欠番である。



第１図　頭無Ａ遺跡位置図



第２図　八ヶ岳南麓主要遺跡分布図（1/200,000）



第３図　頭無Ａ遺跡周辺の遺跡分布図（1/25,000）

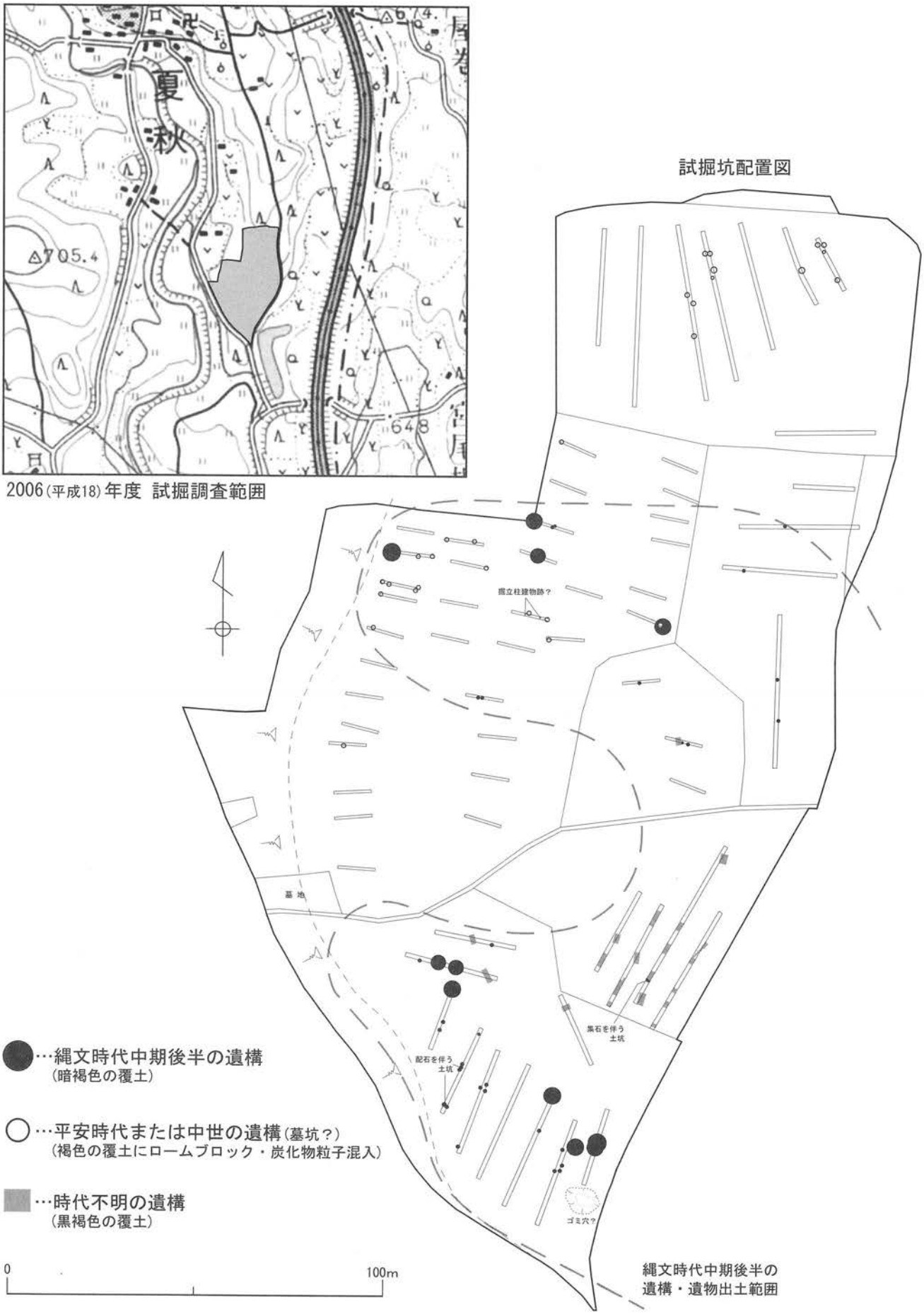
第1表　頭無A遺跡周辺の遺跡地名表

遺跡No	遺跡名	時代
4063	柳坪B遺跡	縄/弥/古/平
4064	小屋敷遺跡	縄/平/中
4065	久保地遺跡	縄
4066	成岡遺跡	縄/弥/平
4068	曲田遺跡	平
4069	石原田北遺跡	縄/平/中
4070	石原田南遺跡	縄/平
4071	塚原遺跡	縄/平/中/近
4101	上町遺跡	縄/平
4103	東村A遺跡	縄/平
4104	東村B遺跡	古/奈/平
4105	中村遺跡	古/奈/平
4106	錨田遺跡	平
4107	西村遺跡	古/奈/平
4108	中反遺跡	縄/平
4110	長閑屋敷跡	古/平/中
4111	白山神社前遺跡	平
4112	上ノ屋敷遺跡	縄/平
4113	大々神十三塚	平/中
4114	大々神A遺跡	平
4115	大々神B遺跡	古/平
4116	治郎田遺跡	旧/縄/弥/平/中
○ 4117	**頭無A遺跡**	**旧/縄/弥/平/中**
4118	樫木遺跡	弥/古/平
4119	塚川・柳坪遺跡	縄/近
4120	頭無(二本木)遺跡	縄/古/中
4121	新田遺跡	縄
4125	上久通北遺跡	縄/平
4126	塚川の土塁	中
4127	下村遺跡	中
4128	塚川十三塚群	縄
4134	寺前遺跡	縄
4138	北村遺跡	縄/弥/古/中

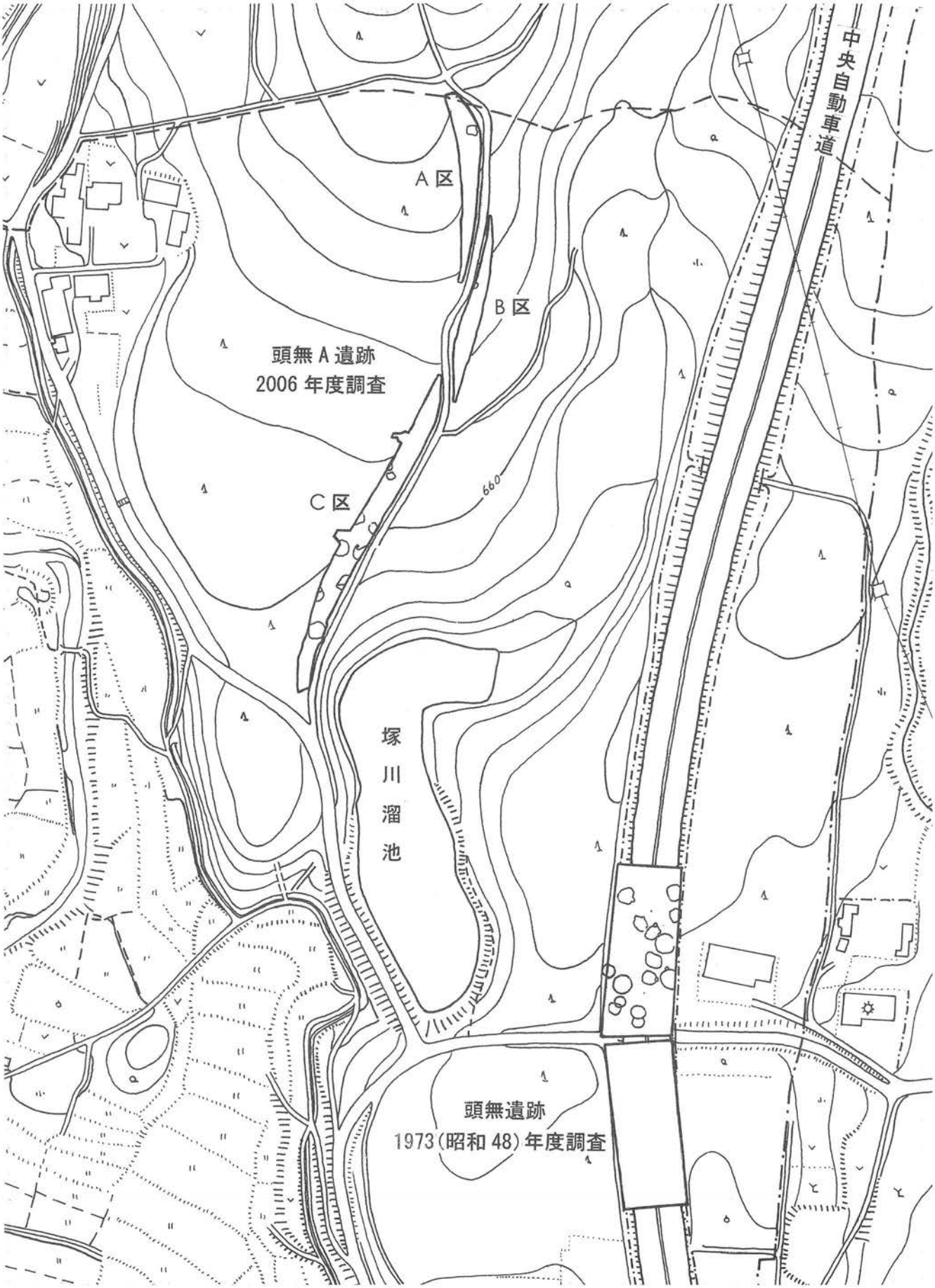
遺跡No	遺跡名	時代
4139	新居遺跡	縄
4140	相吉氏屋敷跡	中
4142	植松氏屋敷跡	中
4164	大林遺跡	旧/縄/江
4167	西屋敷遺跡	古
4168	上町南遺跡	縄
4169	龍角西遺跡	縄/古/平/中
4170	龍角遺跡	古/平
4171	長坂上条遺跡	縄/弥/古/平/
4175	和田遺跡	弥/古/平
4176	古屋敷遺跡	縄
4179	渋沢上町遺跡	縄
4181	柳坪南遺跡	平/江
4182	柳坪北遺跡	縄/弥/平
4185	酒呑場東遺跡	縄/弥/平
4186	山本遺跡	縄
4187	北村東遺跡	縄/古
4188	大久保遺跡	縄/中
4189	天王塚古墳	古
4195	紺屋遺跡	縄/平/中
4196	治朗田北遺跡	縄
4206	長坂上条・藤塚	古/平
4207	池之窪遺跡	縄/平
4208	段道遺跡	縄
4210	蟻塚遺跡	縄/古/平
4211	上条宮久保遺跡	縄/平/江
3072	菖蒲原A遺跡	縄/平/中
3076	神明遺跡	平/中
3082	東田・原屋敷遺跡	縄/平/中
3083	石田前遺跡	縄/平/中
3084	上ノ反遺跡	縄/弥/平/中
3085	高内A遺跡	縄/平/中
3086	大正寺遺跡	縄/平/中

遺跡No	遺跡名	時代
3087	高内B遺跡	縄/平/中
3088	老ケ森B遺跡	縄/平/中
3089	西ノ原B遺跡	縄/古/平
3090	菖蒲原B遺跡	縄/中
3091	宮地遺跡	縄/平
3092	御所遺跡	縄/平/中
3093	柳田B遺跡	縄/平/中
3094	澤田遺跡	平/中
3095	中久保A遺跡	縄/平/中
3102	藤代A遺跡	縄/中
3103	宮の前A遺跡	縄
3105	宮の前B遺跡	縄
3106	西久保遺跡	縄文/平安
3107	後原遺跡	縄/古/中
3108	長崎A遺跡	縄/古/平/中
3109	長崎・後原遺跡	縄/平
3110	長崎B遺跡	縄/平/中
3111	中久保B遺跡	縄/平
3112	宮尾根A遺跡	縄/中
3113	宮尾根B遺跡	縄/中
3114	宮尾根C遺跡	縄/平
3116	新井A遺跡	平/中
3117	西ノ入遺跡	縄/平/中
3119	東入遺跡	縄/古
3120	宮渡戸遺跡	縄/古/中
3130	舟山遺跡	弥
3135	西ノ原遺跡	縄/古
3139	老ケ森A遺跡	平/中
3141	柳田A遺跡	平
3144	丘の公園前遺跡	縄
3149	下風呂遺跡	縄
3152	上蔵原墓跡	中

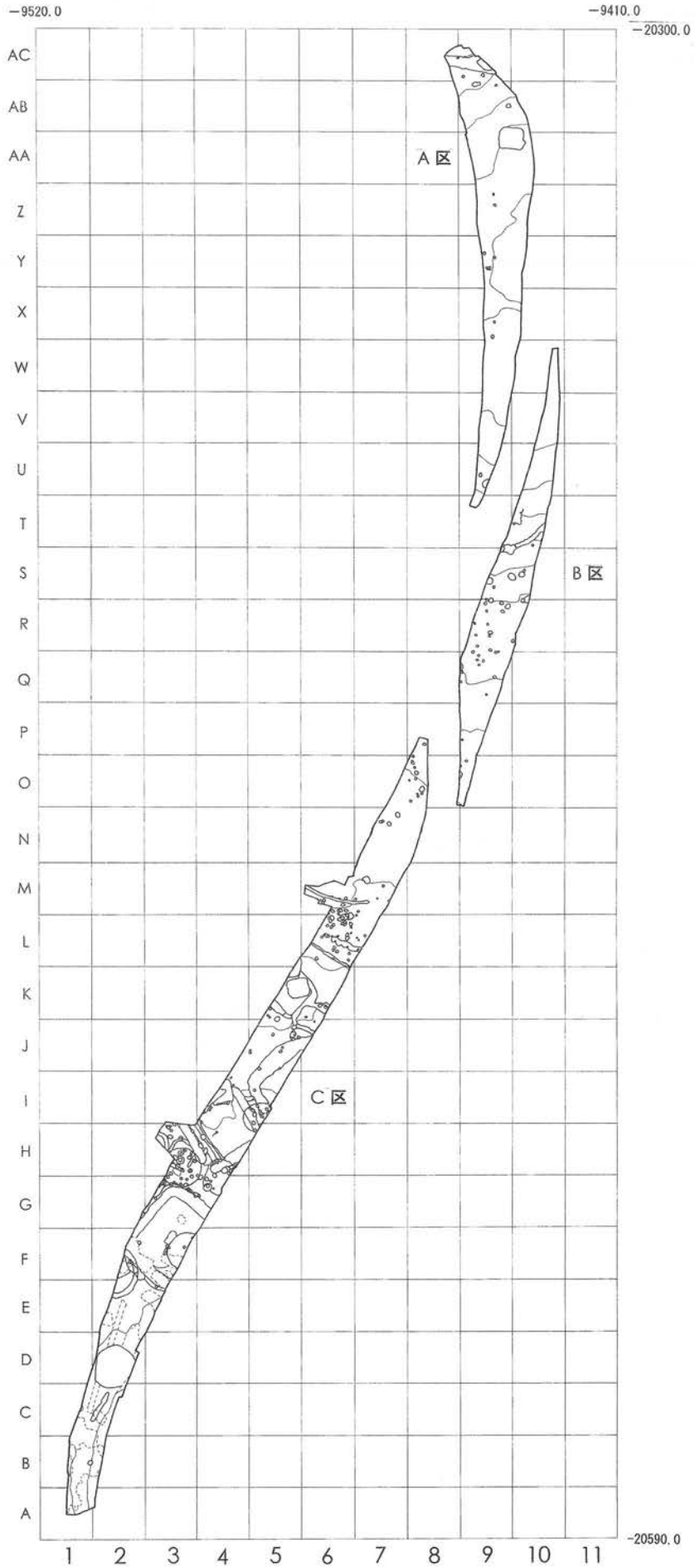
第４図　頭無Ａ遺跡周辺地形図（1/5,000）



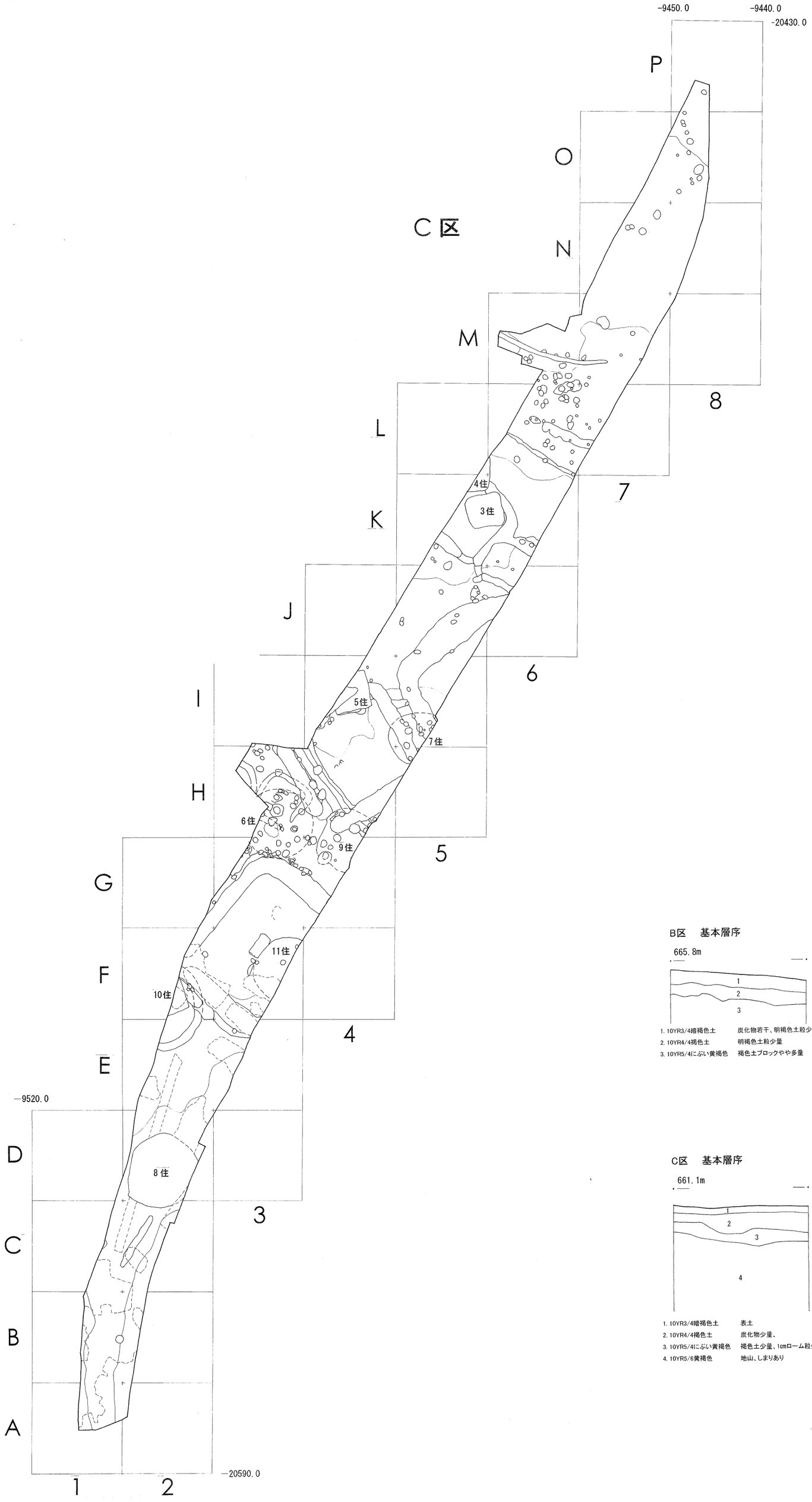
第５図　2006（平成 18）年度　試掘調査範囲および試掘坑配置図



第６図　頭無Ａ遺跡調査区位置図（1/2,500）



第7図　調査区全体図（1/1,200）



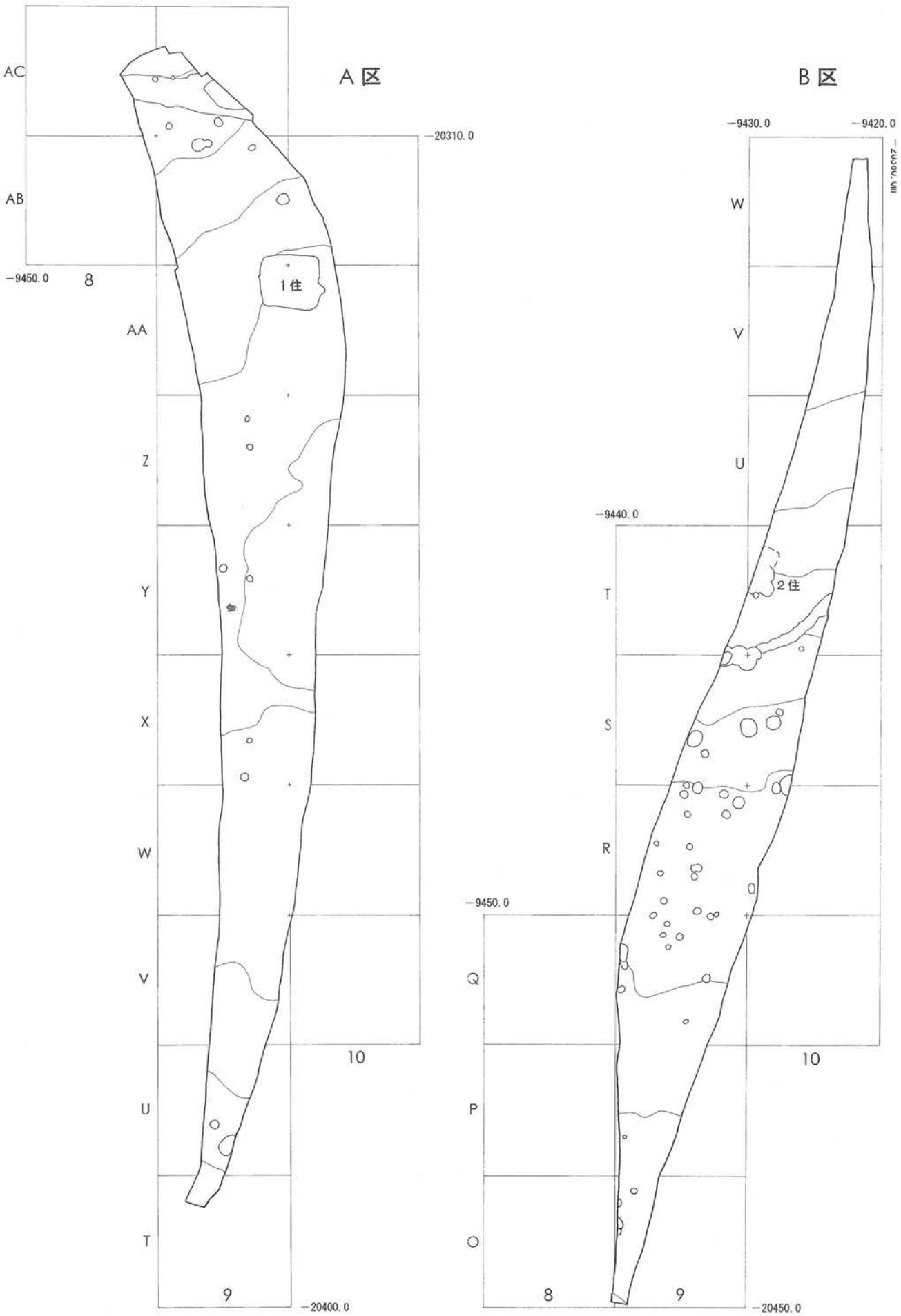
B区　基本層序

1. 10YR3/4暗褐色土　炭化物若干、明褐色土粒少量
2. 10YR4/4褐色土　明褐色土粒少量
3. 10YR5/4にぶい黄褐色　褐色土ブロックやや多量

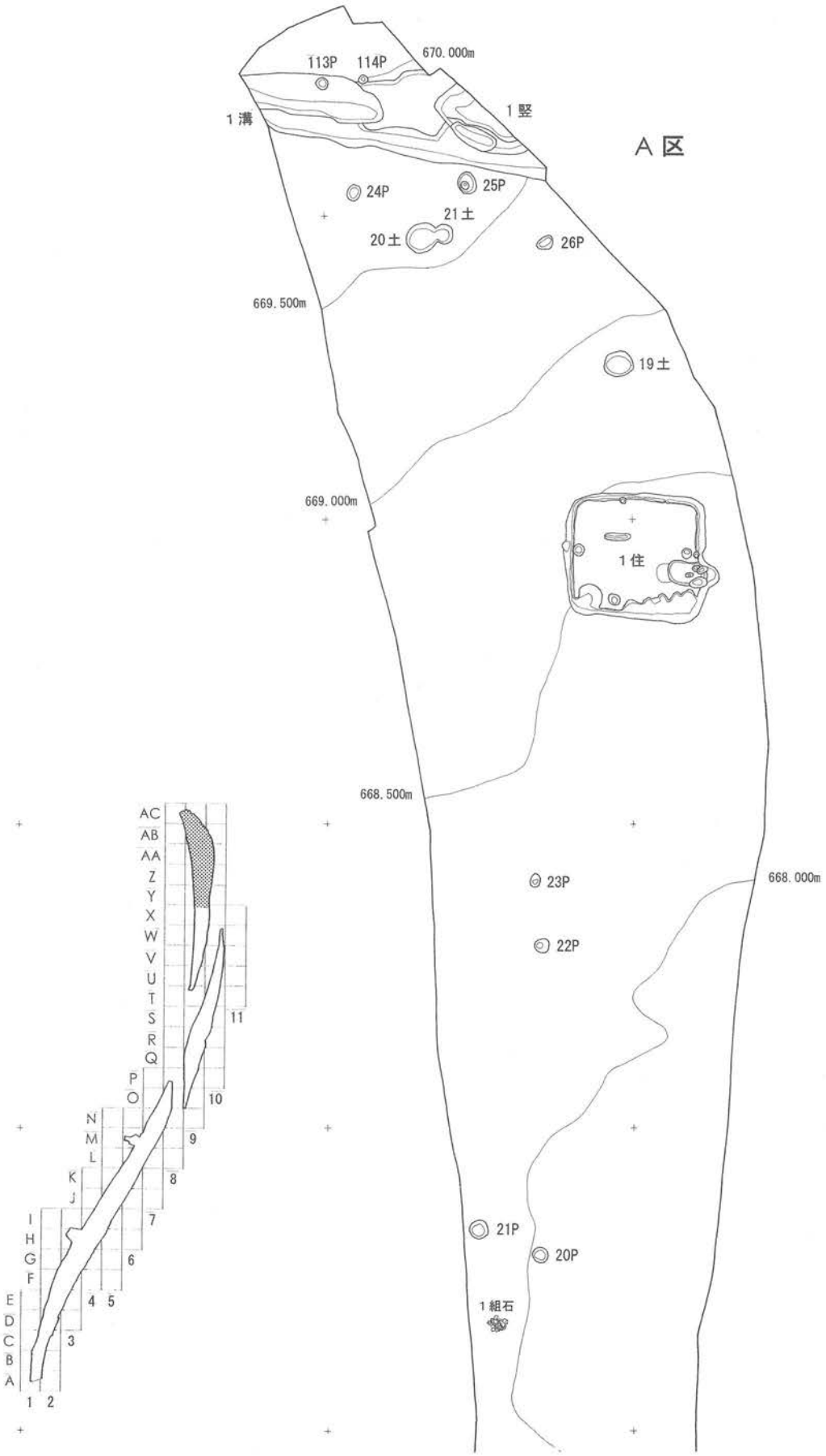
C区　基本層序

1. 10YR3/4暗褐色土　表土
2. 10YR4/4褐色土　炭化物少量、
3. 10YR5/4にぶい黄褐色　褐色土少量、1cmローム粒少量
4. 10YR5/6黄褐色　地山、しまりあり

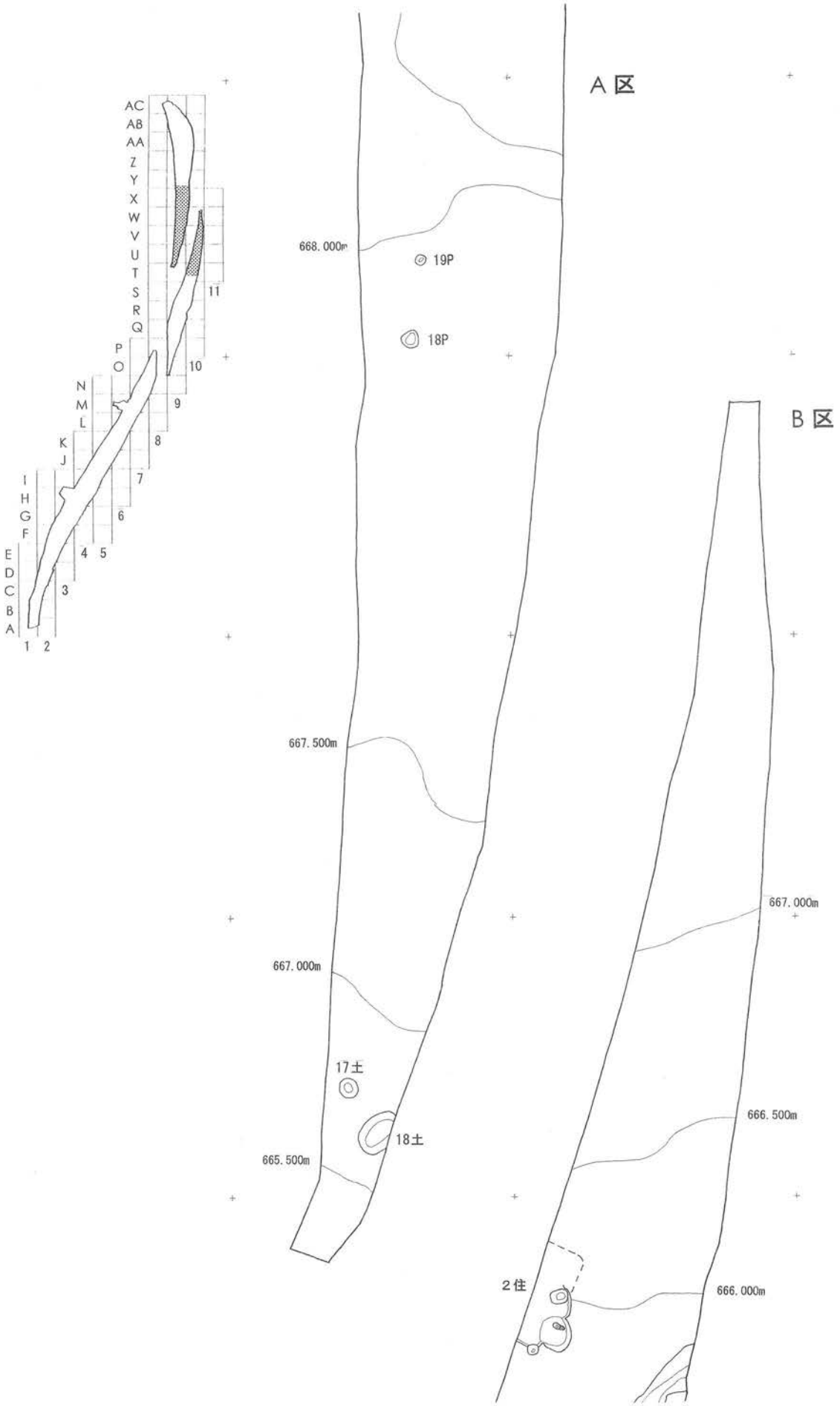
第8図　C区全体図（1/400）、B区・C区基本層序



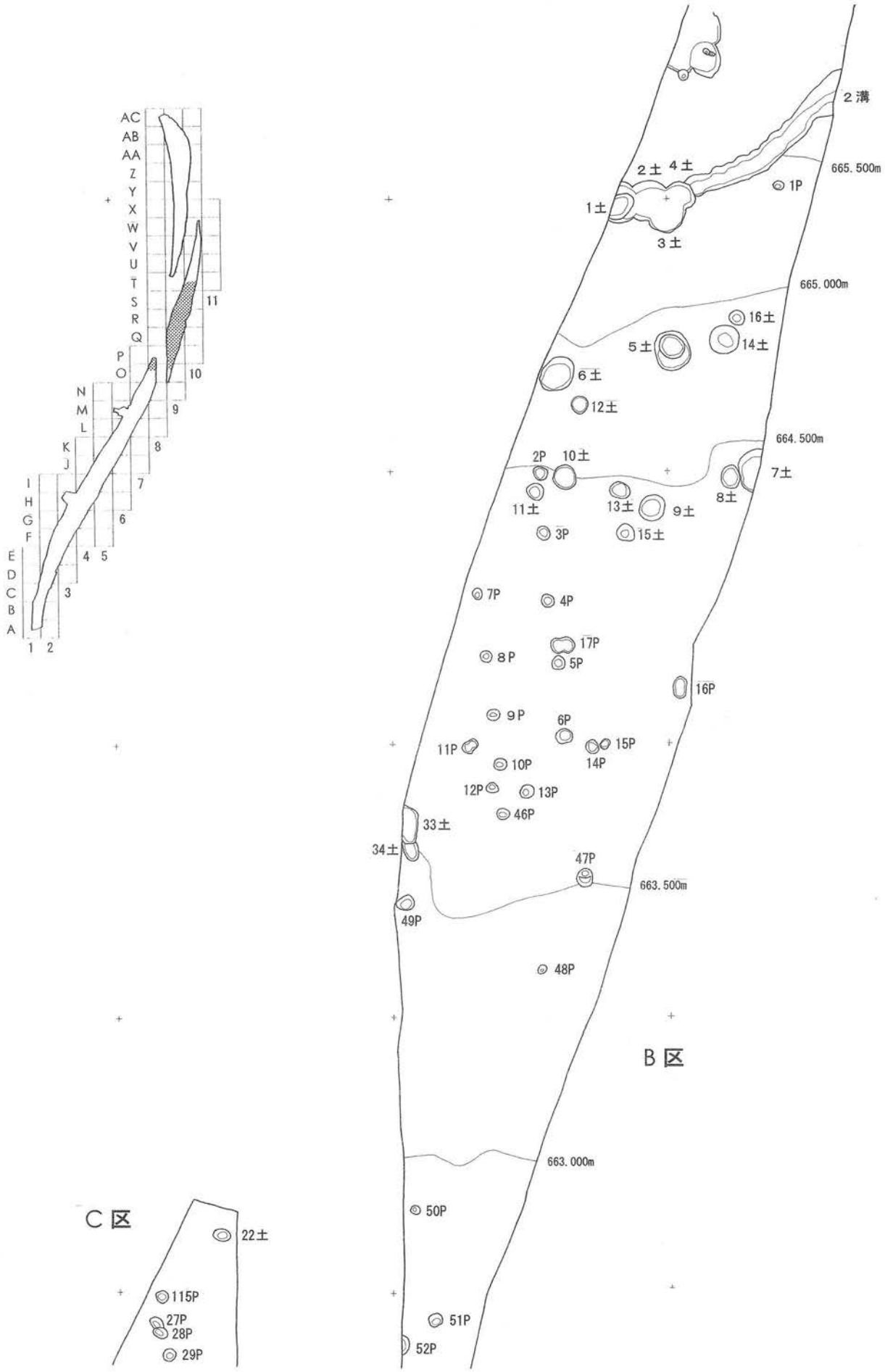
第9図　A区・B区全体図（1/400）



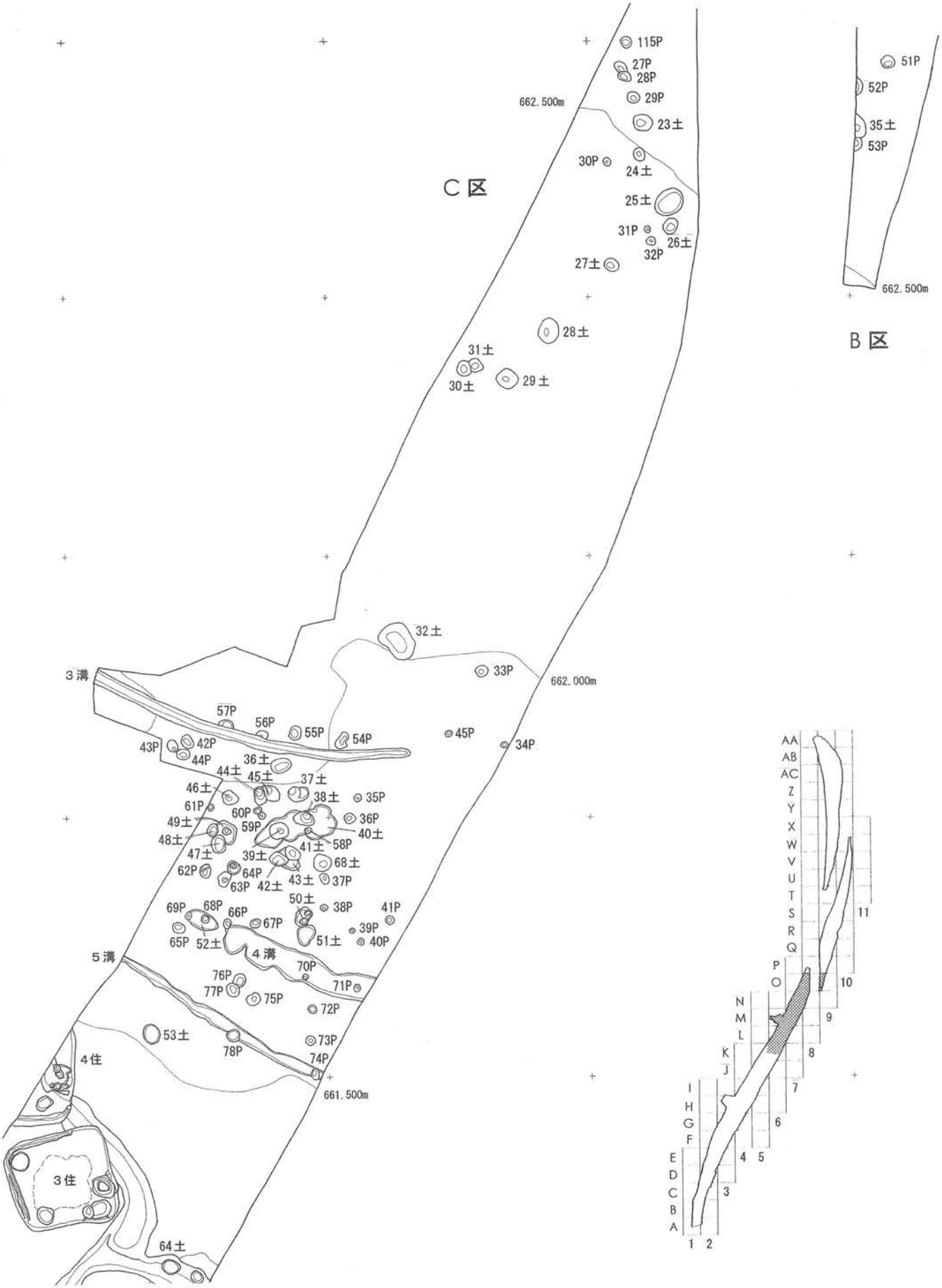
第10図　遺構分布図①（1/200）



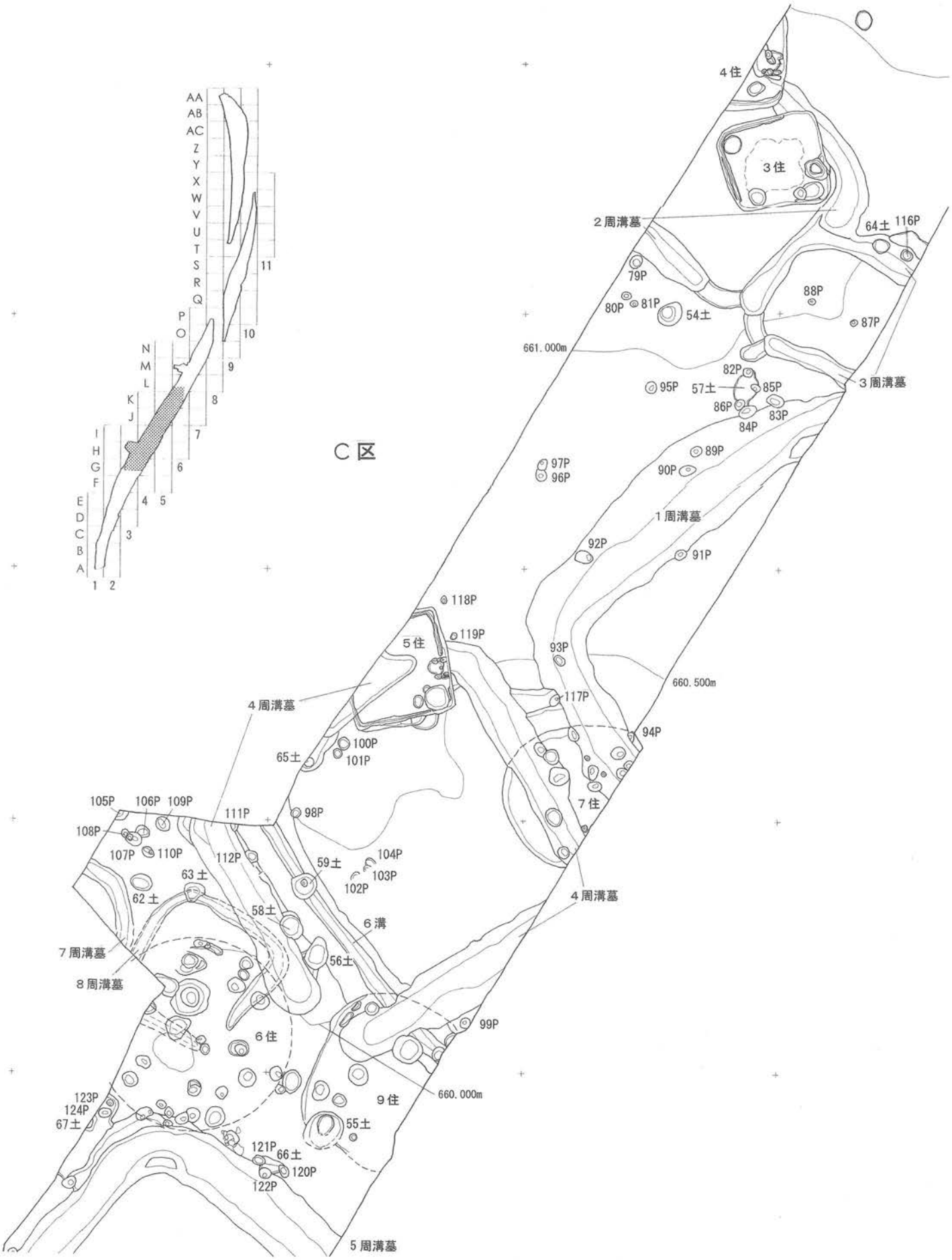
第11図　遺構分布図②（1/200）



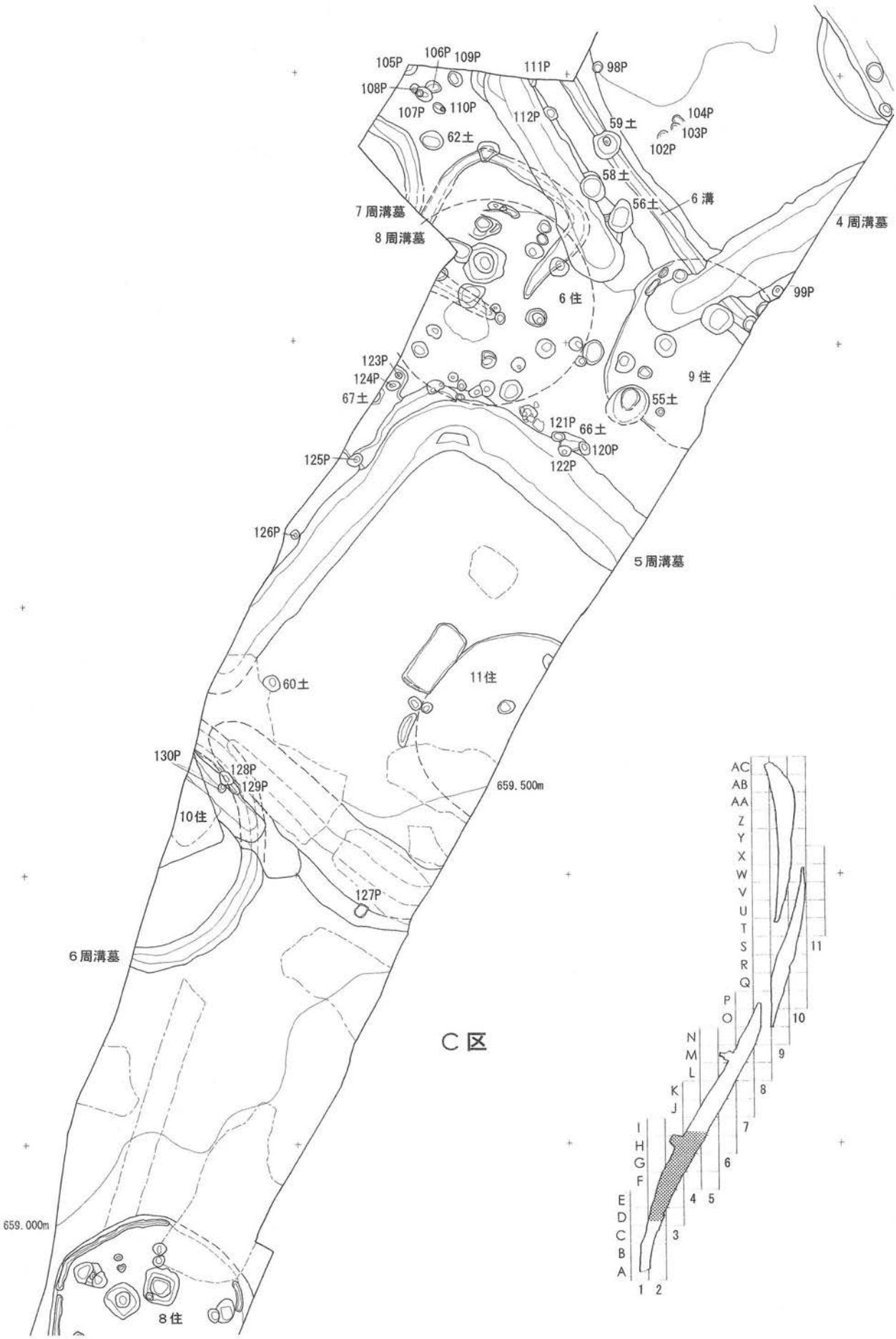
第12図　遺構分布図③（1/200）



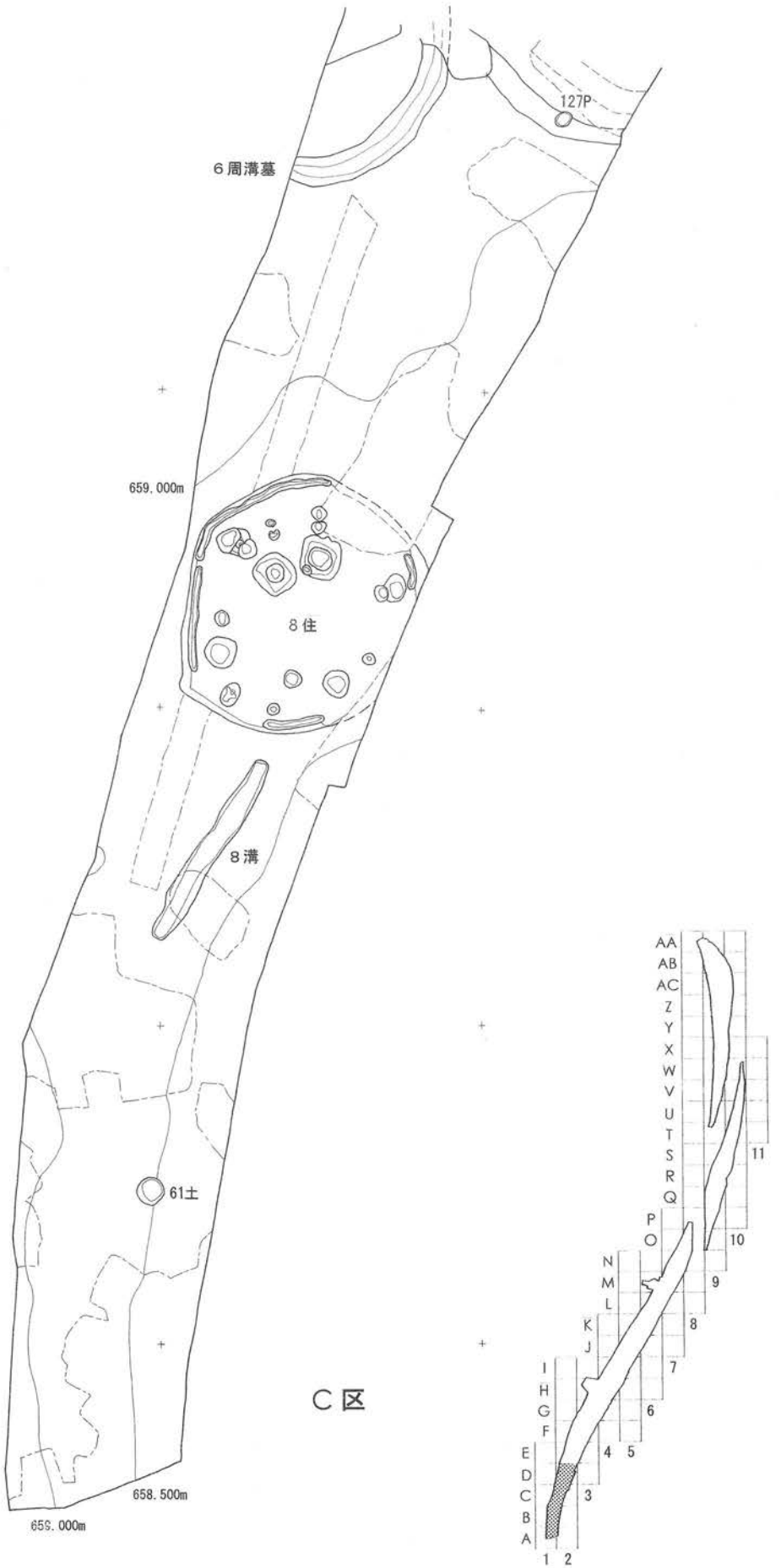
第13図　遺構分布図④（1/200）



第14図　遺構分布図⑤（1/200）

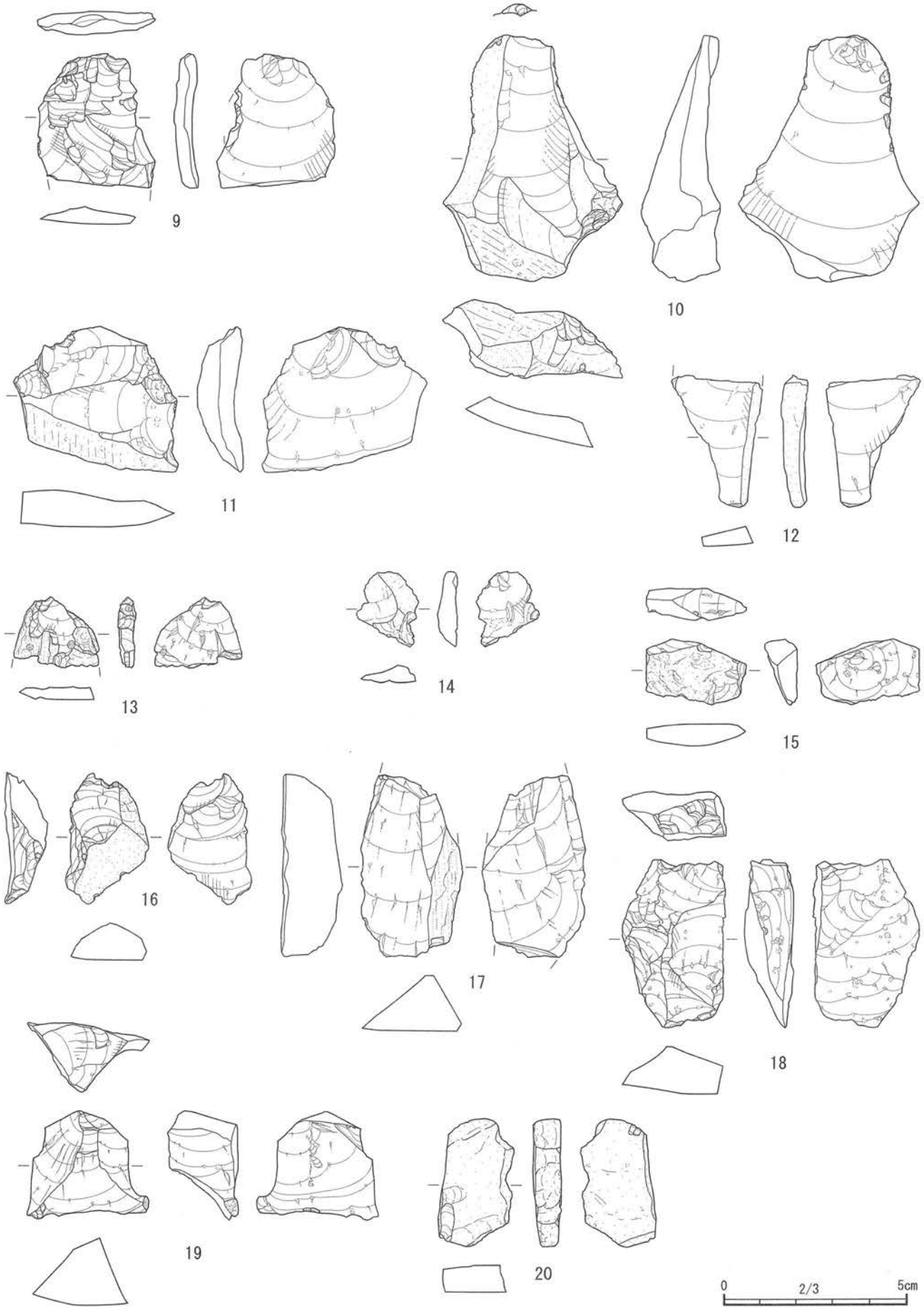


第15図　遺構分布図⑥（1/200）

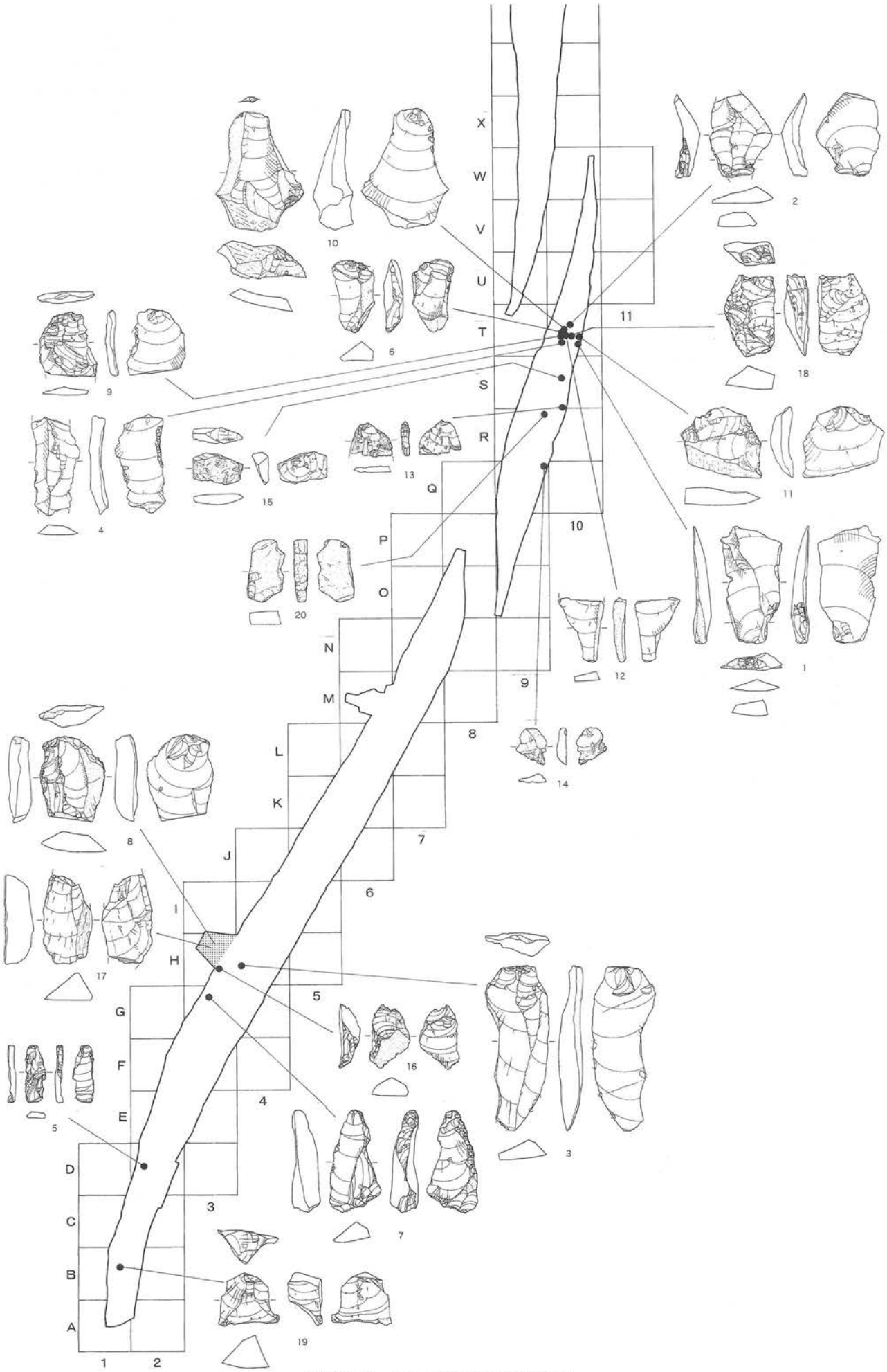


第16図　遺構分布図⑦（1/200）

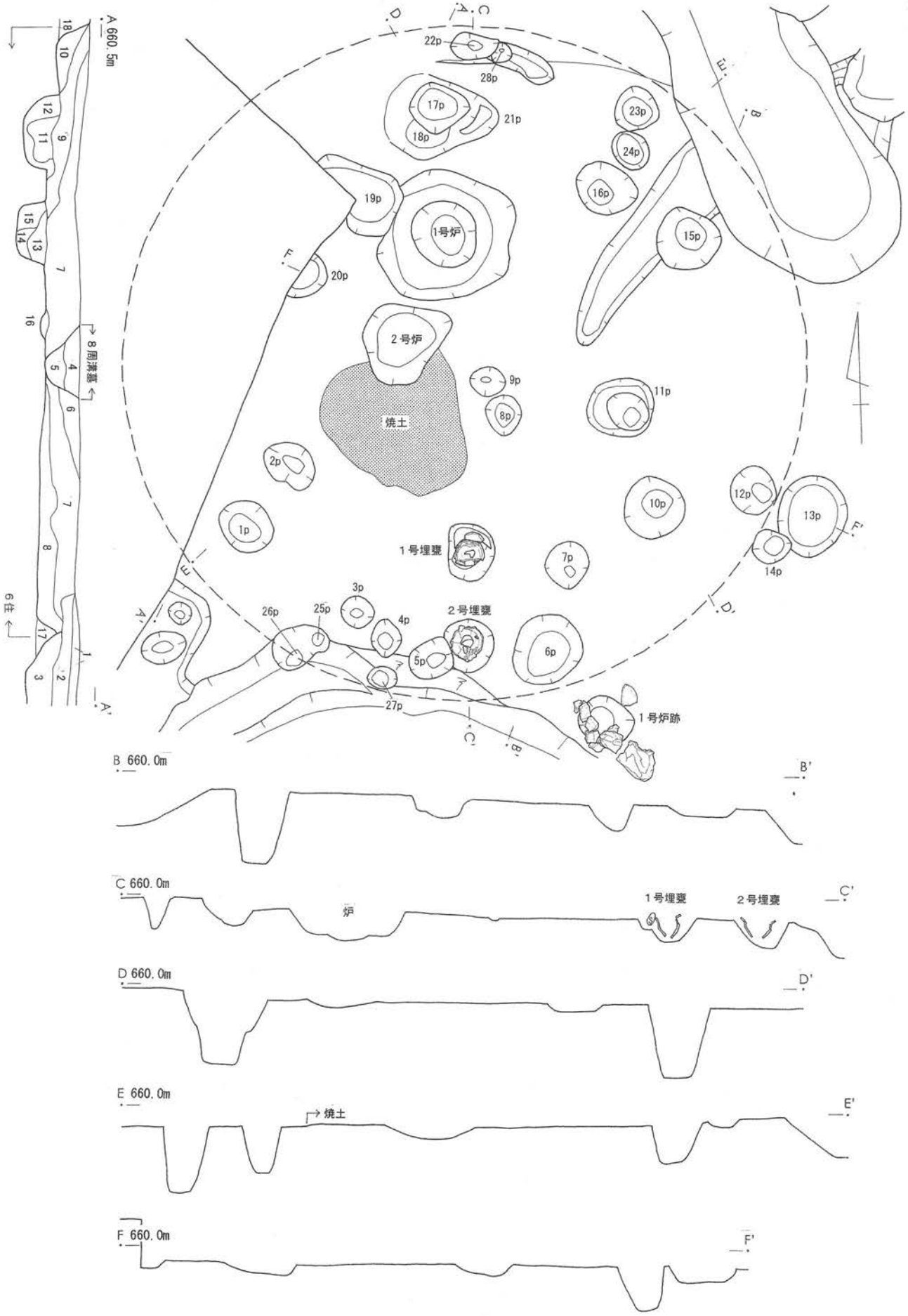
第 17 図　旧石器時代石器①



第 18 図　旧石器時代石器②

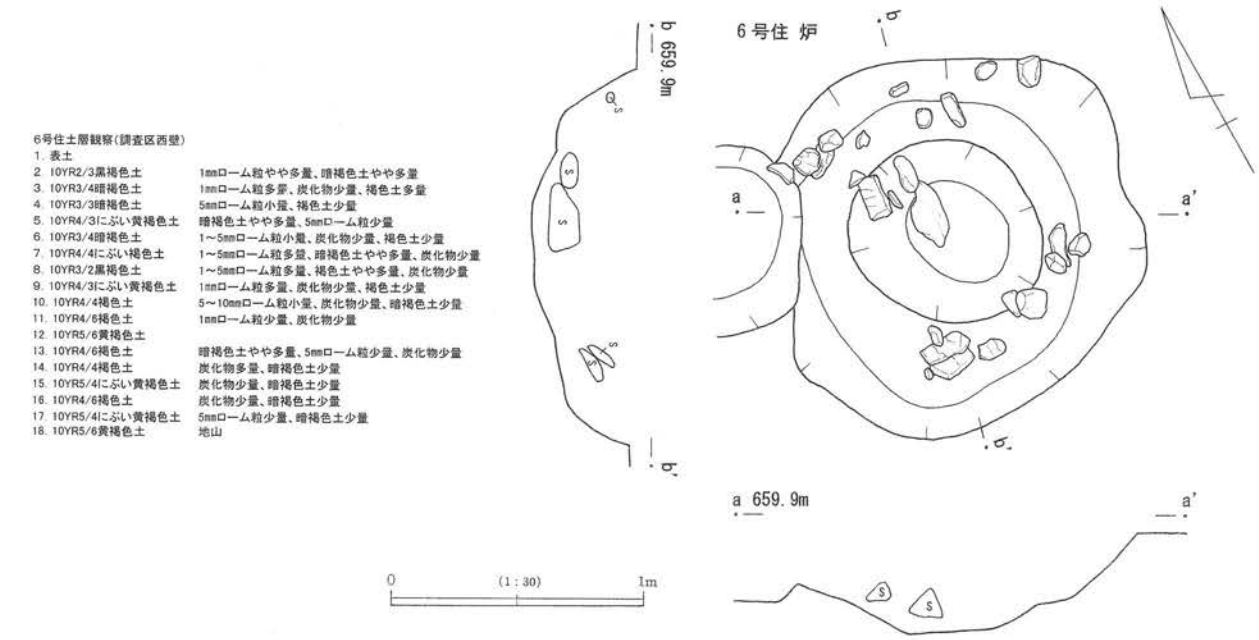


第 19 図　旧石器時代石器分布図

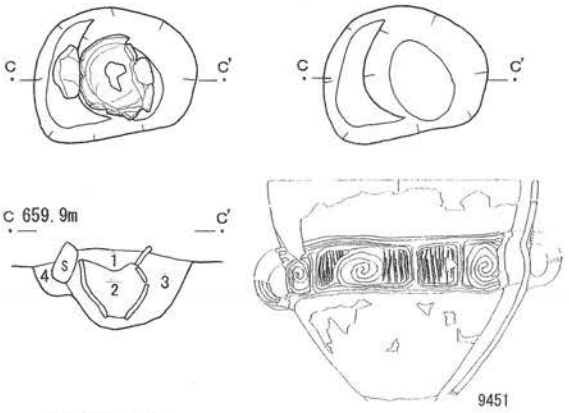

A 660.5m
8周溝墓
6住
1号炉
2号炉
焼土
1号埋甕
2号埋甕
1号炉跡
B 660.0m
C 660.0m
炉
D 660.0m
E 660.0m
焼土
F 660.0m

第20図　6号住居跡

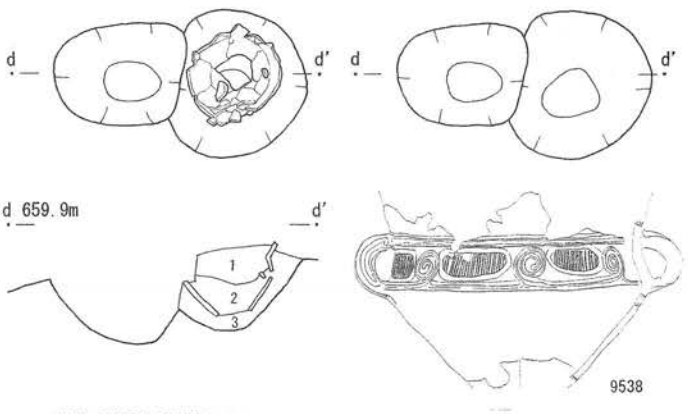
6号住土層観察(調査区西壁)
1. 表土
2. 10YR2/3黒褐色土　1mmローム粒やや多量、暗褐色土やや多量
3. 10YR3/4暗褐色土　1mmローム粒多量、炭化物少量、褐色土多量
4. 10YR3/3暗褐色土　5mmローム粒小量、褐色土少量
5. 10YR4/3にぶい黄褐色土　暗褐色土やや多量、5mmローム粒少量
6. 10YR3/4暗褐色土　1～5mmローム粒小量、炭化物少量、褐色土少量
7. 10YR4/4にぶい褐色土　1～5mmローム粒多量、暗褐色土やや多量、炭化物少量
8. 10YR3/2黒褐色土　1～5mmローム粒多量、褐色土やや多量、炭化物少量
9. 10YR4/3にぶい黄褐色土　1mmローム粒多量、炭化物少量、褐色土少量
10. 10YR4/4褐色土　5～10mmローム粒小量、炭化物少量、暗褐色土少量
11. 10YR4/6褐色土　1mmローム粒少量、炭化物少量
12. 10YR5/6黄褐色土
13. 10YR4/6褐色土　暗褐色土やや多量、5mmローム粒少量、炭化物少量
14. 10YR4/4褐色土　炭化物多量、暗褐色土少量
15. 10YR5/4にぶい黄褐色土　炭化物少量、暗褐色土少量
16. 10YR4/6褐色土　炭化物少量、暗褐色土少量
17. 10YR5/4にぶい黄褐色土　5mmローム粒少量、暗褐色土少量
18. 10YR5/6黄褐色土　地山



6号住1号埋甕

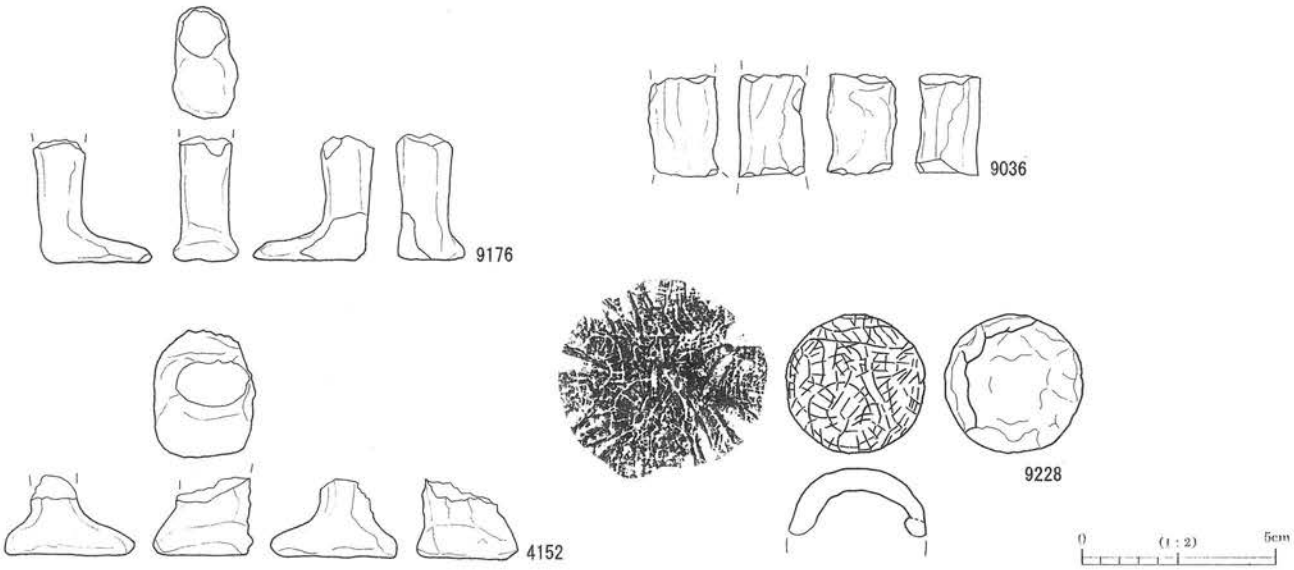


6号住2号埋甕

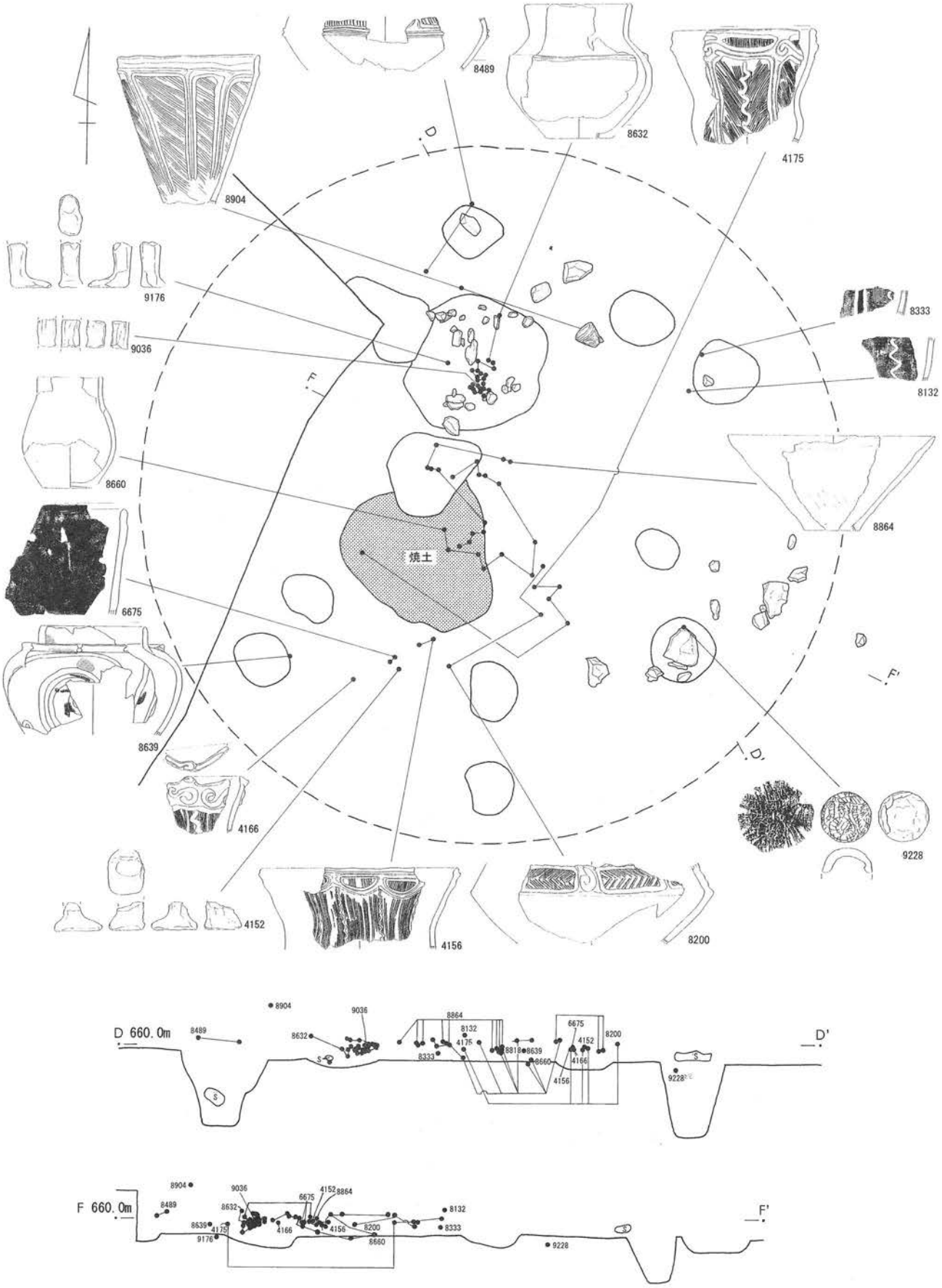


6号住1号埋甕土層観察 No.9451
1. 10YR4/4褐色土　5mmローム粒少量、暗褐色土少量、炭化物若干
2. 10YR4/3にぶい黄褐色土　1cmローム粒少量、暗褐色土少量
3. 10YR4/4褐色土　1cmローム粒少量、炭化物少量
4. 10YR4/3にぶい黄褐色土　1cmローム粒少量

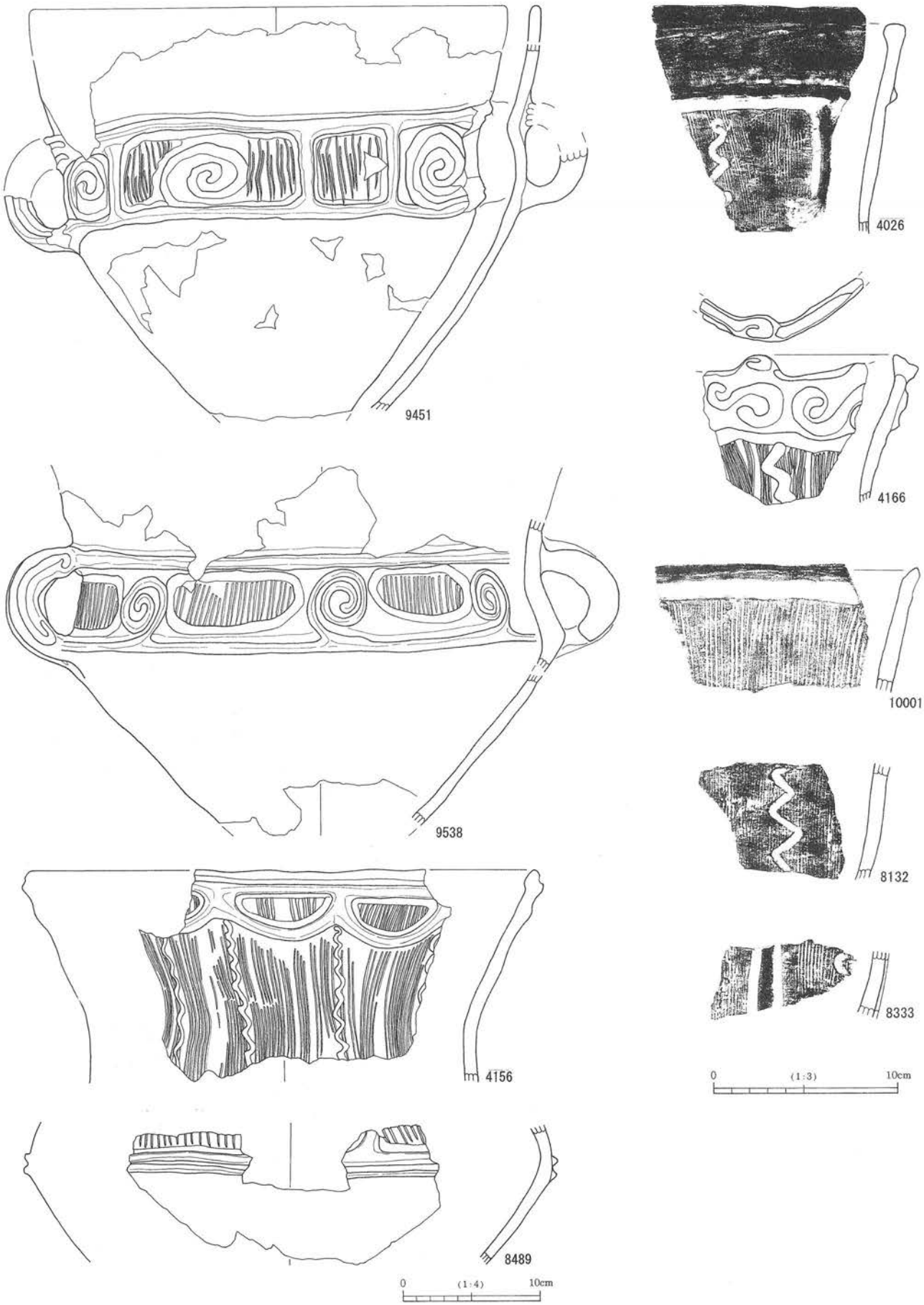
6号住2号埋甕土層観察 No.9538
1. 10YR4/4褐色土　暗褐色土やや多量、1mmローム粒少量、炭化物少量
2. 10YR4/6褐色土　5mmローム粒少量、暗褐色土少量
3. 10YR4/6褐色土



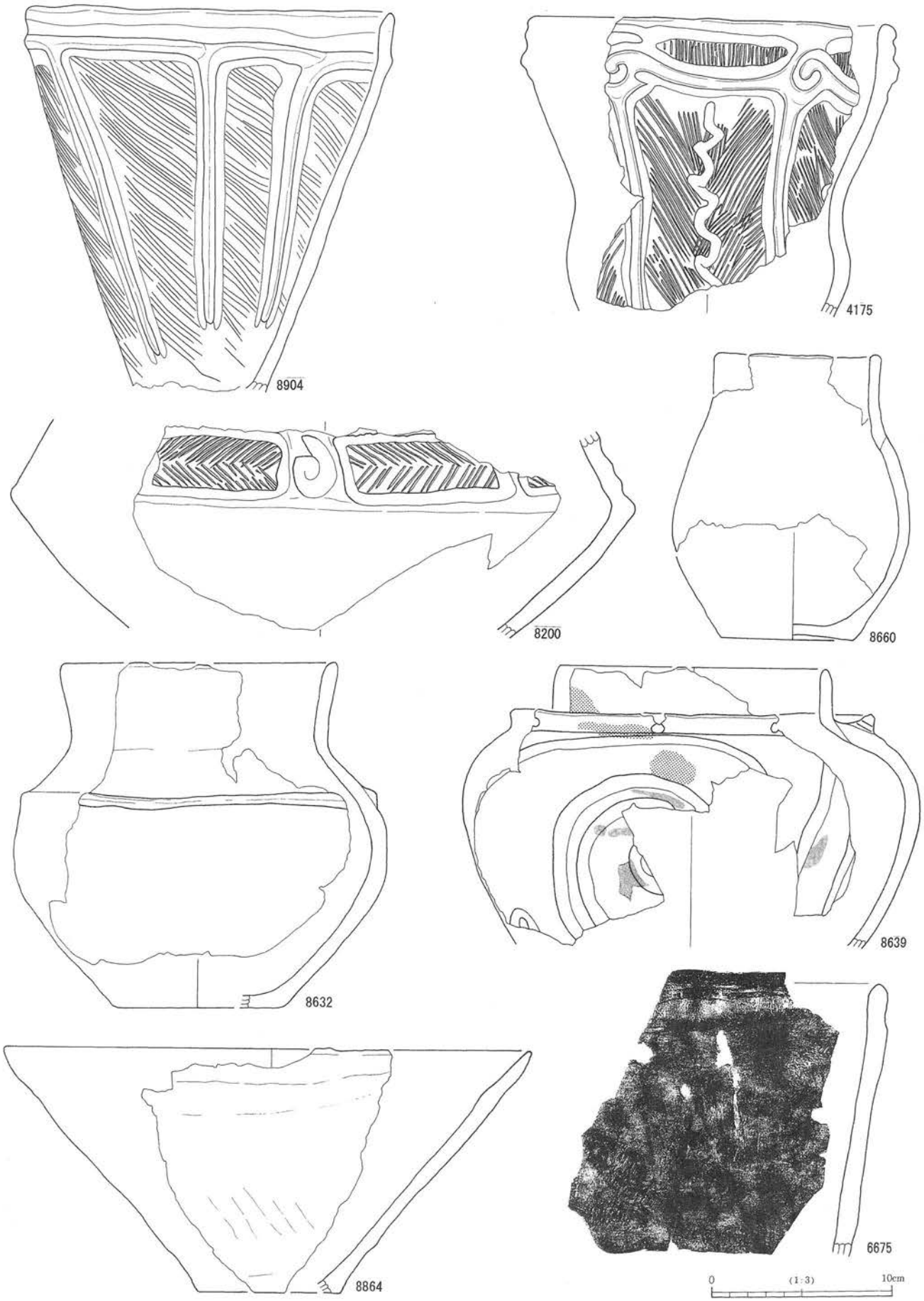
第21図　6号住居跡炉、1号埋甕、2号埋甕、出土遺物①



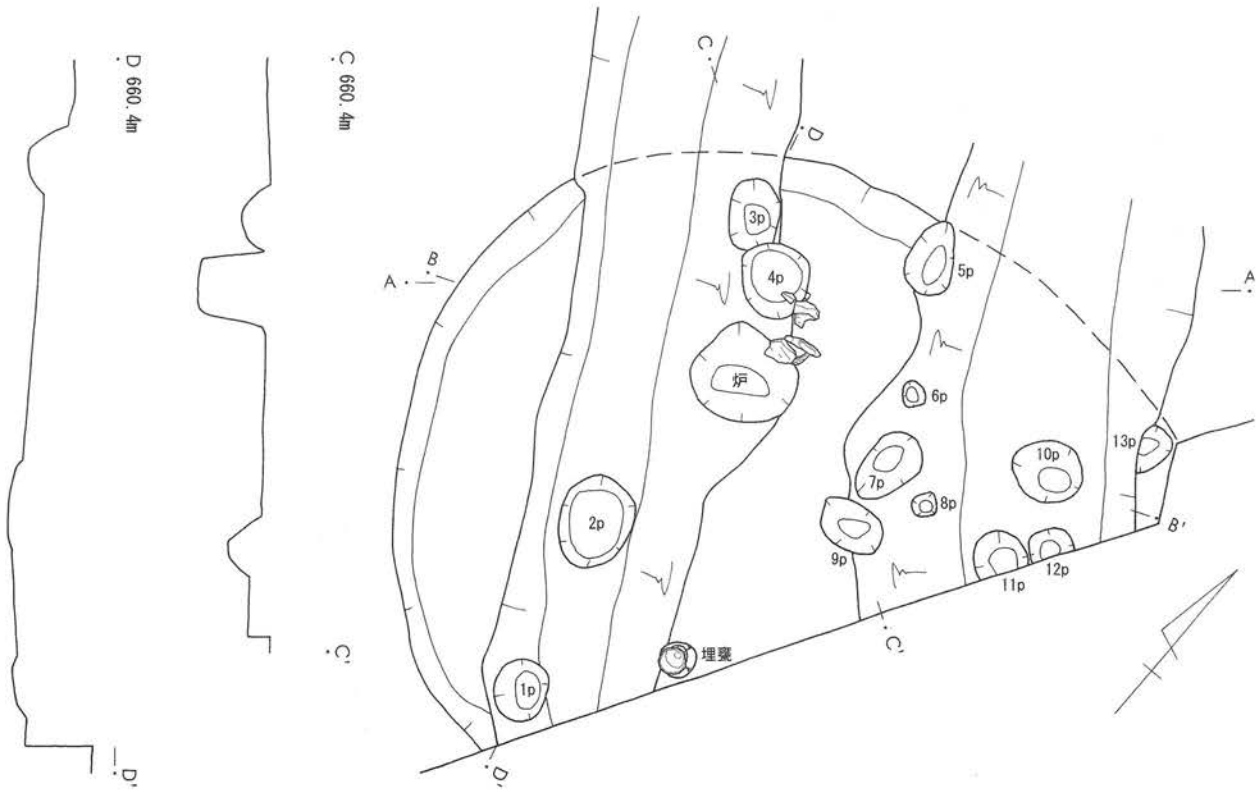
第 22 図　6 号住居跡遺物出土状況

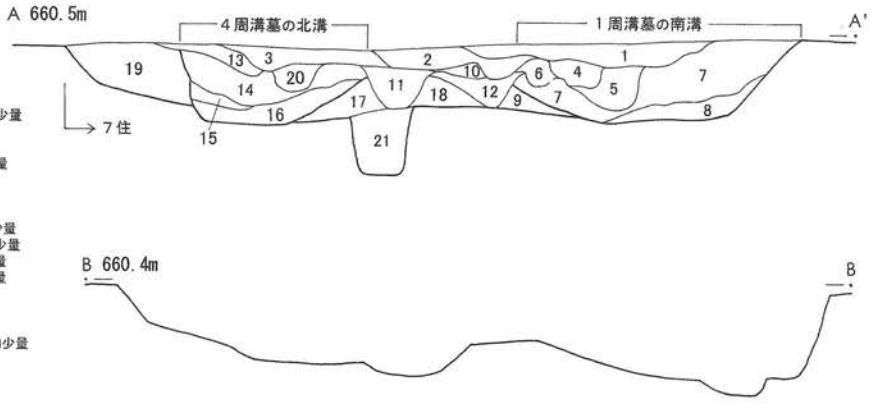


第 23 図　6 号住居跡出土遺物②



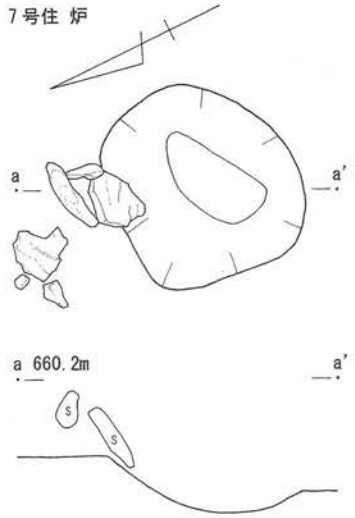
第 24 図　6 号住居跡出土遺物③

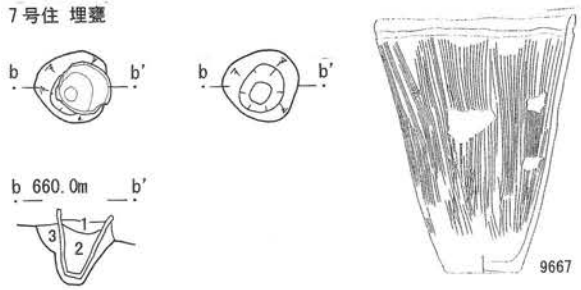




7号住土層観察

1. 10YR2/3黒褐色土	5mmローム粒少量、炭化物少量
2. 10YR2/1黒色土	1cmローム粒少量、炭化物少量
3. 10YR3/3暗褐色土	黒褐色土少量
4. 10YR2/1黒色土	褐色土少量、暗褐色土少量、5mmローム粒少量
5. 10YR3/2黒褐色土	褐色土やや多量、暗褐色土、炭化物少量
6. 10YR3/1黒褐色土	暗褐色土多量、5mmローム粒少量
7. 10YR3/4暗褐色土	褐色土多量、5mmローム粒少量、炭化物少量
8. 10YR3/3暗褐色土	1mmローム粒少量
9. 10YR4/4褐色土	暗褐色土多量、炭化物少量
10. 10YR3/3暗褐色土	褐色土多量
11. 10YR2/3黒褐色土	暗褐色土やや多量、褐色土少量、炭化物少量
12. 10YR4/4褐色土	暗褐色土多量、5mmローム粒少量、炭化物少量
13. 10YR3/4暗褐色土	褐色土多量、5mmローム粒少量、炭化物少量
14. 10YR3/3暗褐色土	褐色土多量、5mmローム粒少量、炭化物少量
15. 10YR3/2黒褐色土	炭化物少量
16. 10YR3/4暗褐色土	褐色土多量、炭化物少量、黄褐色土少量
17. 10YR4/4褐色土	暗褐色土多量、炭化物少量
18. 10YR4/6褐色土	暗褐色土多量、黄褐色土やや多量、炭化物少量
19. 10YR4/4褐色土	明褐色土少量
20. 10YR2/3黒褐色土	暗褐色土多量、5mmローム粒少量
21. 10YR3/4暗褐色土	褐色土やや多量、黒褐色土少量

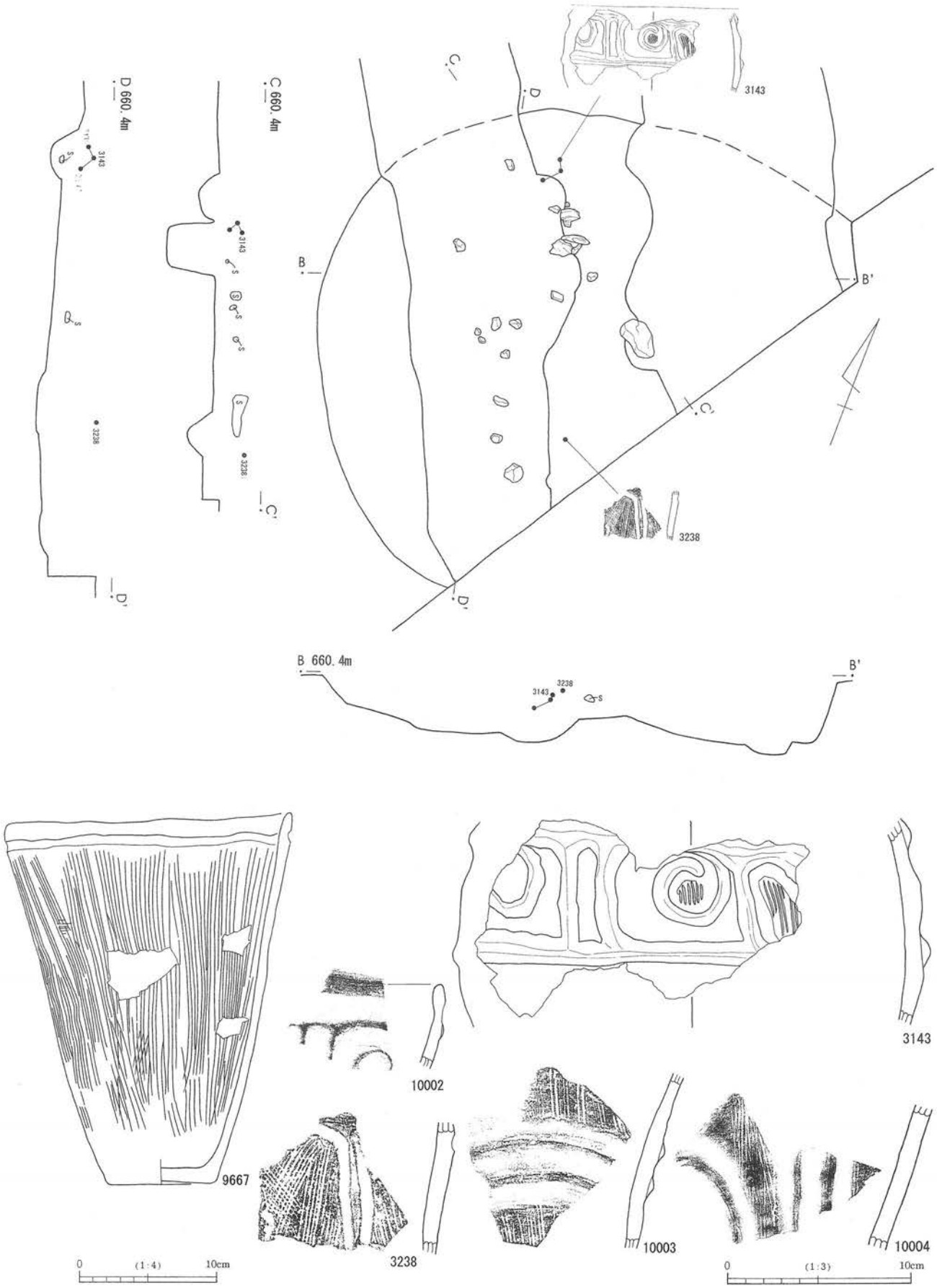




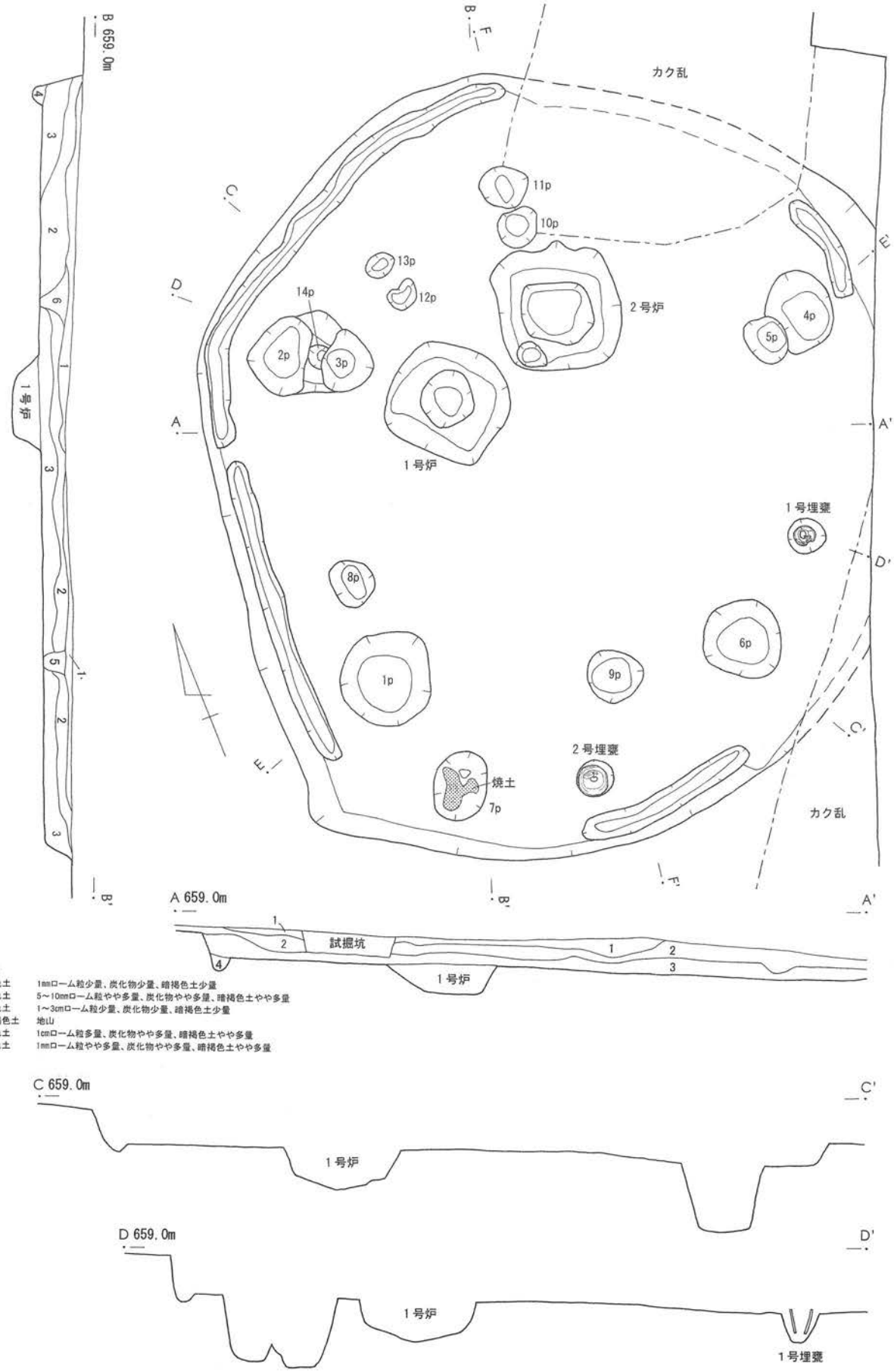
7号住埋甕土層観察 No.9667

1. 10YR4/6褐色土	5mmローム粒少量、炭化物少量
2. 10YR4/4褐色土	炭化物少量、5mmローム粒少量、暗褐色土少量
3. 10YR4/3にぶい黄褐色土	5～10mmローム粒やや多量、炭化物少量、暗褐色土少量

第25図　7号住居跡、炉、埋甕

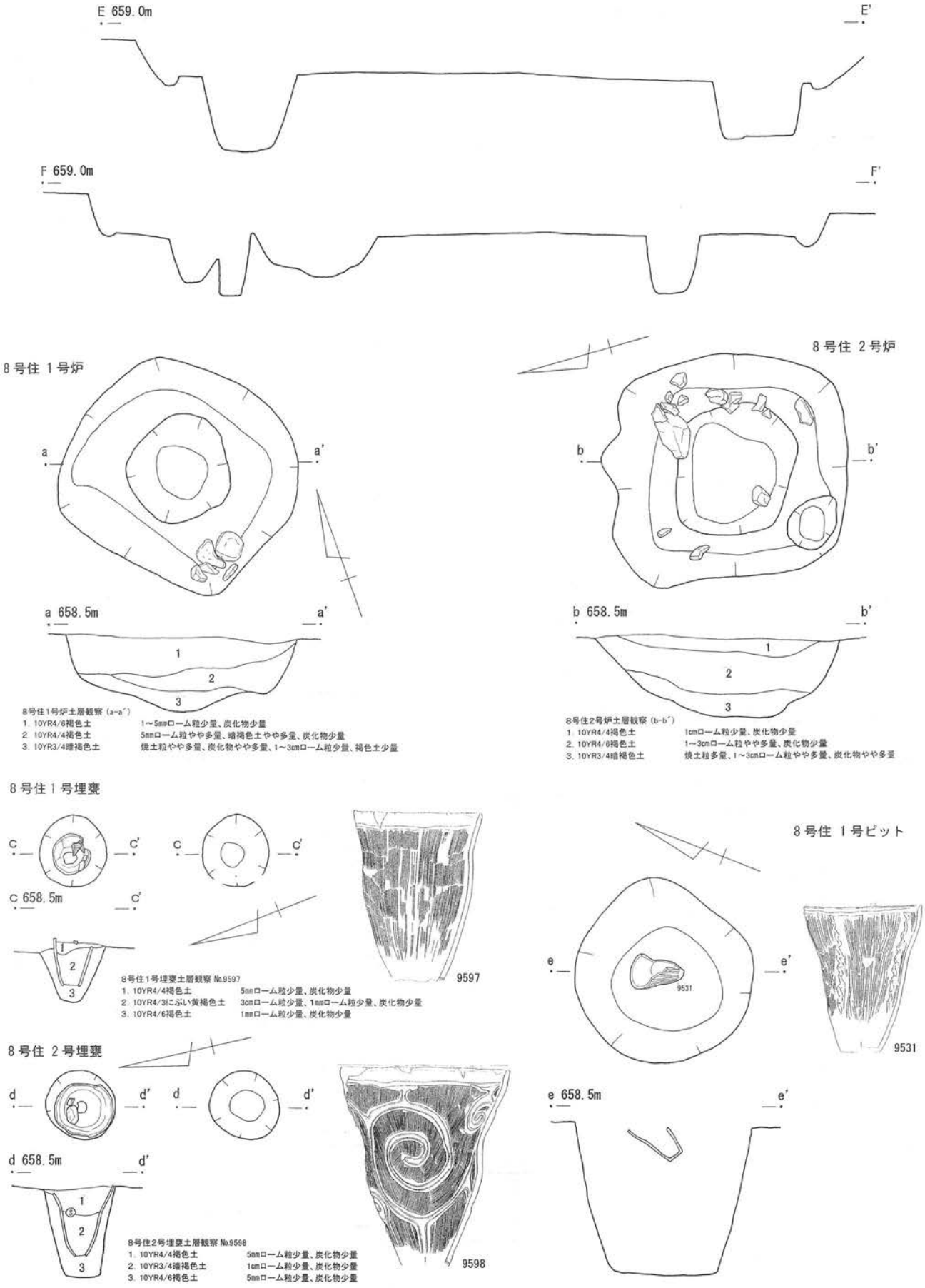


第 26 図　7 号住居跡遺物出土状況、出土遺物

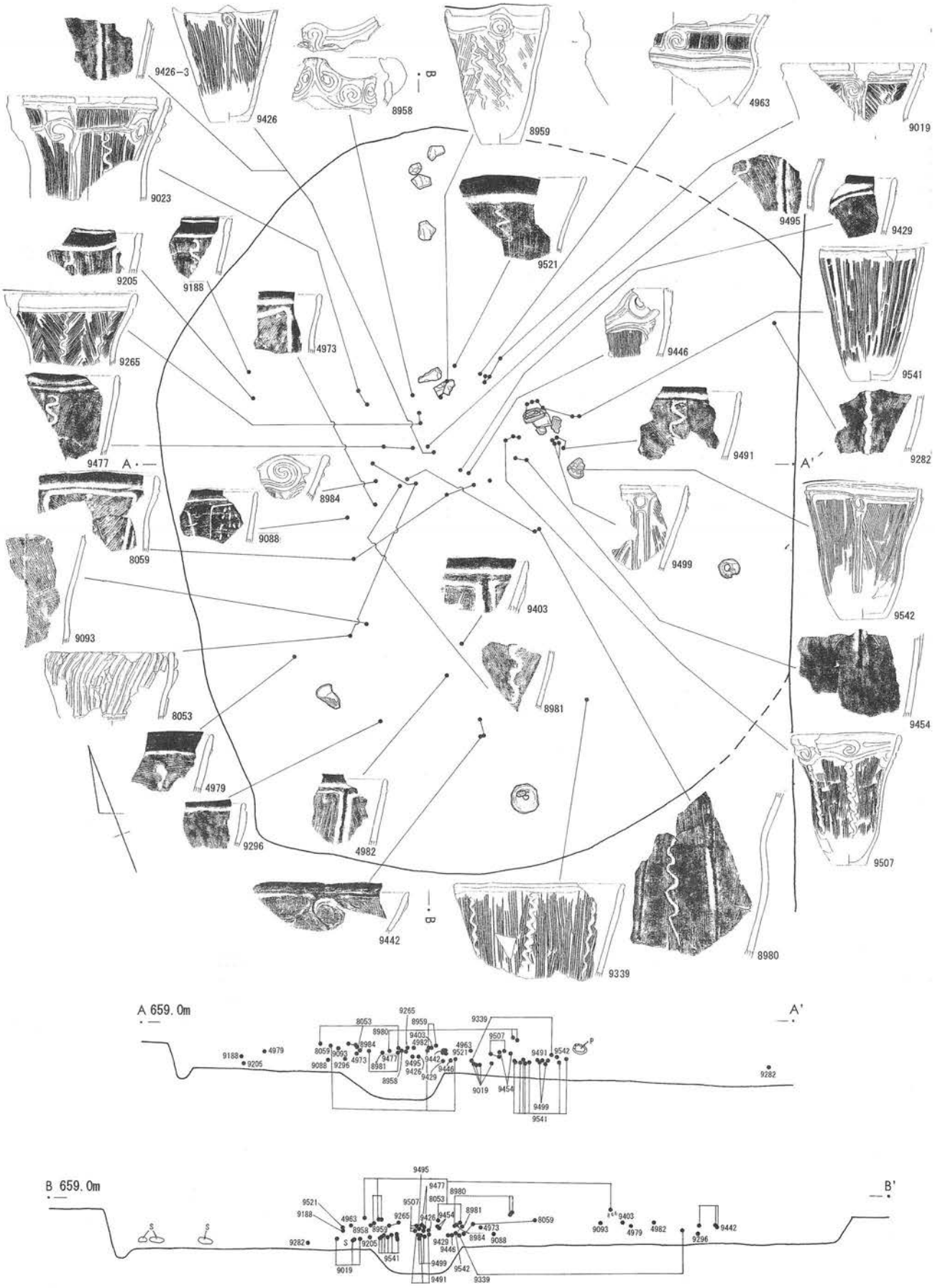


8号住土層観察
1. 10YR4/4褐色土　1mmローム粒少量、炭化物少量、暗褐色土少量
2. 10YR4/6褐色土　5～10mmローム粒やや多量、炭化物やや多量、暗褐色土やや多量
3. 10YR4/6褐色土　1～3cmローム粒少量、炭化物少量、暗褐色土少量
4. 10YR5/6黄褐色土　地山
5. 10YR4/4褐色土　1cmローム粒多量、炭化物やや多量、暗褐色土やや多量
6. 10YR4/4褐色土　1mmローム粒やや多量、炭化物やや多量、暗褐色土やや多量

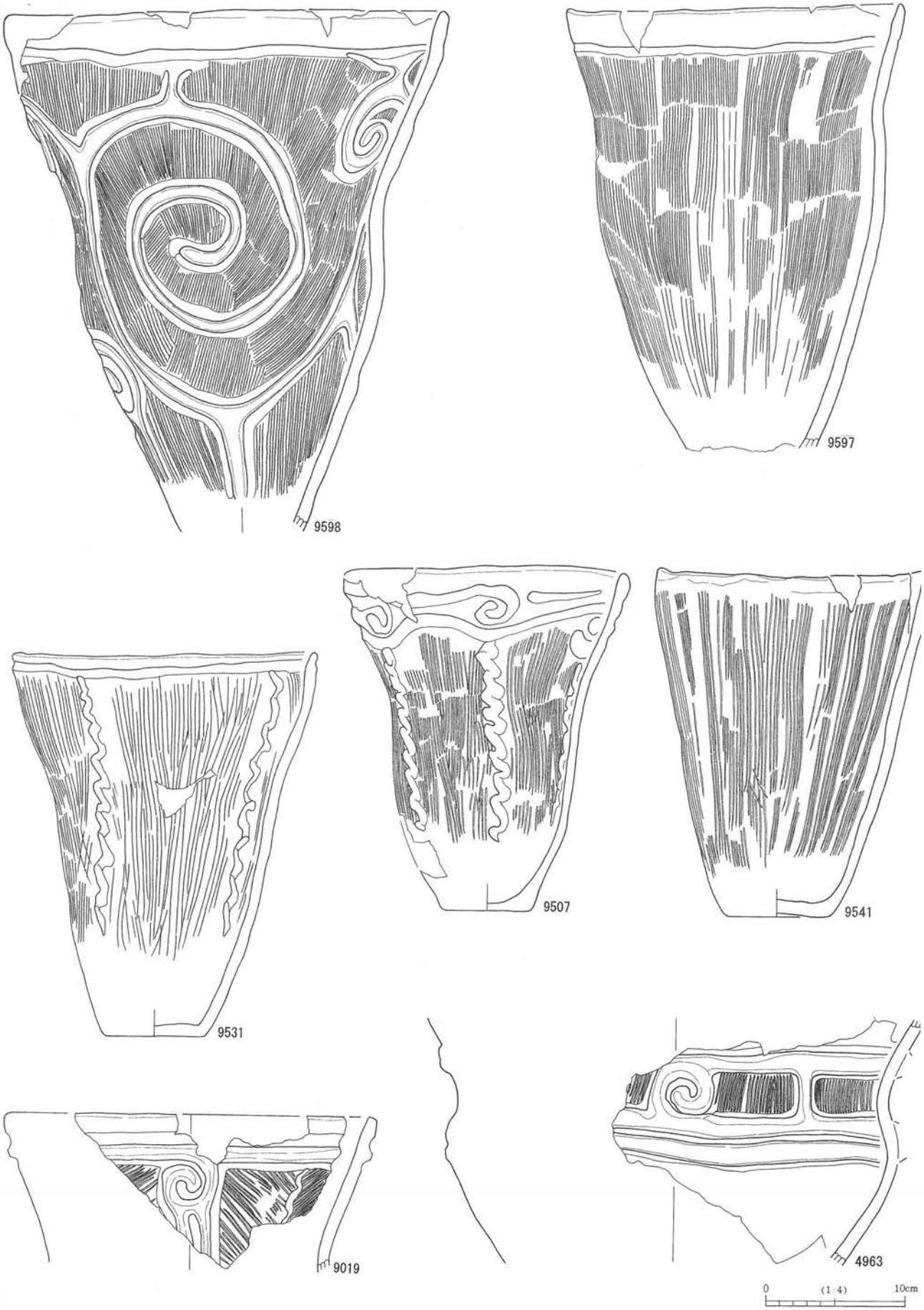
第27図　8号住居跡



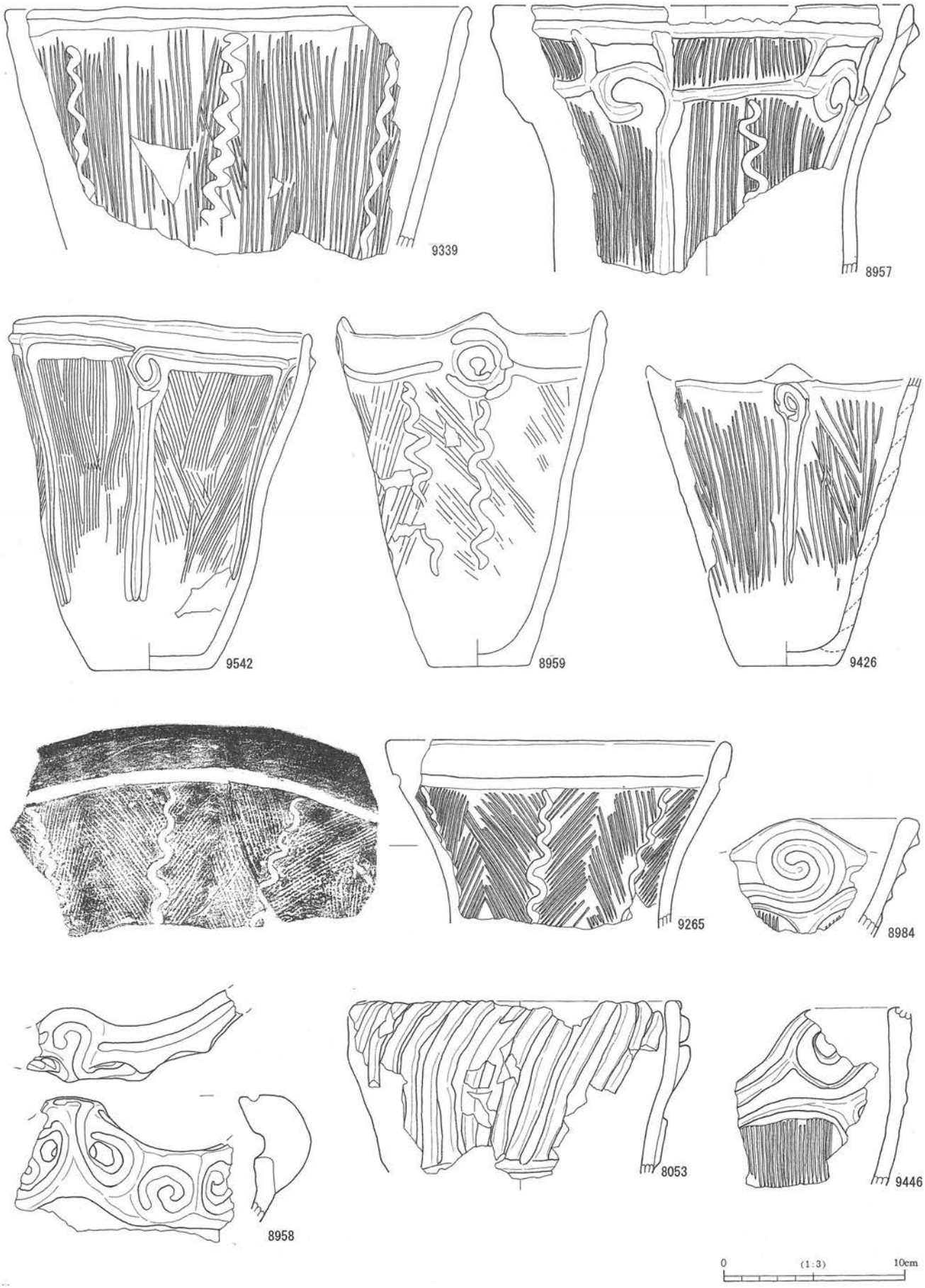
第28図　8号住居跡1号炉、2号炉、1号埋甕、2号埋甕、1号ピット



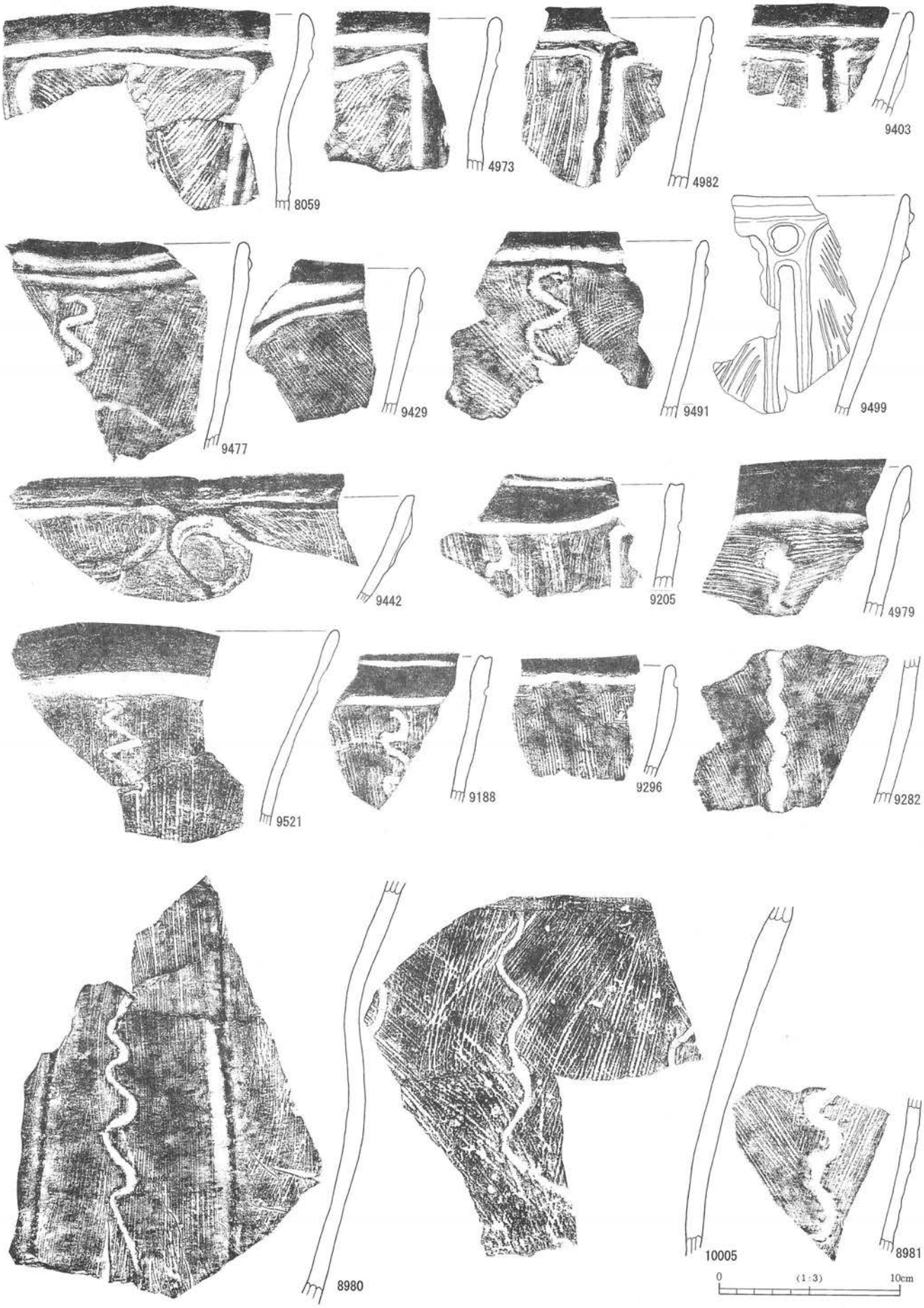
第 29 図　8 号住居跡遺物出土状況



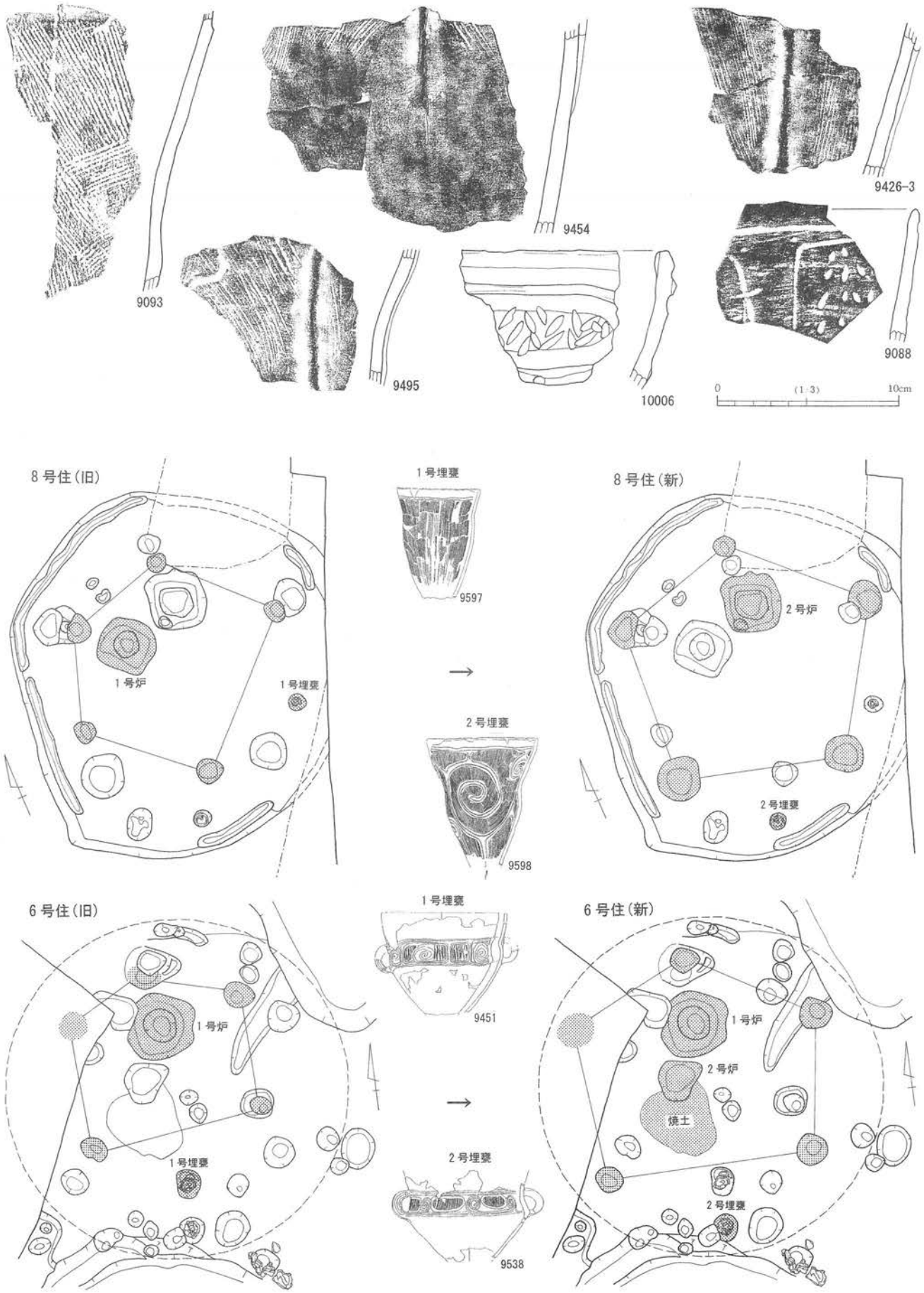
第30図　8号住居跡出土遺物①



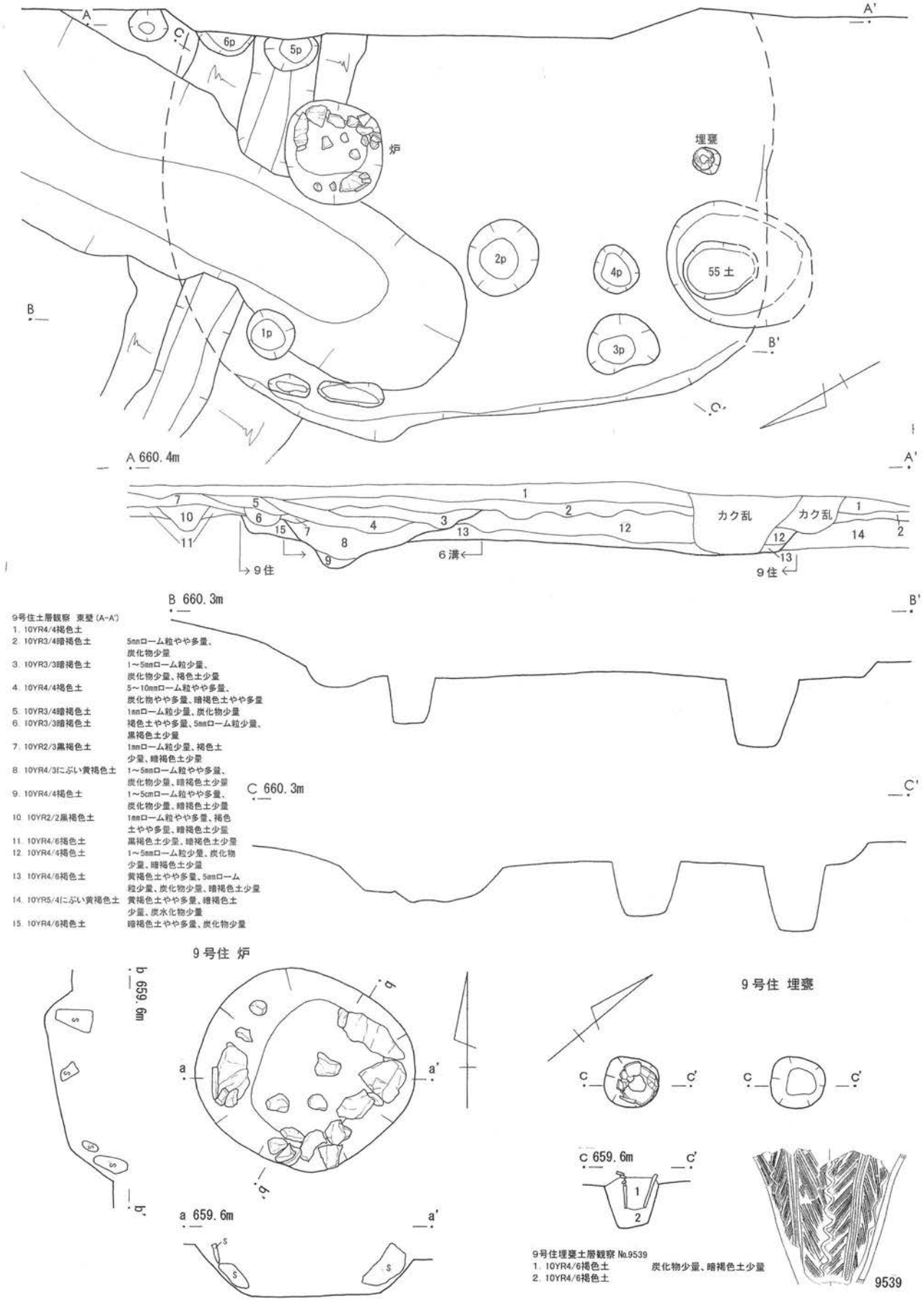
第 31 図　8 号住居跡出土遺物②



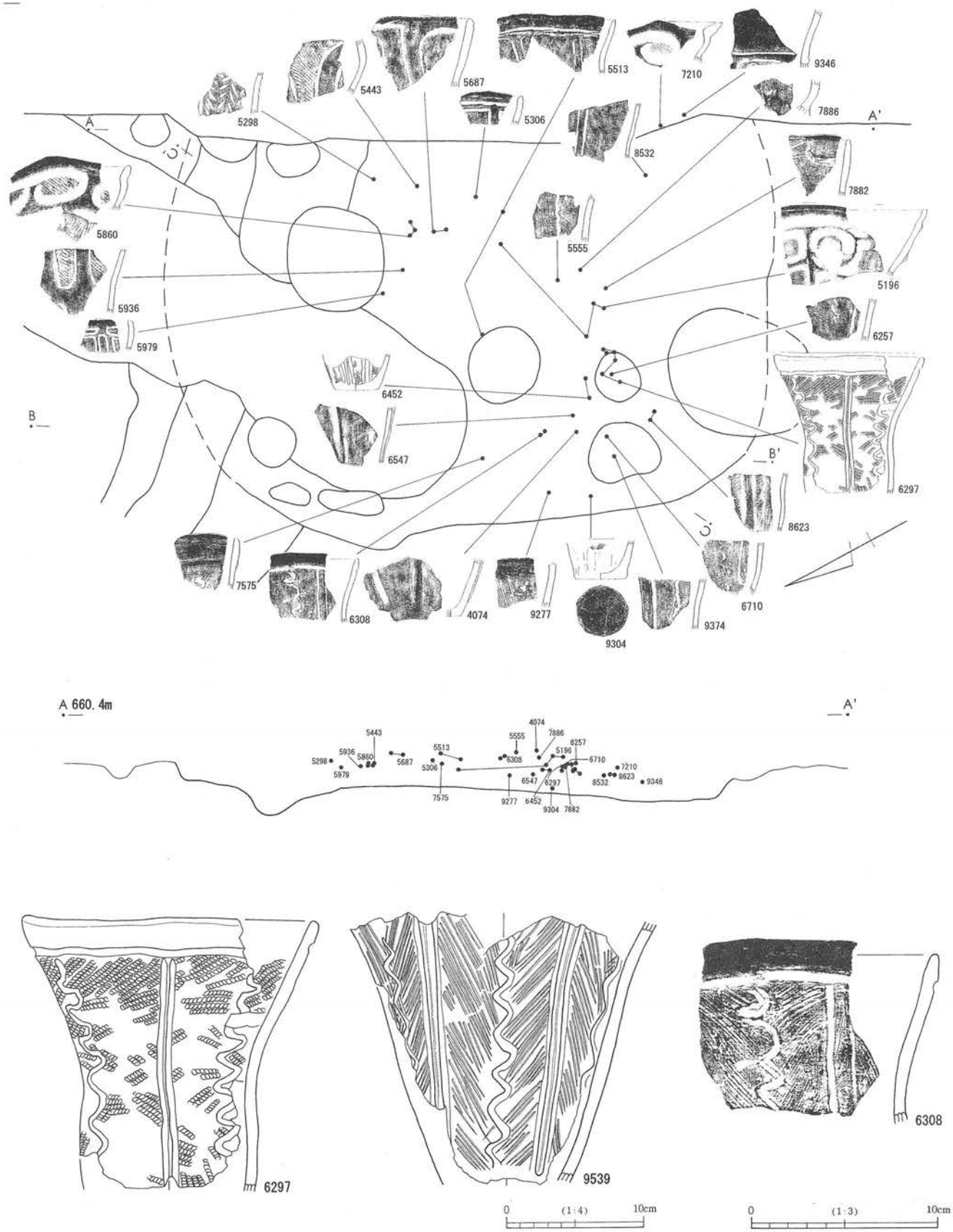
第 32 図　8 号住居跡出土遺物③



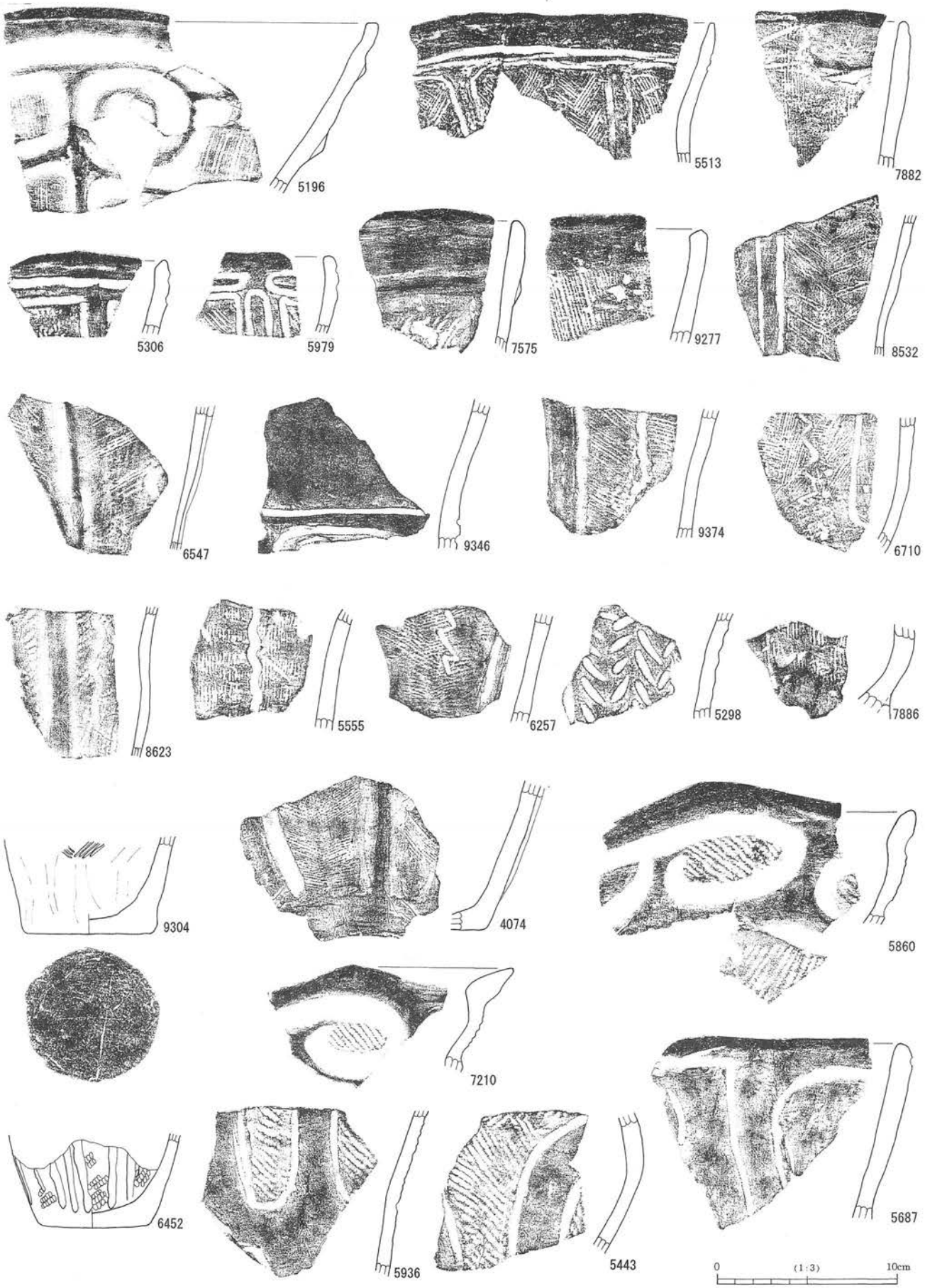
第33図　8号住居跡出土遺物④、住居変遷図、6号住居跡住居変遷図



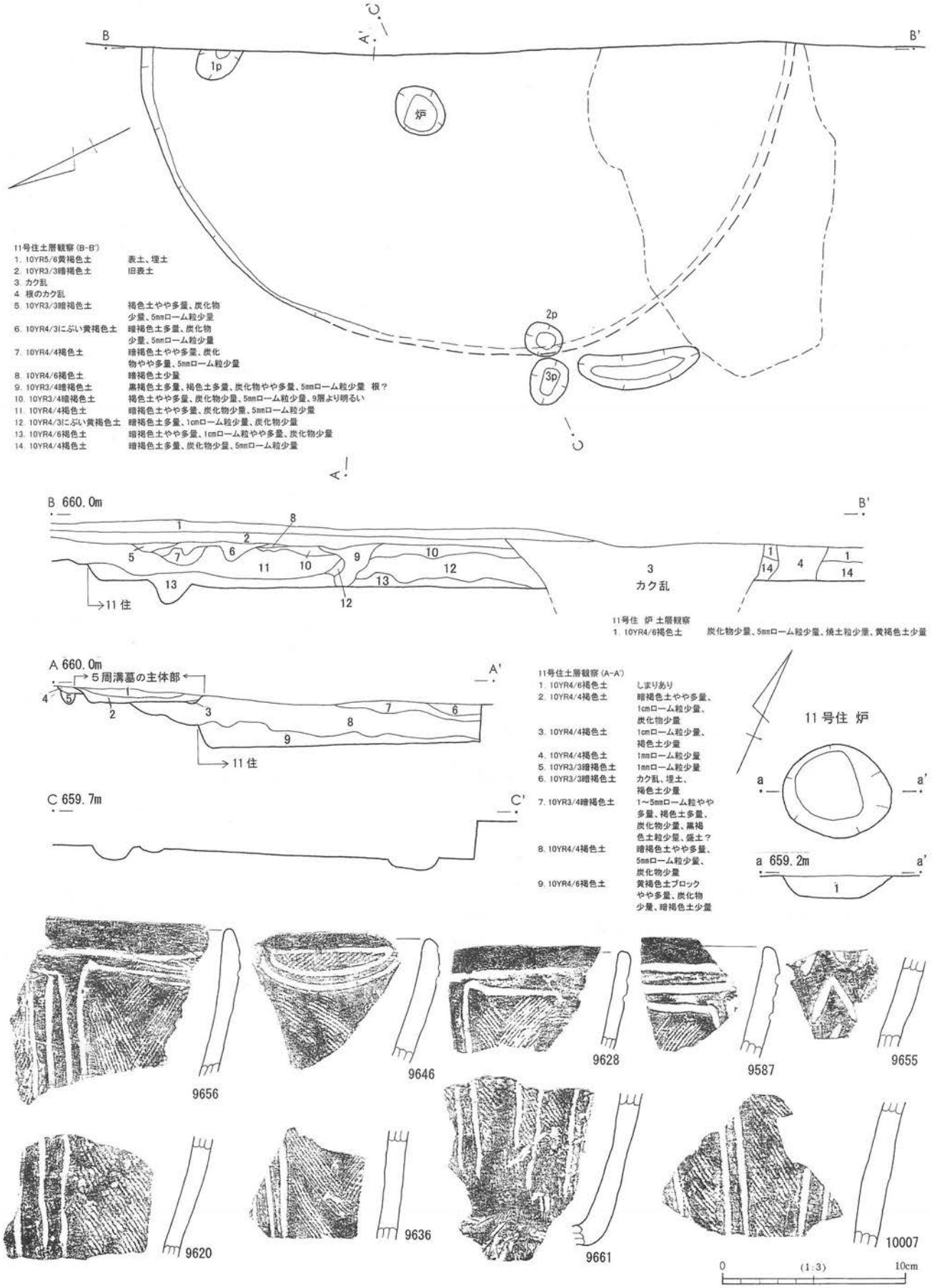
第34図　9号住居跡、炉、埋甕



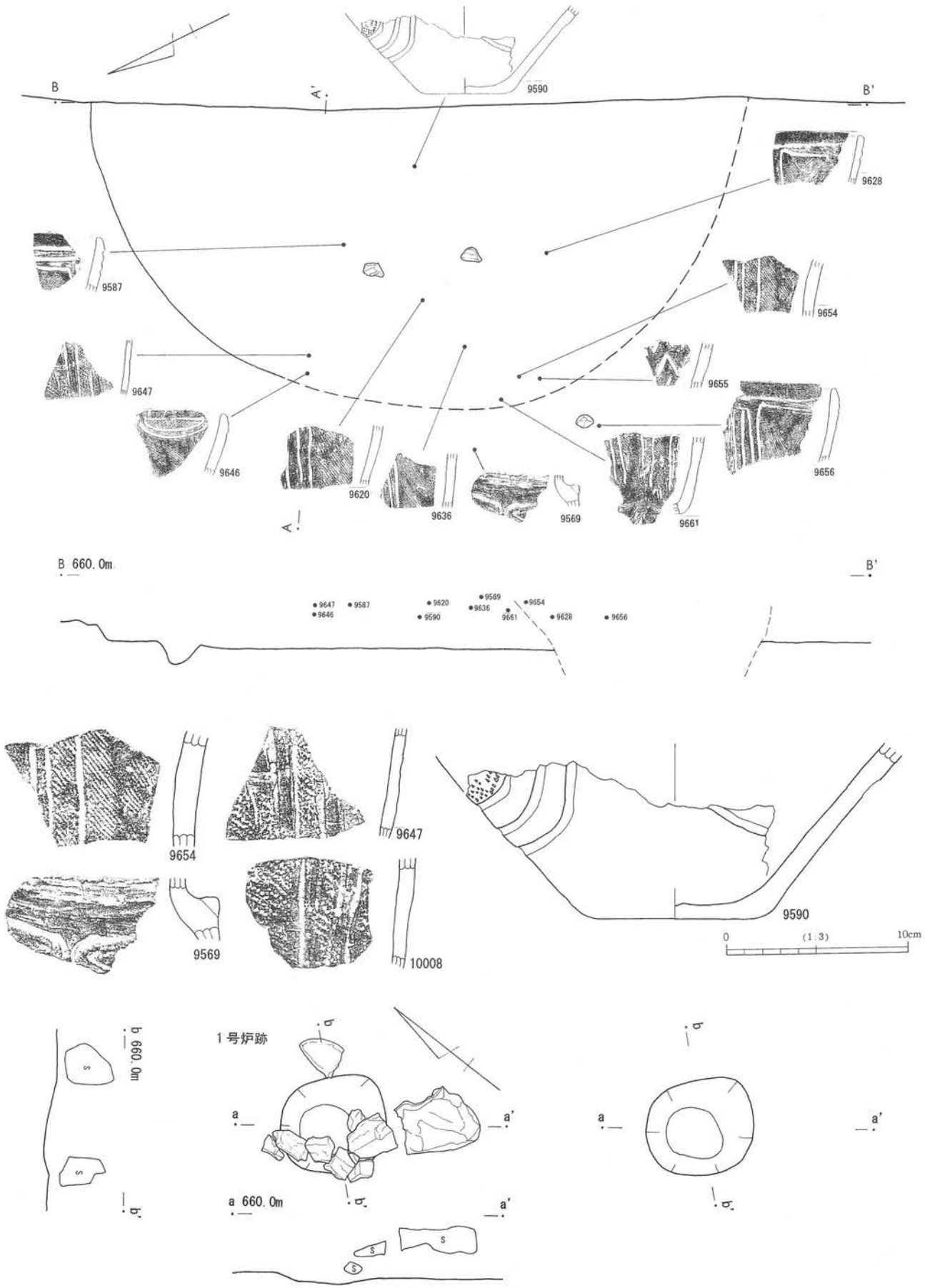
第35図　9号住居跡遺物出土状況、出土遺物①



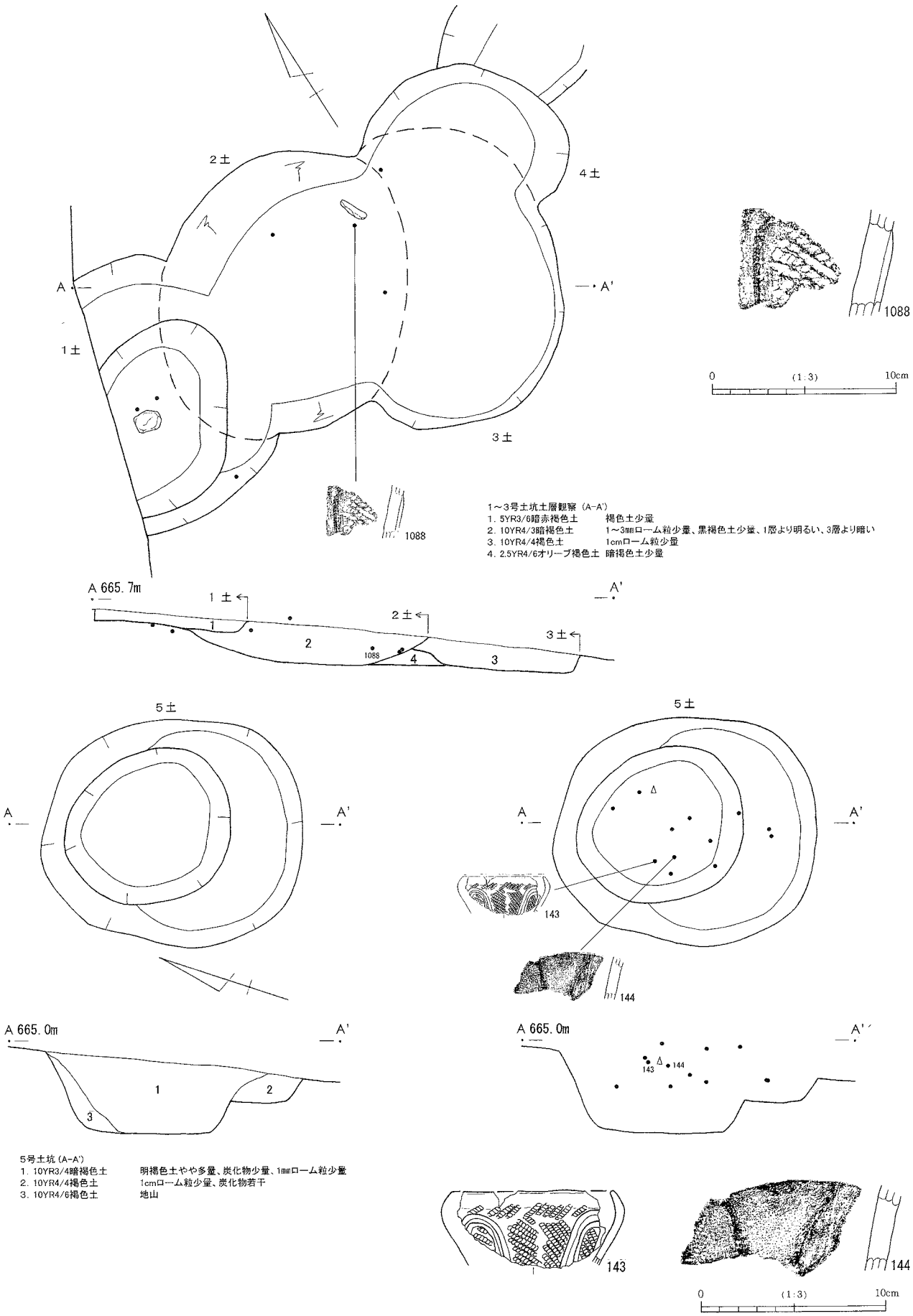
第 36 図　9 号住居跡出土遺物②



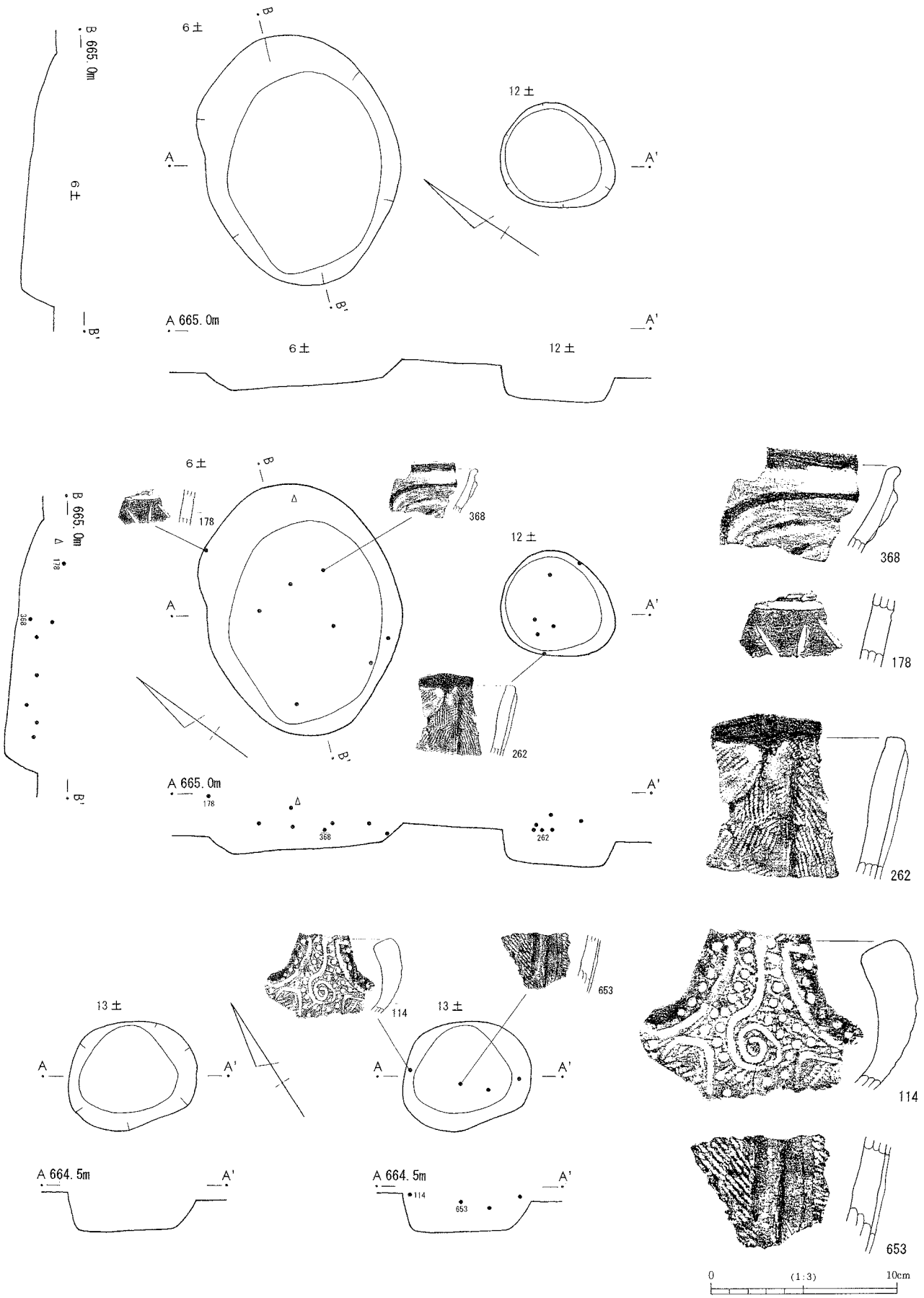
第37図　11号住居跡、炉、出土遺物①



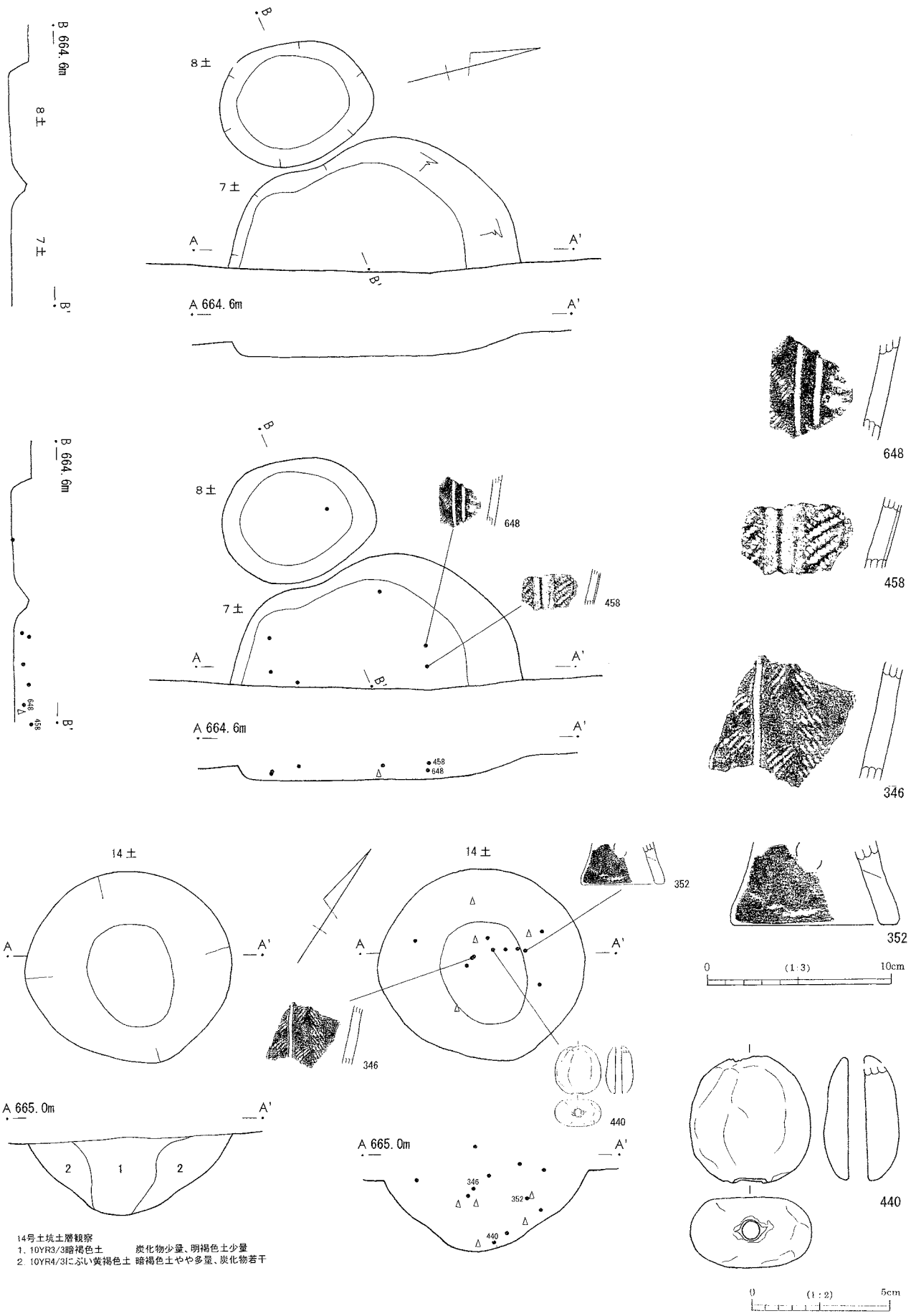
第38図　11号住居跡遺物出土状況、出土遺物②、1号炉跡



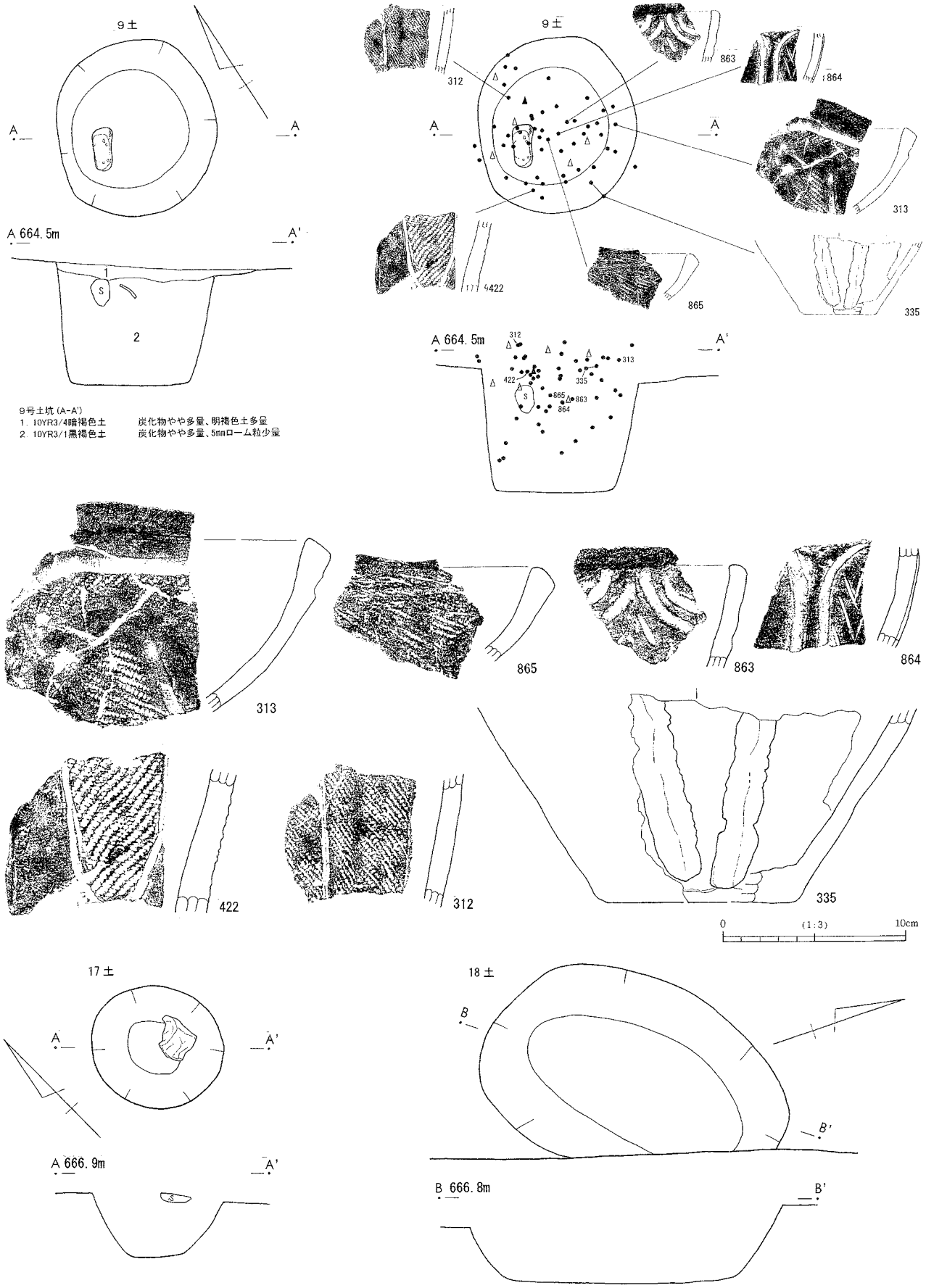
第39図　1～5号土坑、出土遺物



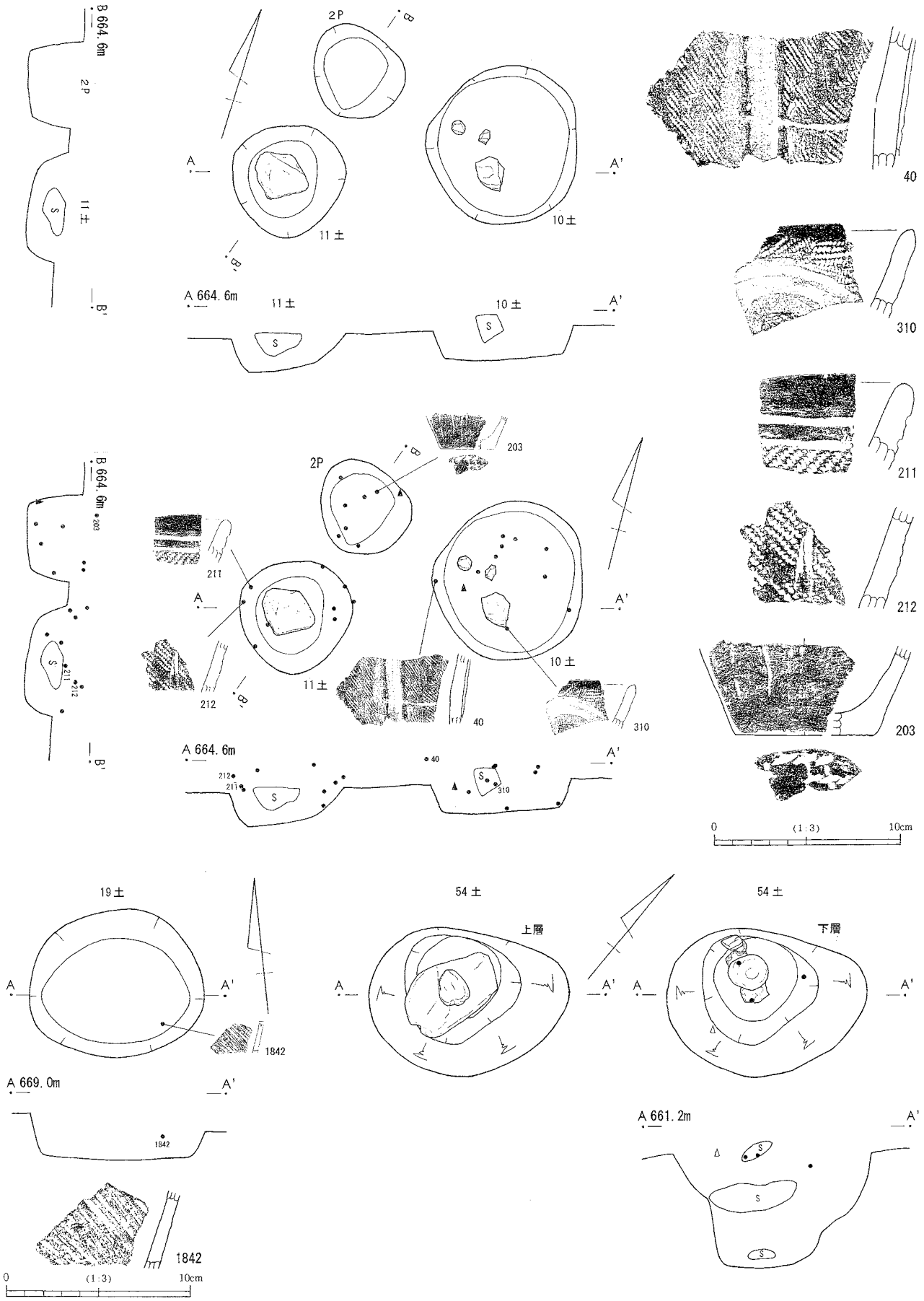
第40図　6・12・13号土坑、出土遺物



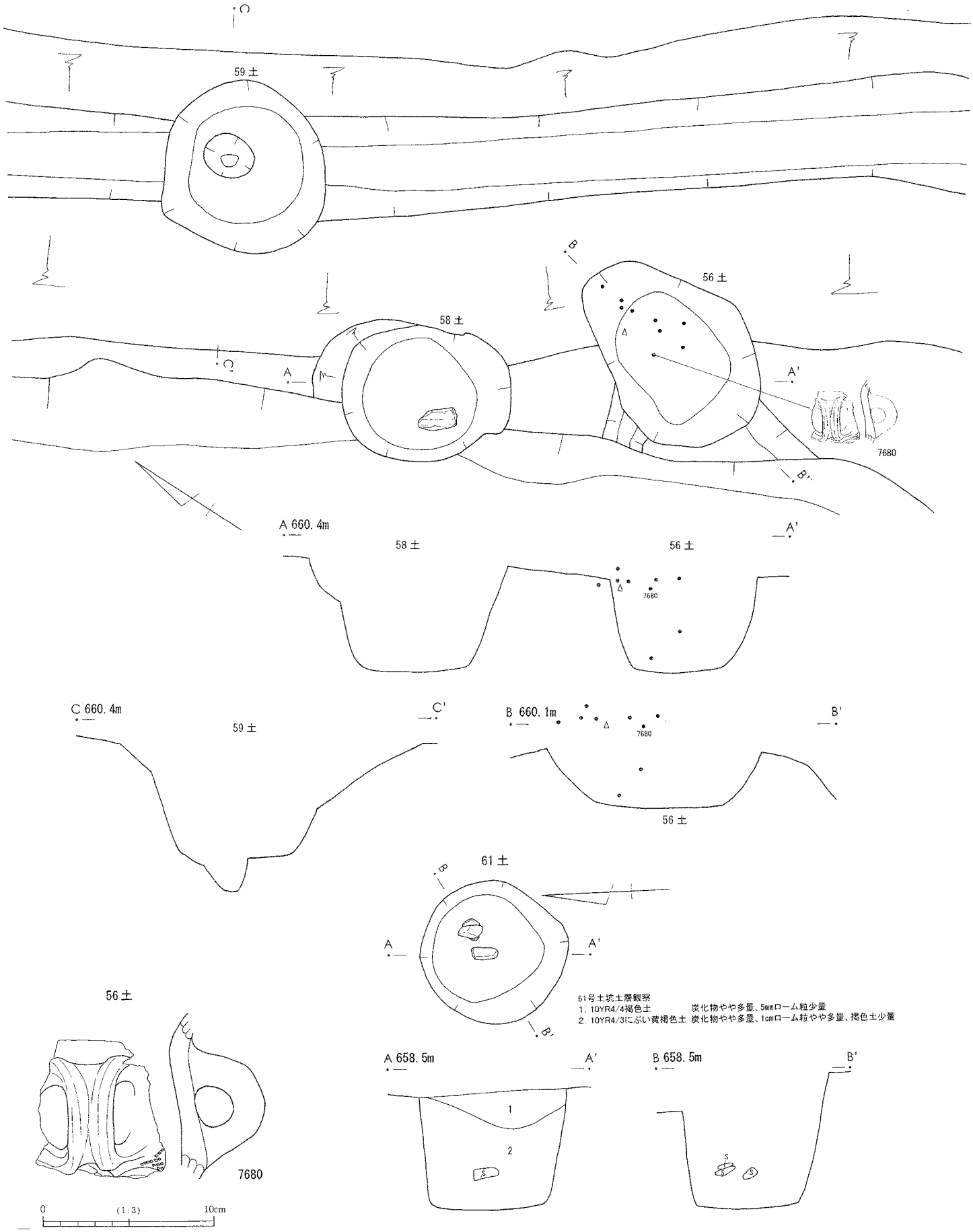
第41図　7・8・14号土坑、出土遺物



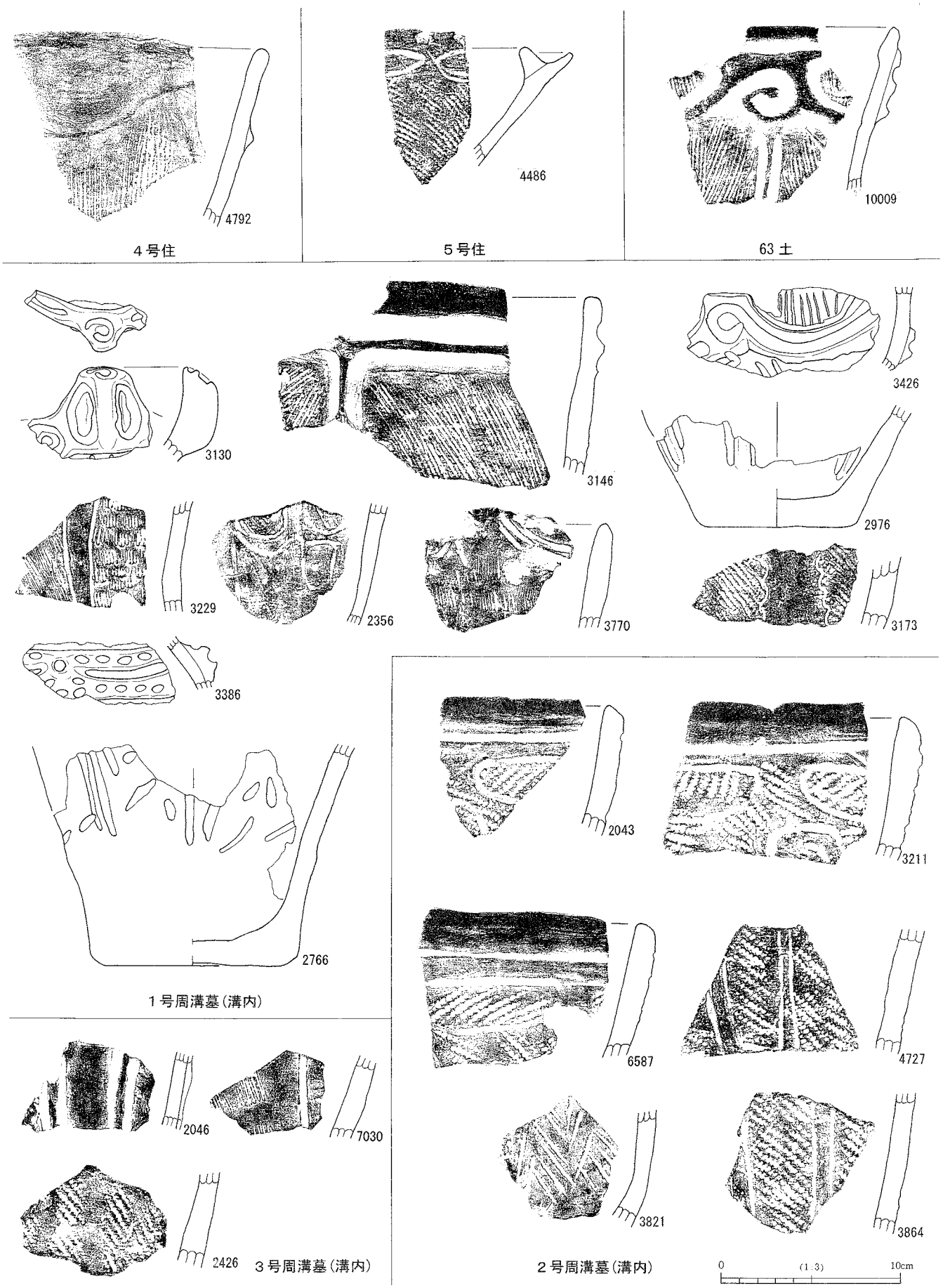
第42図　9・17・18号土坑、出土遺物



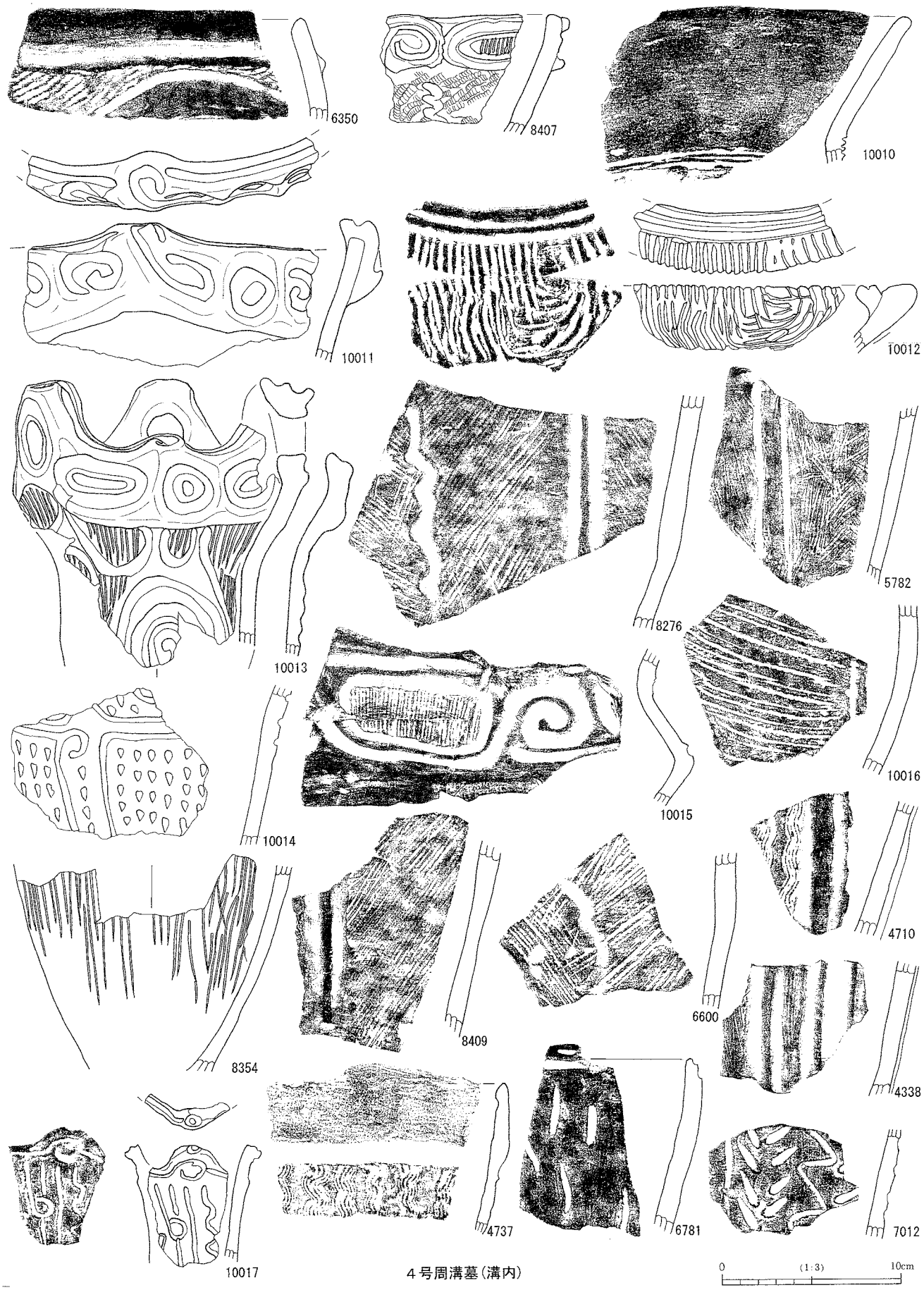
第43図　10・11・19・54号土坑、2号ピット、出土遺物



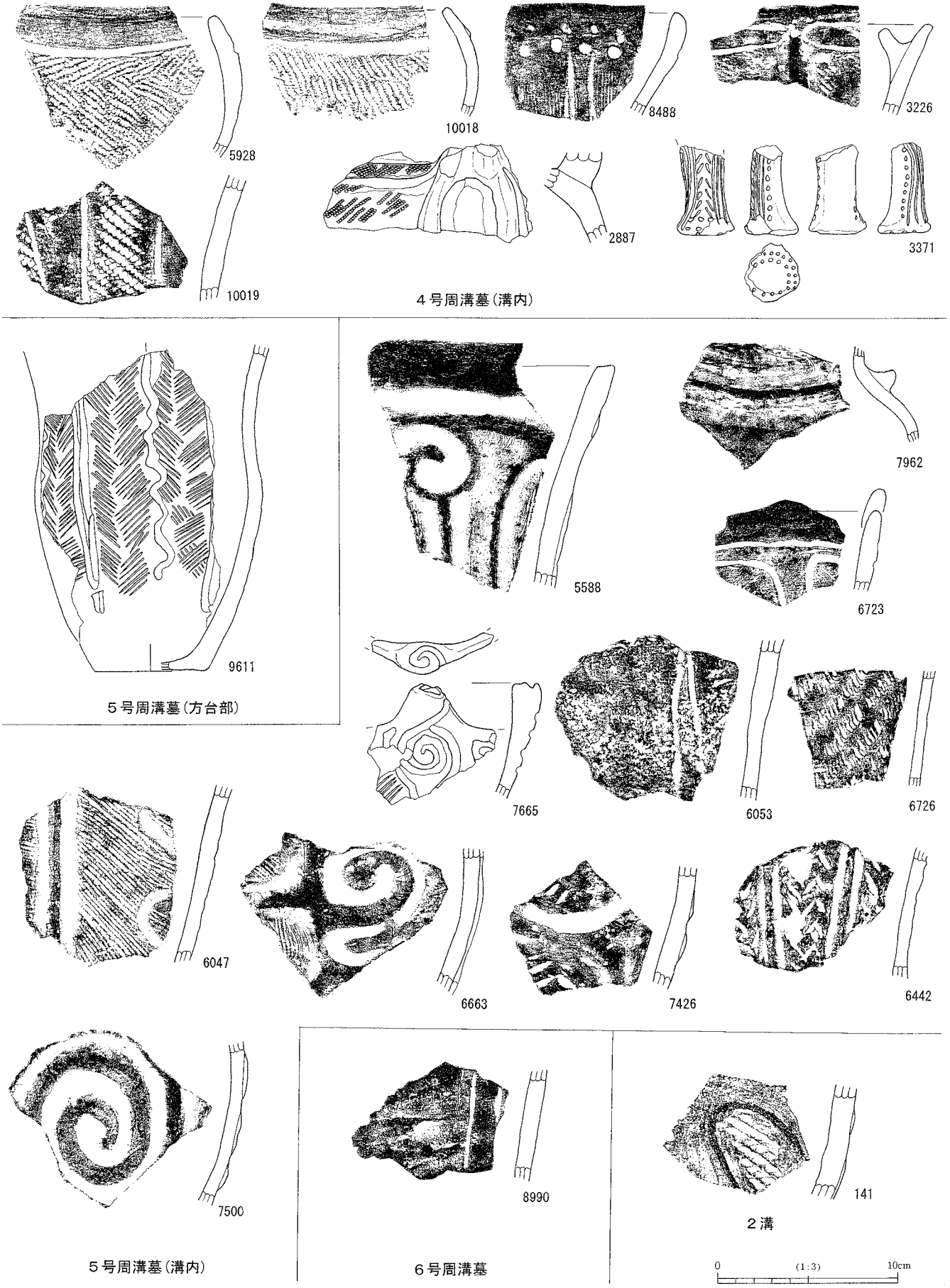
第44図　56・58・59・61号土坑、出土遺物



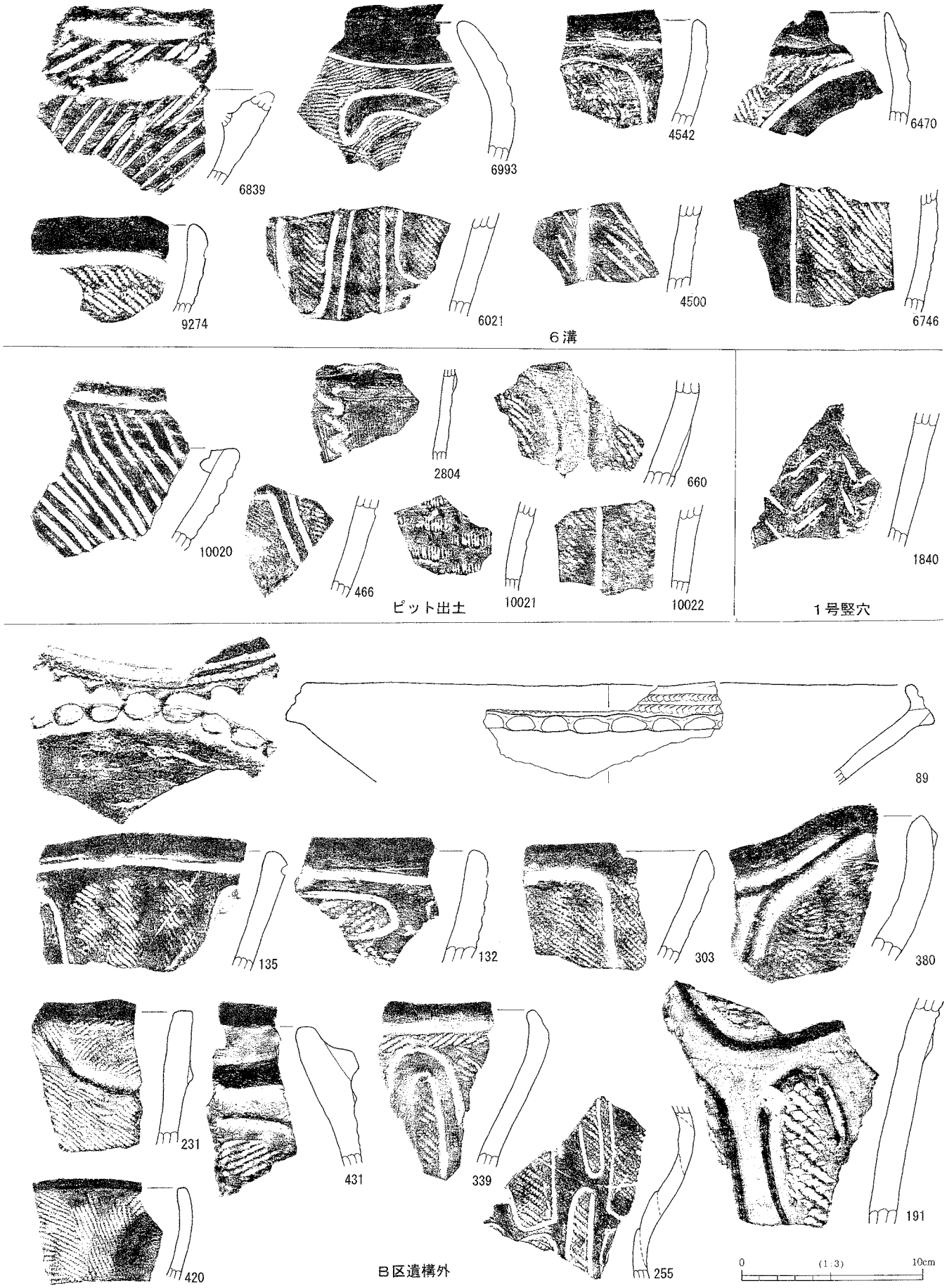
第45図　遺構外出土縄文土器①



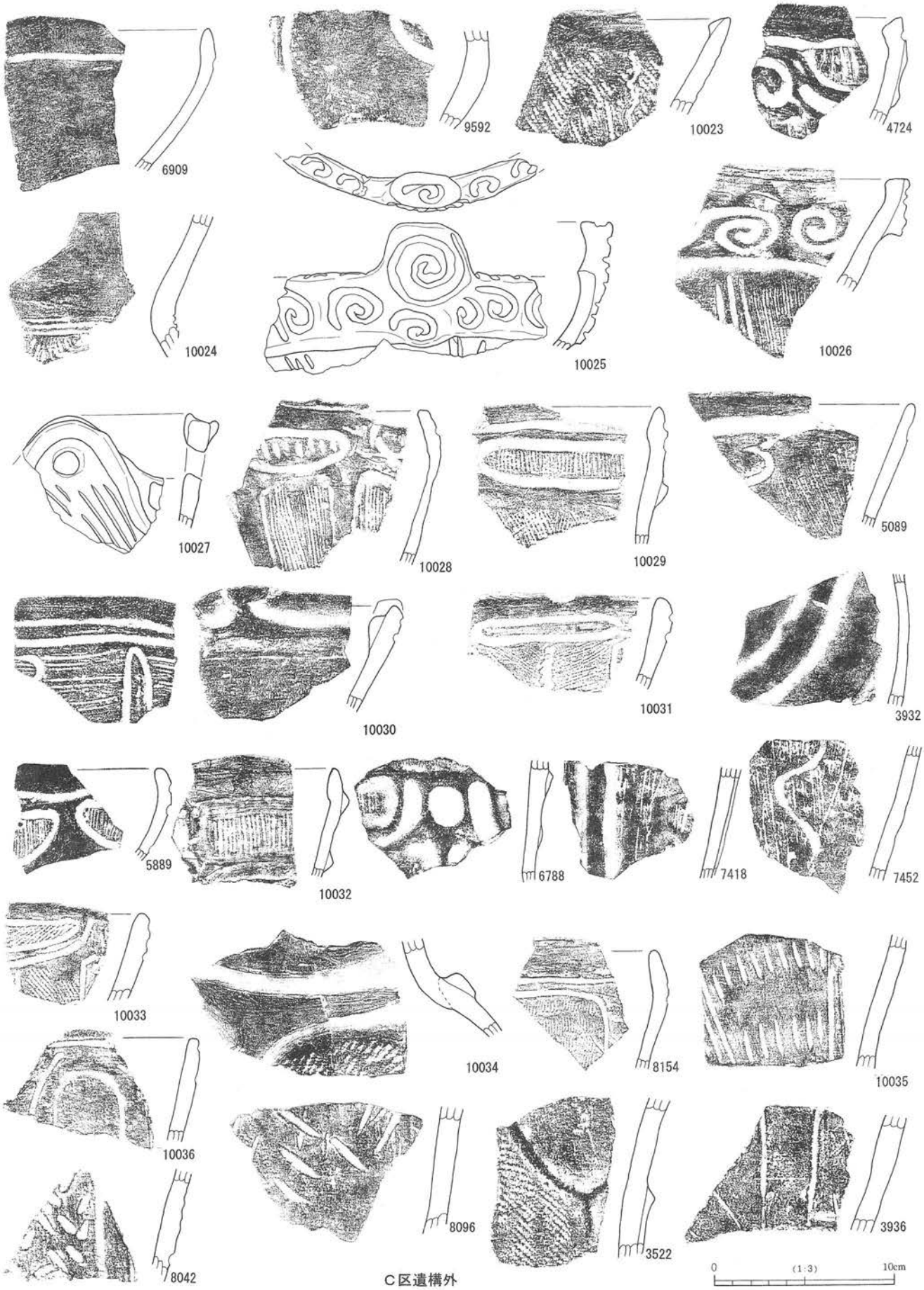
第46図　遺構外出土縄文土器②



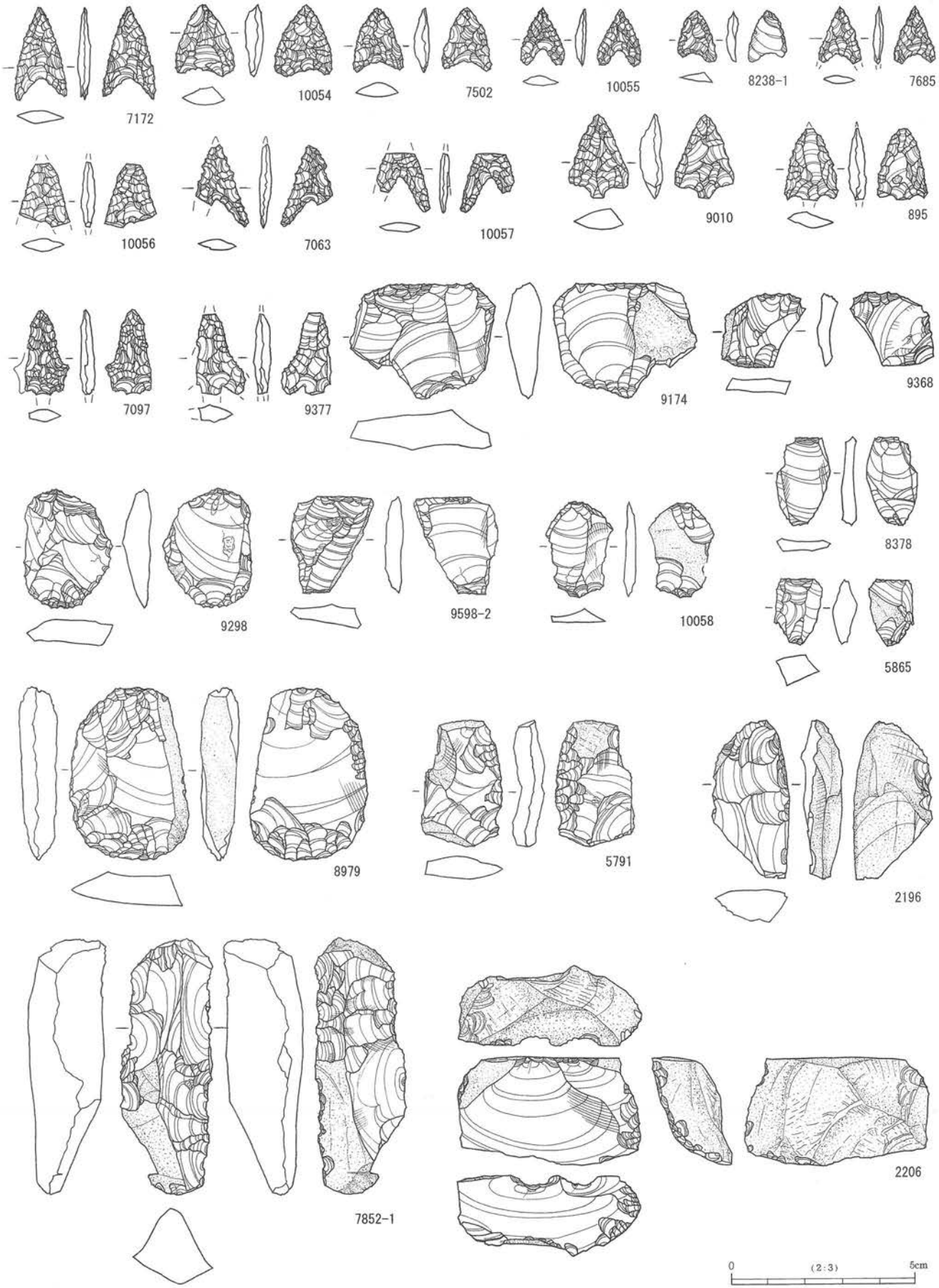
第47図　遺構外出土縄文土器③



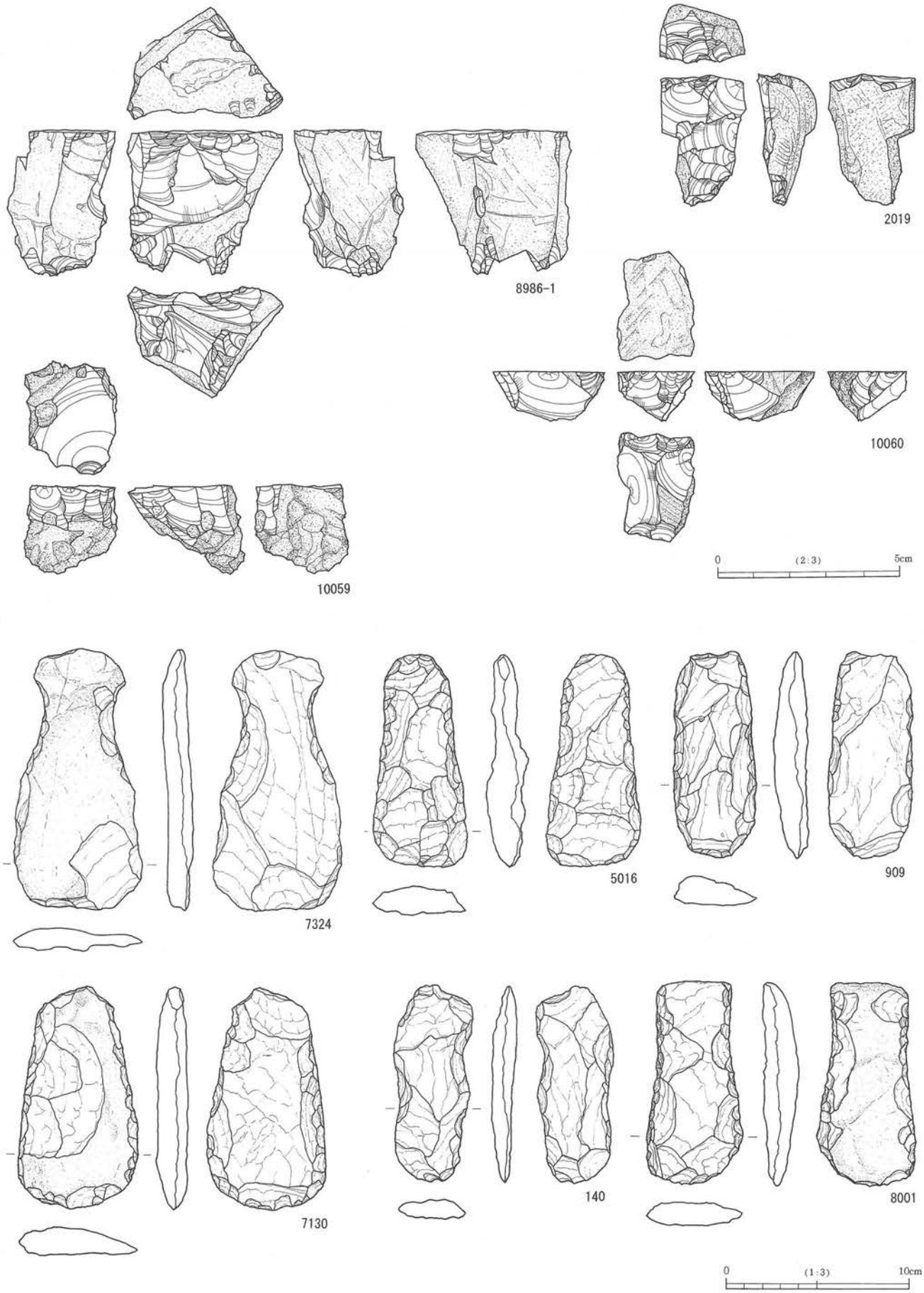
第48図　遺構外出土縄文土器④



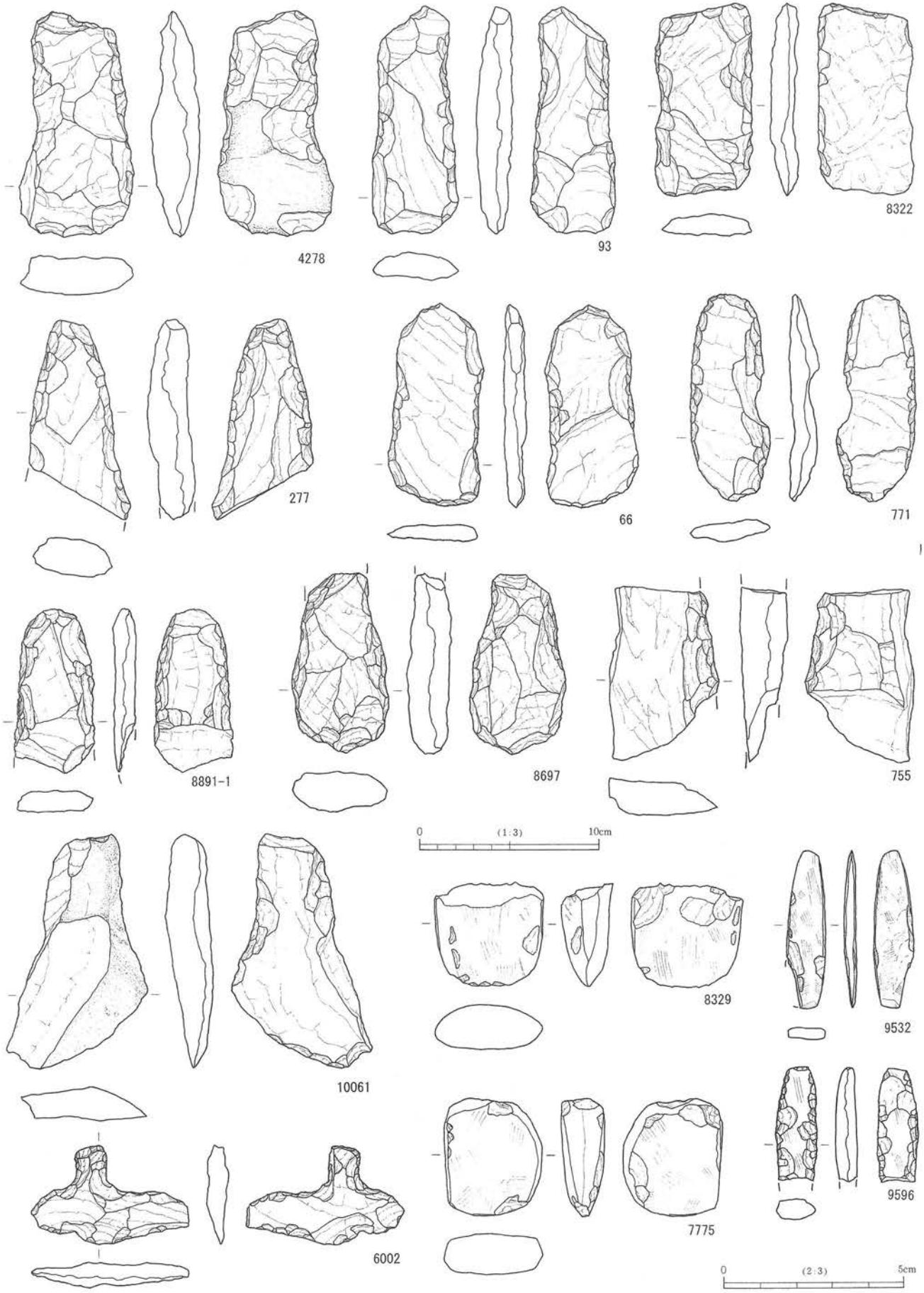
第 49 図　遺構外出土縄文土器⑤


7172
10054
7502
10055
8238-1
7685
10056
7063
10057
9010
895
7097
9377
9174
9368
9298
9598-2
10058
8378
5865
8979
5791
2196
7852-1
2206
0
(2:3)
5cm

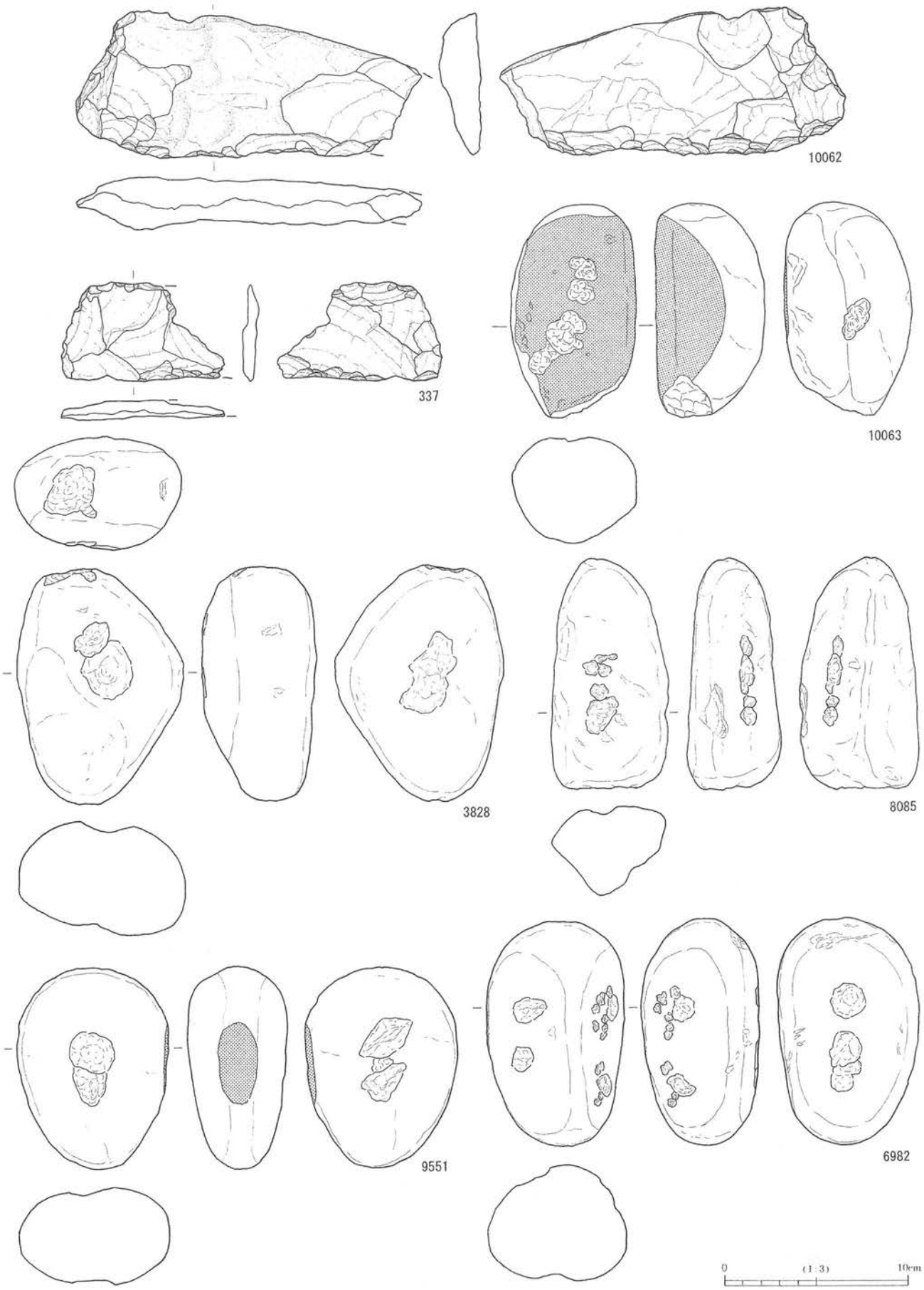
第50図　出土石器①


2019
8986-1
10060
10059
0 (2:3) 5cm
7324
5016
909
7130
140
8001
0 (1:3) 10cm

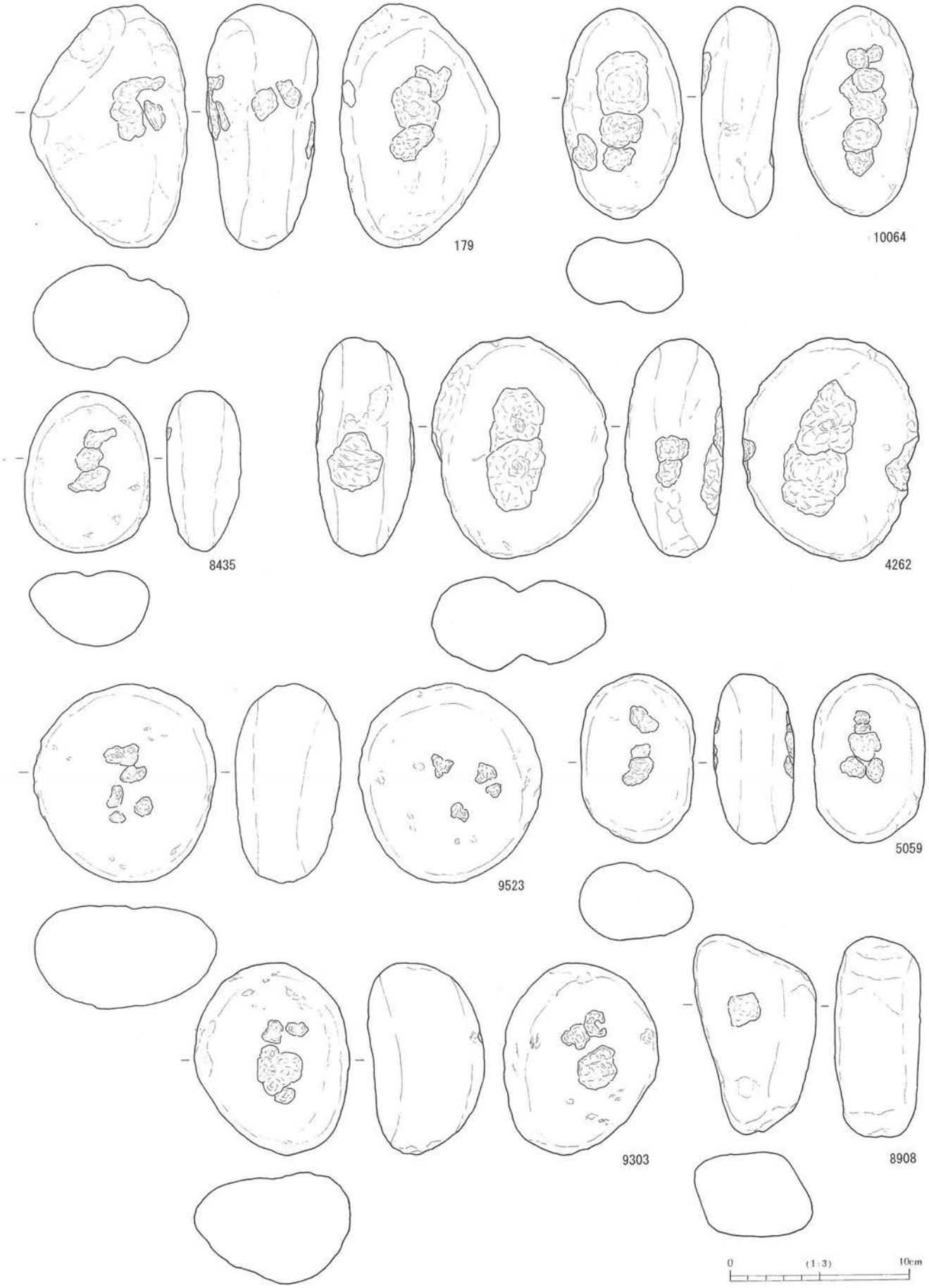
第51図　出土石器②


4278
93
8322
277
66
771
8891-1
8697
755
0
(1:3)
10cm
10061
8329
9532
6002
7775
9596
0
(2:3)
5cm

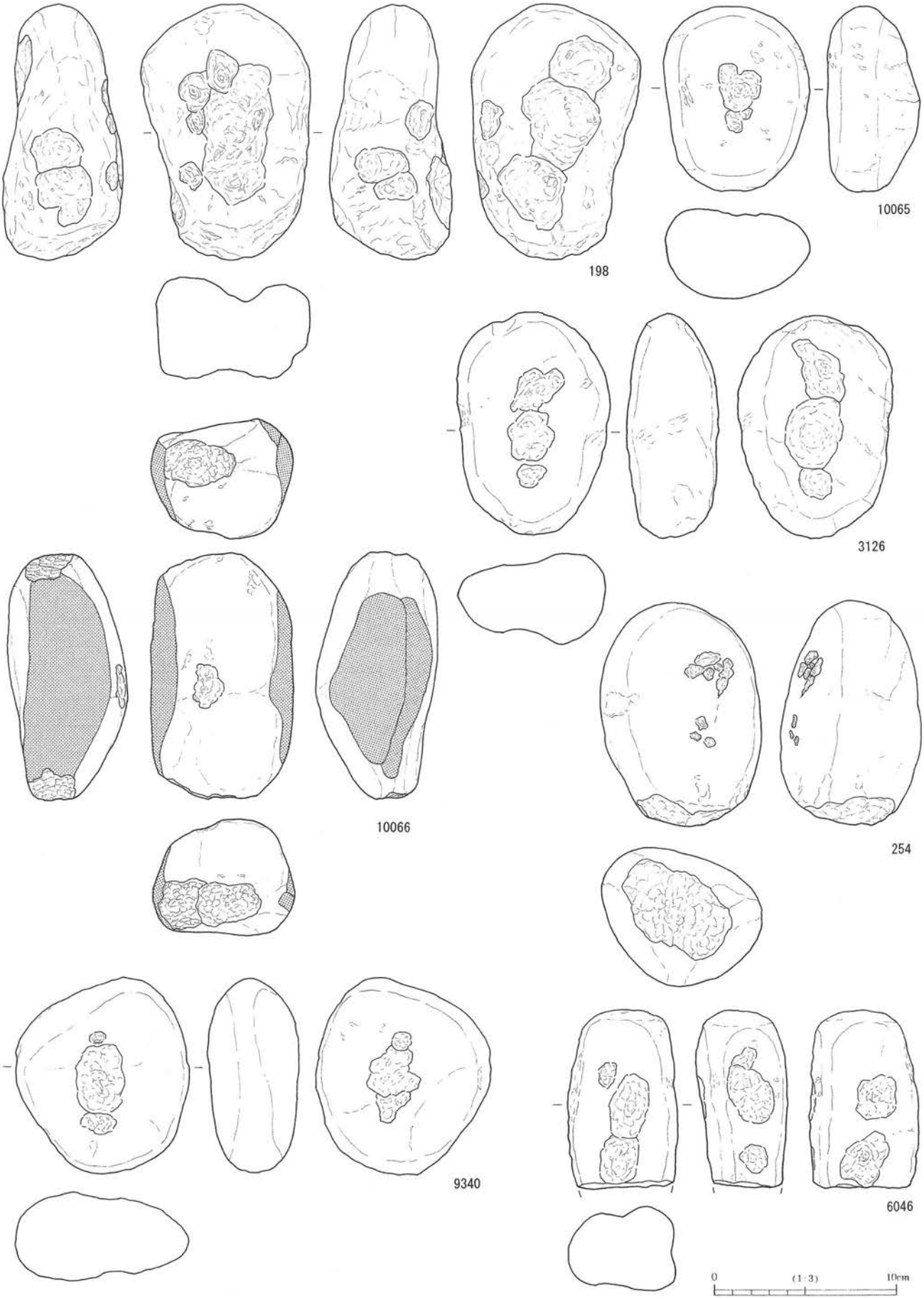
第 52 図　出土石器③



第53図　出土石器④

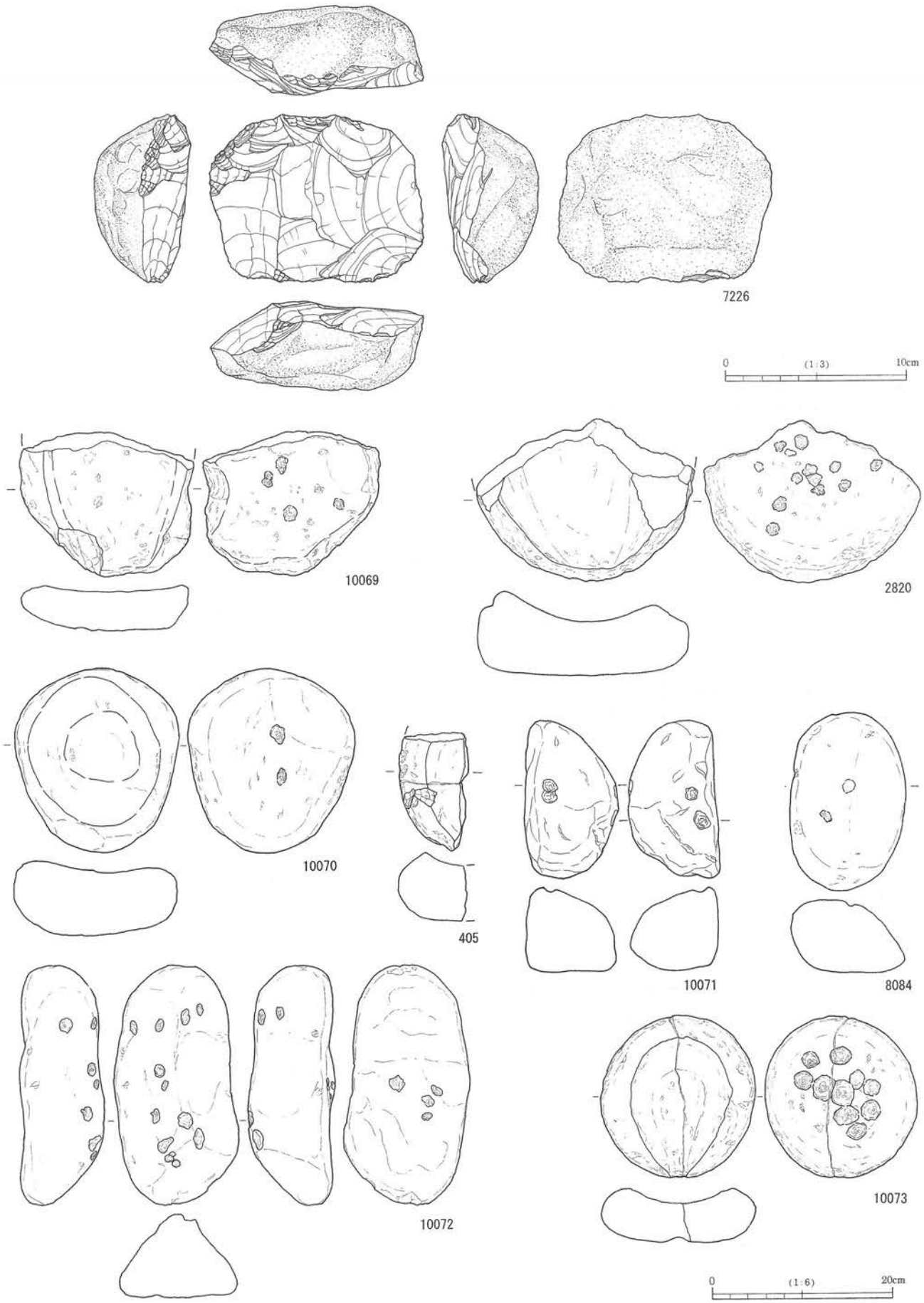


第54図　出土石器⑤

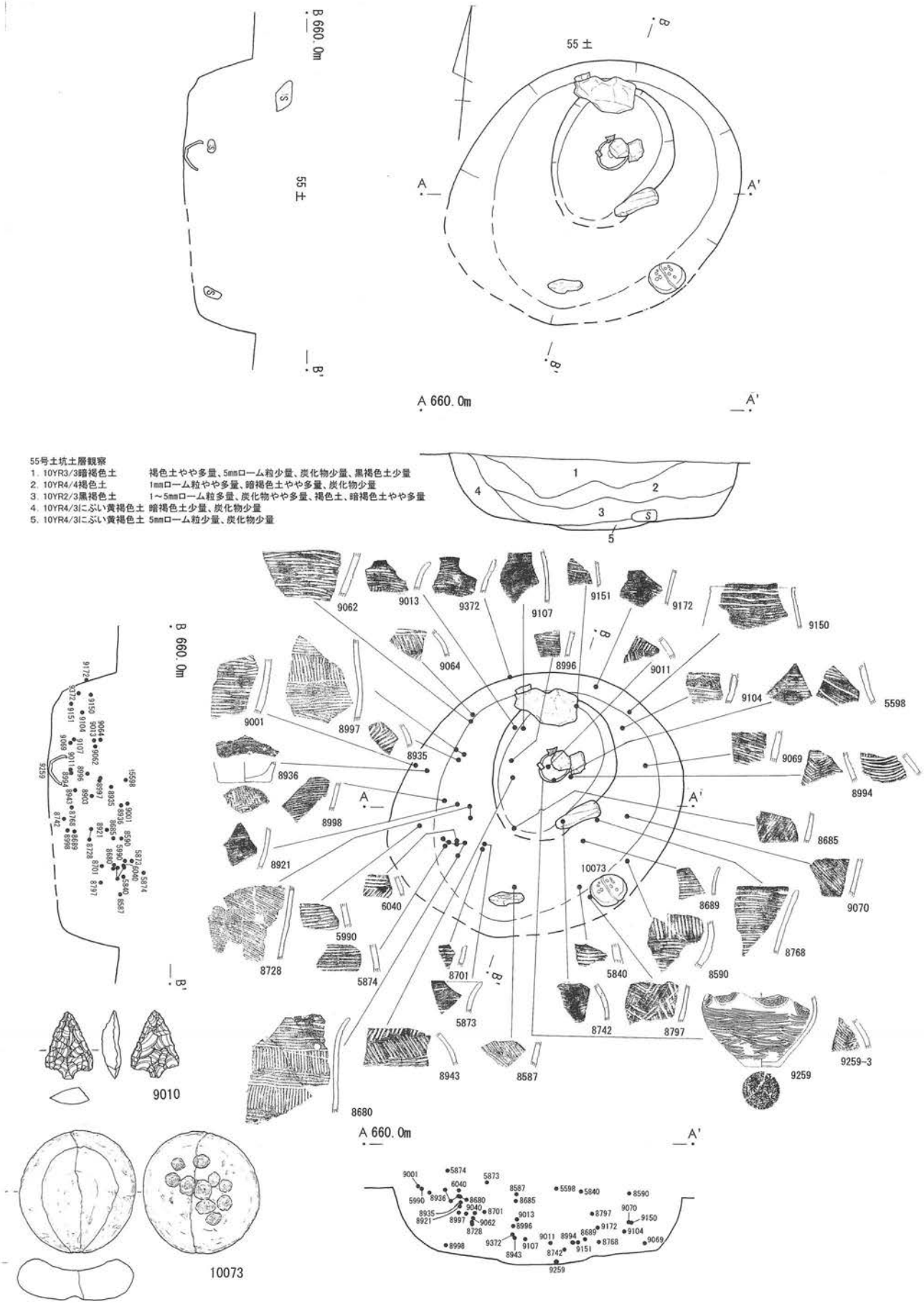


第 55 図　出土石器⑥

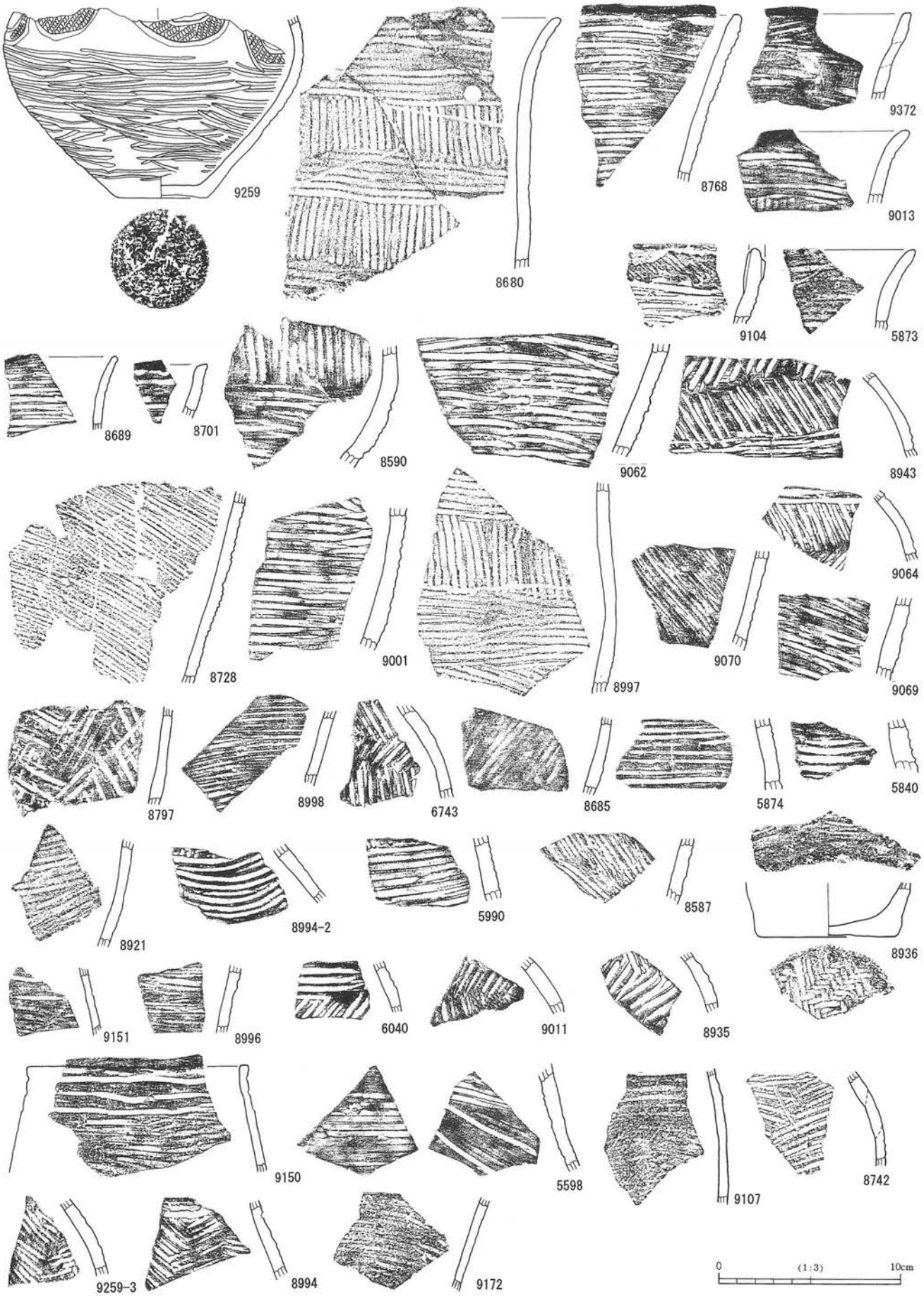
第 56 図　出土石器⑦


7226
0
(1:3)
10cm
10069
2820
10070
405
10071
8084
10072
10073
0
(1:6)
20cm

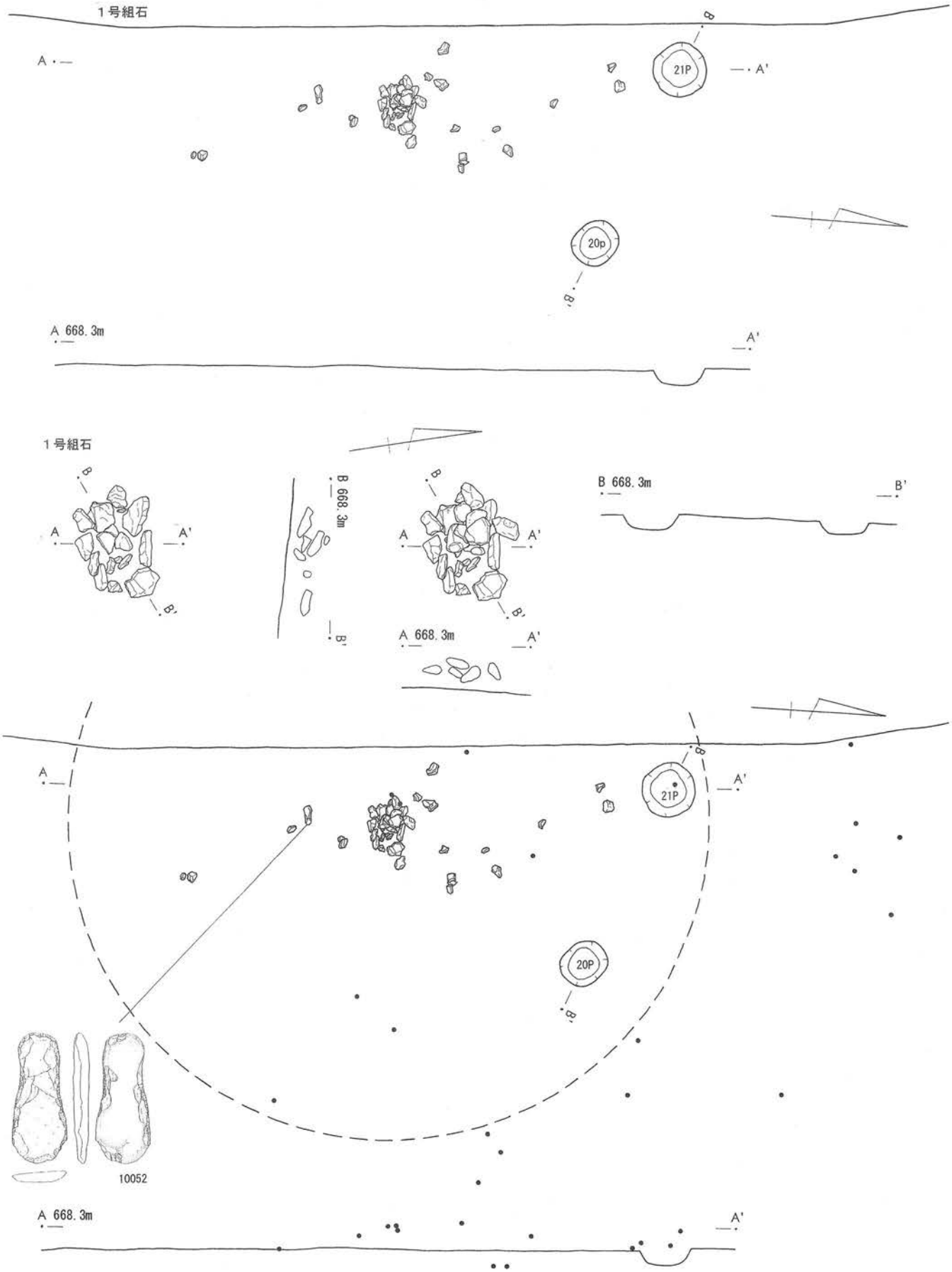
第57図　出土石器⑧



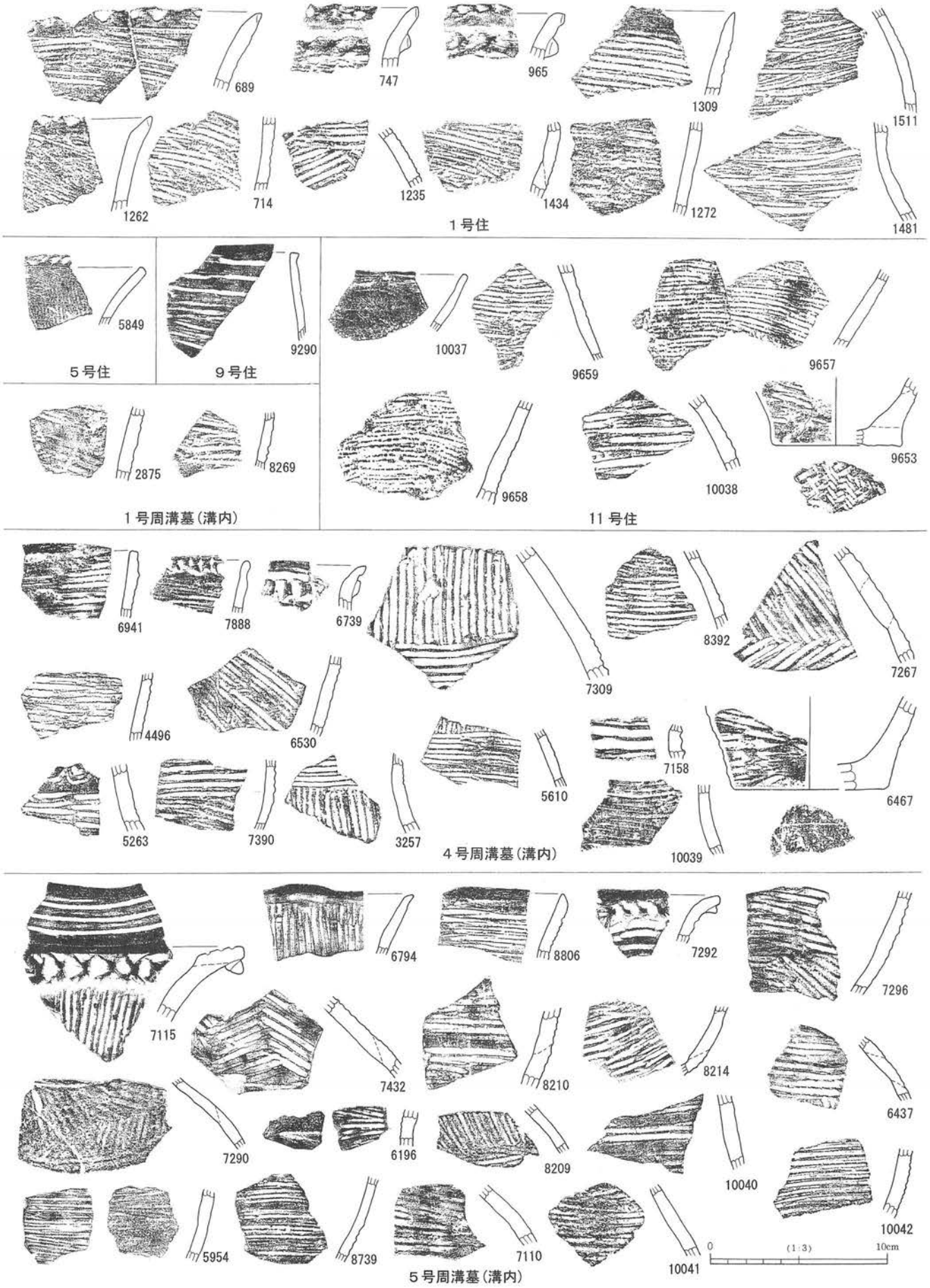
第58図　55号土坑、遺物出土状況



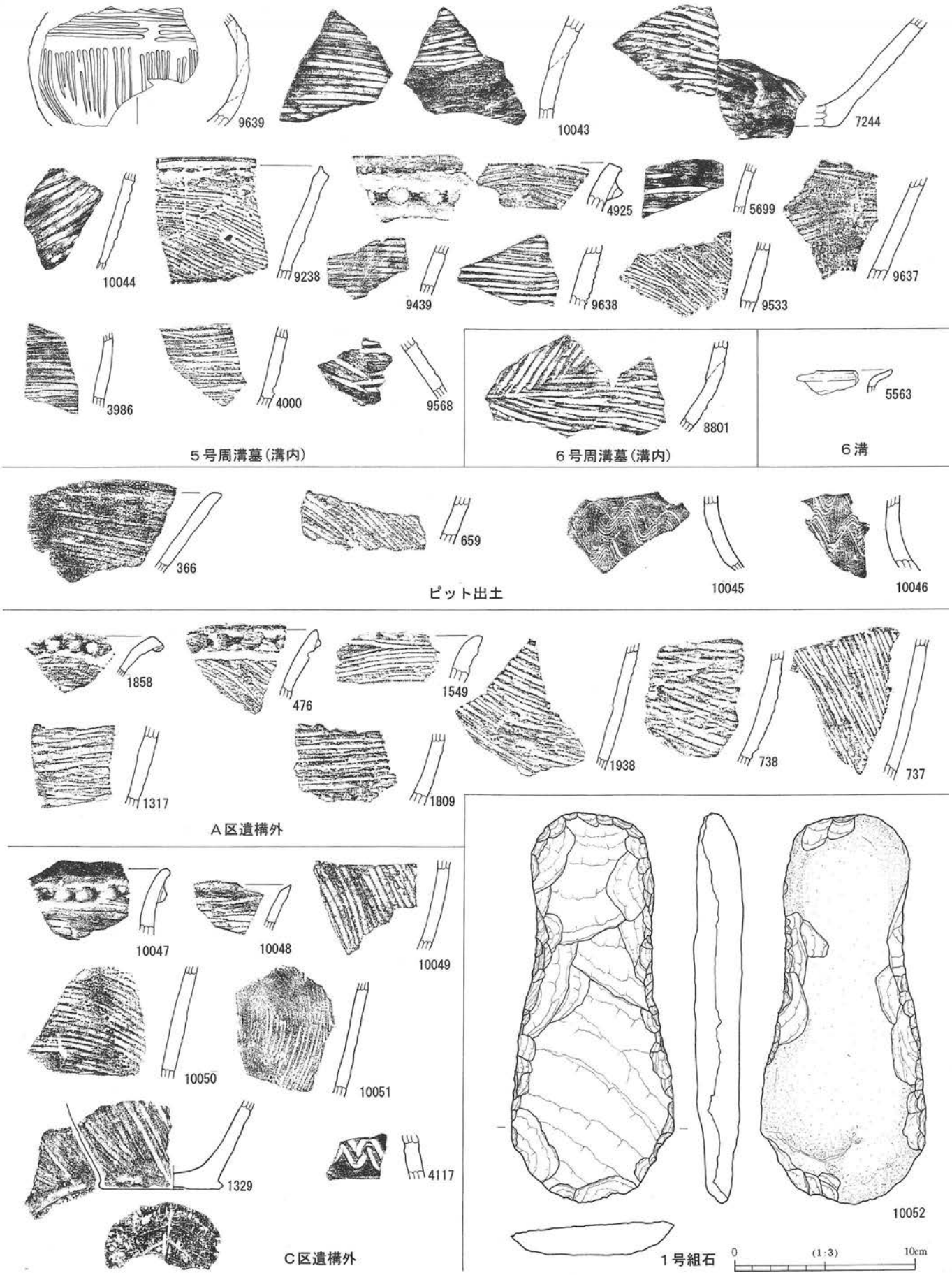
第59図　55号土坑出土遺物



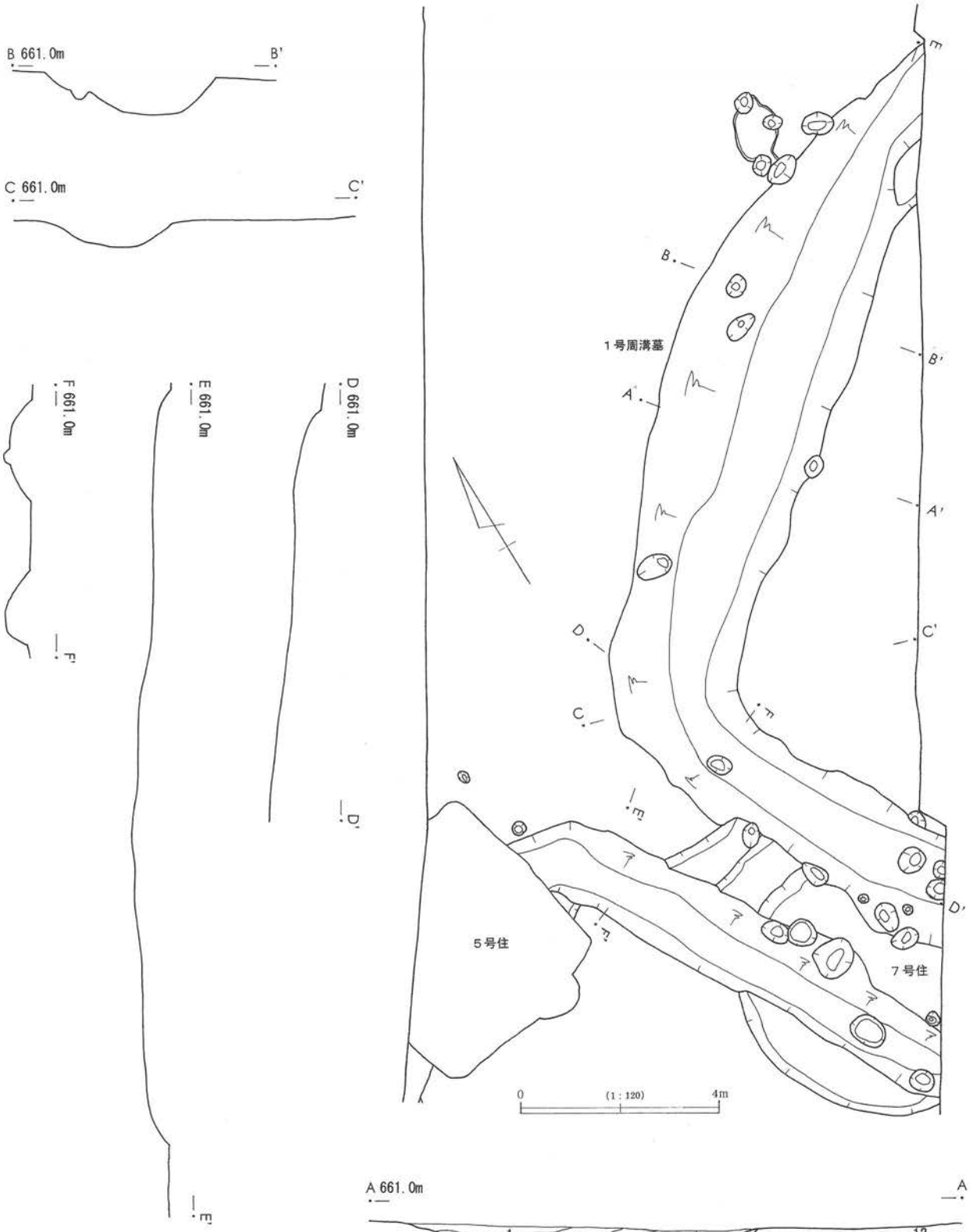
第60図　1号組石遺構、遺物出土状況



第61図　遺構外出土弥生土器①



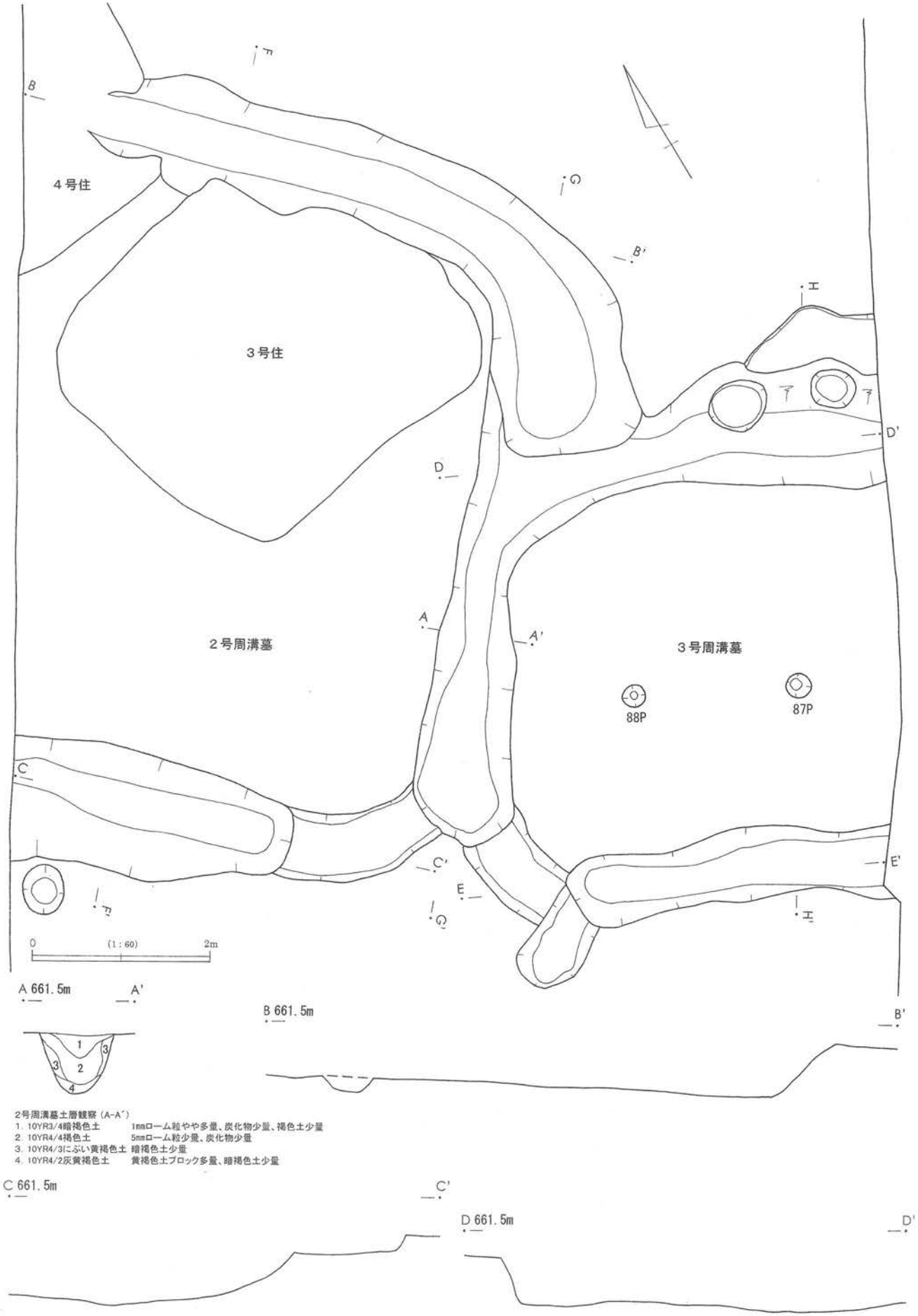
第 62 図　遺構外出土弥生土器②、1 号組石遺構周辺出土土器



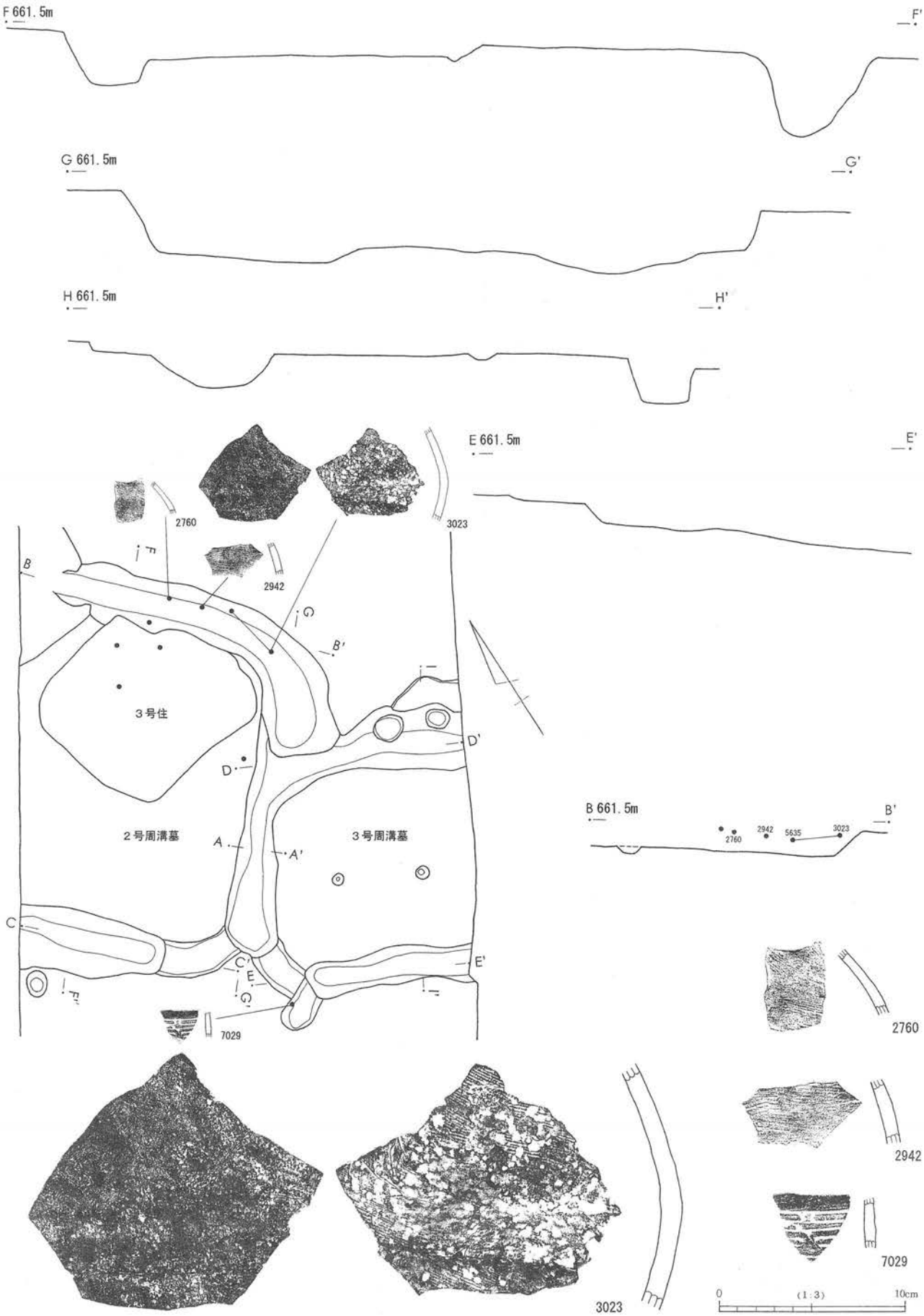
1号周溝墓土層観察（A-A'）

1.	10YR2/2黒褐色土	暗褐色土多量、明褐色土少量
2.	10YR3/1黒褐色土	暗褐色土多量、1mmローム粒やや多量
3.	10YR1/1黒色土	暗褐色土多量、1mmローム粒多量
4.	10YR3/3暗褐色土	1mmローム粒極多量、黒褐色土少量、褐色土少量
5.	10YR4/4褐色土	1mmローム粒多量、暗褐色土少量
6.	10YR3/3暗褐色土	褐色土多量、1～5mmローム粒やや多量、炭化物少量
7.	10YR4/3にぶい黄褐色土	1mmローム粒少量、暗褐色土少量
8.	10YR3/4暗褐色土	褐色土多量、5～10mmローム粒やや多量、炭化物少量
9.	10YR5/6黄褐色土	黄褐色土ブロック多量、暗褐色土やや多量
10.	10YR4/4褐色土	1mmローム粒少量、暗褐色土少量、炭化物少量
11.	10YR4/2灰黄褐色土	炭化物少量、暗褐色土少量
12.	10YR5/4にぶい黄褐色土	褐色土少量、1cmローム粒少量（漸移層）
13.	10YR5/6黄褐色土	地山、しまりあり

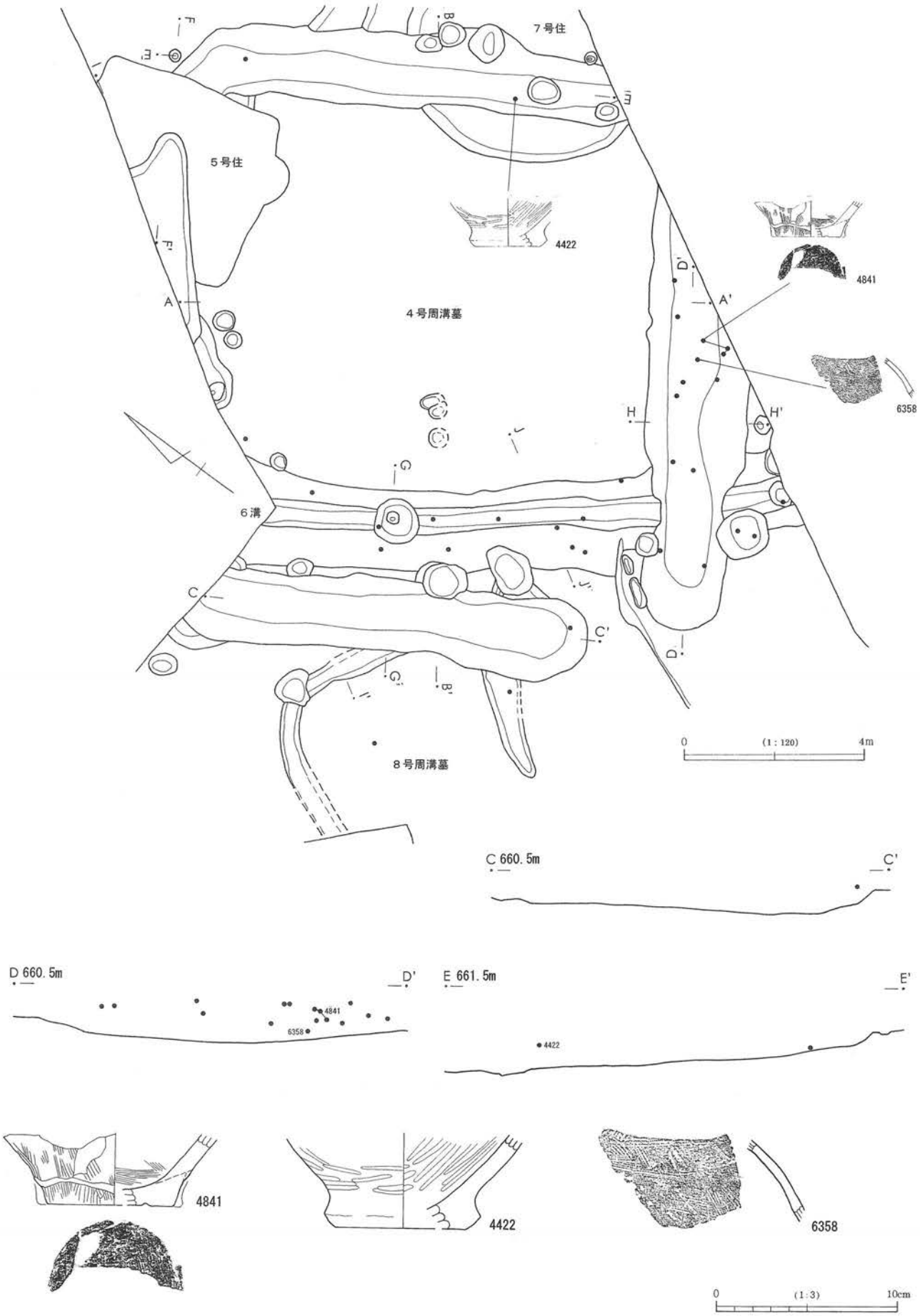
第63図　1号周溝墓


4号住
3号住
2号周溝墓
3号周溝墓
88P
87P
0
(1:60)
2m
A 661.5m
A'
B 661.5m
B'
C 661.5m
C'
D 661.5m
D'
2号周溝墓土層観察（A-A'）
1. 10YR3/4暗褐色土　1mmローム粒やや多量、炭化物少量、褐色土少量
2. 10YR4/4褐色土　5mmローム粒少量、炭化物少量
3. 10YR4/3にぶい黄褐色土　暗褐色土少量
4. 10YR4/2灰黄褐色土　黄褐色土ブロック多量、暗褐色土少量

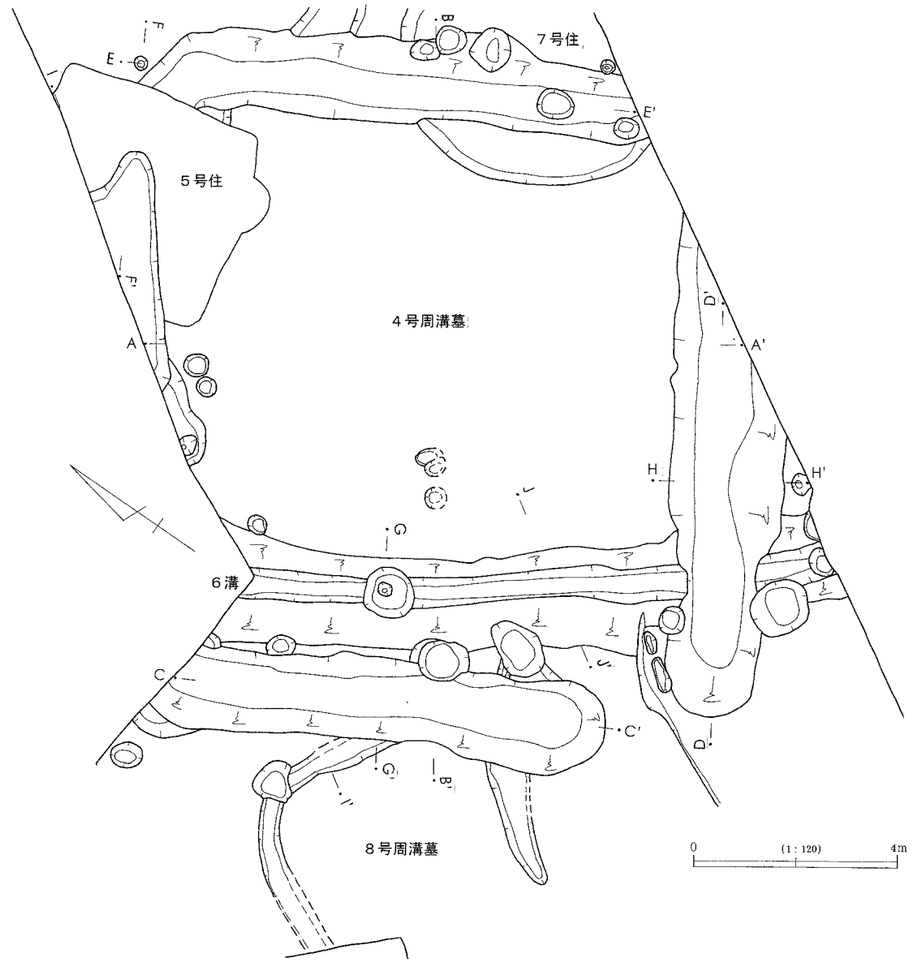
第64図　2・3号周溝墓

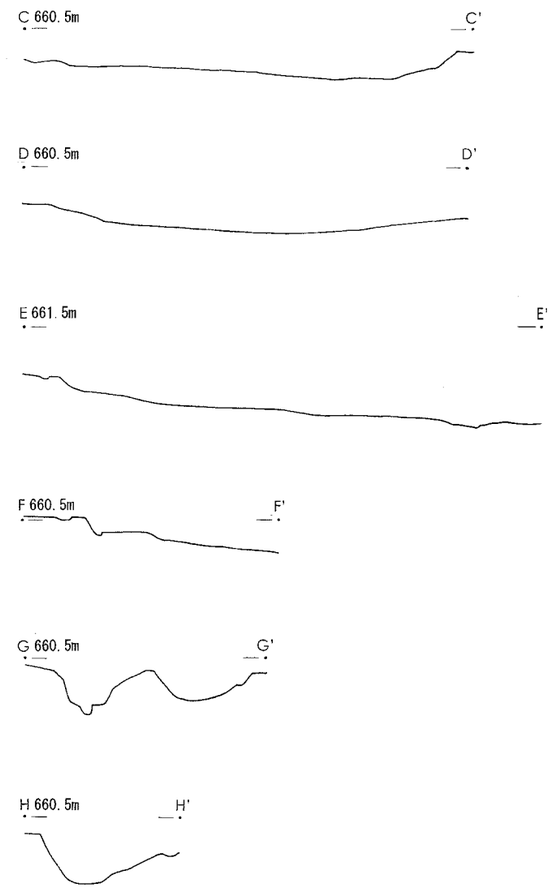


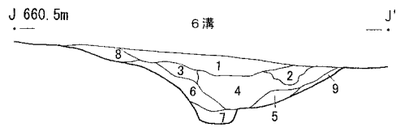
第65図　2・3号周溝墓遺物出土状況、出土遺物



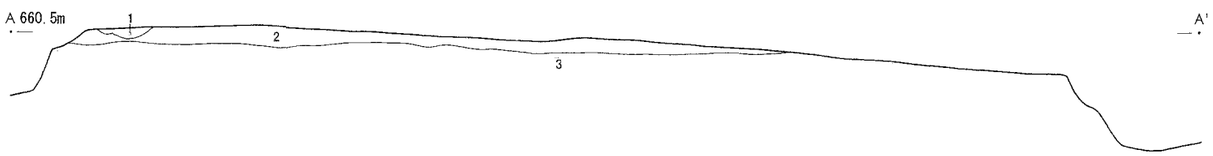
第66図　4号周溝墓・6号溝遺物出土状況、出土遺物





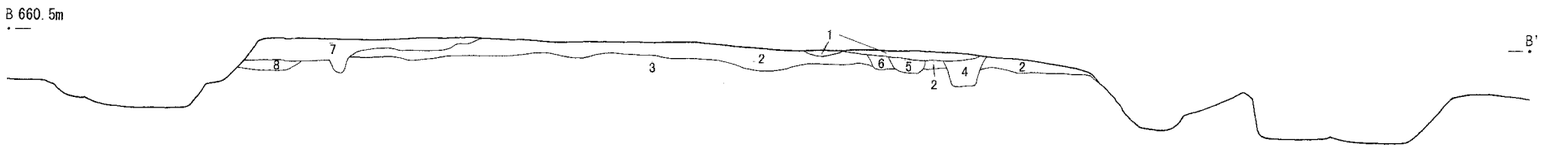


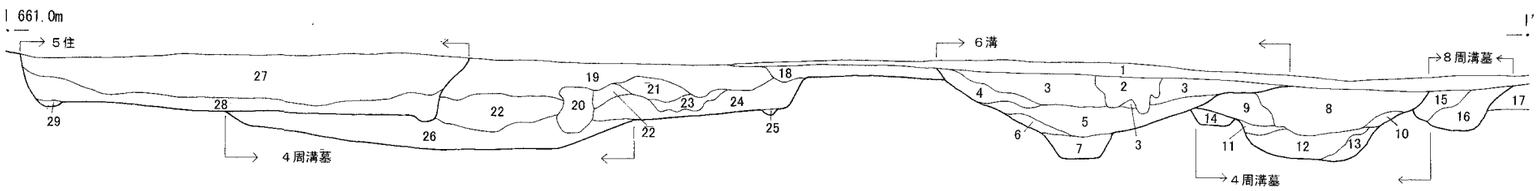
6号溝土層観察（J-J'）
1. 10YR3/3暗褐色土　5mmローム粒少量
2. 10YR4/4褐色土　暗褐色土やや多量、5mmローム粒少量
3. 10YR4/4褐色土　黄褐色土少量、炭化物少量
4. 10YR3/4暗褐色土　5～10mmローム粒やや多量、炭化物少量、黄褐色土少量
5. 10YR4/4褐色土　暗褐色土少量、1cmローム粒少量
6. 10YR4/6褐色土　暗褐色土やや多量、1～2cmローム粒少量、炭化物少量
7. 10YR3/3暗褐色土　1cmローム粒やや多量、褐色土少量
8. 10YR4/3にぶい黄褐色土　5mmローム粒少量、褐色土少量
9. 10YR4/3にぶい黄褐色土　暗褐色土少量



4号周溝墓　方台部土層観察(A-A')
1. 10YR4/4褐色土　1cmローム粒少量、炭化物少量、暗褐色土少量
2. 10YR5/4にぶい黄褐色土　1cmローム粒少量、褐色土少量
3. 10YR5/6黄褐色土　地山、しまりあり

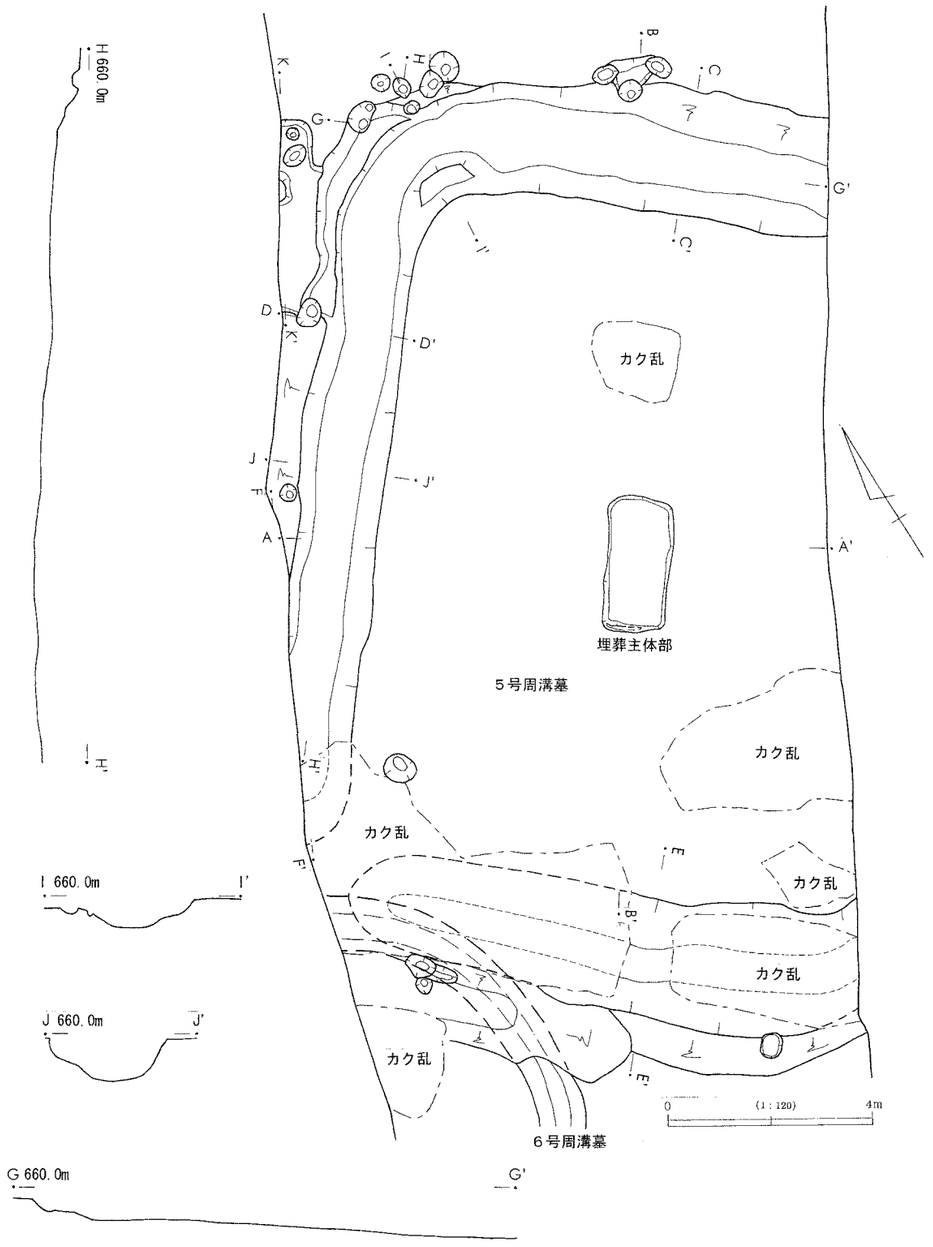
4号周溝墓　方台部土層観察(B-B')
1. 試掘トレンチ
2. 10YR5/4にぶい黄褐色土　褐色土少量、1cmローム粒少量（漸移層）
3. 10YR5/6黄褐色土　地山、しまりあり
4. 10YR4/3にぶい黄褐色土　炭化物少量、1mmローム粒少量
5. 10YR3/4暗褐色土　1～3cmローム粒やや多量、炭化物少量、褐色土少量
6. 10YR4/3にぶい黄褐色土　炭化物少量、褐色土少量
7. 10YR4/4褐色土　暗褐色土やや多量、1mmローム粒少量
8. 10YR4/3にぶい黄褐色土　暗褐色土少量、1mmローム粒少量

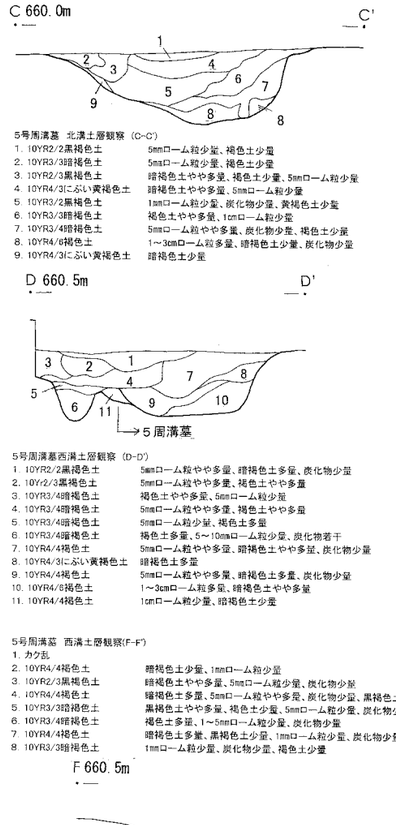




4号周溝墓・6号溝土層観察(I-I')
1. 10YR3/4暗褐色土
2. 10YR4/4褐色土　5mmローム粒少量、炭化物少量、暗褐色土少量
3. 10YR3/3暗褐色土　褐色土やや多量、5mmローム粒少量、炭化物少量
4. 10YR3/4暗褐色土　5mmローム粒少量、炭化物若干、褐色土少量
5. 10YR3/2黒褐色土　5mmローム粒やや多量、褐色土やや多量、炭化物少量
6. 10YR3/4暗褐色土
7. 10YR3/4暗褐色土　1cmローム粒少量、褐色土やや多量、炭化物若干
8. 10YR2/3黒褐色土　5mmローム粒多量、炭化物やや多量、褐色土多量
9. 10YR3/4暗褐色土　5mmローム粒少量、炭化物少量、褐色土やや多量
10. 10YR4/4褐色土　5mmローム粒少量
11. 10YR4/6褐色土　1cmローム粒少量、炭化物少量、暗褐色土少量
12. 10YR3/3暗褐色土　5mmローム粒少量、炭化物少量、黒褐色土少量
13. 10YR4/6褐色土　1cmローム粒少量、炭化物少量
14. 10YR3/4暗褐色土
15. 10YR3/3暗褐色土　褐色土少量、5mmローム粒若干
16. 10YR4/4褐色土　暗褐色土やや多量、1cmローム粒少量、炭化物若干
17. 10YR5/6黄褐色土
18. 10YR3/3暗褐色土　5mmローム粒少量、褐色土少量、炭化物少量
19. 10YR2/3黒褐色土　1mmローム粒やや多量、暗褐色土やや多量
20. 10YR3/3暗褐色土　褐色土少量
21. 10YR2/2黒褐色土　暗褐色土多量、1mmローム粒少量
22. 10YR3/4暗褐色土　褐色土やや多量、1～5mmローム粒少量
23. 10YR4/4褐色土　黒褐色土多量、暗褐色土多量
24. 10YR4/4褐色土　暗褐色土やや多量、5mmローム粒少量
25. 10YR4/3にぶい黄褐色土　暗褐色土多量、1cmローム粒少量、炭化物少量
26. 10YR3/3暗褐色土　褐色土多量、1cmローム粒少量
27. 10YR3/2黒褐色土　焼土粒多量、炭化物少量、暗褐色土少量
28. 10YR3/3暗褐色土　焼土粒やや多量、炭化物少量
29. 10YR4/3にぶい黄褐色土　1mmローム粒少量、暗褐色土少量

第67図　4号周溝墓、6号溝





5号周溝墓 北溝土層観察（C-C'）

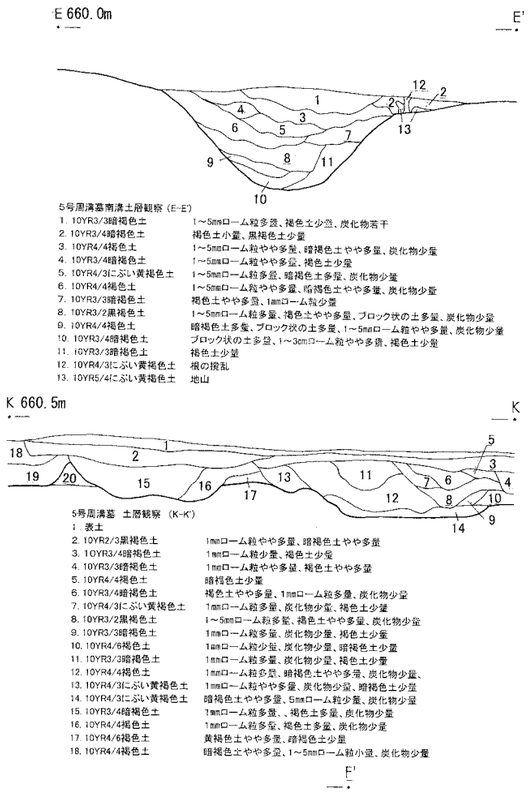
1. 10YR2/2黒褐色土	5mmローム粒少量、褐色土少量
2. 10YR3/3暗褐色土	5mmローム粒少量、褐色土少量
3. 10YR2/3黒褐色土	暗褐色土やや多量、褐色土少量、5mmローム粒少量
4. 10YR4/3にぶい黄褐色土	暗褐色土やや多量、5mmローム粒少量
5. 10YR3/2黒褐色土	1mmローム粒少量、炭化物少量、黄褐色土少量
6. 10YR3/3暗褐色土	褐色土やや多量、1cmローム粒少量
7. 10YR3/4暗褐色土	5mmローム粒やや多量、炭化物少量、褐色土少量
8. 10YR4/6褐色土	1～3cmローム粒多量、暗褐色土少量、炭化物少量
9. 10YR4/3にぶい黄褐色土	暗褐色土少量

5号周溝墓西溝土層観察（D-D'）

1. 10YR2/2黒褐色土	5mmローム粒やや多量、暗褐色土多量、炭化物少量
2. 10Yr2/3黒褐色土	5mmローム粒やや多量、褐色土やや多量
3. 10YR3/4暗褐色土	褐色土やや多量、5mmローム粒少量
4. 10YR3/4暗褐色土	5mmローム粒やや多量、褐色土やや多量
5. 10YR3/4暗褐色土	5mmローム粒少量、褐色土多量
6. 10YR3/4暗褐色土	褐色土多量、5～10mmローム粒少量、炭化物若干
7. 10YR4/4褐色土	5mmローム粒やや多量、暗褐色土やや多量、炭化物少量
8. 10YR4/3にぶい黄褐色土	暗褐色土多量
9. 10YR4/4褐色土	5mmローム粒やや多量、暗褐色土多量、炭化物少量
10. 10YR4/6褐色土	1～3cmローム粒多量、暗褐色土やや多量
11. 10YR4/4褐色土	1cmローム粒少量、暗褐色土少量

5号周溝墓 西溝土層観察(F-F')

1. カク乱	
2. 10YR4/4褐色土	暗褐色土少量、1mmローム粒少量
3. 10YR2/3黒褐色土	暗褐色土やや多量、5mmローム粒少量、炭化物少量
4. 10YR4/4褐色土	暗褐色土多量、5mmローム粒やや多量、炭化物少量、黒褐色土少量
5. 10YR3/3暗褐色土	黒褐色土やや多量、褐色土少量、5mmローム粒少量、炭化物少量
6. 10YR3/4暗褐色土	褐色土多量、1～5mmローム粒少量、炭化物少量
7. 10YR4/4褐色土	暗褐色土多量、黒褐色土少量、1mmローム粒少量、炭化物少量
8. 10YR3/3暗褐色土	1mmローム粒少量、炭化物少量、褐色土少量

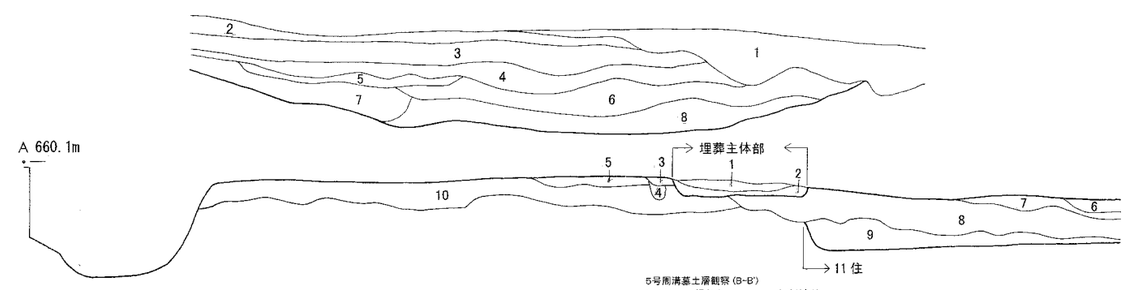


5号周溝墓南溝土層観察（E-E'）

1. 10YR3/3暗褐色土	1～5mmローム粒多量、褐色土少量、炭化物若干
2. 10YR3/4暗褐色土	褐色土小量、黒褐色土少量
3. 10YR4/4褐色土	1～5mmローム粒やや多量、暗褐色土やや多量、炭化物少量
4. 10YR3/4暗褐色土	1～5mmローム粒やや多量、褐色土少量
5. 10YR4/3にぶい黄褐色土	1～5mmローム粒多量、暗褐色土多量、炭化物少量
6. 10YR4/4褐色土	1～5mmローム粒やや多量、暗褐色土やや多量、炭化物少量
7. 10YR3/3暗褐色土	褐色土やや多量、1mmローム粒少量
8. 10YR3/2黒褐色土	1～5mmローム粒多量、褐色土やや多量、ブロック状の土多量、炭化物少量
9. 10YR4/4褐色土	暗褐色土多量、ブロック状の土多量、1～5mmローム粒やや多量、炭化物少量
10. 10YR3/4暗褐色土	ブロック状の土多量、1～3cmローム粒やや多量、褐色土少量
11. 10YR3/3暗褐色土	褐色土少量
12. 10YR4/3にぶい黄褐色土	根の撹乱
13. 10YR5/4にぶい黄褐色土	地山

5号周溝墓 土層観察（K-K'）

1. 表土	
2. 10YR2/3黒褐色土	1mmローム粒やや多量、暗褐色土やや多量
3. 10YR3/4暗褐色土	1mmローム粒少量、褐色土少量
4. 10YR3/3暗褐色土	1mmローム粒やや多量、褐色土やや多量
5. 10YR4/4褐色土	暗褐色土少量
6. 10YR3/4暗褐色土	褐色土やや多量、1mmローム粒多量、炭化物少量
7. 10YR4/3にぶい黄褐色土	1mmローム粒多量、炭化物少量、褐色土少量
8. 10YR3/2黒褐色土	1～5mmローム粒多量、褐色土やや多量、炭化物少量
9. 10YR3/3暗褐色土	1mmローム粒多量、炭化物少量、褐色土少量
10. 10YR4/6褐色土	1mmローム粒少量、炭化物少量、暗褐色土少量
11. 10YR3/3暗褐色土	1mmローム粒多量、炭化物少量、褐色土少量
12. 10YR4/4褐色土	1mmローム粒多量、暗褐色土やや多量、炭化物少量
13. 10YR4/3にぶい黄褐色土	1mmローム粒やや多量、炭化物少量、暗褐色土少量
14. 10YR4/3にぶい黄褐色土	暗褐色土やや多量、5mmローム粒少量、炭化物少量
15. 10YR3/4暗褐色土	1mmローム粒多量、褐色土多量、炭化物少量
16. 10YR4/4褐色土	1mmローム粒多量、褐色土多量、炭化物少量
17. 10YR4/6褐色土	黄褐色土やや多量、暗褐色土少量
18. 10YR4/4褐色土	暗褐色土やや多量、1～5mmローム粒小量、炭化物少量

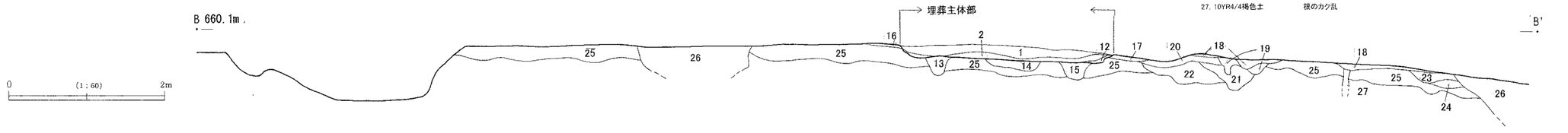


5号周溝墓方台部土層観察（A-A'）

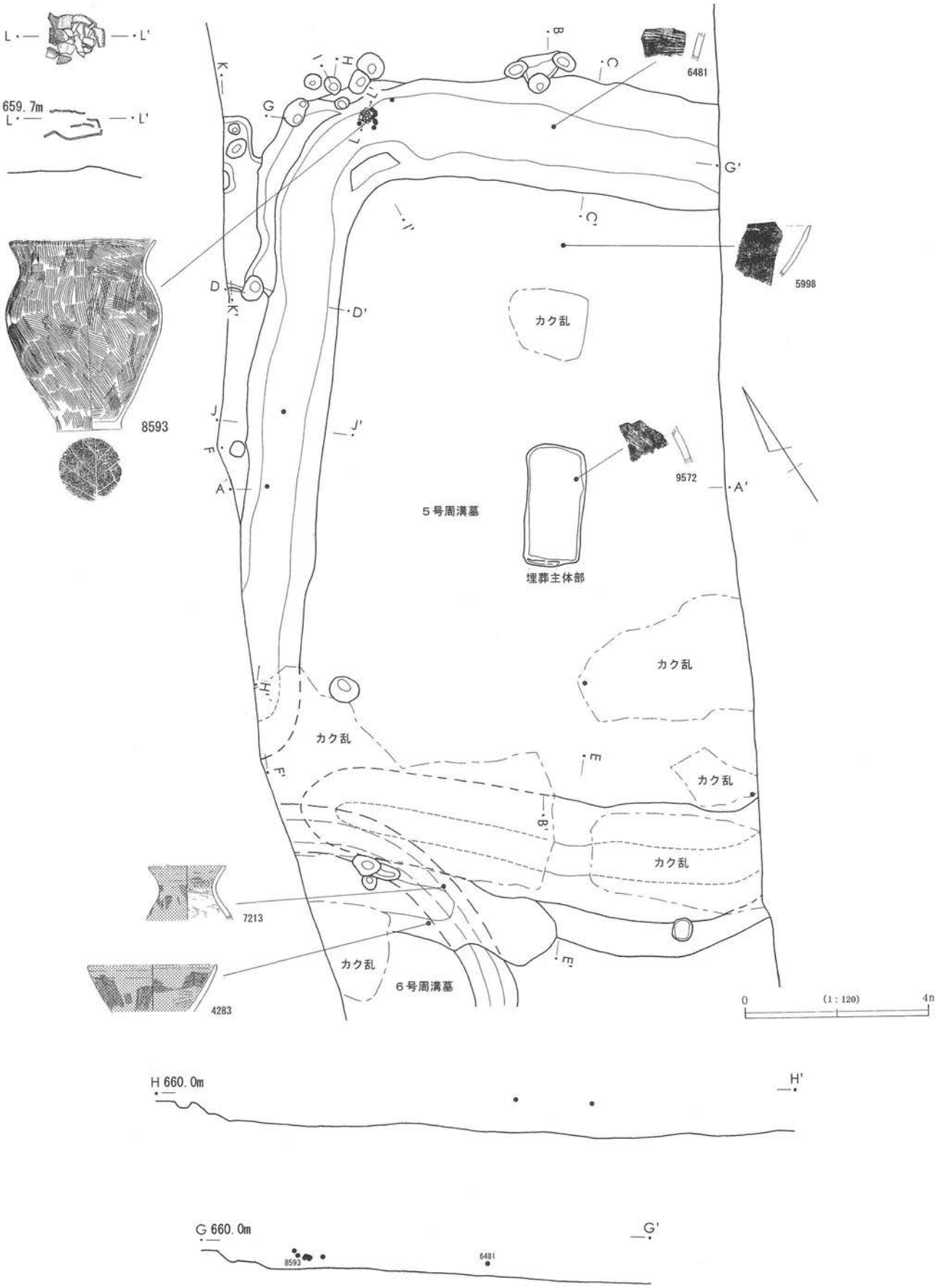
1. 10YR4/4褐色土	しまりあり
2. 10YR4/4褐色土	褐色土ブロック多量、しまりあり
3. 10YR4/4褐色土	1mmローム粒少量
4. 10YR3/3暗褐色土	1mmローム粒少量
5. 10YR4/3暗褐色土	褐色土やや多量、1～5mmローム粒少量、炭化物少量
6. 10YR3/3暗褐色土	カク乱、埋土、褐色土少量
7. 10YR3/4暗褐色土	1～5mmローム粒やや多量、褐色土多量、炭化物少量、黒褐色土粒少量、盛土？
8. 10YE4/4褐色土	、暗褐色土やや多量、5mmローム粒少量、炭化物少量
9. 10YR4/6褐色土	黄褐色土やや多量、炭化物少量、暗褐色土少量(ブロック)
10. 10YR5/4にぶい黄褐色土	褐色土少量、1cmローム粒少量(漸移層)

5号周溝墓土層観察（B-B'）

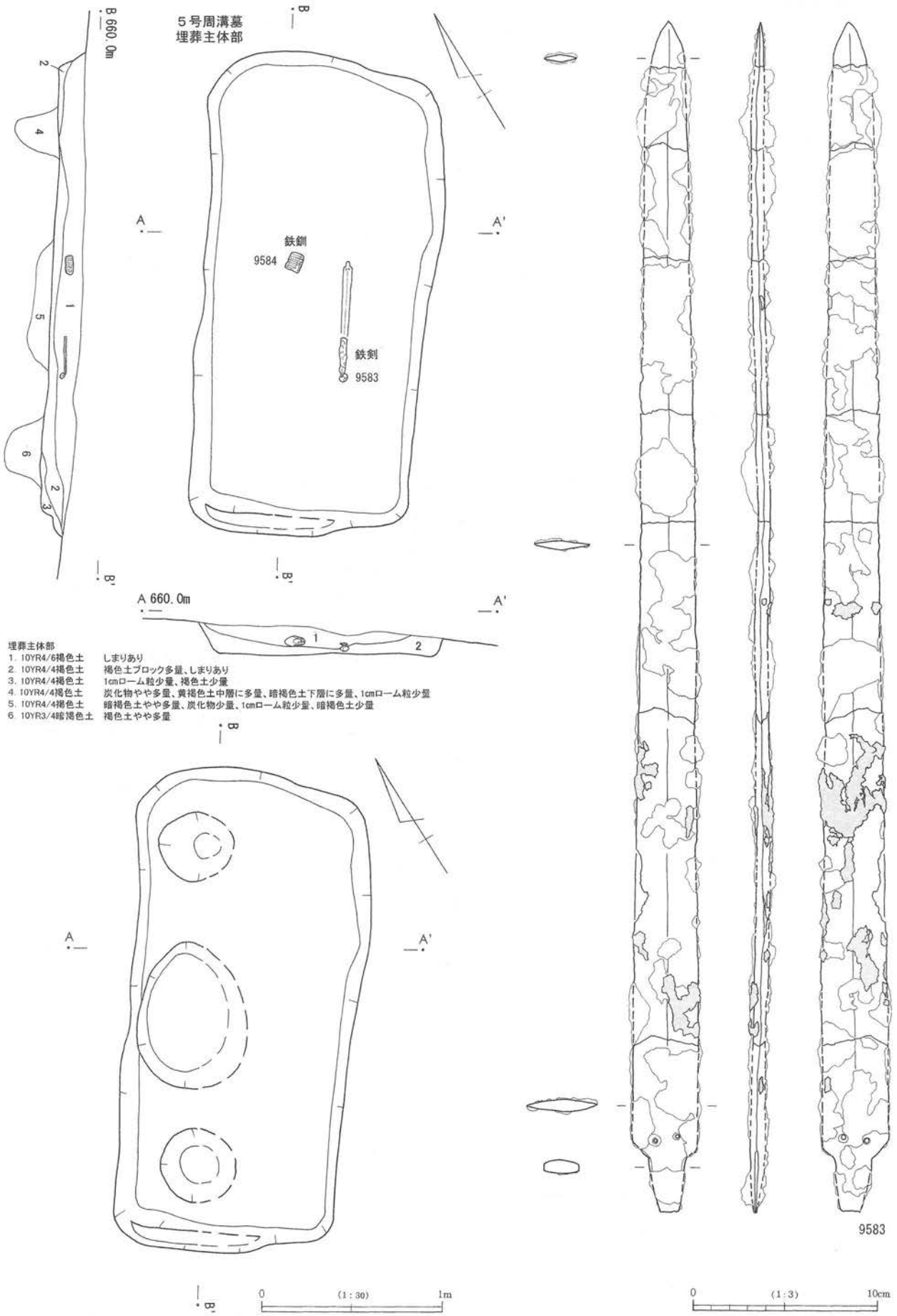
1. 10YR4/6褐色土	しまりあり
2. 10YR4/4褐色土	褐色土ブロック多量、しまりあり
13. 10YR4/4褐色土	炭化物やや多量、黄褐色土中層に多量、暗褐色土下層に多量、1cmローム粒少量
14. 10YR4/4褐色土	炭化物少量、暗褐色土少量
15. 10YR3/4暗褐色土	1～3cmローム粒やや多量、褐色土多量、炭化物少量
16. 10YR3/3暗褐色土	褐色土やや多量
17. 10YR4/3にぶい黄褐色	1mmローム粒少量、暗褐色土少量
18. 10YR4/6褐色土	暗褐色土少量、炭化物少量、1mmローム粒少量
19. 10YR2/3黒褐色土	暗褐色土多量、炭化物少量
20. 10YR3/4暗褐色土	褐色土やや多量、5mmローム粒少量、炭化物少量
21. 10YR4/4褐色土	暗褐色土多量、炭化物少量、5mmローム粒少量
22. 10YR4/3にぶい黄褐色土	黒褐色土・暗褐色土多量、炭化物多量、5～10mmローム粒やや多量
23. 10YR4/3にぶい黄褐色土	暗褐色土やや多量、5mmローム粒少量、炭化物少量
24. 10YR4/6褐色土	5mmローム粒少量、炭化物少量、暗褐色土少量
25. 10YR5/4にぶい黄褐色土	褐色土少量、1cmローム粒少量(漸移層)
26. カク乱	
27. 10YR4/4褐色土	根のカク乱



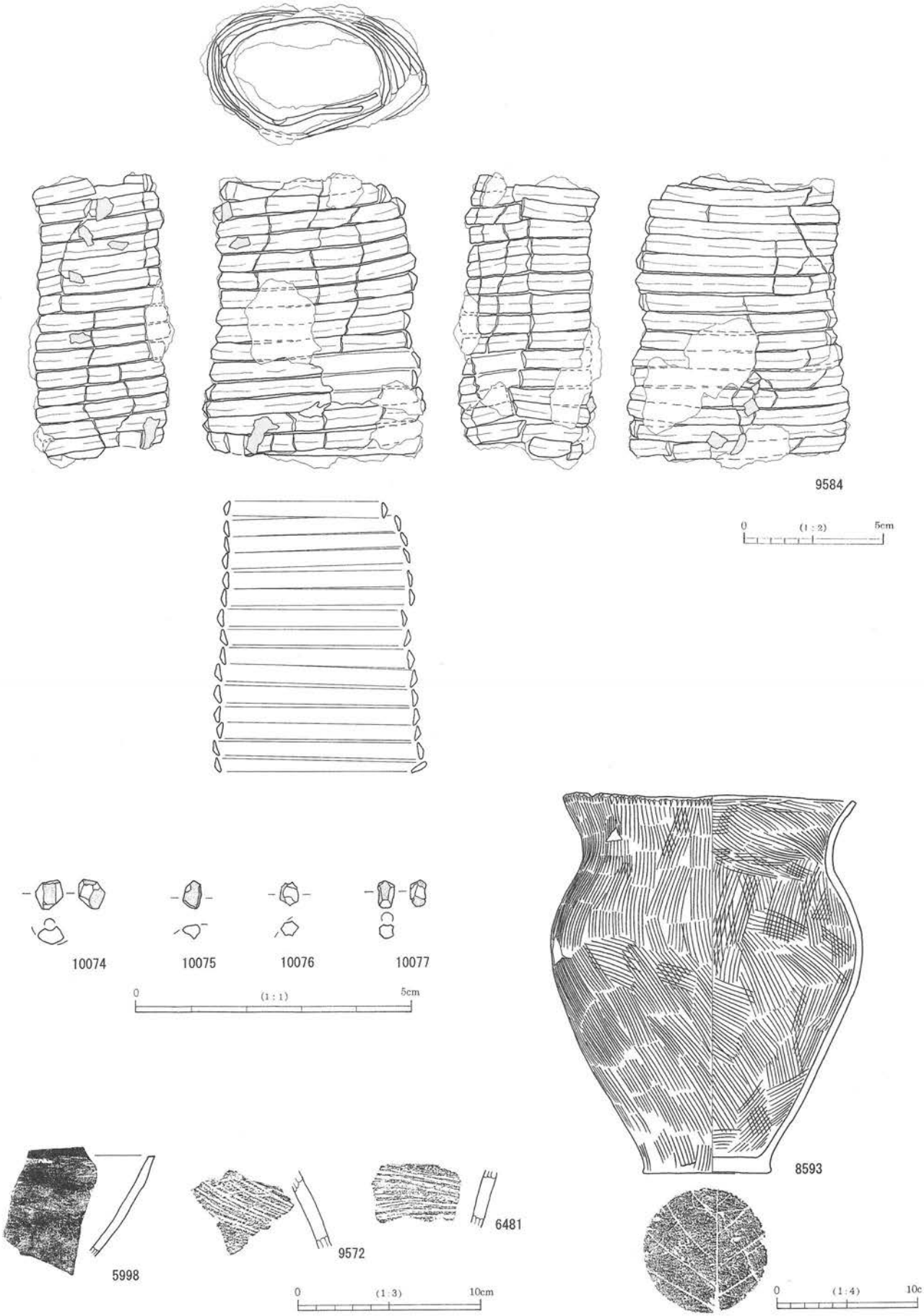
第68図　5号周溝墓



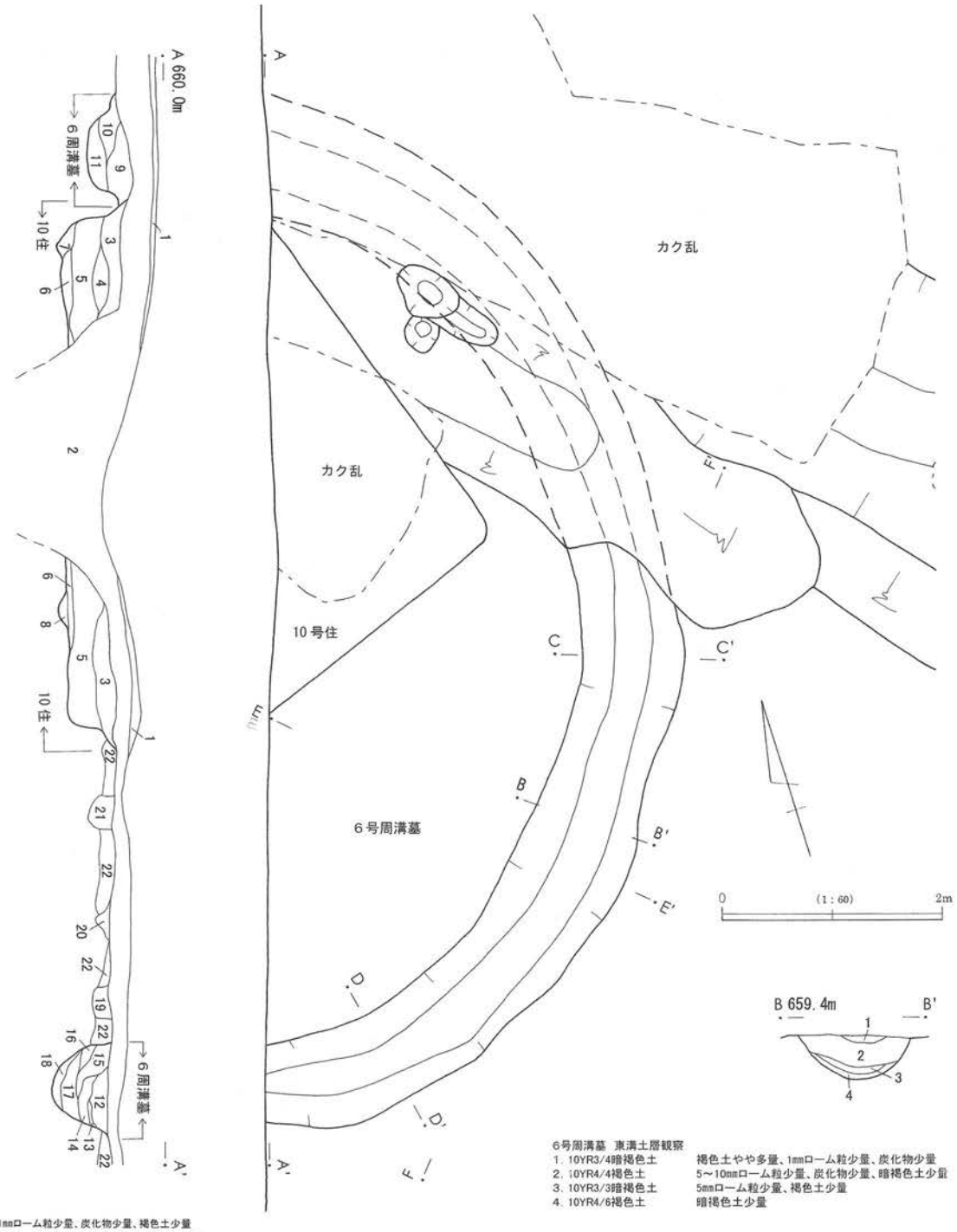
第69図　5号周溝墓遺物出土状況



第70図　5号周溝墓埋葬主体部、出土遺物①



第 71 図　5 号周溝墓出土遺物②



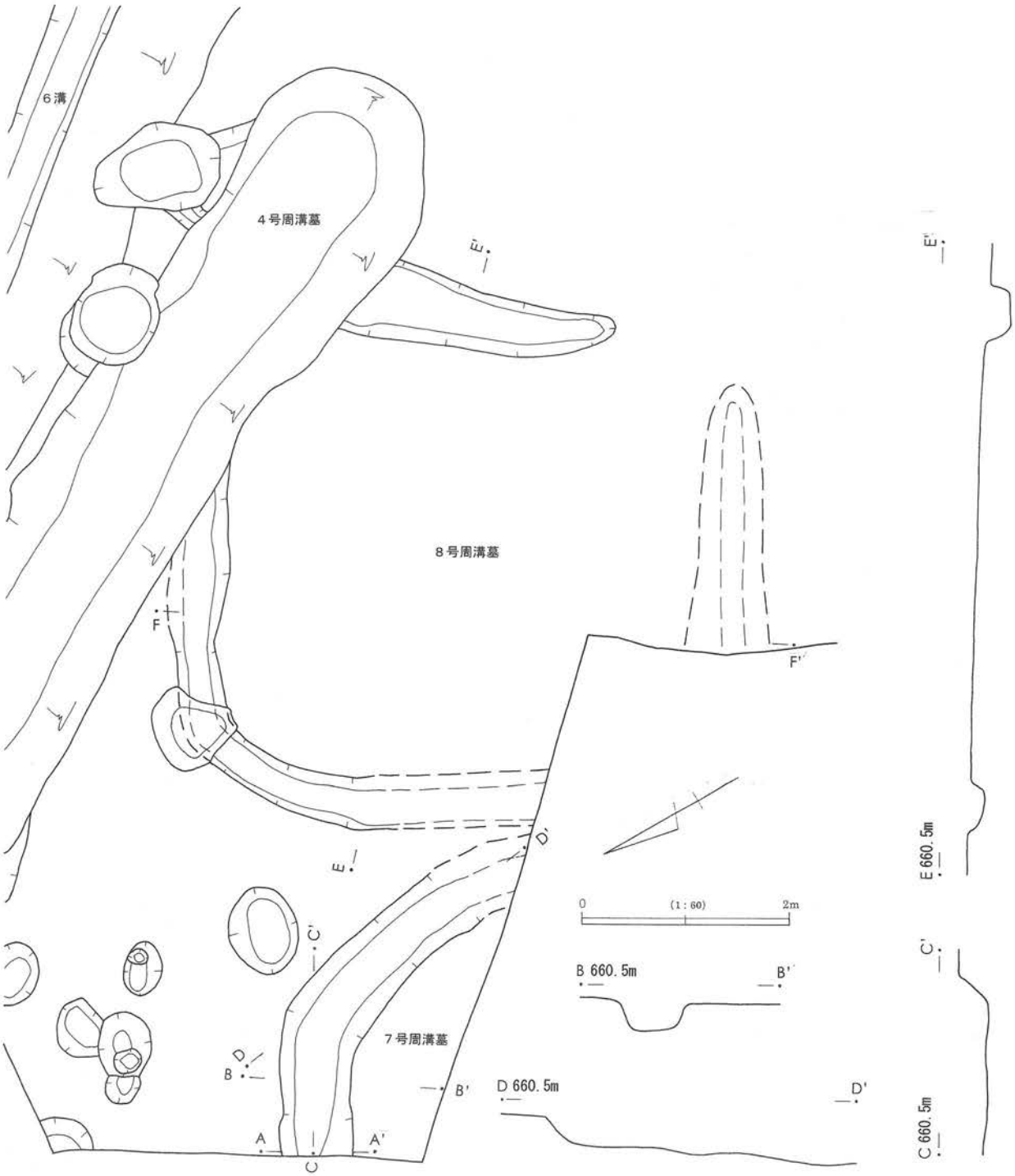
10号住 土層観察 (A-A')

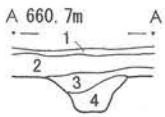
1. 表土
2. カク乱
3. 10YR3/3暗褐色土　1mmローム粒少量、炭化物少量、褐色土少量
4. 10YR4/3にぶい黄褐色土　1mmローム粒少量、炭化物少量、暗褐色土少量
5. 10YR3/4暗褐色土　1～5mmローム粒やや多量、褐色土少量、黄褐色土少量、炭化物少量
6. 10YR3/4暗褐色土　暗褐色土多量、5mmローム粒やや少量、炭化物少量
7. 10YR4/4褐色土　1～3mmローム粒多量、炭化物少量、黒褐色土少量
8. 10YR3/3暗褐色土　褐色土やや多量、1cmローム粒少量
9. 10YR3/4暗褐色土　1mmローム粒少量、黒褐色土少量、炭化物少量
10. 10YR4/4褐色土　1mmローム粒少量、炭化物少量
11. 10YR4/3にぶい黄褐色　1mmローム粒やや多量、暗褐色土やや多量、黄褐色土少量
12. 10YR3/3暗褐色土　5mmローム粒少量、炭化物少量、褐色土少量
13. 10YR4/6褐色土　暗褐色土少量
14. 10YR3/4暗褐色土　5mmローム粒少量、炭化物少量、褐色土少量
15. 10YR4/4褐色土　暗褐色土多量5mmローム粒少量、炭化物少量
16. 10YR3/4暗褐色土　炭化物少量、褐色土少量
17. 10YR3/3暗褐色土　炭化物やや多量、褐色土やや多量、5mmローム粒少量
18. 10YR4/4褐色土　暗褐色やや多量、炭化物少量
19. カク乱
20. 10YR4/4褐色土　1mmローム粒少量、炭化物少量、
21. 10YR4/4褐色土　5mmローム粒少量、炭化物少量、暗褐色土少量
22. 10YR4/3にぶい黄褐色土

6号周溝墓 東溝土層観察

1. 10YR3/4暗褐色土　褐色土やや多量、1mmローム粒少量、炭化物少量
2. 10YR4/4褐色土　5～10mmローム粒少量、炭化物少量、暗褐色土少量
3. 10YR3/3暗褐色土　5mmローム粒少量、褐色土少量
4. 10YR4/6褐色土　暗褐色土少量

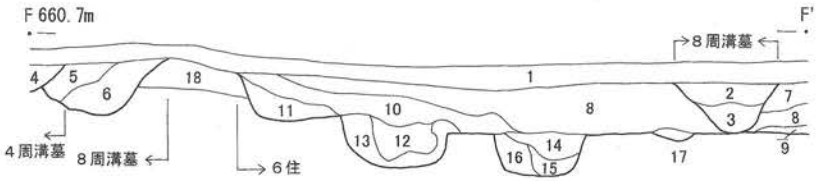
第72図　6号周溝墓





7号周溝墓　土層観察

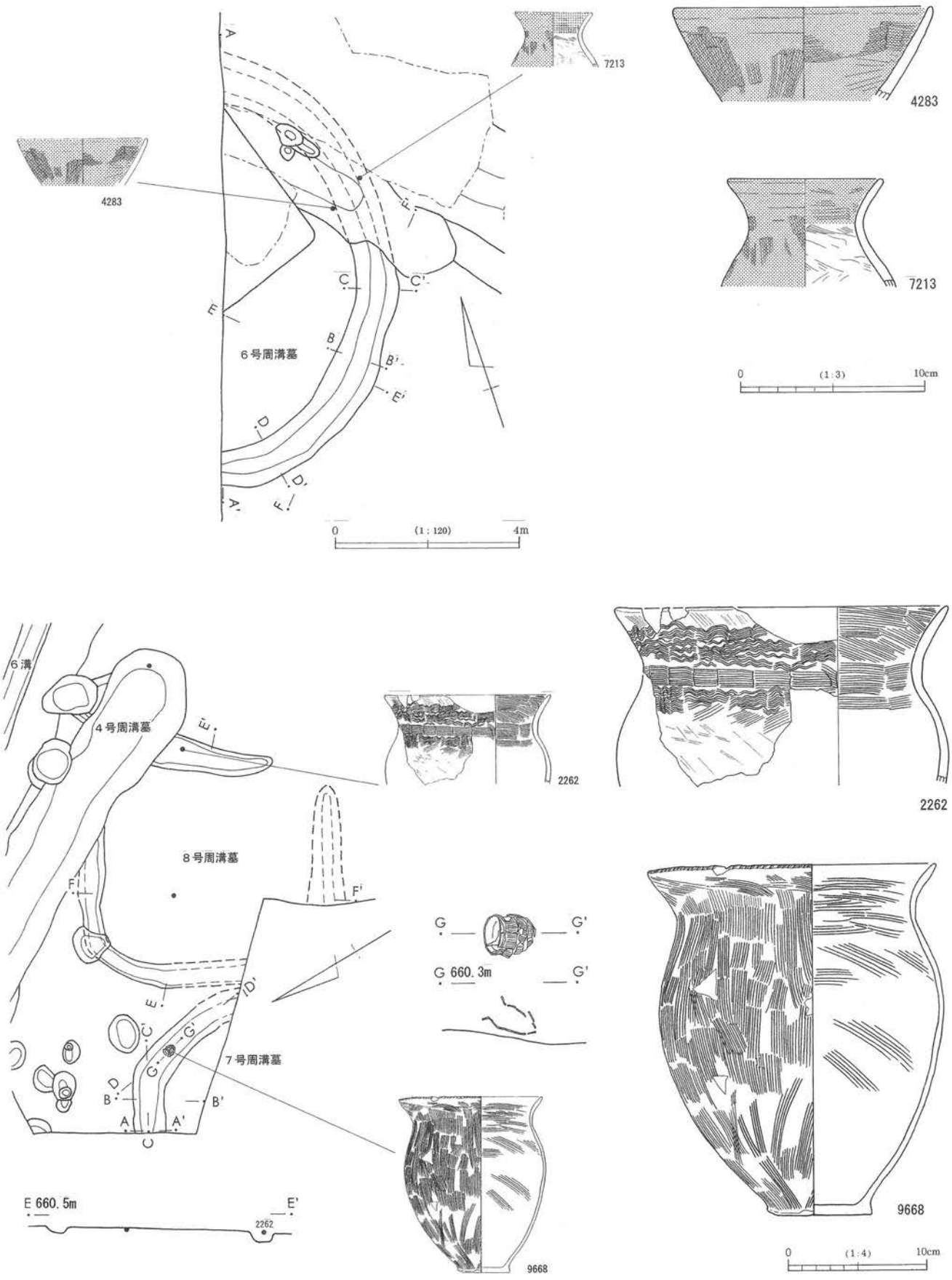
1. 10YR4/3にぶい黄褐色
2. 10YR3/3暗褐色土　黒褐色土やや多量
3. 10YR2/3黒褐色土　暗褐色土多量、褐色土少量
4. 10YR4/3暗褐色土　黒褐色土少量



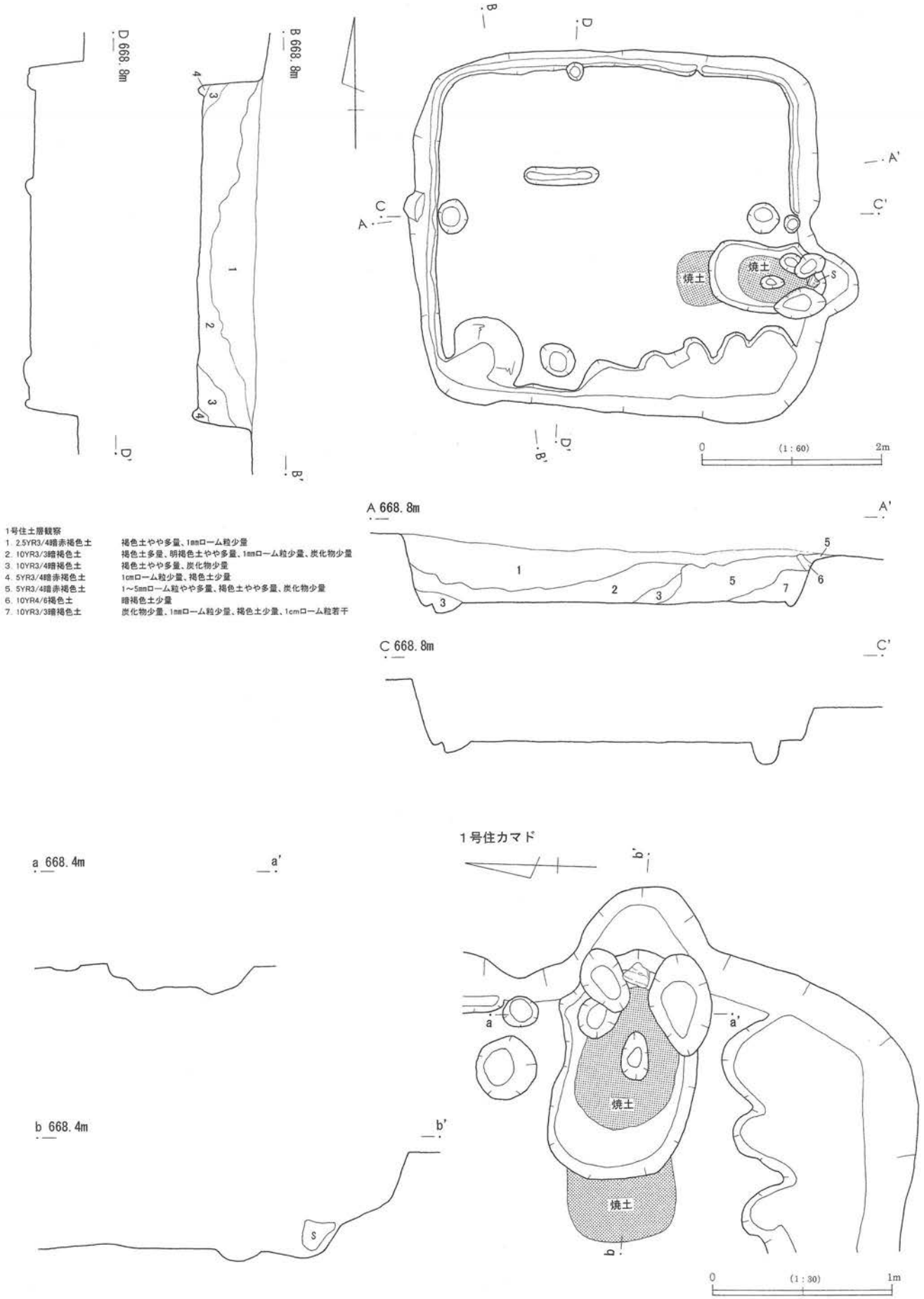
8号周溝墓　土層観察

1. 表土
2. 10YR3/3暗褐色土　5mmローム粒少量、褐色土少量
3. 10YR4/3にぶい黄褐色土　暗褐色土やや多量、5mmローム粒少量
4. 10YR2/3黒褐色土　5mmローム粒多量、炭化物やや多量、褐色土多量
5. 10YR3/3暗褐色土　褐色土少量、5mmローム粒若干
6. 10YR4/4褐色土　暗褐色土やや多量、1cmローム粒少量、炭化物若干
7. 10YR3/4暗褐色土　1～5mmローム粒少量、炭化物少量、褐色土少量
8. 10YR4/4褐色土　暗褐色土やや多量、1～5mmローム粒少量、炭化物
9. 10YR4/6褐色土　暗褐色土やや多量、1～6mmローム粒少量、炭化物
10. 10YR4/3にぶい黄褐色土　暗褐色土やや多量、1～7mmローム粒少量、炭化物
11. 10YR4/4褐色土　暗褐色土やや多量、1～8mmローム粒少量、炭化物
12. 10YR4/6褐色土　暗褐色土やや多量、1～9mmローム粒少量、炭化物
13. 10YR5/6黄褐色土
14. 10YR4/6褐色土　暗褐色土やや多量、5mmローム粒少量、炭化物少量
15. 10YR4/4褐色土　炭化物少量、暗褐色土少量
16. 10YR5/4にぶい黄褐色土　炭化物少量、暗褐色土少量
17. 10YR4/6褐色土　炭化物少量、暗褐色土少量
18. 10YR5/8黄褐色土

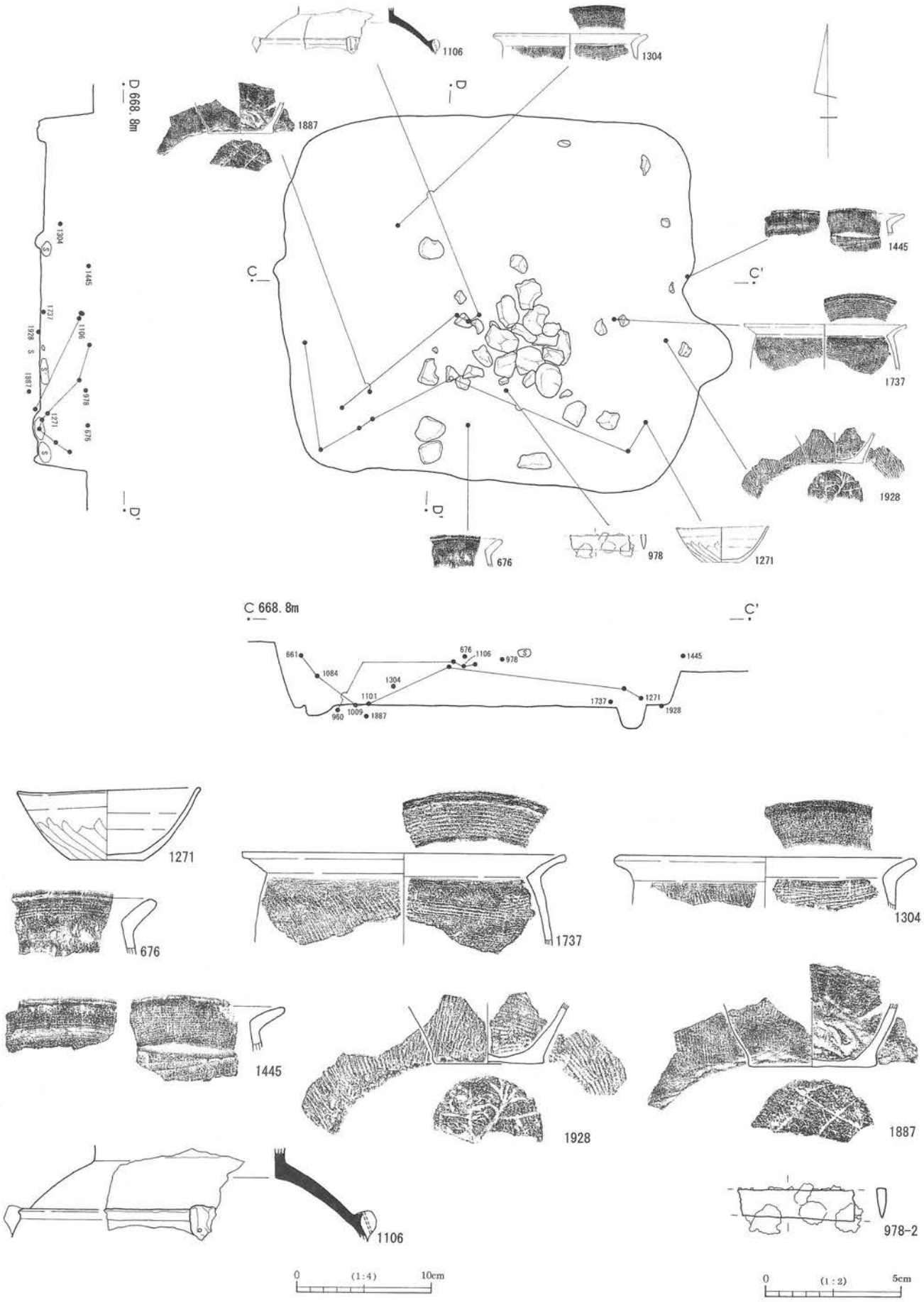
第73図　7・8号周溝墓



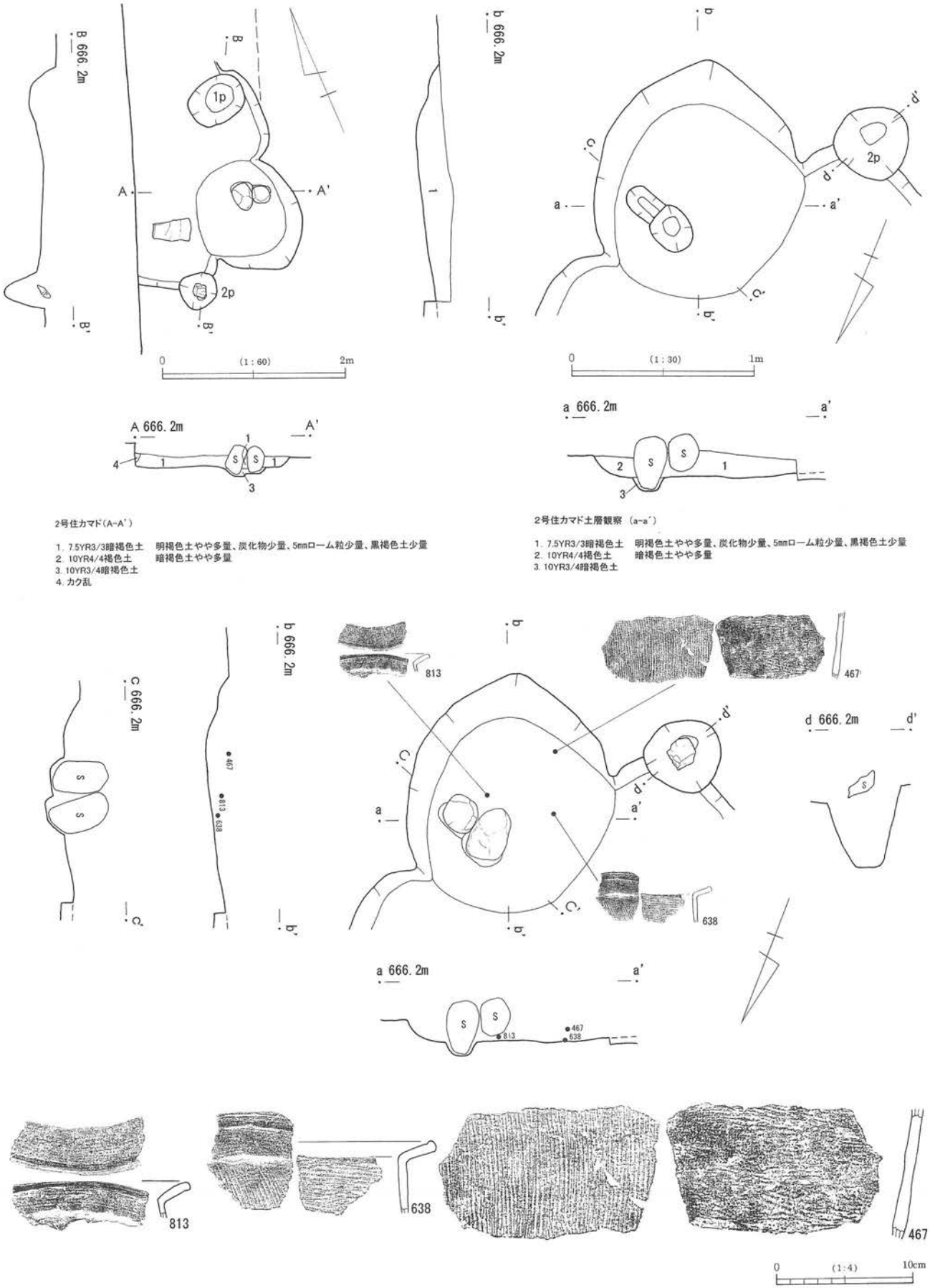
第74図　6～8号周溝墓遺物出土状況、出土遺物



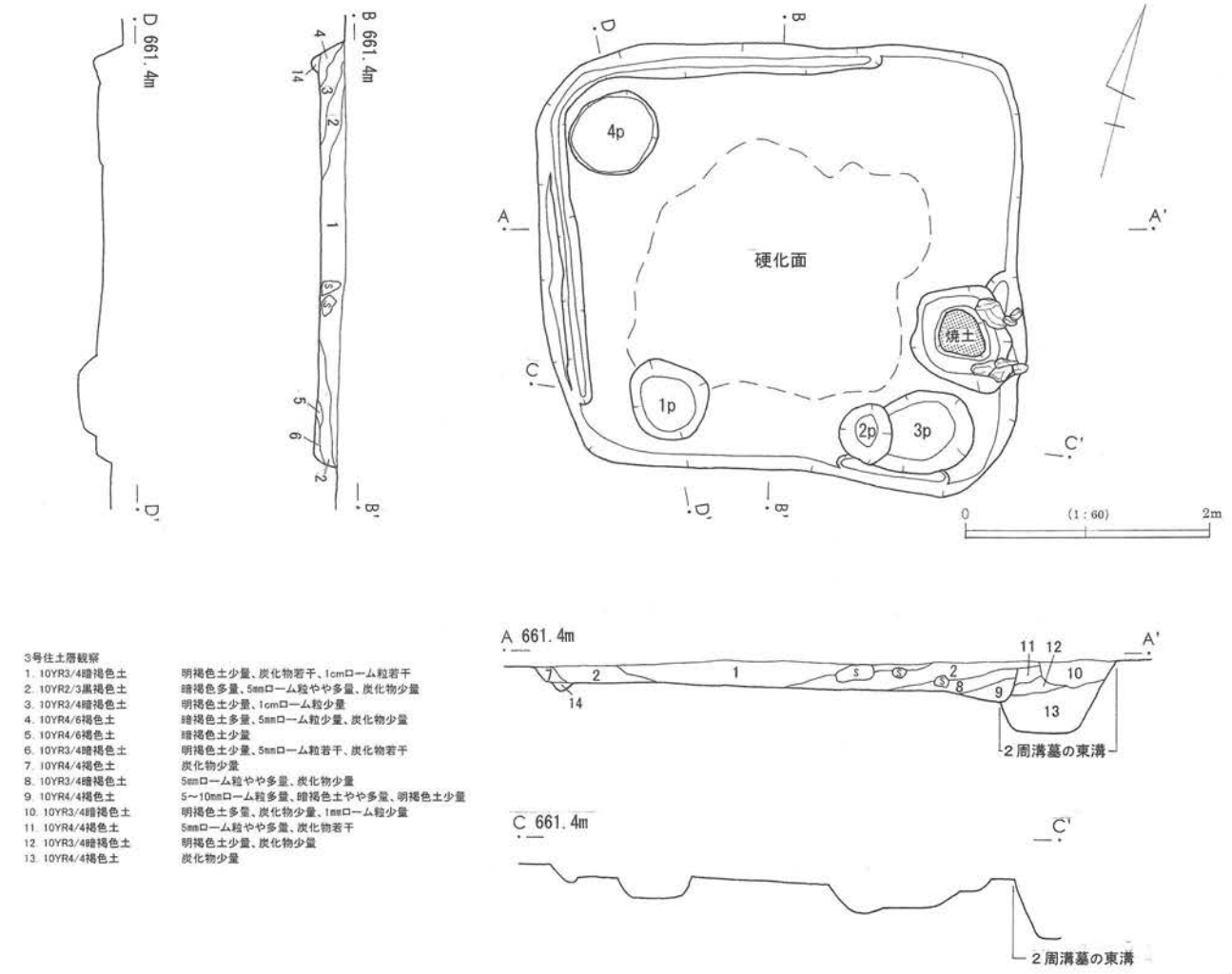
第75図　1号住居跡、カマド



第 76 図　1 号住居跡遺物出土状況、出土遺物



第77図　2号住居跡、カマド、出土遺物



3号住土層観察

1. 10YR3/4暗褐色土	明褐色土少量、炭化物若干、1cmローム粒若干
2. 10YR2/3黒褐色土	暗褐色多量、5mmローム粒やや多量、炭化物少量
3. 10YR3/4暗褐色土	明褐色土少量、1cmローム粒少量
4. 10YR4/6褐色土	暗褐色土多量、5mmローム粒少量、炭化物少量
5. 10YR4/6褐色土	暗褐色土少量
6. 10YR3/4暗褐色土	明褐色土少量、5mmローム粒若干、炭化物若干
7. 10YR4/4褐色土	炭化物少量
8. 10YR3/4暗褐色土	5mmローム粒やや多量、炭化物少量
9. 10YR4/4褐色土	5～10mmローム粒多量、暗褐色土やや多量、明褐色土少量
10. 10YR3/4暗褐色土	明褐色土多量、炭化物少量、1mmローム粒少量
11. 10YR4/4褐色土	5mmローム粒やや多量、炭化物若干
12. 10YR3/4暗褐色土	明褐色土少量、炭化物少量
13. 10YR4/4褐色土	炭化物少量

3号住2号ピット土層観察(e-e')

1. 10YR3/4暗褐色土	5mmローム粒少量、炭化物少量、明褐色土少量
2. 10YR4/3にぶい黄褐色土	明褐色土多量、5mmローム粒少量、炭化物若干

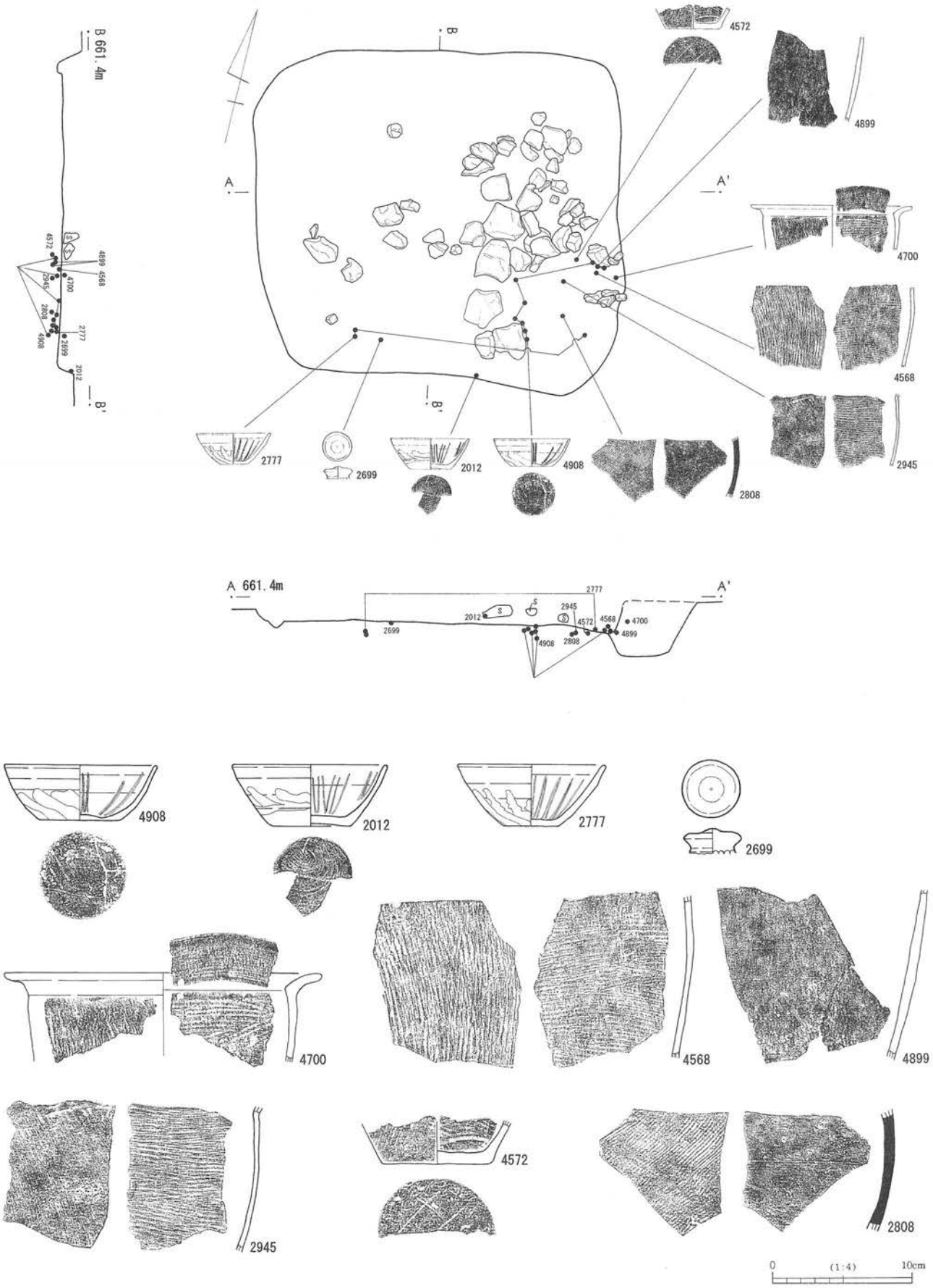
3号住1号ピット土層観察 (f-f')

1. 10YR4/4褐色土	5mmローム粒少量
2. 10YR3/4暗褐色土	焼土粒多量、5mmローム粒多量
3. 10YR4/6褐色土	暗褐色土やや多量
4. 10YR4/4褐色土	

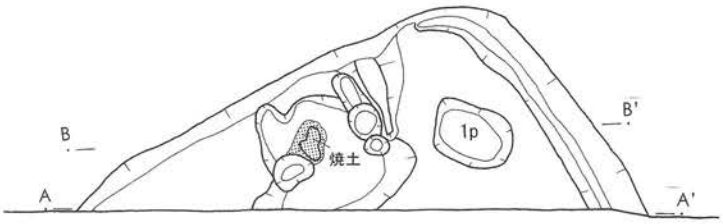
3号住カマド土層観察

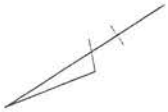
1. 10YR3/4暗褐色土	褐色土少量、焼土粒少量
2. 10YR3/2黒褐色土	褐色土少量、炭化物少量、5mmローム粒少量、焼土粒少量
3. 10YR4/4褐色土	暗褐色土多量、焼土粒多量、炭化物多量
4. 10YR3/4暗褐色土	焼土粒多量
5. 10YR4/6褐色土	5mmローム粒多量、暗褐色土少量
6. 10YR3/3暗褐色土	焼土粒多量、5mmローム粒少量
7. 10YR4/4褐色土	5mmローム粒少量、暗褐色土少量
8. 10YR4/6褐色土	5mmローム粒少量
9. 10YR4/4褐色土	明褐色土少量

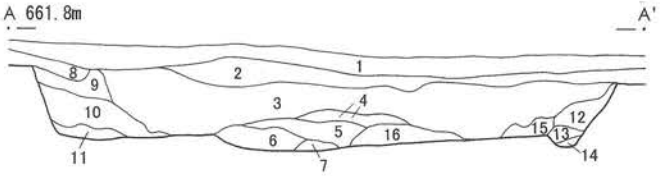
第78図　3号住居跡、カマド、1～3号ピット



第 79 図　3 号住居跡遺物出土状況、出土遺物

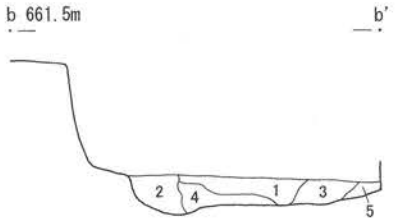






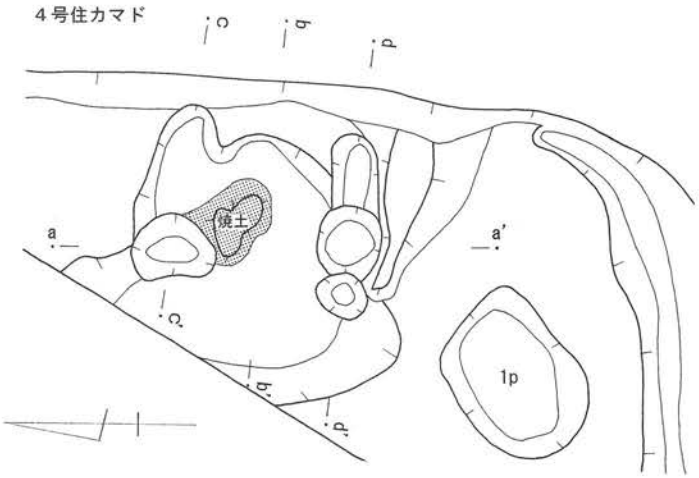
4号住土層観察 (A-A')

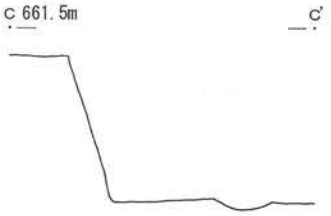
1. 10YR4/4褐色土	表土
2. 10YR3/3暗褐色土	5mmローム粒少量、褐色土少量、炭化物少量
3. 10YR3/4暗褐色土	褐色土多量、5mmローム粒多量、黄褐色土少量、炭化物
4. 10YR4/6褐色土	黄褐色土やや多量、暗褐色土少量
5. 10YR3/3暗褐色土	焼土粒多量、褐色土多量、炭化物少量
6. 10YR4/3にぶい黄褐色土	焼土粒多量、明褐色土やや多量、炭化物やや多量
7. 10YR4/6褐色土	焼土粒やや多量、しまりあり、炭化物やや多量
8. 10YR3/4暗褐色土	褐色土少量、炭化物若干
9. 10YR4/4褐色土	暗褐色土少量
10. 10YR3/3暗褐色土	褐色土多量、炭化物少量、1cmローム粒少量
11. 10YR4/3にぶい黄褐色土	暗褐色土少量、炭化物若干
12. 10YR4/4褐色土	5mmローム粒少量、褐色土少量
13. 10YR3/3暗褐色土	褐色土やや多量
14. 10YR4/6褐色土	暗褐色土少量
15. 10YR5/4にぶい黄褐色土	5mmローム粒少量、暗褐色土少量、白色粘土少量
16. 10YR3/3暗褐色土	褐色土多量、5mmローム粒少量、焼土粒少量、炭化物少

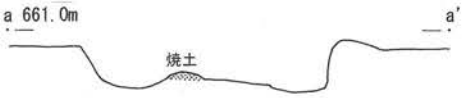


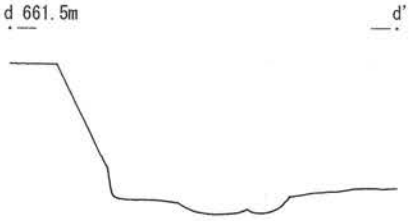
4号住カマド土層観察 (b-b')

1. 10YR3/4暗褐色土	焼土粒多量、1cmローム粒やや多量、炭化物小量
2. 10YR2/3黒褐色土	1cmローム粒多量、焼土粒多量、炭化物多量
3. 10YE2/3黒褐色土	焼土粒多量、炭化物少量
4. 10YR4/6褐色土	1cmローム粒多量、焼土粒多量
5. 10YR4/6褐色土	5mローム粒少量、しまりあり

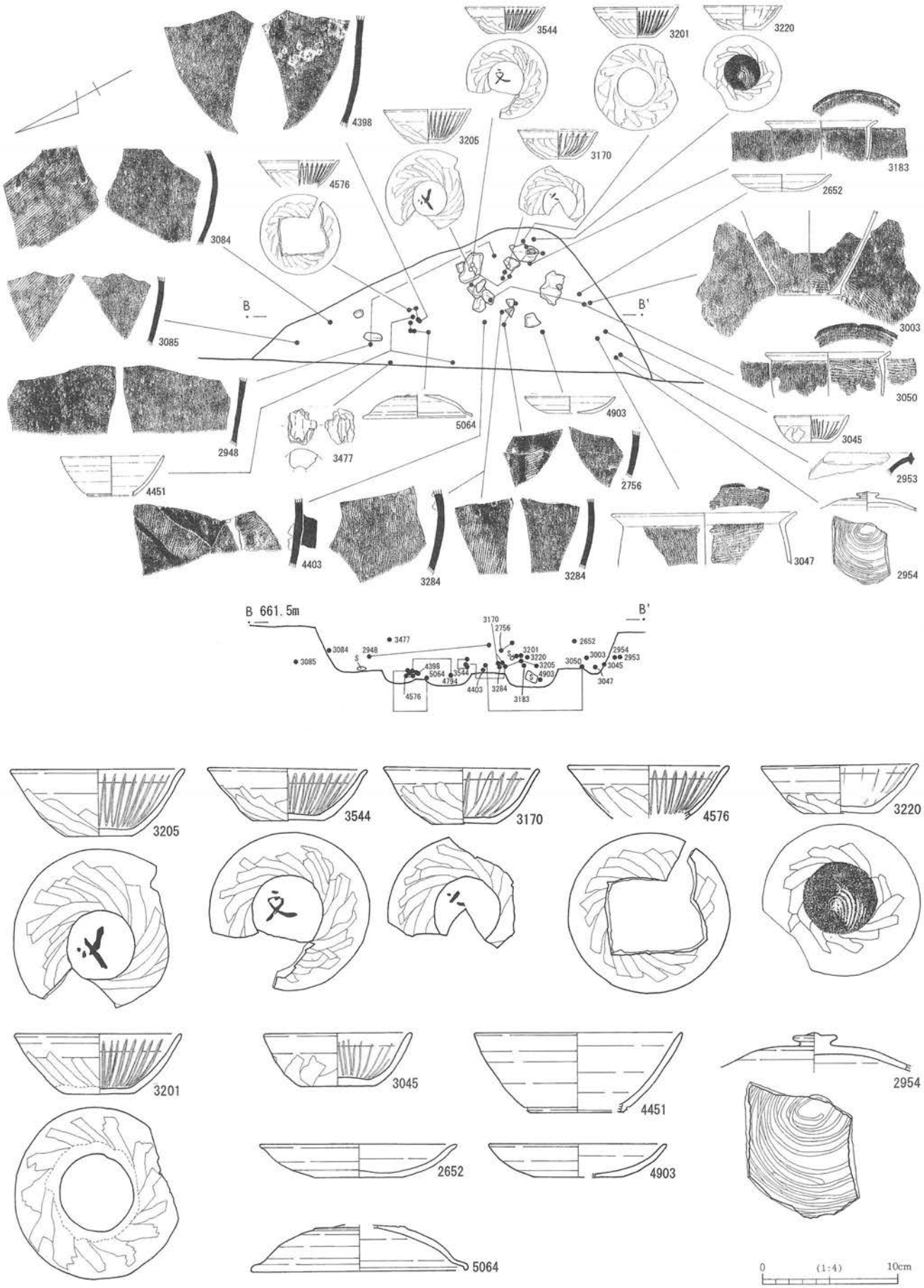




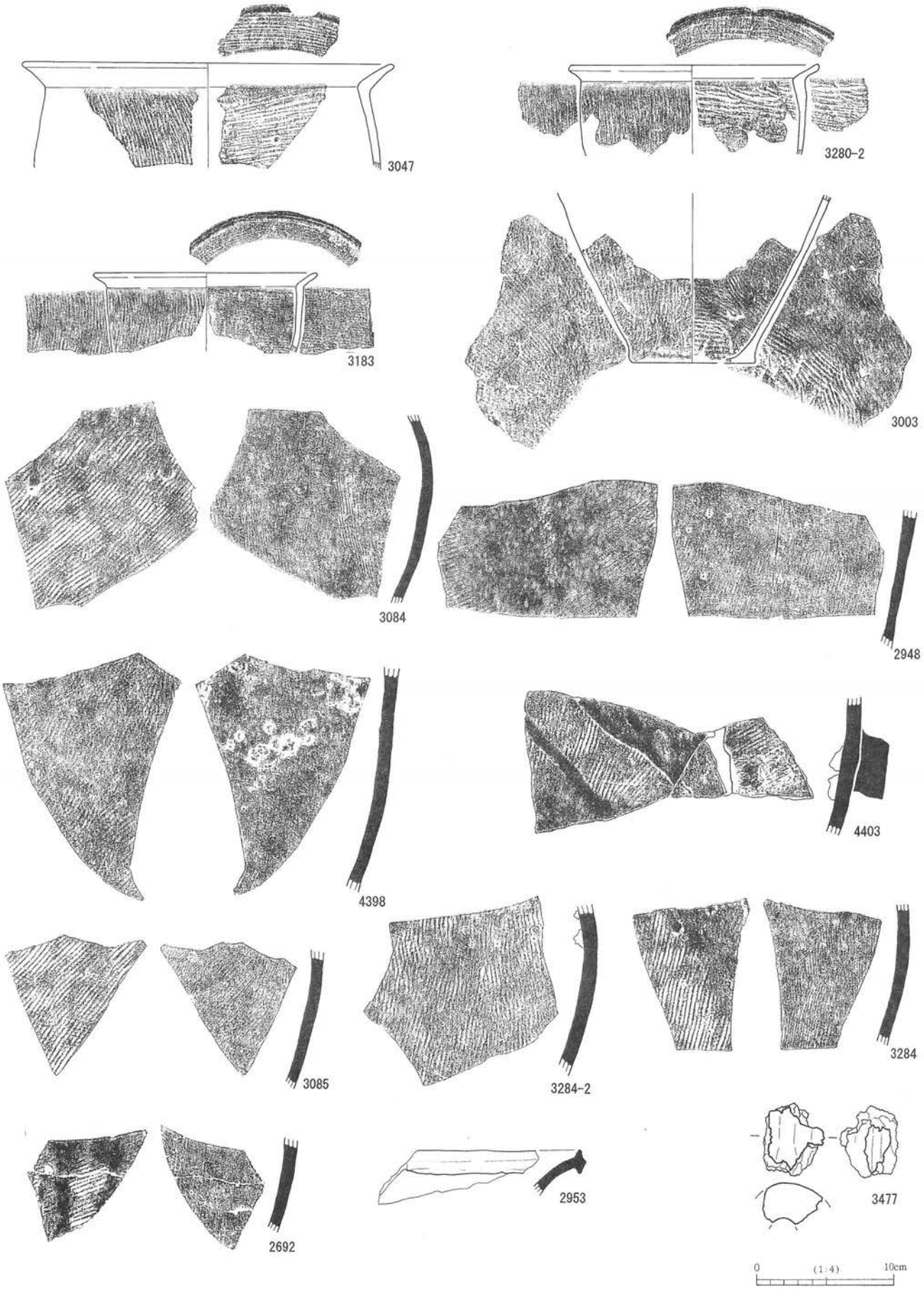




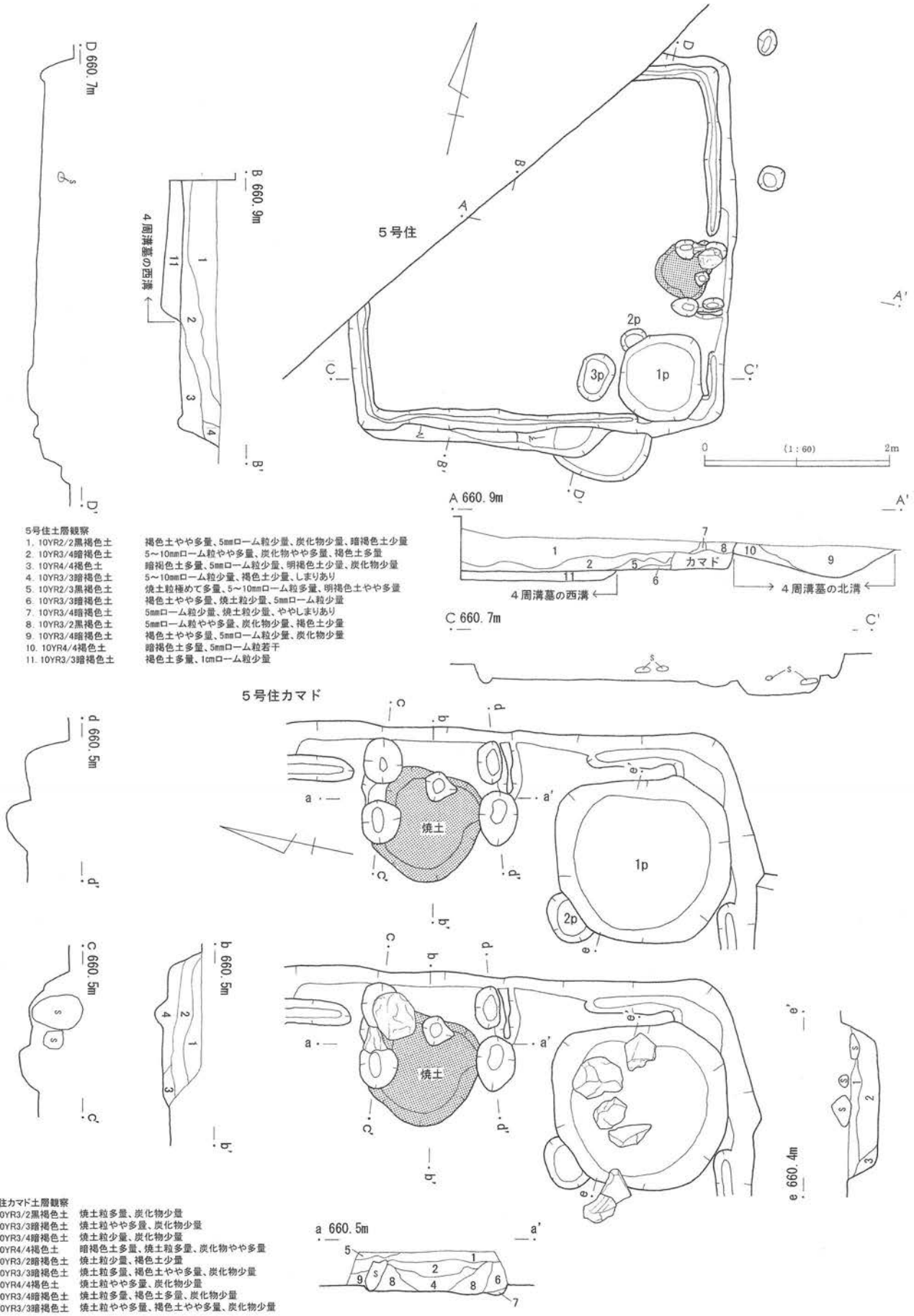
第80図　4号住居跡、カマド



第 81 図　4 号住居跡遺物出土状況、出土遺物①



第 82 図　4 号住居跡出土遺物②



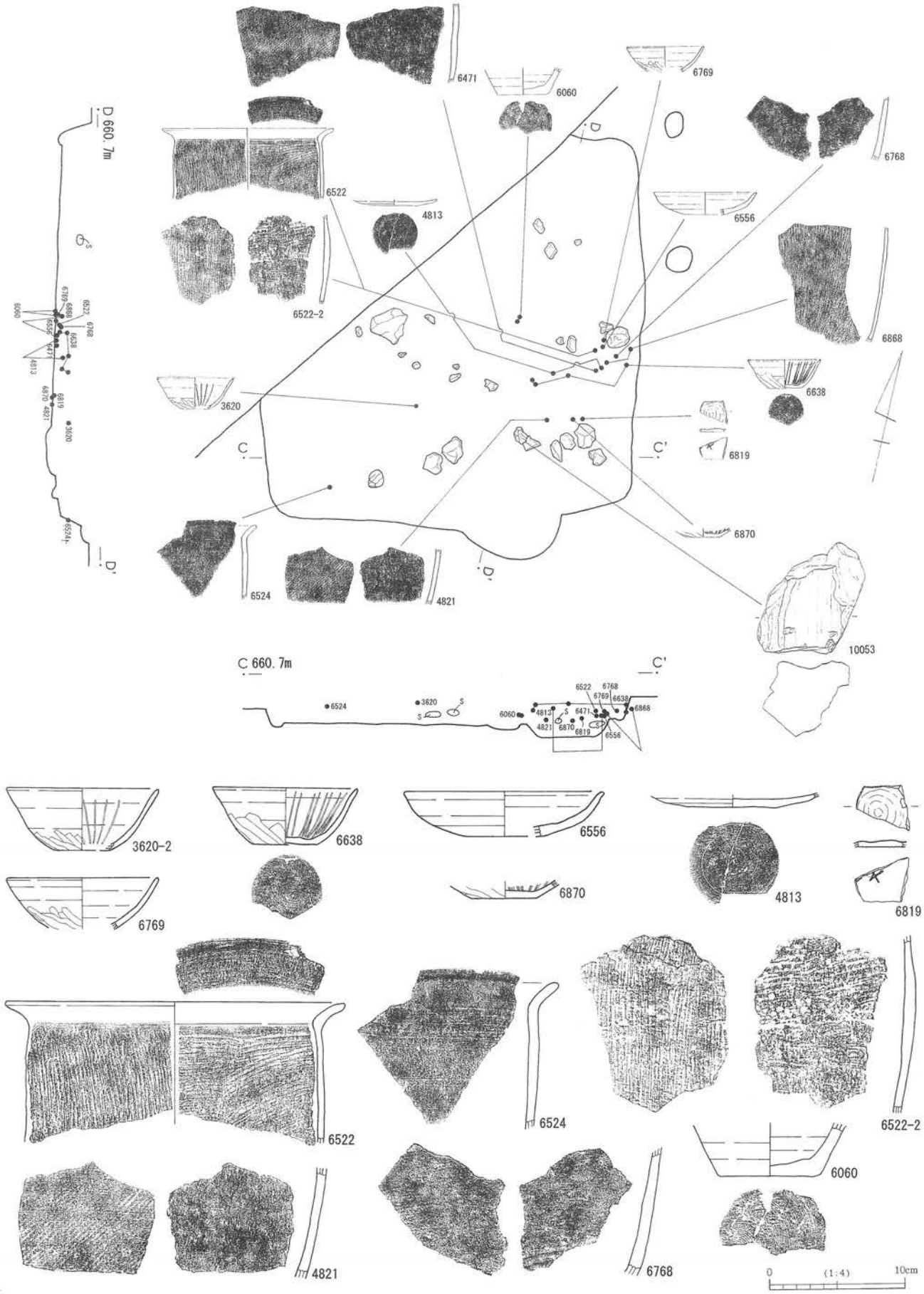
5号住土層観察

1. 10YR2/2黒褐色土	褐色土やや多量、5mmローム粒少量、炭化物少量、暗褐色土少量
2. 10YR3/4暗褐色土	5～10mmローム粒やや多量、炭化物やや多量、褐色土多量
3. 10YR4/4褐色土	暗褐色土多量、5mmローム粒少量、明褐色土少量、炭化物少量
4. 10YR3/3暗褐色土	5～10mmローム粒少量、褐色土少量、しまりあり
5. 10YR2/3黒褐色土	焼土粒極めて多量、5～10mmローム粒多量、明褐色土やや多量
6. 10YR3/3暗褐色土	褐色土やや多量、焼土粒少量、5mmローム粒少量
7. 10YR3/4暗褐色土	5mmローム粒少量、焼土粒少量、ややしまりあり
8. 10YR3/2黒褐色土	5mmローム粒やや多量、炭化物少量、褐色土少量
9. 10YR3/4暗褐色土	褐色土やや多量、5mmローム粒少量、炭化物少量
10. 10YR4/4褐色土	暗褐色土多量、5mmローム粒若干
11. 10YR3/3暗褐色土	褐色土多量、1cmローム粒少量

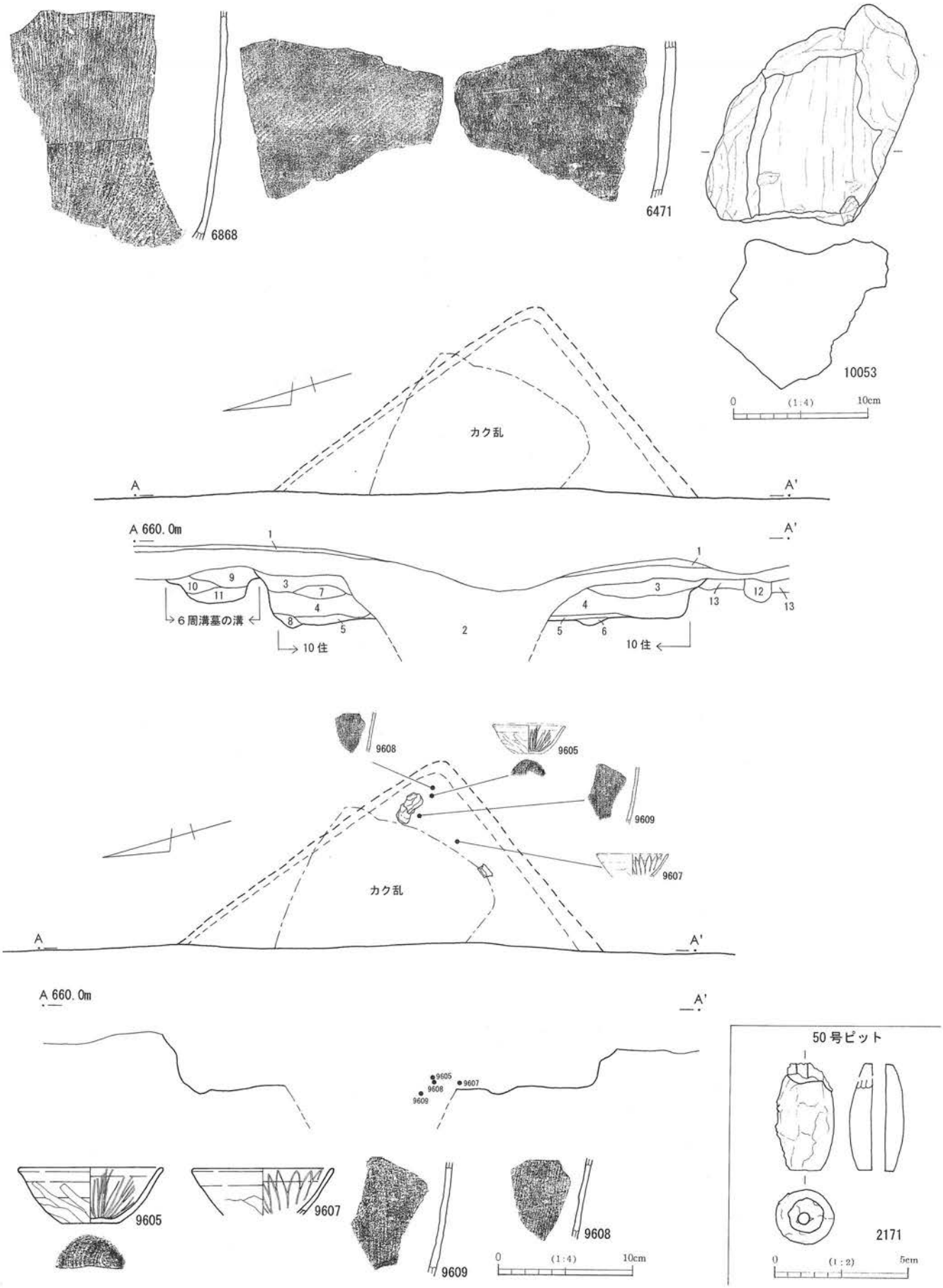
5号住カマド土層観察

1. 10YR3/2黒褐色土	焼土粒多量、炭化物少量
2. 10YR3/3暗褐色土	焼土粒やや多量、炭化物少量
3. 10YR3/4暗褐色土	焼土粒少量、炭化物少量
4. 10YR4/4褐色土	暗褐色土多量、焼土粒多量、炭化物やや多量
5. 10YR3/2暗褐色土	焼土粒少量、褐色土少量
6. 10YR3/3暗褐色土	焼土粒多量、褐色土やや多量、炭化物少量
7. 10YR4/4褐色土	焼土粒やや多量、炭化物少量
8. 10YR3/4暗褐色土	焼土粒多量、褐色土多量、炭化物少量
9. 10YR3/3暗褐色土	焼土粒やや多量、褐色土やや多量、炭化物少量

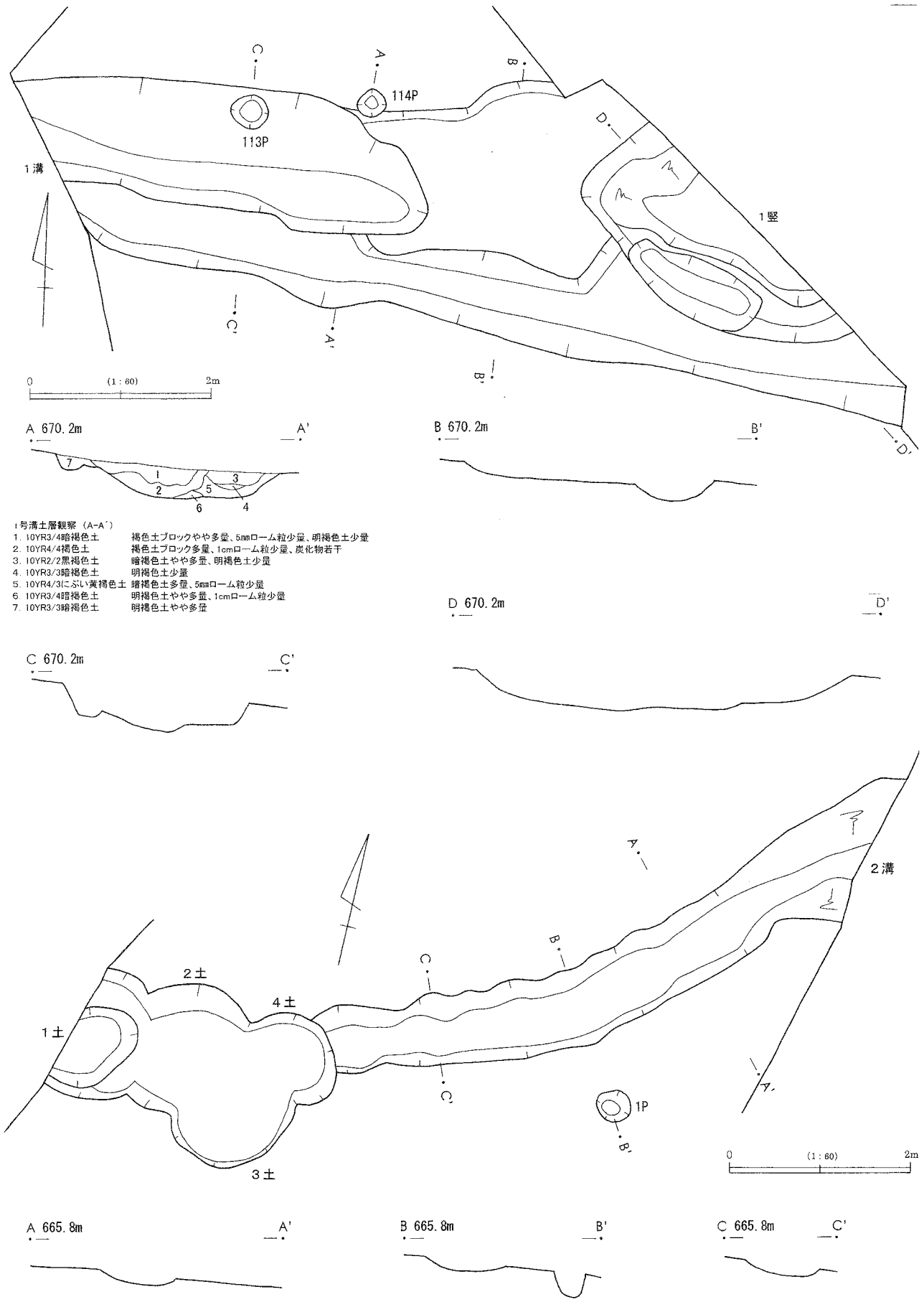
第83図　5号住居跡、カマド、1号ピット



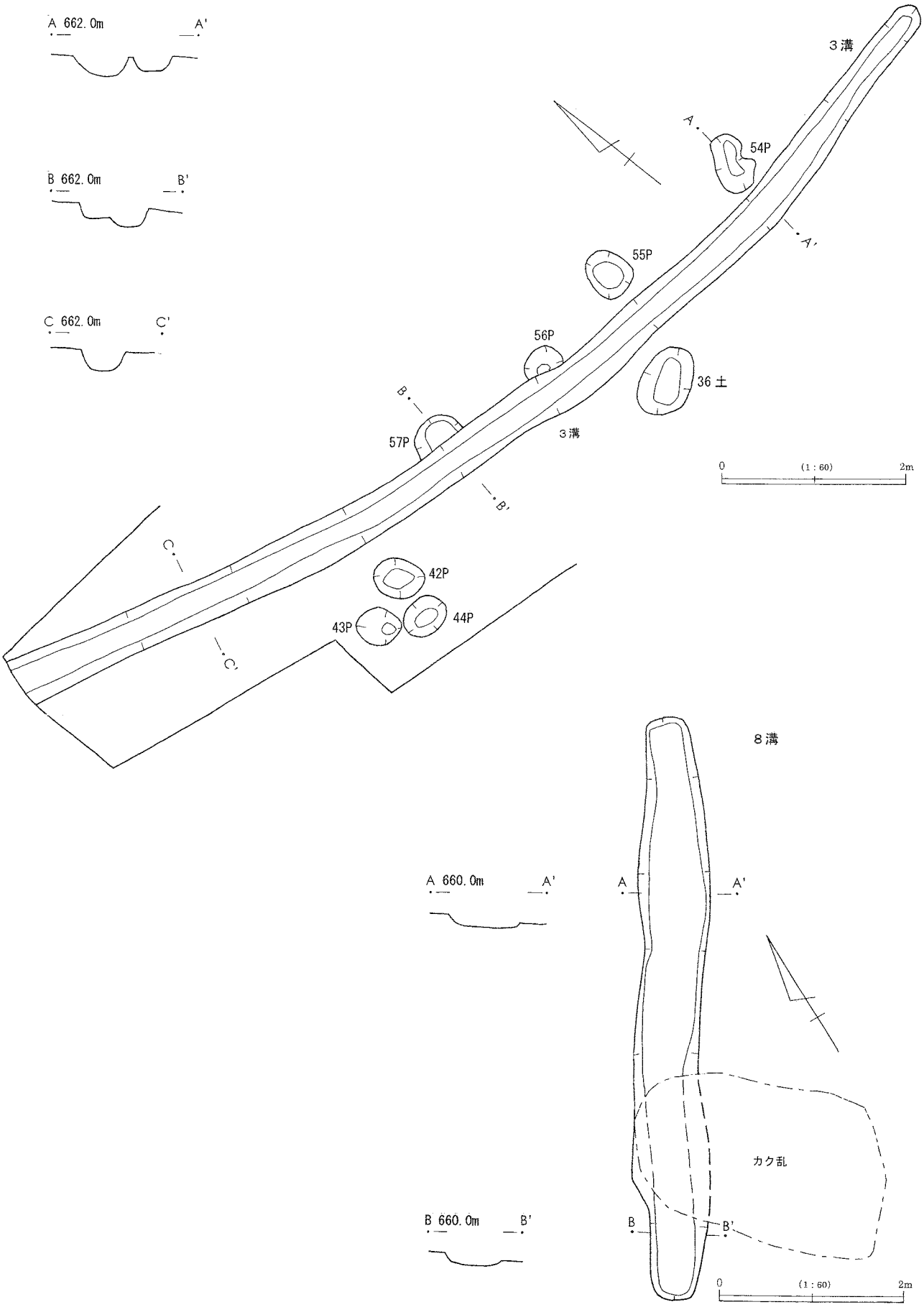
第 84 図　5 号住居跡遺物出土状況、出土遺物①



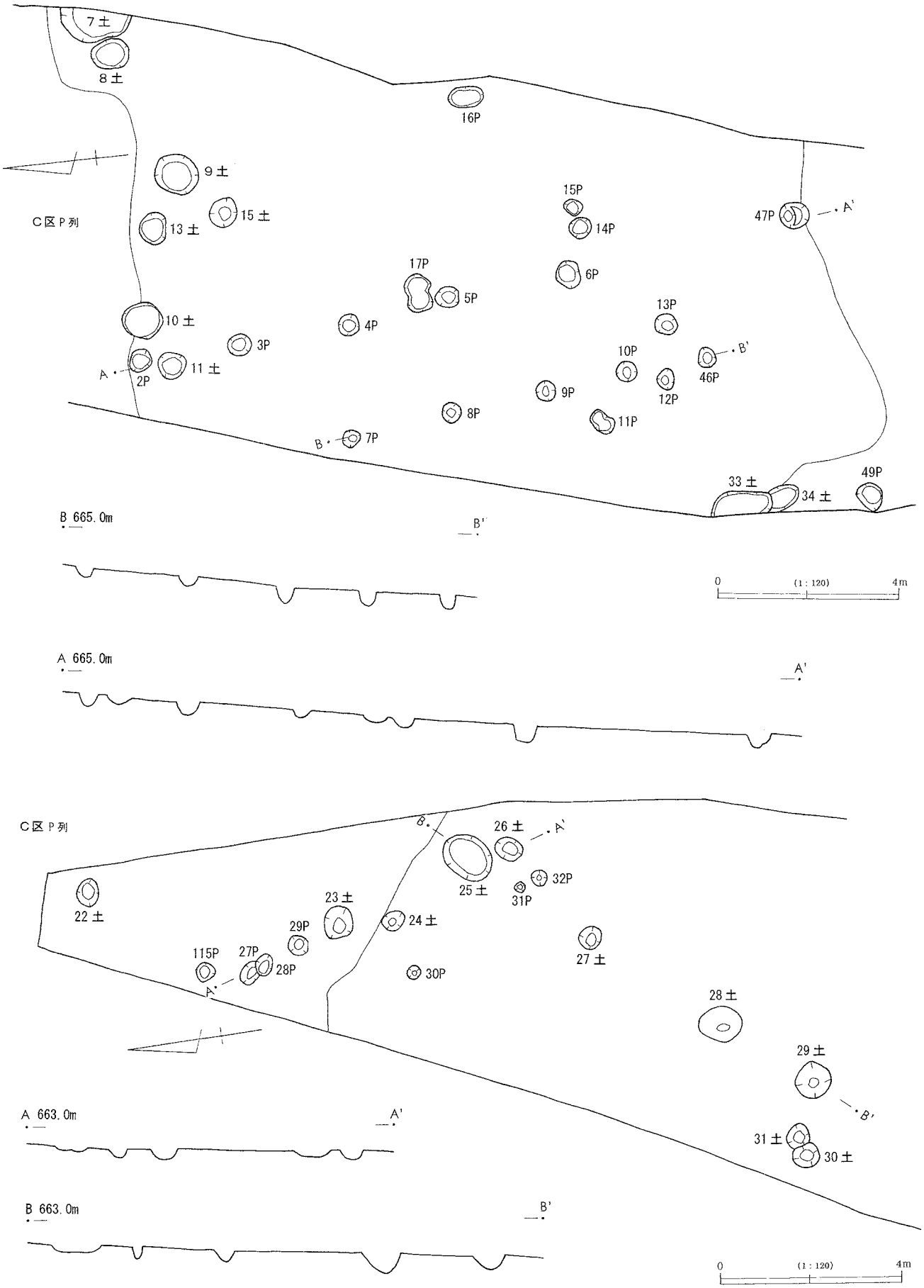
第85図　5号住居跡出土遺物②、10号住居跡、遺物出土状況、出土遺物、50号ピット出土遺物



第86図　1号竪穴状遺構、1・2号溝


A 662.0m
A'
B 662.0m
B'
C 662.0m
C'
3溝
54P
55P
56P
36土
57P
3溝
42P
43P
44P
0
(1:60)
2m
8溝
A 660.0m
A'
A
A'
カク乱
B 660.0m
B'
B
B'
0
(1:60)
2m

第87図　3・8号溝



第88図　B区土坑・ピット群・C区土坑・ピット群

第４章　調査の成果と課題

今回の調査で、旧石器時代・縄文時代・弥生時代・平安時代の遺構・遺物が発見された。以下、注目される成果と課題について述べていく。

第１節　調査区内における遺構の変遷

今回調査した範囲における、遺構の変遷は以下の通りである（第90図）。

旧石器時代：遺構は発見されていないが、Ｂ区とＣ区から石器が出土している。Ｂ区ではややまとまっており、Ｃ区では散在している。Ｂ区の石器出土地点は、北からの傾斜が一旦緩やかになりわずかに平坦になるところである。Ｃ区南側も同様に平坦であるので、そのような場所を主に利用していた様子が伺える。

縄文時代：中期後半曽利式期の住居跡がＣ区の南側に５軒まとまって発見された。11号住が曽利Ⅳ～Ⅴ式期で、それ以外は曽利Ⅳ式期である。調査区西側の試掘調査の結果、曽利式期の遺構・遺物が広範囲に発見されることが推定されており、その範囲は南北で約200ｍに及ぶ（第５図）。今回はその一部を調査したことになるが、住居跡はＣ区の南側に偏り、重複関係もなかったので、おそらく曽利式期の集落は中規模な集落と考えられる。

弥生時代（中期）：住居跡の可能性のある１号組石遺構がＡ区の中央に、墓壙あるいは貯蔵穴と思われる55号土坑がＣ区中央に発見された。弥生中期の土器片はＢ区ではわずかであるが、Ａ・Ｃ区から多数出土した。土器の分布状況も含めて考えると、調査区の南北に活動場所が形成されていたことになる。55号土坑を墓壙と仮定すると、北に居住域、南に墓域が分かれていたと考えることもできるが、55号土坑周辺の弥生中期土器出土数の多さが気にかかる。北側の居住域以上に土器が出土しているため、単に墓域としてのみ利用されていたとは考え難い。55号土坑は貯蔵穴と考え、それが後に墓壙として利用されたととらえて、周辺に住居の存在を考慮した方が妥当ではなかろうか。なお、１号組石遺構と55号土坑との距離は約180ｍ離れている。

弥生時代（後期）：Ｃ区中央に８基の周溝墓がある。方形のものが６基、円形のものが２基であろう。形態や主軸の違い等で数段階の変遷が考えられる。弥生後期の土器片は、弥生中期と違い出土数は少なく、ほとんどが周溝墓群周辺から出土している。調査区内で当該期の住居跡は発見されなかった。

平安時代：Ａ～Ｃ区の全てに住居跡が発見された。Ｃ区に４軒と多いが、Ａ区・Ｂ区周辺にも住居跡がいくつか存在するであろう。住居跡は６軒であり、９世紀中頃から10世紀初頭の集落と考えられる。９世紀中頃のものは３号住の１軒、９世紀後半のものは２・４・５・10号住の４軒、９世紀末から10世紀初頭のものは１号住の１軒である。八ヶ岳南麓の平安住居は、３・４号住のように時期的に近い２軒が隣り合って発見される傾向があるので、それ以外の住居跡でも調査区外に隣り合う住居跡が発見される可能性は高い。

Ｂ区の南側とＣ区の北端にピット群があり、そのいくつかは列をなしている。主軸方向が平安時代の住居跡の主軸と近いものもあるので、ピット列は平安時代のものと考えることもできる。なお、土錘が出土した50号ピットはＢ区南端にある。

第２節　旧石器時代石器について

旧石器時代の石器が20点出土した。これらは主に漸移層であるにぶい黄褐色土層から出土しているが、他の時代の遺構からも出土しているので、はっきりと他の時代の遺物と層位的に分離できた訳ではない。明らかにナイフ形石器や石刃と判断できる石器の石質が夾雑物を多く含むものであったので、それと同じ石質のものを出土した黒曜石全点の中から選び出した。蓼科冷山群の黒曜石に偏っているのはそのためである。

石器の分布はＢ区とＣ区に分かれる（第19図）。Ｂ区出土石器は全て蓼科冷山群で、Ｃ区出土石器は蓼科冷山群・諏訪星ヶ台群・水晶・頁岩と数種類の石材がある。Ｂ区出土石器は比較的まとまって出土しているので、同じ石器群と考えてもよいであろう。Ｃ区出土石器は、ほとんどが他の時代の遺構から出土しているので、厳密に言えばＢ区と同じ石器群である保証はない。

編年的位置付けは、角張氏の報文では第17図１・２のナイフ形石器は南関東のⅦ層相当の石器群に類似し、一側縁基部加工のナイフ形石器は類例を求めなくてはならないとし、類似や課題を指摘するに留まっている。確かに現段階では出土数が少なく、典型的なナイフ形石器や台形石器・掻器・彫器といった定型的な石器もないので決め手に欠き、編年的位置付けは困難であろう。今後の調査区周辺での調査の進展を待ちたい。

なお、第17図１は、角張氏はナイフ形石器としているが、背面右側縁の基部加工の剥離面光沢が他と違うため、その部分は後世のガジリと思われるので、器種は石刃の可能性がある。第17図６の楔形石器も、背面上方向の剥離面光沢が他とは違うため、その部分もガジリと思われるが、器種は楔形石器でいいと思われる。

蓼科冷山群の石器群としては、長野県茅野市渋川遺跡

や群馬県大泉町御正作遺跡が挙げられる。蓼科冷山群の原産地直下にある渋川遺跡は石器製作を行った場所と考えられ、いくつかの地点で調査が行われている。その中で第四地点ではナイフ形石器・掻器・削器・石刃などが出土し、刃器文化の前葉に位置付けられている（宮坂他1966）。石刃や剥片は、打面が自然面もしくは平坦面で広く、長さに比し幅広のものが多く、本遺跡の第17図２・８、第18図10・11・17・18などと類似する。ただ、打面調整されたものは１点も発見されなかったようなので、その点は異なる。

御正作遺跡は槍先形尖頭器・ナイフ形石器・彫器・掻器・削器などが出土し、砂川期後半に位置付けられている（大泉町教委1984）。剥片剥離技術では、石刃などの規格的な剥片を量産する工程Ｉと、縦長剥片や横長剥片などの多様な剥片を生産する工程IIがあり、工程IIから作られる剥片は幅広なものもある。それらは槍先形尖頭器・彫器・掻器の製作に使われるようである。本遺跡の石器群は、工程IIの様相が色濃く残された石器群と見ることもでき、本遺跡の性格や編年的位置付けの参考となる調査事例である。

一側縁基部加工ナイフ形石器の類例としては、山梨県内では横針前久保遺跡（山梨県教委2000、第２－11図４・５・７）、丘の公園第２遺跡（山梨県教委1989、第34図３～５）、長田口遺跡（山梨県教委1993、第６図１）などがある。横針前久保遺跡はＡＴ下位、丘の公園第２遺跡・長田口遺跡はＡＴ上位の石器であるので、一側縁基部加工のものはどちらにも見られるようである。

第３節　縄文時代中期後半の集落について

縄文時代中期後半の集落は曽利IV～Ｖ式期であり、中心は曽利IV式期である。５軒の住居跡は重複関係もなく、集落は中規模なものであったと考えられる。試掘調査で確認された広範囲な遺構・遺物出土範囲は、北側と南側に住居跡が確認されている（第５図）が、その中間地点にあたるＣ区北側からは当該期の住居跡は発見されていない。そこは曽利式土器の出土も少なく、遺構・遺物の密度は薄いと考えられる。おそらく試掘調査で確認された住居跡は、それぞれ南北２ヶ所にまとまる住居群で、どちらも直径約80ｍの範囲に納まると思われる。今回の調査では曽利IV式期の住居跡がほとんどであったが、遺構外出土土器をみると、周辺からは曽利II～Ｖ式期の住居跡が発見される可能性は高い。

今回の調査区の南東側には、1973（昭和48）年に中央自動車道建設に先立ち発掘調査された頭無遺跡がある（第６図）。溜池を挟んだ隣の尾根に立地し、両遺跡の距離は約200ｍである。頭無遺跡も曽利式期の集落が発見されており、詳細な時期は曽利Ｉ式期１軒、曽利II式期３軒、曽利III式期４軒、曽利IV式期４軒、曽利Ｖ式期３軒である（山梨県教委1975）。直径約60ｍの環状集落の東半分を調査したと推定されている。頭無Ａ遺跡と頭無遺跡と同規模の集落が同時期に隣り合う尾根上に存在していたことになる。

これは柳坪Ａ遺跡・柳坪Ｂ遺跡でのあり方に類似する（山梨県教委1987）。両遺跡は谷を挟んで東西に約200ｍ離れている。西尾根の柳坪Ａ遺跡で中期初頭に始まった集落が、曽利式期になり東尾根の柳坪Ｂ遺跡に拡大していったと考えられている。頭無Ａ遺跡と頭無遺跡では、どちらが先にできた集落かはまだはっきりしないが、先にできた集落から隣の尾根に広がっていったと考えられる。現在のところ頭無遺跡に曽利Ｉ式期の住居跡があるので、頭無遺跡が先行して営まれた集落といえる。

頭無遺跡以外にも半径約２㎞圏前後には、宮尾根Ｃ遺跡・段道遺跡・上条宮久保遺跡・酒呑場遺跡・原町農業高校前遺跡・日影田遺跡など多くの曽利式期集落が存在する。以前から八ヶ岳南麓では曽利式期に集落が急増することが指摘されており（長崎1973、日本考古学協会1984）、近年でも当該期集落の調査事例が増加している（北巨摩市町村文化財担当者会2003）。八ヶ岳南麓で最も多く発見される当該期の集落の動態を解明することは、中期に花開いた八ヶ岳縄文文化の一側面を浮き彫りにするであろう。

第４節　弥生時代中期の遺構・遺物について

今回の調査で遺構外から弥生土器がまとまって出土した（第61・62図）。その多くは条痕文土器であり、以下その特徴を記す。

①破片資料ばかりなので器種の特定は困難であるが、器種構成は壷と甕である。広口壷（7115）や細頸壷（6739）などがある。

②条痕文の施文具は、櫛状工具や植物繊維を束ねた工具、棒状工具などが使用されている。

③文様は、縦位条痕文、横位条痕文、縦位羽状条痕文、横位羽状条痕文、斜行条痕文などがある。また、複数の文様が組み合わされ多段化しているもの（7309・3257・7296・8801など）もある。

④壷には、口縁部に刻み目突帯を巡らすもの（747・965・7115・7292など）や、球胴のもの（9639）もみられる。

⑤甕は、口唇部に刻み目をもつもの（689・707・1262など）や、口唇部が尖り、口唇部に帯状の無文帯をナデで表現したもの（1309・6794・8806）などがある。

⑥波状条痕文（4117）や円形の条痕文（5263）工字文風の沈線をもつもの（7029）もみられる。

以上これらの特徴は、甲府市米倉山遺跡（中山 2000）、同菖蒲池遺跡（山梨県教委 1996）から出土した土器群と類似する。よって、本遺跡から出土した弥生条痕文土器は弥生２期（中山 1999）に位置付けることができよう。

55 号土坑出土土器は、基本的に遺構外出土土器と同じ特徴をもっているので弥生２期と位置付けられるが、口縁部に刻み目突帯を巡らす広口壷が伴わない、変わった器形の壷（9150）があるなど、遺構外出土土器と異なる点もある。土坑底部に正位に置かれた壷（9259）は小型の細頸壷の胴下半部であるが、胴部には曲線的な沈線文の間を縄文で充填し、下半部は横位条痕文が施されている。これは弥生３期になる可能性もある。

遺構は、組石遺構１基、土坑１基が発見された。55 号土坑の底部から細頸壷の下半部が正位に置かれて出土し、南東壁には石皿が立てかけられていた。縄文晩期末から弥生中期初頭のフラスコ状土坑を検討した櫛原氏によると、55 号土坑のような円形土坑はフラスコ状土坑の壁が崩落したものの可能性が高く、出土遺物からも墓壙的な様相をうかがうことは難しいようである（屋敷添遺跡等発掘調査会 2002）。また、墓壙の可能性の高い下大内遺跡第 224 号土坑などは平面や断面形態が円形・フラスコ状土坑とは明らかに異なっているという。円形土坑である 55 号土坑は貯蔵穴の可能性が高いといえる。ただし、土坑底部に細頸壷の胴下半部が正位に置かれていたので、貯蔵穴として使われた後、墓壙に転用されたと考えられる。

１号組石遺構は、焼土や炭化物は出土せず、周辺からも床面と思われる硬化面や柱穴は確認できなかったが、住居跡の炉跡としていいであろう。周辺から弥生時代中期の土器が比較的まとまって出土し、組石遺構の近くからは石鏃と呼んでもよい打製石斧が出土している。

当該期の活動区域はＡ区とＣ区とに分かれる。Ａ区には住居跡の炉と思われる組石遺構があるので、居住域として利用されていただろう。Ｃ区には墓壙あるいは貯蔵穴と思われる 55 号土坑かあるので、墓域あるいはもう一つの居住域として利用されていただろう。

第５節　弥生時代後期の周溝墓について

八ヶ岳南麓において、周溝墓はこれまでに北村遺跡（北杜市長坂町）でしか発見されていない（長坂町教委 1996）。今回の調査は２番目の事例となる。北村遺跡の方形周溝墓群は古墳時代前期のものなので、頭無Ａ遺跡の周溝墓群はそれよりも古く、八ヶ岳南麓で最古のものと位置付けられる。

８基の周溝墓は、一時期に造られたものではなく、段階的に造られたと考えられる。確実なものでは４号周溝墓と８号周溝墓が切り合い関係にあり、４号が８号を切っている。調査区内では確認できなかったが、切り合い関係があると想定されるものでは、１号と３号、５号と 10 号、７号と８号である。また、方形のものをみると、１号・４号と２号・３号・５号・８号では主軸方向に違いがある。よって、周溝墓構築にいくつかの段階があったと考えられ、青木氏の論考（青木 2000）を参考にし、以下の変遷案を示す（第 91 図）。

１段階：６号・７号周溝墓が造られる。どちらも同じ小型の円形周溝墓であるので同時期に造られたとする。墓域の南側に偏る。７号周溝墓の溝からハケメ調整の平底甕が出土している。

２段階：２号・３号・８号周溝墓が造られる。小型の方形周溝墓であるので同時期とした。主軸がほぼ同じである。２号・３号は墓域の北側、８号は南側に位置する。８号は前段階に造られた７号と一部重なる。８号から櫛描文土器の甕が出土している。

３段階：５号周溝墓が造られる。大型の方形周溝墓である。主軸が前段階の２号・３号・８号とほぼ同じであるので時期的に近いと思われる。北コーナーからハケメ調整の平底甕が出土している。７号出土の甕と同じであるが、器形がやや新しいと考えられる。撹乱のため確認できなかったが、６号と一部が重なる。

４段階：１号・４号周溝墓が造られる。前段階までのものと主軸方向が異なる。４号が８号を切っているが、８号の溝が埋まった後に切っているので、この段階では８号の位置はほとんど認識できなかったかもしれない。１号と３号も一部重なっていた可能性もある。

以上、周溝墓群の形成過程を示したが、各周溝墓からの出土遺物が少なく、詳細な時期を確定するに心もとないのが現状である。独立的に作られることの多い本遺跡の周溝墓の中で、唯一溝を共有している２号と３号は、２段階ではなく他の段階である可能性もある。しかし、４号と８号の切り合い関係や５号と７号出土のハケメ調整の平底甕の新旧関係により、大まかな形成過程は確認できたと思われる。

周溝墓群の中に 55 号土坑がある。それを墓壙とするならば、弥生中期からその場所が墓域として利用されていたことになる。

なお、この周溝墓群を造営した集落は分かっていない。本遺跡の周辺で弥生後期の集落は、境原遺跡（長坂町教委 1997）と治郎田遺跡（平成 19 年度調査、未報告）であるが、どちらも住居跡が２軒ずつしか発見されていない。

周溝墓を造営するには規模が小さ過ぎるように思えるが、本遺跡周辺で数多く発掘調査が行われていてこれだけしか発見されていないのならば、このような小規模集落が共同で造営したとも考えられる。今後、周辺から当該期の集落が発見されることを期待したい。

第６節　５号周溝墓埋葬主体部の出土遺物について

５号周溝墓では方台部中央に埋葬主体部が残存していた。埋葬主体部は、最大長が2.7ｍ、幅が1.2ｍ、深さが10㎝である。主軸は東西の溝の主軸と同じである。そこから副葬品あるいは装身具と考えられる鉄剣１振・鉄釧１点・ガラス玉片４点が出土した。なお、人骨は出土しなかった。

１）鉄剣

鉄剣は埋葬主体部の中央やや南寄りから、実測図正面を上にして出土した。全長が65.5㎝、最大幅が3.7㎝の長剣である。茎は、長さ３㎝、根元幅２㎝で、根元から先端にいくにつれ幅が狭くなっていく。関は、斜めに切り取られたような斜角関である。関の中央には２つの孔が開けられており、いわゆる「刃関双孔」である。２つの孔は横並びに開けられているが、正面右側の方がやや高い位置にある。茎には目釘孔はない。剣身の一部に鞘の残骸と思われる木質部が付着している。剣身に７箇所の接合部があるが、正面左側縁の一部に欠損がある以外は、全て残存している。全体に錆ぶくれが多いが、剣身中央に鎬が確認できる。

出土状況写真や第70図の出土状況図では、剣先側約20㎝の部分だけしか残されていない。これは調査担当である筆者が、調査開始時の表土剥ぎ後、地山までの深さがどれくらいであるかを確認するため鋤簾で掘り下げたところ、運悪く鉄剣を掘り起こしてしまったからである。縄文時代や平安時代の住居跡を外して、まだ包含層が残っている場所を掘り下げたつもりであったが、期せずして周溝墓の埋葬主体部に当たってしまった。自分の行為を恥じるばかりである。幸いにも剣先部分が掘り起こされずに残っていたので、鉄剣の出土位置が復元できたことが救いであった。

山梨県内で方形周溝墓の埋葬主体部から出土した鉄剣は、宮ノ上遺跡（林部1997）だけであり、本遺跡の鉄剣はそれに次ぐ２例目の発見となった。宮ノ上遺跡のものは時期が古墳時代前期であるので、弥生時代の鉄剣は本遺跡のみとなる。

２）鉄釧

鉄釧は埋葬主体部の中央から、実測図正面を上にして出土した。長さが10.2㎝、最大幅が8.1㎝である。幅６㎜前後・厚さ２㎜の断面形状が三角形をした細く扁平な鉄材を、螺旋形に15巻させている。本来なら全体の形は裁頭円錐形であったと思われるが、現在は土圧で潰されやや扁平になっている。正面右下に一部欠損箇所がある。遺存状態は悪く、単独で取り上げると形が崩れる恐れがあったため、周辺の土ごと取り上げ、そのまま保存処理にまわした。レントゲン写真を見ると、２本の細い鉄を１本にして作られている可能性がある。

表面の一部に付着布が確認でき、布でくるまれていた可能性がある。それが衣服の一部か、鉄釧自身に巻かれていたものかは不明である。内面の状態は、形を保つための樹脂で固められたので、繊維圧痕等があったかどうかは不明である。

山梨県内では、金の尾遺跡（山梨県教委1987）から銅釧が出土しているが、螺旋形鉄釧は県内初の出土例である。

３）ガラス玉片

正確な出土位置は不明である。埋葬主体部の土層観察ラインを十字に引き、北東部分をａ区、北西部分をｂ区、南西部分をｃ区、南東部分をｄ区とし、１層および２層の層位ごとに土を回収し、調査終了後篩にかけて選別した。その結果、南東部分のｄ区１層から10074の１点が、南西部分のｃ区１層から10075～10077の３点が出土した。いずれも埋葬主体部南側からの出土である。

どれも破片でガラス玉の形態が把握できるものはなかったが、ガラス玉表面の風化面はどれも確認できた。10074と10077には孔内側部分の表面も確認できた。

沓名氏の報文によると、全てのガラス玉は引き伸ばし技法で製作されたものと考えられ、アルカリ石灰ガラスの中でもカリライム系ガラスと推定された。また、構成元素もほぼ似通っておりどれも近い関係と考えられるが、10074が若干他より異なるようである。色も10074が他より青みが濃い。

弥生時代後期のガラス玉は、山梨県内では金の尾遺跡（山梨県教委1987）、堂の前遺跡（韮崎市教委1987）などで発見されている。金の尾遺跡では土坑から出土している。

４）埋葬状態の復元

鉄剣と鉄釧の出土状況から被葬者の埋葬状態を推定する。鉄剣は切先を南に向け、埋葬主体部の中心線よりやや東にずれたところに、その中心線と並行するように置かれていた。鉄釧は埋葬主体部の中央に、幅の狭い方が北側を向いて出土した。鉄釧の長軸は埋葬主体部の中心線と平行せず、幅の狭い方が少し中心側に寄り、傾いた

状態であった。以上の出土状況から埋葬姿勢を想定する（第89図）。北枕で仰向けになり、両腕を曲げ両手を胸の上で合わせていた。鉄釧は右手首にはめられ、鉄剣は左腰の脇に置かれていた。いくつかの遺跡でも右手装着の事例が確認できるようである（青木1998）。

ただ、左腕の状態は不明である。片腕だけ曲げているのも不自然と思われるので、右腕と同じく左腕も曲げた状態を想定した。推定図の鉄釧の位置や傾きが出土状況と少し異なるが、出土状況のまま装着を想定すると、かなり肘を絞った状態になり無理がある。推定図と出土状況とのズレは遺体の腐朽による移動と考えたい。

ガラス玉は、埋葬主体部南側から出土したので下半身側にあたる。破片でしかも4点と少なくいので、首飾りや腕飾りのようにきちんと装着されていたとは考えられない。破損していらなくなったものを副葬したか、埋葬時に埋葬する側の誰かのものが偶然入ったと見た方がいいであろう。

5）鉄剣と鉄釧の出土の意義

弥生時代後期の鉄剣は、山陰から北陸にかけての日本海沿岸地域と長野北部や群馬西部の中部高地、東京湾沿岸の南関東地域に多く分布する（会下2007）。特に中部高地のものは、本遺跡出土の鉄剣と同じ形態の、平面梯形で短茎の長剣などが多いようである。

鉄釧、特に螺旋形鉄釧は、ほぼ弥生時代後期に限られ、長野県千曲川流域を中心とする中部高地と、東京湾を中心とする南関東地域に分布が集中する（藤岡1995、牛山1996、青木1998、岩本2002）。鉄材の幅や断面形状で見ると、幅4～5㎜で断面形態が三角形に近いものは中部高地だけに見られるようであり（岩本2002、氏の分類のA群）、本遺跡の鉄釧もそれと同形である。

鉄剣・鉄釧ともに長野北部を中心とする中部高地に多く分布する。そこは箱清水式土器を含む中部高地型櫛描文土器様式文化圏である。本遺跡の周溝墓群からも中部高地系の櫛描文土器が出土しているので、中部高地型櫛描文土器様式文化圏の影響下のもとで、鉄剣・鉄釧が長野北部方面からもたらされたと考えられる。

本遺跡では、周溝墓の埋葬主体部から鉄剣と鉄釧が共伴して出土した。鉄剣は60㎝を超える長剣であり、螺旋形鉄釧はほぼ完全な形で出土した。これはどのような意味があるのであろうか。

藤岡氏は、その時点では鉄剣と鉄釧の共伴関係が皆無であったため、それぞれの所有形態および被葬者の性格に違いがあるとした（藤岡1995）。鉄釧の所有者は司祭者を想定し、かつ集落を治めていたオサであった可能性も指摘している。その後、調査事例が増えたこともあり、鉄剣と鉄釧の共伴事例が確認されてきて、鉄剣と鉄釧の所有関係は排他的ではなく、補完関係にあるようなそれぞれの意義があったのではとの意見も出されている（岩本2002）。

鉄剣などの刀剣類が副葬される被葬者は、成年以上の男性が多いことが推定されている（会下2007）。鉄釧は、女性用の装具で司祭者的性格をもった人物が装着した可能性も示されている（川越1993）。鉄剣が軍事的象徴で男性的であり、鉄釧が祭祀的象徴で女性的であると短絡的に結びつけることはできないが、性別が想定され得る鉄剣と鉄釧が共伴したことは、被葬者の社会的地位や性格を考える上で大変興味深い。

また、長さ60㎝を超えるような長剣は、中国大陸や朝鮮半島からの舶載品であり、北部九州から近畿北部・北陸・北信・関東に至る日本海ルートで流通したと考えられている（豊島2004、野島2004）。流通している間に茎が短く切断され、刃関双孔が開けられるなど日本独自の加工が施されたようである。当時貴重である舶載品の鉄製品を所有し得る人物が、当該期の遺跡の少ない八ヶ岳南麓に存在したことは驚きであり、どのような人物であったのかにも興味が持たれる。今後、出土土器・集落・墓制など様々な要素と合わせて検討し、その人物像を解明していきたい。

参考文献

青木一男1998「第4章成果と課題　第3節長野県出土鉄釧の基礎的整理」『上信越自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書5－長野市内その3－松原遺跡　弥生・総論6弥生後期・古墳前期』長野県埋蔵文化財センター発掘調査報告書36

青木一男2000「金の尾遺跡の周溝墓　－中部高地型墳墓への固執と転換をさぐる試み－」『山梨県考古学協会誌』第11号　山梨県考古学協会

岩本　崇2002「東日本における弥生時代鉄釧の製作背景」『古代文化』第54巻第5号　財団法人古代学協会

池淵俊一2003「刀剣・矛・戈・ヤリ・素環頭刀」『考古資料大観』7　小学館

牛山英昭1996「弥生時代鉄釧の一例－東京都北区七社神社前遺跡出土資料－」『考古学雑誌』第81巻第2号　日本考古学会

会下和宏2007「弥生時代の鉄剣・鉄刀について」『日本考古学』第23号　有限責任中間法人日本考古学協会

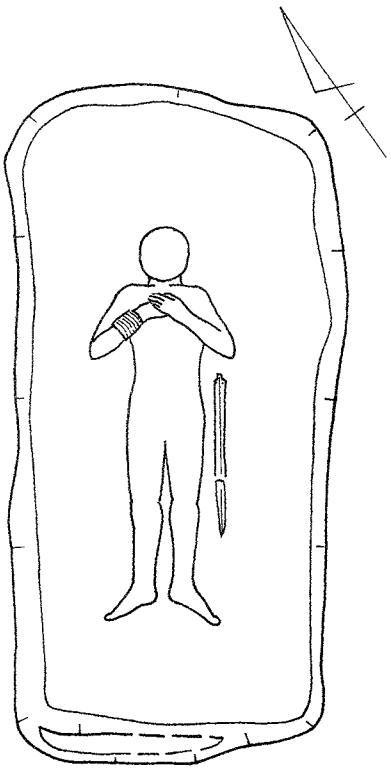
大泉町教育委員会1984『御正作遺跡』

大川清他編1996『日本土器事典』雄山閣出版

甲斐型土器研究グループ1992『甲斐型土器　－その編年と年代－』山梨県考古学協会

川越哲志1993『弥生時代の鉄器文化』雄山閣出版

北巨摩郡教育会 1932『先史原史時代調査』
北巨摩市町村文化財担当者会 2003「北巨摩地域の曽利式土器（前篇）」『八ヶ岳考古』平成14年度年報
北巨摩市町村文化財担当者会 2004「北巨摩地域の曽利式土器（後篇）」『八ヶ岳考古』平成15年度年報
豊島直博 2004「弥生時代のおける鉄剣の流通と把の地域性」『考古学雑誌』第88巻第2号　日本考古学会
長坂町 1990『長坂町誌』上巻
長坂町教育委員会 1996『北村遺跡』長坂町埋蔵文化財発掘調査報告書第10集
長坂町教育委員会 1997『柳坪南遺跡・境原遺跡』長坂町埋蔵文化財発掘調査報告書第15集
長坂町教育委員会 1999『宮久保遺跡』長坂町埋蔵文化財発掘調査報告書第18集
中山誠二 1993「甲斐弥生土器編年の現状と課題　－時間軸の設定－」『研究紀要』9　山梨県立考古博物館・山梨県埋蔵文化財センター
中山誠二 1999「第2章山梨県の考古学編年　3弥生時代の編年」『山梨県史』資料編2　原始・古代2　考古（遺構・遺物）山梨県
中山誠二 2000「米倉山遺跡出土の弥生土器の再検討　－山内清男考古資料を中心として－」『山梨県史研究』第8号　山梨県
日本考古学協会 1984『シンポジウム縄文時代集落の変遷』日本考古学協会昭和59年度大会資料
韮崎市教育委員会 1987『中本田遺跡・堂の前遺跡』
韮崎市遺跡調査会他 1992『宮ノ前遺跡』
韮崎市教育委員会 2000『石之坪遺跡（東地区）』
野島　永 2004「弥生時代後期から古墳時代初頭における鉄製武器をめぐって」『考古論集－河瀬正利先生退官記念論文集－』河瀬正利先生退官記念事業会
浜田晋介 1988「弥生時代後期の甲府盆地　－異系統土器の相互交流とその様相－」『山梨県考古学協会誌』第2号山梨県考古学協会
林部　光 1997「中道町宮ノ上遺跡から出土した鉄剣をめぐる諸報告」『山梨県考古学協会誌』8　山梨県考古学協会
藤岡孝司 1995「螺旋状鉄釧小考－東日本における腕輪の意味－」『研究紀要』16－20周年記念論集－　財団法人千葉県文化財センター
北杜市教育委員会 2005『上条宮久保遺跡』北杜市埋蔵文化財調査報告第4集
宮坂英弐・宮坂虎次 1966『蓼科』尖石考古博物館研究報告叢書第二冊
屋敷添遺跡等発掘調査会 2002『深山田・下反保・屋敷添遺跡』
山梨県教育委員会 1970『中央自動車道関係遺跡第一次調査概報－北巨摩郡長坂町東前田遺跡－』
山梨県教育委員会 1975『山梨県中央道埋蔵文化財包蔵地発掘調査報告書　－北巨摩郡長坂・明野・韮崎地内－』
山梨県教育委員会 1986『柳坪遺跡』山梨県埋蔵文化財センター調査報告第13集
山梨県教育委員会 1987『金の尾遺跡・無名墳（きつね塚）』山梨県埋蔵文化財センター調査報告第25集
山梨県教育委員会 1989『丘の公園第2遺跡』山梨県埋蔵文化財センター調査報告第46集
山梨県教育委員会 1993『長田口遺跡』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第82集
山梨県教育委員会 1996『菖蒲池遺跡』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第119集
山梨県教育委員会 2000『横針前久保遺跡・米山遺跡・横針中山遺跡』山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第176集
山梨県 1999『山梨県史』資料編2　原始・古代2　考古（遺構・遺物）
山梨県 2004『山梨県史』通史編1　原始・古代



第89図　5号周溝墓埋葬状態推定図

附編　頭無Ａ遺跡出土のガラス破片の科学調査について

山梨県立博物館　沓名　貴彦

今回、北杜市頭無Ａ遺跡出土のガラス破片（ガラス玉の破片）を科学調査する機会を得た。そこで、顕微鏡観察による製作技法の調査と、蛍光Ｘ線分析による元素分析を行った。その結果について報告する。

○分析対象資料

北杜市頭無遺跡出土ガラス破片　４点

・ガラス破片１：0.0332g　・ガラス破片２：0.0354g

・ガラス破片３：0.0384g　・ガラス破片４：0.0890g

○実体顕微鏡によるガラス破片の製作技法の調査

今回調査を行ったガラス破片は、いわゆるガラス玉（小玉）の破片と考えられた。そこで、このガラス玉の製作技法の調査を、ガラス中に含まれる気泡を顕微鏡の透過光下で観察することで行った。

実体顕微鏡によるガラス破片１から４の全体像を写真１(a) から４(a) に示す。小さいもので約３㎜、最大で約６㎜程度の不定形な小さい破片であった。また、一部には管内壁表面と見られる部分が見られた（写真３）。ガラスの色は１から３のガラス破片が淡青色で、４のガラス破片は若干青みが濃かった。

また、より高倍率でガラス内部に含まれる気泡に着目して撮影した写真を、写真１(b) から４(b) に示す。気泡はガラスの製作時に混入し、引き伸ばし技法の場合には列状の気泡が観察される。今回の観察では、全ての破片において列状の気泡が観察された。

このことから、全てのガラス破片は引き伸ばし技法によって製作されたものであると考えられた。

○蛍光Ｘ線分析によるガラス破片の元素分析

蛍光Ｘ線分析による元素分析を各ガラス破片で行い、ガラスに含まれる元素の調査を行った。ただし、ガラス破片が非常に小さいため、定性分析について実施した。

装置：エスアイアイ・ナノテクノロジー（株）製 SEA5230HTW

管電圧：15kV、50kV

管電流：500 μ A（15kV）、48 μ A（50kV）

測定環境：真空

測定時間：300sec

結果

各ガラス破片の蛍光Ｘ線分析から得られたスペクトルを図１から４に示す。各図の（a）は15kV、(b) は50kV の管電圧で得られたスペクトルである。また、写真１のガラス破片は図１とスペクトルと各数字は対応している。

そして、表１にスペクトルから得られた各ガラス破片の構成元素を示した。ここでは、ピーク強度の差から強・中・弱・検出と分類した。

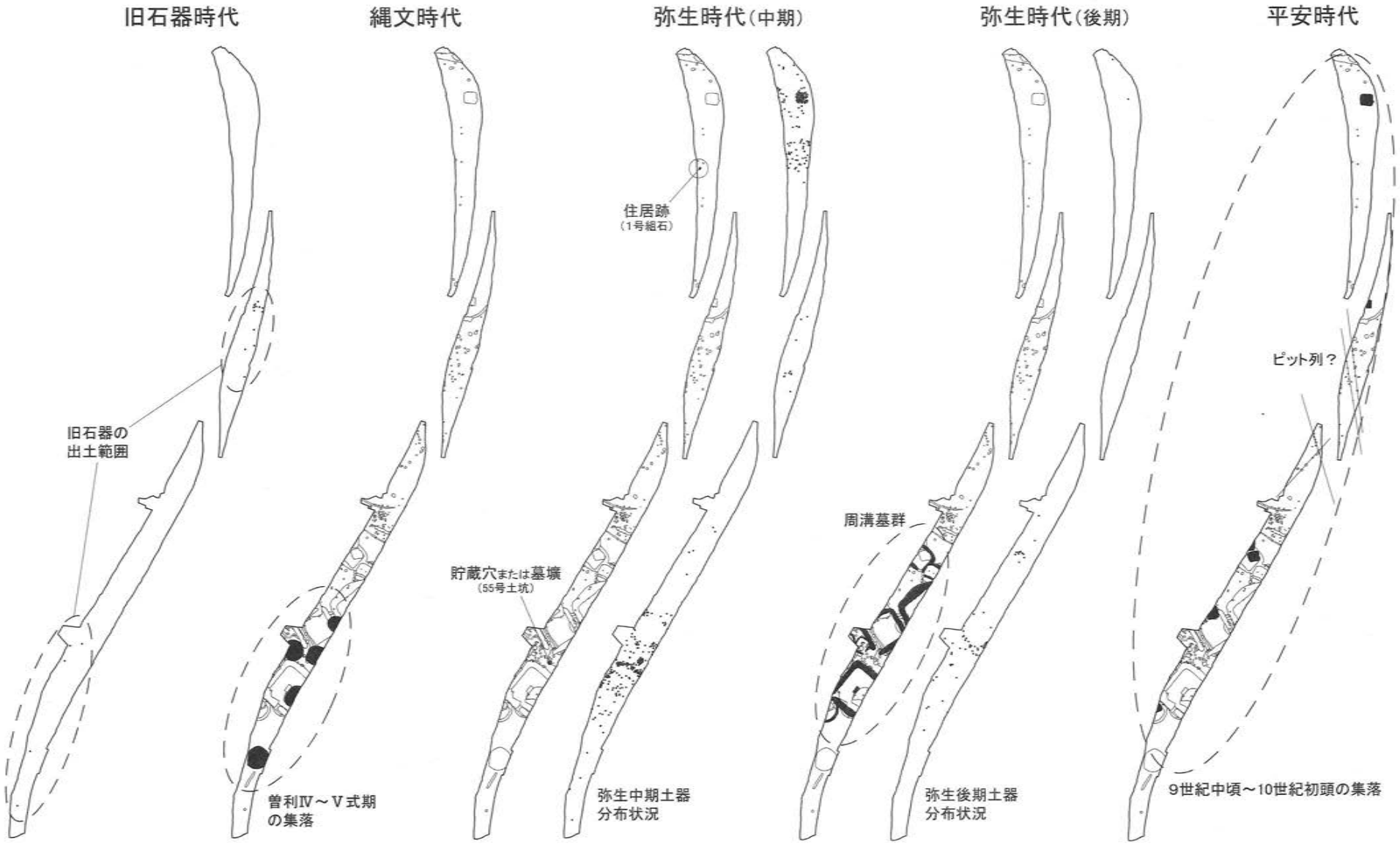
すべてのガラス破片で、検出元素から鉛が検出されず、主要な元素はケイ素であった。このため、アルカリ石灰ガラスと考えられた。そして、アルカリ石灰ガラスの中でもナトリウムのピークはほとんど見られず、カリウムのピークが中程度検出されるため、カリライム系ガラスと考えられた。

また、各ガラス破片で検出された元素では、大きく異なるものは無くどれも同様なものであるため、各ガラス破片は近い関係にあると考えられた。そして、個々のガラス片のスペクトルの形状を比較すると、１から３はスペクトルの形状が似通っているが、４は１から３に比べてＫ Ｋα のピークが非常に大きい傾向が見られた。以上のことから、破片１から３は同系統により近く、４は若干異なるもののように考えられる。

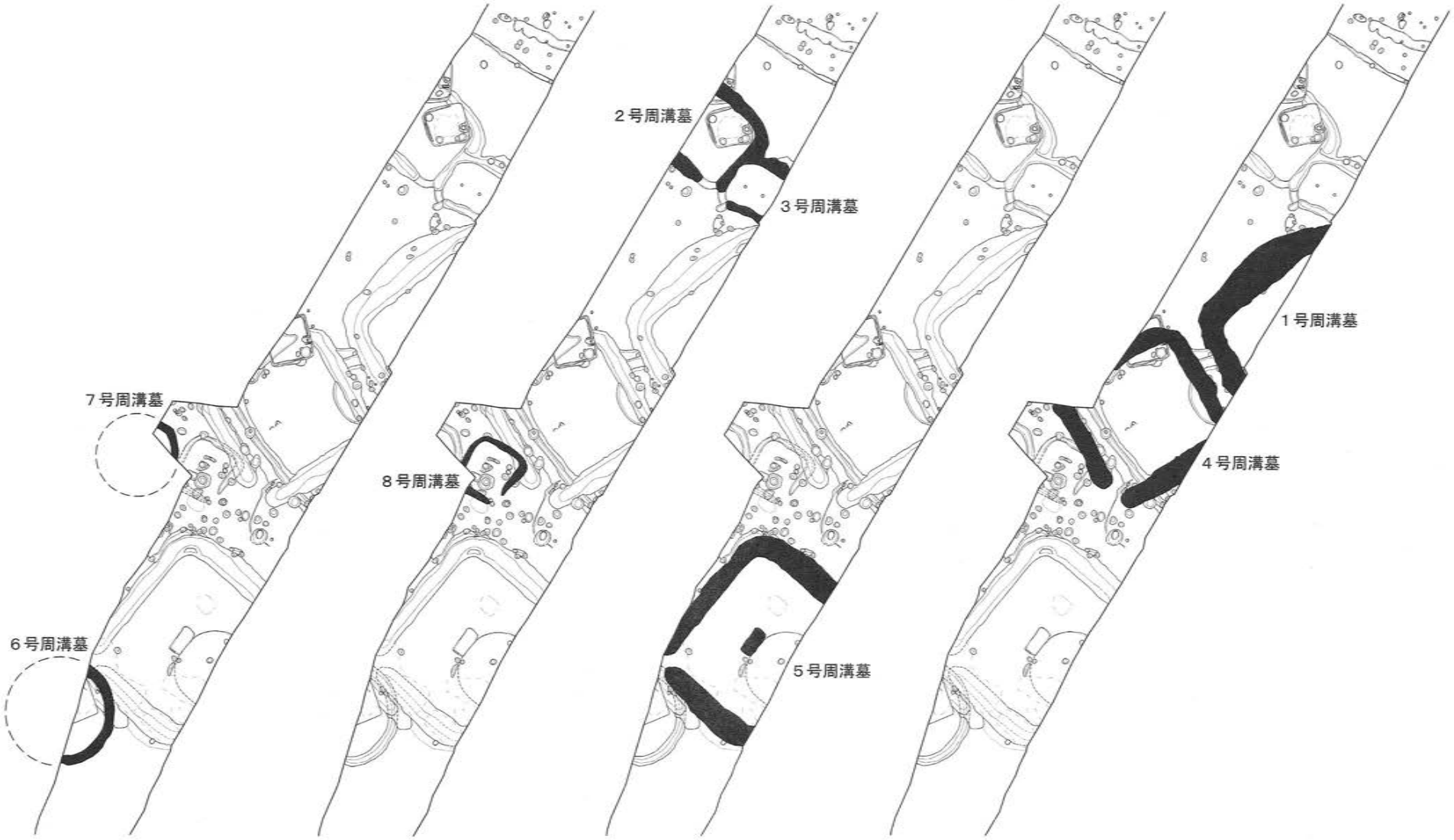
ただし、ガラス破片が非常に小さく形状も不定形であることから、蛍光Ｘ線による定量分析は行っておらず、これ以上の内容を得ることは難しいと考えられる。

第2表　スペクトルから得られたガラス破片の構成元素

ガラス破片No.（遺物番号）	蛍光X線分析ピーク強度			
	強	中	弱	検出
1(10075)	Si	Al, K, Ca, Mn, Fe	Ti, Rb, Sr, Mo	Cu, Br, Zr
2(10076)	Si	Al, K, Ca, Mn, Fe	Ti, Rb, Sr, Mo	Cu, Br, Zr
3(10077)	Si	Al, K, Ca, Mn, Fe	Ti, Rb, Sr, Mo	Cu, Br, Zr
4(10074)	Si, K	Al, Ca, Mn, Fe	Ti, Rb, Sr, Mo	Cu, Br, Zr


旧石器時代
縄文時代
弥生時代(中期)
弥生時代(後期)
平安時代
旧石器の
出土範囲
曽利Ⅳ～Ⅴ式期
の集落
住居跡
(1号組石)
貯蔵穴または墓壙
(55号土坑)
弥生中期土器
分布状況
周溝墓群
弥生後期土器
分布状況
ピット列？
9世紀中頃～10世紀初頭の集落

第 90 図　遺構変遷案



1段階
小型円形周溝墓

2段階
小型方形周溝墓

3段階
大型方形周溝墓
（2段階と主軸がほぼ同じ）

4段階
大型方形周溝墓
（2・3段階と主軸が異なる）

第91図　周溝墓群の形成過程案

第3表　遺構観察表

遺構名	図版	時　期	位置	重　複	形状	規模(m)	施設・床面等	遺　物	遺物出土状況	備　考
1号住居跡	75 76	平安時代 (宮ノ前編年Ⅷ期、9世紀末～10世紀初頭)	A区 AA-9・AA-10・AB-9・AB-10	なし	長方形	長軸 4.65 短軸 4.12 深さ 0.78	カマドが東壁中央やや南寄りに構築されている。カマドは中央と焚き出し口付近に焼土が確認できた。カマド周辺に、カマド構築したと考えられる礫はあまり出土しなかった。南壁にある不整形な穴は、南東・南西隅の一部が貯蔵穴であったと思われる。住居の中央やや北西寄りに間仕切りと思われる溝が確認された。周溝はほぼ全周する。3号ピットには扁平な礫が置かれていた。床面の硬化面は確認できなかった。	第76図。甲斐型坏・甕、黒色坏等が主体的に出土。凸帯し須恵器片も比較的多い。刀子の破片出土。	第76図。住居跡中央の覆土上層から人頭大の礫が多数出土。一部はカマド構築礫の可能性あり。	各ピットの深さは、1号24.1cm、2号4.3cm、3号10.7cm、4号13.0cm、5号2.4cmである。
2号住居跡	77	平安時代 (宮ノ前編年Ⅶ期、9世紀後半)	B区 T-10	なし	不明(おそらく長方形)	長軸 2.58 短軸 1.85 深さ(0.18)	カマドが東壁中央やや南寄りの南東隅に近いところに構築されている。カマド構築礫の左袖石が残っていた。住居の南東隅と東壁中央付近にピットが確認された。周溝は確認できなかった。床面の硬化面は確認できなかった。	第77図。甲斐型甕を主体とするが、出土数は少ない。	第77図。カマド周辺からややまとまって出土した。	住居跡の西側は調査区外である。そこは道路が建設されていて既に壊されている。住居跡北壁も掘削され、範囲が不明確であった。 各ピットの深さは、1号19.9cm、2号46.0cmである。
3号住居跡	78 79	平安時代 (宮ノ前編年Ⅵ期、9世紀中頃)	C区 K-5・K-6	2号周溝墓を切る	長方形	長軸 4.00 短軸 3.80 深さ 0.23	カマドが東壁中央やや南寄りに構築されている。カマド中央に焼土が確認できた。壁よりの両袖石が残されていた。南東隅の3号ピットは貯蔵穴と思われる。周溝は北壁から西壁と南壁の一部に確認できた。床面中央に約2.5mの範囲で硬化面が確認された。	第79図。甲斐型坏・甕、ロクロ甕が主体的に出土。	第79図。住居跡中央やや東よりのカマド近くから、人頭大の礫が多数出土。一部はカマドの構築礫の可能性あり。	各ピットの深さは、1号18.7cm、2号22.9cm、3号16.5cm、4号4.2cmである。
4号住居跡	80 81	平安時代 (宮ノ前編年Ⅶ期、9世紀後半)	C区 K-5・K-6・L-5・L-6	2号周溝墓を切る	不明(おそらく長方形)	長軸 3.90 短軸 2.35 深さ(0.48)	カマドが東壁中央やや南寄りに構築されている。カマド中央に焼土が確認できた。南壁に周溝あり。1号ピットが貯蔵穴をと思われる。床面の大部分が調査区外のため硬化面は不明である。	第81・82図。甲斐型坏・皿・甕、須恵器甕を中心に出土。フイゴの羽口片が1点出土。甲斐型坏に〔文〕の墨書が目立つ。住居の1/4ほどの調査でも他の住居跡より出土数が多い。	第81図。1号ピット周辺から礫が出土。一部がカマド構築礫の可能性あり。カマドを中心に土器が多数出土。	住居跡の1/4を調査。西側の大部分は調査区外。 1号ピットの深さは19.2cmである。
5号住居跡	83 84	平安時代 (宮ノ前編年Ⅶ期、9世紀後半)	C区 I-4	4号周溝墓を切る	長方形	長軸 4.26 短軸 4.14 深さ 0.48	カマドが東壁中央やや南寄りに構築されていた。カマドの中央に焼土を確認した。左袖石の一部が残されていた。周溝はほぼ全周する。1号ピットが貯蔵穴と思われる。南壁に出入口のような張り出し部がある。床面全体が硬化していた。	第84・85図。甲斐型坏・皿・甕、ロクロ甕が主体的に出土。黒色坏、須恵器坏も出土している。砥石が出土している。	第84図。住居跡全体に礫が散在していた。カマド周辺を中心に遺物が出土している。	北西隅の約1/4が調査区外。北東隅付近にある118・119号ピットは5号住の壁外柱穴の可能性あり。 各ピットの深さは、1号22.3cm、2号11.6cm、3号9.4cmである。
6号住居跡	20 21 22 33	縄文中期後半 (曽利Ⅳ式期)	C区 G-3・G-4・H-3・H-4	4・5・8号周溝墓に切られる	不明(おそらく不整な円形)	長軸 7.65 短軸 7.65 深さ 0.45	住居跡中央に2つの炉、南側に2つの埋甕があるので、住居跡が2軒分ある。柱穴の配置を見ると、住居の拡張と考えられる。 旧住居は1号炉・1号埋甕をもち、主柱穴は2・11・16・18号ピットで、調査区外にもう1つ想定され、5本柱穴と考えられる。新住居は1号炉・2号埋甕をもち、2号炉とその南側の焼土が加わると考えられる。主柱穴は1・10・15・17号ピットで、調査区外にもう1つ想定され、旧住居と同じく5本柱穴と考えられる。北側に短いながらも周溝と思われる溝があるので、そこから壁が立ち上がっていたのであろう。1号炉は、底部付近に人頭～拳大の礫が散在する程度であり、炉石は抜き取られたと思われる。1号埋甕の北側には人頭大の細長い礫が置かれていた。2号埋甕は5号ピットにより一部が削られていた。床面の硬化面は確認できなかった。	第21・23・24図。9451は1号埋甕、9538は2号埋甕で、どちらも両耳壷である。8639・8660・9126など壷形の土器が目立つ。8639は鍔に孔をもつ有孔鍔付土器であり、内外面に赤彩・黒彩が見られる。 土偶脚部3点、土鈴1点が出土している。 8号住に次いで出土数が多い。壺・有孔鍔付土器・土製品・ミニチュア土器と多彩な器種が出土している。	第22図。1号炉のやや上層から土偶2点・8632が出土している。2号炉のやや上層から8660・8864が出土している。土鈴は10号ピットの覆土から出土した。	各ピットの深さは、1号76.9cm、2号53.9cm、3号16.1cm、4号11.9cm、5号37.4cm、6号14.2cm、7号30.1cm、8号15.2cm、9号37.3cm、10号83.4cm、11号26.8cm、12号51.5cm、13号20.1cm、14号14.5cm、15号86.1cm、16号44.0cm、17号93.6cm、18号43.8cm、19号39.8cm、20号14.4cm、21号23.4cm、22号37.2cm、23号13.2cm、24号10.3cm、25号17.4cm、26号27.0cm、27号11.9cm、28号55.7cmである。
7号住居跡	25 26	縄文中期後半 (曽利Ⅳ式期)	C区 H-4・H-5・I-4・I-5	1・4号周溝墓に切られる	不整な楕円形	長軸 5.93 短軸 4.08 深さ(0.30)	住居跡中央やや北寄りに炉跡がある。一部礫が残っていたが、大半は4号周溝墓を作る際に抜き取られたのであろう。南壁際に埋甕がある。4・10号ピットが主柱穴と思われるが、他のピットを含めても規則的な配置をしていないので、全体の主柱穴の数は不明である。周溝は確認できなかった。床面の硬化面は確認できなかった。	第26図。9667は埋甕である。7号住の出土数はあまり多くないが、1・4号周溝墓によって壊されているので、両周溝墓の溝内出土の中に7号住由来の遺物がかなり含まれている。	第26図。7号住覆土からの出土数はあまり多くない、	住居跡東側約1/3は調査区外である。そこは既存の道路により壊されている。 各ピットの深さは、1号41.3cm、2号9.3cm、3号33.8cm、4号53.0cm、5号9.9cm、6号15.3cm、7号18.9cm、8号8.9cm、9号18.2cm、10号11.9cm、11号20.8cm、12号10.0cm、13号33.0cmである。
8号住居跡	27 28 29 33	縄文中期後半 (曽利Ⅳ式期)	C区 C-2・D-2	なし	不整な円形	長軸 8.23 短軸(7.15) 深さ 0.40	住居跡中央やや北寄りに2つ炉があり、南壁際と東壁際にそれぞれ埋甕があるので、住居跡が2軒分ある。柱穴の配置を見ると、住居の拡張と考えられる。 旧住居は1号炉・1号埋甕をもち、主柱穴は3・5・8・9・10号ピットの5本である。埋甕の位置が出入口と考えられるので、南東側が出入口であろう。 新住居は2号炉・2号埋甕をもち、主柱穴は1・2・4・6・11号ピットの5本である。出入口は南側へと変化している。主柱穴の掘り方は旧住居と比べ大きい。 1・2号炉とも炉石は抜き取られているようで、人頭大～拳大の礫が散在する程度であった。どちらの掘り方も方形で深いので、掘り炬燵状の石囲炉であったと思われる。周溝は、新住居のものが断続的に確認できた。旧住居の周溝は確認できなかった。床面の硬化面は確認できなかった。	第30～33図。9597は1号埋甕、9598は2号埋甕である。土器の出土数は縄文住居の中で1番多いが、土製品は出土しなかった。	第29図。9531が1号ピットの覆度上層から出土した。住居中央の床面からやや浮いたところから、8959・9398・9542・9507・9426など完形に近い土器が出土した。	各ピットの深さは、1号86.2cm、2号73.8cm、3号74.8cm、4号63.3cm、5号65.6cm、6号71.3cm、7号34.2cm、8号79.3cm、9号66.3cm、10号71.6cm、11号53.8cm、12号30.2cm、13号34.6cm、14号64.4cmである。

遺構名	図版	時　期	位置	重　複	形状	規模(m)	施設・床面等	遺　物	遺物出土状況	備　考
9号住居跡	34 35	縄文中期後半 (曽利Ⅳ式期)	C区 G-4・H-4	4号周溝墓・55号土坑・6号溝に切られる	不明(おそらく不整な円形)	長軸 6.55 短軸 4.50 深さ(0.44)	住居中央やや北寄りに炉があり、南壁際に埋甕がある。炉の東壁を中心に炉石が残っていた。炉石は大きくても約45cmの扁平礫である。主柱穴は1・3号で、残りは調査区外に推定される。周溝は北壁でわずかに確認できた。床面の硬化面は確認できなかった。	第35・36図。9539は埋甕である。遺物の出土数は多いほうである。4号周溝墓の溝と55号土坑に切られているので、両者から出土した縄文土器は9号住由来のものの可能性がある。	第35図。住居中央の覆土上層からの出土が多い。2697は4号ピットのやや上から出土した。	住居跡の東側約1/4は調査区外である。そこは既存の道路により壊されている。 各ピットの深さは、1号58.5cm、2号65.8cm、3号75.8cm、4号17.9cm、5号17.4cm、6号11.2cmである。
10号住居跡	85	平安時代 (宮ノ前編年Ⅶ期、9世紀後半)	C区 F-2	6号周溝墓を切る	不明(おそらく長方形)	推定 長軸 3.65 短軸 2.90 深さ 0.40	土師器と礫がまとまって出土した周辺がカマドであった可能性がある。周溝は調査区壁の土層観察によりあることは分かった。床面の硬化面は確認できなかった。	第85図。甲斐型甕を中心に出土。出土数は少ない。	第85図。南東隅と推定されるところに土器がまとまって出土。	住居跡の中央に掘削による撹乱がある。そのため掘り過ぎてしまい、調査区壁の土層で10号住の存在を確認した。
11号住居跡	37 38	縄文中期後半 (曽利Ⅳ～Ⅴ式期)	C区 F-3	5号周溝墓に切られる	不明(おそらく不整な円形)	推定残存値 長軸 7.21 短軸 3.39 深さ 0.50	住居中央に炉がある。他の住居の炉と比べ、小さくて浅く、周辺に礫もなかった。ピットは3つ確認できたが、2・3号ピットは住居の推定範囲より外側にあるので、住居に伴わない可能性がある。周溝のような溝もあるが、推定ラインに合わないので、これも住居に伴わない可能性がある。住居の南側に掘削による撹乱がある。床面の硬化面は確認できなかった。	第37・38図。全て破片資料で、器形が復元できるものはない。曽利Ⅳ・Ⅴ式、中期末の土器が多い。	第38図。住居西側に多い。覆土上層出土がほとんどである。	住居東側約1/2は調査区外である。そこは既存の道路により壊されている。 各ピットの深さは、1号22.9cm、2号10.9cm、3号18.0cmである。
1号周溝墓	63	弥生後期	C区 I-5・J-5・J-6	7号住を切る	方形	方台部(11.0) 溝幅 2.10～3.60 溝深さ 0.76～1.10	方形の溝が巡る。その北西辺から南西辺にかけての西側コーナーを調査。周溝墓東側は調査区外で、既存の道路により壊されている。調査区外にかかっているが、北コーナーの方台部側の溝壁に張出し状の段がある。溝内にピットが確認できるが、1号周溝墓に伴うかどうかは不明。埋葬主体部は確認できなかった。	弥生時代後期の遺物は、赤色塗彩された壷の破片のみで、図示できるものはなかった。縄文土器・平安土師器の出土は多い。	溝覆土からの出土が多い。方台部からの出土は少ない。	大型の方形周溝墓である。 周溝墓の東側約1/4は調査区外で、既存の道路により壊されている。全体の規模や方台部の規模は不明であるが、5号周溝墓と同規模と思われる。
2号周溝墓	64 65	弥生後期	C区 K-5・K-6	3・4号住に切られる	方形	方台部 6.50 溝幅 0.60～1.56 溝深さ 0.52～0.95	方形の溝が巡る。南東辺は3号周溝墓と共有する。南コーナーに掘り込みの浅い溝があり、そこが陸橋部となる。埋葬主体部は確認できなかった。	第65図。弥生時代後期の壷・甕の破片が出土。弥生土器の出土数は少ない。縄文土器の出土数の方が多い。	第65図。北東辺の溝からわずかに出土している。	小型の方形周溝墓である。 周溝墓の北西側約1/4は調査区外になる。
3号周溝墓	64 65	弥生後期	C区 J-5・J-6・K-5・K-6	64号土坑に切られる	方形	方台部 4.20 溝幅 0.60～1.40 溝深さ 0.31～0.75	方形の溝が巡る。西辺は2号周溝墓と共有する。南西コーナーに掘り込みの浅い溝があり、ここが陸橋部となる。2号周溝墓に伴うかは不明であるが、方台部中央に87・88号ピットが規則的な位置に残されている。埋葬主体部は確認できなかった。	第65図。7029は弥生時代中期のもの。それ以外は縄文・平安土器が少数出土。	第65図。7029が南西コーナーから出土。	小型の方形周溝墓である。 周溝墓南東側約1/4は調査区外で、既存の道路に壊されている。
4号周溝墓	66 67	弥生後期	C区 H-3・H-4・H-5・I-4・I-5	6・7・9号住・8号周溝墓を切る、5号住・6号溝に切られる	方形	方台部 10.50 溝幅 1.50～2.20 溝深さ 0.32～0.98	方形の溝が巡る。東コーナーと西コーナーは調査区外。南コーナーに陸橋部がある。埋葬主体部は確認できなかった。	第66図。弥生時代後期の壷・甕の破片が出土。弥生中期の条痕文土器も出土。縄文住居を2軒壊しているので、縄文土器が多数出土。	第66図。弥生時代後期の土器は南東辺を中心に出土。6号溝付近からも出土。完形品や大形の破片は出土していない。	大型の方形周溝墓である。 東コーナーと西コーナーは調査区外で、東コーナーは既存の道路により壊されている。
5号周溝墓	68 69 70	弥生後期	C区 E-3・F-2・F-3・G-2・G-3・G-4	6・11号住を切る、6号周溝墓と重複	方形	方台部 13.22 溝幅 1.54～2.60 溝深さ 0.65～1.00	方形の溝が巡る。南東辺と西コーナーの一部は調査区外。撹乱により壊されているのではっきりしないが、調査区西壁の土層観察をみると溝が西コーナーにいくにつれて立ち上がっているので、西コーナーに陸橋部があったと考えられる。方台部中央に埋葬主体部が1ヶ所確認できた。長軸約2.7m・短軸約1.2m・深さ約10cm、長軸を北西辺の主軸とほぼ平行にして作られている。本来はもっと深かったであろうが、削平を免れた下層部が残っていたことになる。埋葬主体部の下部にピットが3基確認できたが、埋葬主体部に伴うかどうかははっきりしない。北コーナーの方台部側の溝壁に張出し状の段がある。地山を削り残して作られている。	第70・71図。9583は鉄剣、9584は鉄鉇、10074～10077はガラス玉の破片で、それらは副葬品等である。8593はほぼ完形の甕である。これ以外は破片である。	第69図。8593が北コーナーの溝壁外側の底部から約17cm浮いた状態で出土した。それ以外の弥生時代後期の土器も少なく、出土もまばらである。 第70図。埋葬主体部から鉄剣と鉄鉇が出土。鉄剣は中央やや南寄りから出土し、切先を南にして鉄剣の長軸と埋葬主体部の長軸を並行するように置かれていた。切先は小礫の上に置かれていた。鉄剣の刀身約3/4は、調査の初期に地山の深さを確認しようとして掘り起こしてしまい、原位置を動かしてしまったが、かろうじて切先部分が残されていたため、鉄剣の出土位置が確定できた。鉄鉇は埋葬主体部のほぼ中央にあり、長軸を埋葬主体部の長軸とはややずれた状態で、幅の狭い方を北東にして出土した。出土した高さはどちらも底面から約7cm浮いたところである。 ガラス玉破片の出土位置は、埋葬主体部覆土の土を篩って発見したので特定は出来ないが、10074は、セクションラインA-A'とB-B'で4分割したうちの南西側、10075～10077は南東側のそれぞれ第1層から出土している。	大型の方形周溝墓である。 南東辺と西コーナーの一部は調査区外で、南東辺は既存の道路により壊されている。方台部の一部と南西辺に掘削による撹乱が多数ある。

遺構名	図版	時　期	位置	重　複	形状	規模(m)	施設・床面等	遺　物	遺物出土状況	備　考
6号周溝墓	72 74	弥生後期	C区 E-2・F-2	10号住に切られる、5号周溝墓と重複	円形	円台部 7.82 溝幅 0.70～1.05 溝深さ 0.3～0.4	円形に溝が巡る。周溝墓の東側半分を調査。西側半分は調査区外。調査した中で陸橋部は確認できなかった。埋葬施設も確認できなかった。	第74図。4283・7213は壷の口縁部である。弥生時代後期の土器の出土は少ない。	第74図。4283・7213とも北側の撹乱部から出土している。	小型の円形周溝墓である。 西側半分は調査区外である。北側は平安住居の10号住や掘削による撹乱で壊されている。調査区西壁の土層観察により、6号周溝墓の北溝が確認できた。
7号周溝墓	73 74	弥生後期	C区 H-3	なし	円形	円台部(2.85) 溝幅 0.64～0.77 溝深さ 0.30～0.35	円形に溝が巡る。周溝墓の北東側約1/5を調査。他は調査区外。調査した中で陸橋部や埋葬主体部は確認できなかった。	第74図。9668は甕である。弥生時代後期の土器はこれだけである。	第74図。調査した溝の中央から、土器の主軸と溝の主軸が並行するように、口縁部を北にして倒れていた。底面から約2cm浮いた状態であった。	小型の円形周溝墓である。 約4/5が調査区外。全体を調査した訳ではないので、方形になる可能性も捨てきれない。隣り合う8号周溝墓との前後関係は不明である。
8号周溝墓	73 74	弥生後期	C区 H-3・H-4	6号住・4号周溝墓を切る	方形	方台部 4.26 溝幅 0.37～0.80 溝深さ 0.15～0.40	方形に溝が巡る。西コーナーは調査区外。東コーナーは4号周溝墓に切られている。南コーナーに陸橋部がある。埋葬主体部は確認できなかった。	第74図。2262は櫛描波状文の甕である。弥生時代後期の土器はこれだけである。	第74図。2262が南東溝から出土している。	小型の方形周溝墓である。 西コーナーは調査区外。東コーナーは8号周溝墓に切られている。 初めに南東溝が見つかったが、周溝墓とは思わず溝の実測をして掘り下げてしまった。後で拡張した範囲から残りの溝が見つかり、前に調査した溝と合わせて周溝墓になると判明した。南西溝は平面プランが確認できず掘り下げてしまったが、調査区西壁に溝が確認でき、それを基に周溝墓の範囲を推定した。
1号溝	86	不明	A区 AC-8・ AC-9	1号竪穴に切られる	ほぼ直線状	長さ(9.22) 幅 1.76～3.10 深さ 0.26～0.42	北側の溝と南側の溝と2本ある。土層観察により北側の溝が新しい。北側の溝は調査区中央で途切れている。南側の溝は調査区を横断している。	平安時代の須恵器甕片が出土。	特になし。	第6図をみると、1号溝のところに地境が走っている。大字の「夏秋」と「塚川」とを分かつ地境でもあるが、1号溝はそれに伴う溝の可能性がある。
2号溝	86	不明	B区 T-10	4号土坑に切られる	弧状	長さ(7.10) 幅 0.59～1.21 深さ 0.10～0.15	浅めの溝が南に膨らむ弧状で調査区を横断する。途中で4号土坑に切られる。	縄文土器・弥生土器・平安土器が少数出土している。	特になし。	特に関連性はないが、2号溝の北側で旧石器がまとまって出土している。
3号溝	87	不明	C区 M-6・M-7	ピットと重複	弧状	長さ(12.36) 幅 0.34～0.55 深さ 0.16～0.24	幅狭くやや深めの溝が西壁から東へ、南にわずかに張出しながら弧状に伸びる。調査区の途中で途切れている。	縄文土器・平安土器が少数出土している。	特になし。	3号溝があるところも、少しずれるが地境が走るので、もしかすると3号溝は地境の溝であるかもしれない。
4号溝	13	不明	C区 L-6・L-7	ピットと重複	やや弧状	長さ(5.92) 幅 0.63～1.20 深さ 0.04～0.07	幅広で浅めの溝が東壁から東西方向に伸び、調査区の途中で途切れる。	縄文土器・弥生土器・平安土器が少数出土している。	特になし。	形状は不整である。この付近に地境はない。
5号溝	13	不明	C区 K-6・L-6・ L-7	ピットと重複	直線状	長さ(8.85) 幅 0.25～0.59 深さ 0.04～0.07	幅狭でやや浅い溝が東西方向に調査区を横断している。	平安土器が少数出土している。	特になし。	この付近に地境はない。
6号溝	66 67	不明	C区 H-3・H-4・ I-4	9号住・4号周溝墓・土坑を切る	ほぼ直線状	長さ 12.48 幅 1.74～2.36 深さ 0.60～0.83	幅広で深めの溝が南北方向に調査区を横断している。断面形状はV字に近く、底部では幅狭の溝が一段深く作られている。	縄文土器・弥生土器・平安土器が出土している。特に縄文時代の住居跡を壊しているので、縄文土器の出土数が多く、その大部分は9号住由来のものであろう。	特になし。	断面はV字状に近く、底部に一段下がる溝をもつ。
7号溝(欠番)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8号溝	87	不明	C区 C-1・C-2	なし	直線状	長さ 6.47 幅 0.46～0.80 深さ 0.10	やや幅広で浅めの溝が南北に伸びている。調査区を横断することはなく、全てが調査区内である。あまり長くはない。	縄文土器・平安土器が少数出土している。	特になし。	一部を掘削による撹乱に壊されている。 溝の主軸が、2・3・5号周溝墓の溝の主軸とほぼ並行しているので、方形周溝墓の溝の一部であった可能性も考えられる。周辺に同規模の溝はない。
1号竪穴	86	不明	A区 AC-9	1号溝を切る	不明(不整な長方形か？)	長軸 3.24 短軸(1.30) 深さ 0.43	不整形な落ち込みが2箇所ある。床面の硬化面は確認できなかった。	縄文土器が1点出土した。	特になし。	性格不明。住居跡の可能性も低い。
1号組石	60	弥生中期	A区 Y-9	なし	長方形	長軸 0.61 短軸 0.46 深さ 0.20	約20～5cm大の礫が長方形に囲まれている。その中を礫で埋めているようである。囲っている礫は必ずしも立てられている訳ではない。礫の下に焼土は確認できず、礫自体も焼けているようには見えなかった。掘り込みも確認できなかった。	なし。	1号組石自体からの遺物の出土はなかったが、周辺に拳大の礫が散在していて、その中に10052の打製石斧があった。打製石斧は出土レベルも1号組石と同じだったので、関連性が高い可能性がある。1号組石のやや離れたところからも弥生時代前期の条痕文土器が幾つか出土している。	1号組石は、焼かれた痕跡が明確には残っていなかったが、周辺の土器や礫の出土状況をみると、住居跡の炉跡の可能性が高い。近くには20・21号ピットがあり、それらを住居に伴うものと仮定すると、約7mの住居範囲が想定できる。やや大きい感はあるが、1号組石を炉跡とした住居跡の存在を指摘しておきたい。残念ながら、調査区壁では住居跡の立ち上がりが確認できなかった。
1号炉跡	38	縄文中期後半？	C区 G-3	なし	不整な円形	長軸 0.63 短軸 0.58 深さ 0.05	炉の南西側に人頭大～拳大の石が並ぶ。列のやや北に離れてところにも約30cm大の礫が1つ置かれる。	なし。周辺からは縄文中期後半の土器が多数出土している。	なし。	最初に礫の列を検出したが炉と分からず、図面をとってから石を取り上げ少し下げていくと焼土が確認できたので炉跡と断定した。おそらく住居の炉であろう。

第4表　土坑・ピット一覧

土坑名	調査区	グリッド	長軸(cm)	短軸(cm)	深さ(cm)	備考
1号土坑	B区	S-9	110.0	(60.0)	26.5	縄文土器2、平安土器1
2号土坑	B区	S-9	156.0	(88.0)	13.3	縄文土器3、弥生土器1
3号土坑	B区	S-10	166.0	(100.0)	16.0	
4号土坑	B区	T-10	110.0	(60.0)	12.6	縄文土器1
5号土坑	B区	S-10	140.0	126.0	40.8	縄文土坑、縄文土器9、剥片1
6号土坑	B区	S-9	138.0	108.0	25.2	縄文土坑、縄文土器5、磨石類1
7号土坑	B区	R-10	(160.0)	(76.0)	6.6	縄文土坑、縄文土器5、打斧1
8号土坑	B区	R-10	85.0	76.0	12.3	縄文土器7
9号土坑	B区	R-9	96.0	86.0	74.6	縄文土坑、縄文土器35、石器7
10号土坑	B区	R-9	90.0	84.0	25.5	縄文土坑、縄文土器10、剥片1
11号土坑	B区	R-9	62.0	60.0	18.9	縄文土坑、縄文土器9
12号土坑	B区	S-9	64.0	56.0	17.7	縄文土坑、縄文土器6
13号土坑	B区	R-9	70.0	58.0	20.6	縄文土坑、縄文土器3
14号土坑	B区	S-10	108.0	102.0	35.5	縄文土坑、縄文土器7、石器5
15号土坑	B区	R-9	68.0	60.0	24.6	
16号土坑	B区	S-10	56.0	56.0	26.7	
17号土坑	B区	U-9	70.0	68.0	33.0	
18号土坑	B区	U-9	170.0	(104.0)	30.8	
19号土坑	A区	AB-9	96.0	82.0	27.6	弥生土器1
20号土坑	A区	AB-9	(100.0)	(98.0)	28.5	弥生土器4
21号土坑	A区	AB-9	(54.0)	(52.0)	27.3	
22号土坑	C区	P-8	64.0	50.0	29.8	平安土器1
23号土坑	C区	O-8	70.0	64.0	24.2	
24号土坑	C区	O-8	54.0	46.0	32.9	
25号土坑	C区	O-8	120.0	90.0	13.7	縄文土器1
26号土坑	C区	O-8	64.0	52.0	17.8	
27号土坑	C区	O-8	52.0	48.0	27.9	
28号土坑	C区	N-7	100.0	80.0	48.8	
29号土坑	C区	N-7	78.0	76.0	34.5	
30号土坑	C区	N-7	60.0	50.0	14.1	
31号土坑	C区	N-7	(56.0)	50.0	11.8	
32号土坑	C区	M-7	144.0	100.0	26.4	
33号土坑	B区	Q-9	140.0	(54.0)	17.5	
34号土坑	B区	Q-9	70.0	(56.0)	14.2	剥片1
35号土坑	B区	O-9	94.0	(44.0)	44.5	
36号土坑	C区	M-6	80.0	56.0	15.5	
37号土坑	C区	M-6	78.0	50.0	59.5	縄文土器1、平安土器1
38号土坑	C区	L-6	78.0	54.0	72.1	
39号土坑	C区	L-6	70.0	70.0	61.1	平安土器1
40号土坑	C区	L-6	300.0	102.0	10.7	平安土器2
41号土坑	C区	L-6	54.0	46.0	20.7	礫器1
42号土坑	C区	L-6	72.0	46.0	38.5	縄文土器1
43号土坑	C区	L-6	100.0	(70.0)	7.9	
44号土坑	C区	M-6	72.0	40.0	75.7	縄文土器2、平安土器1
45号土坑	C区	M-6	80.0	56.0	18.6	平安土器1
46号土坑	C区	M-6	58.0	58.0	15.9	縄文土器1
47号土坑	C区	L-6	70.0	58.0	11.8	平安土器1
48号土坑	C区	L-6	48.0	40.0	8.4	縄文土器1
49号土坑	C区	L-6	100.0	96.0	7.2	縄文土器1、平安土器2
50号土坑	C区	L-6	80.0	52.0	13.2	
51号土坑	C区	L-6	86.0	66.0	7.9	縄文土器2
52号土坑	C区	L-6	132.0	68.0	7.5	平安土器1
53号土坑	C区	L-6	74.0	66.0	12.9	
54号土坑	C区	K-5	106.0	80.0	60.9	縄文土坑、縄文土器3、磨石類1、石皿1
55号土坑	C区	G-4	152.0	150.0	38.5	弥生中期の土坑墓、底部に小型壺の下半部を埋設、縄文土器119、弥生土器182、平安土器13、石器26
56号土坑	C区	H-4	124.0	90.0	59.3	縄文土坑、縄文土器8、弥生土器1、平安土器3、剥片1
57号土坑	C区	J-5	106.0	86.0	10.4	平安土器1
58号土坑	C区	H-4	98.0	80.0	44.4	
59号土坑	C区	H-4	102.0	100.0	64.8	縄文土器4
60号土坑	C区	F-2	56.0	56.0	24.9	縄文土器1
61号土坑	C区	B-1	86.0	86.0	70.8	
62号土坑	C区	H-3	84.0	66.0	37.1	縄文土器3
63号土坑	C区	H-3	78.0	70.0	25.3	縄文土器10、平安土器2
64号土坑	C区	K-6	64.0	56.0	15.5	
65号土坑	C区	I-4	(154.0)	(42.0)	45.4	
66号土坑	C区	G-4	(70.0)	54.0	23.6	
67号土坑	C区	G-3	(70.0)	(22.0)	19.1	
1号ピット	B区	T-10	40.0	36.0	29.4	
2号ピット	B区	R-9	54.0	48.0	31.0	縄文ピット、縄文土器6、剥片1
3号ピット	B区	R-9	48.0	46.0	29.6	
4号ピット	B区	R-9	50.0	46.0	20.2	
5号ピット	B区	R-9	52.0	50.0	19.0	縄文土器3
6号ピット	B区	R-9	62.0	54.0	39.3	弥生土器1
7号ピット	B区	R-9	40.0	38.0	22.2	
8号ピット	B区	R-9	46.0	42.0	22.3	縄文土器1
9号ピット	B区	R-9	48.0	32.0	35.0	縄文土器1
10号ピット	B区	Q-9	46.0	42.0	31.2	弥生土器2
11号ピット	B区	R-9	60.0	38.0	8.5	
12号ピット	B区	Q-9	48.0	40.0	13.5	
13号ピット	B区	Q-9	50.0	46.0	16.3	
14号ピット	B区	R-9	52.0	46.0	34.6	
15号ピット	B区	R-9	42.0	30.0	47.7	
16号ピット	B区	R-9	80.0	50.0	9.0	
17号ピット	B区	R-9	86.0	50.0	16.6	縄文土器1
18号ピット	A区	X-9	68.0	62.0	27.8	
19号ピット	A区	X-9	40.0	36.0	21.1	
20号ピット	A区	Y-9	54.0	48.0	13.1	
21号ピット	A区	Y-9	62.0	56.0	18.4	弥生土器1
22号ピット	A区	Z-9	46.0	42.0	29.8	
23号ピット	A区	Z-9	46.0	32.0	13.9	弥生土器2、平安土器1、剥片1
24号ピット	A区	AC-9	54.0	45.0	17.8	
25号ピット	A区	AC-9	70.0	58.0	34.4	平安土器1
26号ピット	A区	AB-9	58.0	44.0	16.6	
27号ピット	C区	O-8	(50.0)	42.0	10.3	平安土器2
28号ピット	C区	O-8	52.0	40.0	8.8	
29号ピット	C区	O-8	46.0	36.0	24.7	
30号ピット	C区	O-8	30.0	20.0	20.1	
31号ピット	C区	O-8	(54.0)	52.0	28.7	
32号ピット	C区	O-8	36.0	34.0	28.2	
33号ピット	C区	M-7	46.0	46.0	15.9	
34号ピット	C区	M-7	30.0	24.0	16.7	
35号ピット	C区	M-7	34.0	34.0	9.8	
36号ピット	C区	M-7	44.0	44.0	10.6	縄文土器1
37号ピット	C区	L-6	44.0	36.0	16.7	
38号ピット	C区	L-6	30.0	28.0	15.8	
39号ピット	C区	L-7	24.0	22.0	23.8	
40号ピット	C区	L-7	30.0	24.0	21.8	
41号ピット	C区	L-7	34.0	32.0	17.6	
42号ピット	C区	M-6	52.0	44.0	10.9	
43号ピット	C区	M-6	50.0	40.0	19.6	
44号ピット	C区	M-6	50.0	42.0	13.6	平安土器1
45号ピット	C区	M-7	30.0	30.0	13.7	
46号ピット	B区	Q-9	46.0	38.0	15.8	
47号ピット	B区	Q-9	66.0	60.0	44.8	縄文土器1
48号ピット	B区	Q-9	34.0	30.0	12.3	
49号ピット	B区	Q-9	64.0	56.0	13.1	縄文土器1
50号ピット	B区	P-9	36.0	32.0	12.4	平安土錘1
51号ピット	B区	O-9	50.0	50.0	21.4	
52号ピット	B区	O-9	70.0	(26.0)	9.1	
53号ピット	B区	O-9	54.0	(30.0)	28.1	
54号ピット	C区	M-7	70.0	30.0	21.0	
55号ピット	C区	M-6	56.0	46.0	13.9	
56号ピット	C区	M-6	46.0	(32.0)	23.6	
57号ピット	C区	M-6	(5.8)	(32.0)	22.7	平安土器1
58号ピット	C区	L-6	30.0	20.0	15.8	
59号ピット	C区	L-6	30.0	26.0	11.7	平安土器1
60号ピット	C区	L-6	(34.0)	(30.0)	11.3	
61号ピット	C区	L-6	26.0	26.0	8.0	
62号ピット	C区	L-6	54.0	40.0	35.8	
63号ピット	C区	L-6	64.0	46.0	37.8	
64号ピット	C区	L-6	54.0	48.0	16.1	
65号ピット	C区	L-6	46.0	44.0	7.9	
66号ピット	C区	L-6	38.0	30.0	15.5	
67号ピット	C区	L-6	40.0	36.0	9.5	
68号ピット	C区	L-6	32.0	30.0	10.4	
69号ピット	C区	L-6	32.0	26.0	10.5	平安土器1
70号ピット	C区	L-6	24.0	20.0	11.0	
71号ピット	C区	L-7	30.0	26.0	9.0	
72号ピット	C区	L-6	36.0	36.0	12.6	縄文土器1
73号ピット	C区	L-6	38.0	36.0	20.8	
74号ピット	C区	L-6	42.0	34.0	26.5	縄文土器2
75号ピット	C区	L-6	56.0	50.0	16.4	
76号ピット	C区	L-6	(50.0)	44.0	11.0	
77号ピット	C区	L-6	54.0	46.0	14.7	
78号ピット	C区	L-6	50.0	34.0	11.7	弥生土器1
79号ピット	C区	K-5	56.0	46.0	13.6	
80号ピット	C区	K-5	36.0	32.0	9.1	
81号ピット	C区	K-5	30.0	28.0	12.6	
82号ピット	C区	J-5	44.0	36.0	14.2	
83号ピット	C区	J-6	64.0	44.0	21.9	縄文土器1
84号ピット	C区	J-6	68.0	44.0	17.0	
85号ピット	C区	J-5	40.0	28.0	18.6	
86号ピット	C区	J-5	42.0	40.0	18.1	
87号ピット	C区	J-6	30.0	28.0	11.3	
88号ピット	C区	K-6	24.0	24.0	17.0	
89号ピット	C区	J-5	44.0	38.0	20.7	
90号ピット	C区	J-5	68.0	38.0	27.9	
91号ピット	C区	J-5	48.0	40.0	30.1	
92号ピット	C区	J-5	72.0	48.0	46.4	
93号ピット	C区	I-5	52.0	36.0	12.5	
94号ピット	C区	I-5	(36.0)	(24.0)	32.6	平安土器1
95号ピット	C区	J-5	50.0	46.0	21.7	
96号ピット	C区	J-5	(52.0)	30.0	14.5	縄文土器6
97号ピット	C区	J-5	46.0	36.0	27.5	
98号ピット	C区	I-4	40.0	40.0	20.6	
99号ピット	C区	H-4	(36.0)	32.0	11.7	
100号ピット	C区	I-4	50.0	46.0	41.9	
101号ピット	C区	I-4	42.0	38.0	24.8	
102号ピット	C区	H-4	(42.0)	(20.0)	30.7	
103号ピット	C区	H-4	(34.0)	(20.0)	13.2	
104号ピット	C区	H-4	(40.0)	(30.0)	18.4	
105号ピット	C区	H-3	(60.0)	(36.0)	25.6	
106号ピット	C区	H-3	(50.0)	(50.0)	13.7	縄文土器3
107号ピット	C区	H-3	(62.0)	52.0	4.7	
108号ピット	C区	H-3	32.0	(28.0)	13.7	縄文土器6、弥生土器2
109号ピット	C区	H-3	64.0	50.0	19.0	
110号ピット	C区	H-3	52.0	34.0	7.7	縄文土器1、弥生土器1、楔形1
111号ピット	C区	H-3	(32.0)	30.0	29.1	
112号ピット	C区	H-3	60.0	(40.0)	13.4	
113号ピット	A区	AC-9	44.0	38.0	22.5	
114号ピット	A区	AC-9	34.0	32.0	12.3	
115号ピット	C区	O-8	46.0	30.0	20.2	
116号ピット	C区	K-6	50.0	44.0	21.8	
117号ピット	C区	I-5	52.0	36.0	9.7	
118号ピット	C区	I-4	30.0	20.0	3.3	
119号ピット	C区	I-4	32.0	28.0	6.6	
120号ピット	C区	G-4	52.0	36.0	27.1	
121号ピット	C区	G-4	50.0	34.0	22.8	
122号ピット	C区	G-4	46.0	38.0	32.3	
123号ピット	C区	G-3	26.0	24.0	3.7	
124号ピット	C区	G-3	50.0	36.0	17.6	
125号ピット	C区	G-3	60.0	42.0	29.1	
126号ピット	C区	G-3	38.0	34.0	17.5	
127号ピット	C区	G-4	52.0	42.0	15.4	
128号ピット	C区	F-2	62.0	44.0	26.7	
129号ピット	C区	F-2	(50.0)	30.0	18.8	
130号ピット	C区	F-2	(34.0)	(30.0)	11.3	

第5表　土器観察表

図版	遺物番号	出土位置	時代	時期	土器種別	器種	重量	部位	焼成	胎土	色調	調整・文様等	特徴
21	4152	6号住	縄文	中期	土製品	土偶	14.2	脚部	良好	長、英、雲、赤、黒	黒褐	なで	
21	9036	6号住	縄文	中期	土製品	土偶	9.3	脚部	良好	長、英、雲、赤、黒	にぶい橙	なで	
21	9176	6号住	縄文	中期	土製品	土偶	7.3	脚部	良好	長、英、雲、赤、黒	にぶい褐	なで	
21	9228	6号住	縄文	中期	土製品	土鈴	14.1	―	良好	長、英、雲、赤、黒	黄灰	外)円形や直線の沈線、内)なで	1/2片
23	4026	6号住	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	147.7	口	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)にぶい黄橙、内)灰黄褐	外)条線地紋・隆線による懸垂文・隆線脇の沈線・縦位波状沈線、内)なで・みがき	
23	4156	6号住	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	615.0	口	良好	長、雲、白、赤、黒	外)にぶい黄褐、内)にぶい黄褐	外)条線地紋・隆線による区画文・隆線脇の沈線・縦位波状沈線、内)なで・みがき	
23	4166	6号住	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	75.1	口	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)にぶい黄橙、内)灰黄褐	外)条線地紋・沈線・縦位波状沈線・肥厚帯・横S字文・小突起、内)なで	
23	8132	6号住	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	54.5	胴	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)にぶい黄褐、内)にぶい黄褐	外)条線地紋・縦位波状沈線、内)なで・みがき	
23	8333	6号住	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	34.3	胴	良好	長、英、白、赤、黒	外)にぶい黄橙、内)灰黄褐	外)条線地紋・隆線による懸垂文・隆線脇の沈線・縦位波状沈線、内)なで・みがき	
23	8489	6号住	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	両耳壺	680.0	胴	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)明褐、にぶい橙、内)褐灰	外)隆線による区画文・隆線脇及び隆線上の沈線・区画内を条線で充填、内)なで・みがき	
23	9451	6号住	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	両耳壺	3,120.0	口～胴	良好	長、英、雲、赤、黒	外)にぶい褐、内)橙	外)隆線による区画文・隆線脇の沈線・区画内に渦巻文と条線、内)なで・みがき	1号埋甕
23	9538	6号住	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	両耳壺	3,450.0	胴	良好	長、英、雲、赤、黒	外)にぶい橙、内)にぶい褐	外)隆線と沈線による区画文・隆線脇の沈線・隆線の区画の一部に渦巻文・沈線区画内に条線を充填、内)なで・みがき	2号埋甕
23	10001	6号住	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	97.4	口	良好	長、英、白、赤、黒	外)黒褐、内)にぶい黄褐、にぶい黄橙	外)条線地紋・口唇部直下に1条の沈線、内)なで・みがき	
24	4175	6号住	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	377.7	口	良好	雲、赤、白、黒	外)にぶい黄橙、内)にぶい黄橙	外)綾杉文地紋・隆線による渦巻つなぎ弧文と懸垂文・隆線脇の沈線・縦位波状沈線、内)なで・みがき	
24	6675	6号住	縄文	中期	―	深鉢	307.1	口	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)灰褐、にぶい赤褐、内)にぶい黄褐	外)口唇部直下に1条の沈線・みがき、内)なで	
24	8200	6号住	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	両耳壺	870.0	胴	良好	長、雲、白、赤、黒	外)にぶい黄橙、内)灰黄褐	外)沈線による区画文・区画内に綾杉文を充填・渦巻文、内)なで・みがき	
24	8632	6号住	縄文	中期後半	曽利	壺	867.0	口～胴	良好	長、英、雲、赤、黒	外)にぶい橙、内)にぶい橙、底)灰褐	外)肩部に1条の隆線・みがき、内)なで・みがき、底)なで	
24	8639	6号住	縄文	中期後半	曽利	有孔鍔付土器	313.0	口～胴	良好	長、英、雲、黒	外)にぶい橙、内)黒褐	外)沈線による渦巻文・有孔の鍔、内)なで・みがき	内外面に赤彩と黒彩と思われる箇所あり、鍔に孔があるタイプ
24	8660	6号住	縄文	中期後半	曽利	壺	400.0	口～底	良好	長、英、雲、赤、黒	外)にぶい黄橙、内)にぶい黄橙、底)にぶい黄橙	外)なで・みがき、内)なで・みがき、底)なで	
24	8864	6号住	縄文	中期後半	曽利	浅鉢	485.0	口～底	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)にぶい黄橙、内)にぶい黄橙、底)にぶい黄橙	外)なで・みがき、内)なで・みがき	
24	8904	6号住	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	1,272.0	口～胴	良好	長、英、雲、赤、黒	外)にぶい橙、内)にぶい橙	外)綾杉文地紋・隆線による懸垂文・隆線脇の沈線、内)なで	
26	3143	7号住	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	両耳壺	254.3	胴	良好	長、英、白、赤、黒	外)にぶい橙、内)明赤褐	外)隆線による区画文・区画内に渦巻文と条線・隆線脇の沈線、内)なで・みがき	
26	3238	7号住	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	65.5	胴	良好	長、英、赤	外)にぶい黄橙、内)浅黄橙	外)綾杉文地紋・沈線による区画文、内)なで	
26	9667	7号住	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	1,647.0	ほぼ完形	良好	長、英、雲、赤、黒	外)橙、内)にぶい褐、底)にぶい橙	外)条線地紋・口唇部直下に1条の沈線、内)なで・みがき、底)なで	
26	10002	7号住	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	23.6	口	良好	長、英、雲、黄、赤、黒	外)にぶい褐、内)にぶい橙	外)隆線による渦巻文・隆線脇の沈線、内)なで・みがき	
26	10003	7号住	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	83.4	胴	良好	長、英、雲、赤、茶	外)にぶい黄褐、内)橙	外)条線地紋・隆線による渦巻文・隆線脇の沈線、内)なで・みがき	
26	10004	7号住	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	74.8	胴	良好	長、英、雲、黄、赤、黒	外)橙、内)にぶい黄橙	外)条線地紋・隆線による渦巻文と懸垂文・隆線脇の沈線、内)なで・みがき	
30	4963	8号住	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	両耳壺	870.0	胴	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)にぶい褐、内)にぶい褐	外)隆線による区画文・一部に渦巻文・隆線脇の沈線・区画内に条線を充填、内)なで・みがき	
30	9019	8号住	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	277.7	口	良好	長、英、雲、白、黒	外)にぶい黄褐、内)にぶい黄褐	外)綾杉文地紋・隆線による渦巻文と懸垂文・隆線脇の沈線・波状沈線、内)なで・みがき	
30	9507	8号住	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	1,200.0	口～底	良好	長、白、赤、黒	外)にぶい橙、内)にぶい橙、底)にぶい橙	外)条線地紋・沈線による渦巻つなぎ弧文・縦位波状沈線、内)なで・みがき、底)なで	
30	9531	8号住	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	1,419.0	口～底	良好	長、英、雲、赤、黒	外)灰褐、にぶい橙、内)にぶい褐、底)橙	外)条線地紋・口唇部直下に1条の沈線・波状沈線、内)なで・みがき、底)なで	
30	9541	8号住	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	1,641.0	ほぼ完形	良好	長、英、雲、黒	外)にぶい褐、内)にぶい橙、底)にぶい橙	外)条線地紋、内)なで・みがき、底)なで	
30	9597	8号住	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	2,960.0	ほぼ完形	良好	長、英、雲、赤、黒	外)にぶい橙、内)にぶい褐	外)条線地紋・口縁部に1条の沈線、内)なで・みがき	1号埋甕
30	9598	8号住	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	3,850.0	ほぼ完形	良好	長、英、雲、赤、黒	外)にぶい橙、内)にぶい褐	外)条線地紋・口縁部に1条の沈線・隆線による渦巻文・隆線脇の沈線、内)なで・みがき	2号埋甕
31	8053	8号住	縄文	中期後半	曽利	深鉢	219.4	口	良好	長、雲、白、赤、黒	外)灰黄褐、内)にぶい褐	外)隆線による斜行文、内)なで・みがき	
31	8957	8号住	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	410.8	口	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)浅黄橙、褐灰、内)にぶい橙	外)条線地紋・隆線による区画文とわらび手状の懸垂文・縦位波状沈線・区画内に条線を充填、内)なで・みがき	
31	8958	8号住	縄文	中期後半	曽利Ⅲ	深鉢	205.8	口	良好	長、英、白、赤、黒	外)にぶい褐、内)褐灰	外)肥厚帯・沈線による渦巻文、内)なで・みがき	波状口縁、突起部に孔あり
31	8959	8号住	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	426.0	口～底	良好	長、英、赤、黒	外)橙、内)にぶい橙	外)綾杉文地紋・沈線による円文とつなぎ弧文・縦位波状沈線・みがき、内)なで・みがき、底)なで・みがき	内面の底部付近にヨゲあり
31	8984	8号住	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	53.7	口	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)にぶい黄橙、内)灰黄褐	外)条線地紋・隆線による渦巻文・隆線脇の沈線、内)なで	波状口縁
31	9265	8号住	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	275.8	口	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)明褐、内)にぶい黄橙	外)綾杉文地紋・口縁部に1条の沈線・縦位波状沈線、内)なで・みがき	
31	9339	8号住	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	440.0	口	良好	長、雲、白、赤、黒	外)にぶい黄橙、内)にぶい黄橙	外)条線地紋・口唇部直下に1条の沈線・縦位波状沈線、内)なで・みがき	
31	9426	8号住	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	294.0	口～底	良好	長、雲、白、赤、黒	外)橙、内)褐灰、底)にぶい橙	外)条線地紋・沈線による渦巻文と懸垂文、内)なで・みがき	小突起あり
31	9446	8号住	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	83.7	口	良好	長、雲、白、赤、黒	外)にぶい黄橙、内)橙	外)条線地紋・隆線による円文とつなぎ弧文・隆線脇の沈線、内)なで・みがき	波状口縁
31	9542	8号住	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	836.0	口～底	良好	長、英、雲、赤、黒	外)橙、内)にぶい褐、底)にぶい橙	外)綾杉文地紋・隆線による渦巻つなぎ文と懸垂文・隆線脇の沈線、内)なで・みがき、底)なで	
32	4973	8号住	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	65.1	口	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)明褐、明赤褐、内)にぶい黄褐、にぶい黄橙	外)綾杉文地紋・口唇部直下に1条の沈線・沈線による懸垂文、内)なで・みがき	
32	4979	8号住	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	107.4	口	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)にぶい赤褐、内)にぶい赤褐	外)綾杉文地紋・隆線・縦位波状沈線、内)なで・みがき	
32	4982	8号住	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	92.6	口	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)橙、にぶい橙、内)にぶい橙	外)綾杉文地紋・隆線による懸垂文・隆線脇の沈線、内)なで・みがき	
32	8059	8号住	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	130.4	口	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)明褐、明赤褐、内)黄褐	外)綾杉文地紋・口唇部直下に1条の沈線・沈線による懸垂文・縦位波状沈線、内)なで・みがき	
32	8980	8号住	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	442.0	胴	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)にぶい黄橙、内)にぶい黄橙	外)条線地紋・隆帯による懸垂文・縦位波状沈線、内)なで・みがき	
32	8981	8号住	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	59.9	胴	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)明黄褐、内)明黄褐	外)綾杉文地紋・縦位波状沈線、内)なで・みがき	
32	9188	8号住	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	58.3	口	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)にぶい赤褐、内)橙	外)条線地紋・口唇部と口縁部に1条の沈線・縦位波状沈線、内)なで・みがき	
32	9205	8号住	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	78.1	口	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)にぶい褐、内)褐	外)条線地紋・口唇部と口縁部に1条の沈線・沈線による懸垂文・縦位波状沈線、内)なで・みがき	
32	9282	8号住	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	95.1	胴	良好	長、英、白、赤、黒	外)にぶい橙、にぶい褐、内)にぶい黄橙	外)綾杉文地紋・縦位波状沈線、内)なで・みがき	
32	9296	8号住	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	55.7	口	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)にぶい橙、内)明褐	外)条線地紋・口唇部直下に1条の沈線、内)なで・みがき	
32	9403	8号住	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	50.4	口	良好	長、英、雲	外)にぶい褐、内)にぶい橙	外)綾杉文地紋・隆線による懸垂文・隆線脇の沈線、内)なで・みがき	
32	9429	8号住	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	67.1	口	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)にぶい黄褐、橙、内)橙	外)綾杉文地紋・隆線・隆線脇の沈線、内)なで・みがき	波状口縁、9477と同一個体
32	9442	8号住	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	164.8	口	良好	長、英、雲、黄、赤	外)にぶい黄橙、内)にぶい褐	外)条線地紋・隆線による渦巻つなぎ弧文・区画内に条線を充填、内)なで・みがき	
32	9477	8号住	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	116.0	口	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)にぶい褐、内)にぶい褐、褐	外)綾杉文地紋・隆線・隆線脇の沈線・縦位波状沈線、内)なで・みがき	波状口縁、9429と同一個体
32	9491	8号住	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	95.6	口	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)橙、内)にぶい褐	外)綾杉文地紋・隆線・隆線脇の沈線・縦位波状沈線、内)なで・みがき	
32	9499	8号住	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	86.7	口	良好	英、雲、白、赤、黒	外)にぶい褐、内)にぶい黄橙	外)綾杉文地紋・隆線による懸垂文・口唇部直下に1条の沈線、内)なで・みがき	
32	9521	8号住	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	107.7	口	良好	長、英、雲、赤、黄、黒	外)橙、内)にぶい黄橙	外)条線地紋・口縁部に1条の沈線・縦位波状沈線、内)なで・みがき	
32	10005	8号住	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	500.0	胴	良好	長、英、雲、黒、茶、黄	外)にぶい黄橙、内)明黄褐	外)綾杉文地紋・縦位波状沈線・ケズリ、内)なで・みがき	
33	9088	8号住	縄文	中期後半	曽利Ⅴ	深鉢	60.2	口	良好	長、英、白、赤、黒	外)にぶい黄、明黄褐、内)にぶい黄橙	外)への字状文地紋・口唇部直下に1条の沈線・沈線による懸垂文、内)なで	
33	9093	8号住	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	145.0	胴	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)にぶい橙、内)橙	外)綾杉文地紋・口唇部直下に1条の沈線、内)なで・みがき	
33	9426-3	8号住	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	77.8	胴	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)明黄褐、内)明黄褐	外)綾杉文地紋・隆線による懸垂文・隆線脇の沈線、内)なで・みがき、底)なで	
33	9454	8号住	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	192.7	胴	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)明黄褐、内)黄褐	外)綾杉文地紋・隆線による懸垂文・隆線脇の沈線、内)なで・みがき	
33	9495	8号住	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	70.8	胴	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)にぶい黄橙、内)にぶい黄橙	外)綾杉文地紋・隆線による懸垂文・隆線脇の沈線・縦位波状沈線、内)なで・みがき	
33	10006	8号住	縄文	中期後半	曽利Ⅴ	深鉢	84.3	口	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)にぶい橙、内)にぶい橙	外)隆線による区画文・隆線脇の沈線・区画内をへの字状文で充填、内)なで・みがき	
35	6297	9号住	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	713.0	口	良好	長、英、雲、赤、黒	外)橙、内)明褐	外)縄文地紋・口縁部に1条の沈線・沈線による懸垂文・縦位波状沈線、内)なで	
35	6308	9号住	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	88.3	口	良好	長、英、白、赤、黒	外)にぶい黄橙、内)にぶい黄橙	外)綾杉文地紋・口縁部に1条の沈線・沈線による懸垂文・縦位波状沈線、内)なで・みがき	
35	9539	9号住	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	1,050.0	胴	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)にぶい橙、内)にぶい橙	外)綾杉文地紋・隆線による懸垂文・隆線脇の沈線・縦位波状沈線、内)なで・みがき	
36	4074	9号住	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	119.7	底	良好	長、英、雲、白、黒、赤	外)にぶい橙、内)にぶい黄褐、底)にぶい黄褐	外)綾杉文地紋・隆線による懸垂文・隆線脇の沈線、内)なで・みがき、底)なで・みがき	
36	5196	9号住	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	153.8	胴	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)明褐、内)にぶい黄褐	外)条線地紋・隆線による渦巻文と区画文・隆線脇の沈線・区画内に条線を充填、内)なで・みがき	
36	5298	9号住	縄文	中期後半	曽利Ⅴ	深鉢	45.2	胴	良好	長、英、雲、白、黒、赤	外)褐、内)にぶい黄褐	外)への字状文地紋・沈線による懸垂文、内)なで・みがき	
36	5306	9号住	縄文	中期後半	曽利Ⅴ	深鉢	33.1	口	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)にぶい黄橙、内)にぶい黄橙	外)櫛歯状工具によるへの字状文地紋・口唇部直下に1条の沈線・沈線による懸垂文、内)なで・みがき	
36	5443	9号住	縄文	中期末	―	深鉢	85.9	胴	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)オリーブ褐、内)にぶい黄橙	外)縄文地紋・沈線、内)なで・みがき	
36	5513	9号住	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	96.1	口	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)にぶい黄褐、内)にぶい黄褐	外)綾杉文地紋・口縁部に1条の沈線・沈線による懸垂文・縦位波状沈線、内)なで・みがき	
36	5555	9号住	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	52.4	胴	良好	長、英、雲、白、黒、赤	外)にぶい褐、内)にぶい褐	外)短い綾杉文地紋・縦位波状沈線、内)なで・みがき	
36	5687	9号住	縄文	後半初頭	称名寺	深鉢	140.1	口	良好	長、英、白、赤、黒	外)にぶい黄橙、内)にぶい黄橙	外)沈線、内)なで・みがき	
36	5860	9号住	縄文	中期末	―	深鉢	177.4	口	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)にぶい黄橙、内)黄灰	外)縄文地紋・沈線による区画文・区画内に縄文を充填、内)なで・みがき	波状口縁

第5表　土器観察表

図版	遺物番号	出土位置	時代	時期	土器種別	器種	重量	部位	焼成	胎土	色調	調整・文様等	特徴
36	5936	9号住	縄文	中期末	－	深鉢	93.8	胴	良好	長、英、白、黒	外)にぶい黄褐、にぶい黄褐、内)にぶい黄橙	外)縄文地紋・沈線、内)なで・みがき	
36	5979	9号住	縄文	中期後半	曽利Ⅴ	深鉢	22.1	口	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)にぶい黄橙、内)にぶい黄褐	外)櫛歯状工具によるハの字状文地紋・沈線による区画文と懸垂文、内)なで	口縁部外面にコゲあり
36	6257	9号住	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	47.1	胴	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)明黄褐、内)黄褐	外)綾杉文地紋・沈線による懸垂文・縦位波状沈線、内)なで・みがき	
36	6452	9号住	縄文	中期後半	曽利Ⅴ	深鉢	148.6	底	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)橙、内)褐灰、底)明赤褐	外)縄文地紋・沈線による懸垂文、内)なで・みがき、底)なで・みがき	
36	6547	9号住	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	42.2	胴	良好	長、白、赤、黒	外)にぶい黄橙、内)にぶい黄橙	外)綾杉文地紋・隆線による懸垂文、内)なで	
36	6710	9号住	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	50.5	胴	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)明黄褐、内)にぶい黄橙	外)綾杉文地紋・沈線による懸垂文・縦位波状沈線、内)なで・みがき	
36	7210	9号住	縄文	中期末	－	深鉢	68.7	口	良好	長、英、雲、白、黒	外)にぶい黄褐、内)にぶい黄褐	外)隆線による区画文・隆線脇の沈線・区画内を縄文で充填、内)なで・みがき	波状口縁
36	7575	9号住	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	62.8	口	良好	長、英、雲	外)にぶい黄褐、内)にぶい黄橙	外)綾杉文地紋・隆線による懸垂文、内)なで・みがき	
36	7882	9号住	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	55.3	口	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)にぶい黄褐、内)にぶい黄褐	外)条線地紋・隆線による区画文、内)なで・みがき	隆線のはがれ痕あり、隆線を貼り付ける前に条線を描いている
36	7886	9号住	縄文	中期後半	曽利Ⅴ	台付深鉢	51.0	胴	良好	長、英、白、赤、黒	外)赤褐、内)赤褐	外)櫛歯状工具によるハの字状文地紋、内)なで・ながき	
36	8532	9号住	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	51.7	胴	良好	長、英、雲、白、黒	外)にぶい黄橙、内)にぶい黄橙	外)綾杉文地紋・沈線による懸垂文、内)なで・みがき	
36	8623	9号住	縄文	中期後半	曽利	深鉢	43.8	胴	良好	長、英、雲、赤、黒	外)黄褐、明黄褐、内)にぶい黄褐	外)縄文地紋・沈線による懸垂文・縦位波状沈線、内)なで・みがき	
36	9277	9号住	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	55.3	口	良好	長、英、白、赤、黒	外)褐、内)褐	外)条線地紋、内)なで・みがき	
36	9304	9号住	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	242.8	底	良好	長、英、雲、白、黒	外)橙、内)灰褐、底)にぶい橙	外)綾杉文地紋、内)なで、底)木葉痕・なで	
36	9346	9号住	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	92.8	胴	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)にぶい褐、内)にぶい褐	外)隆線による懸垂文・隆線脇の沈線・みがき、内)なで・みがき	
36	9374	9号住	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	58.0	胴	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)明褐、内)にぶい黄橙	外)綾杉文地紋・隆線による懸垂文・隆線脇の沈線・縦位波状沈線、内)なで	
37	9587	11号住	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	42.3	口	良好	長、英、黄	外)にぶい橙、内)にぶい橙	外)綾杉文地紋・口唇部直下に2条の沈線・沈線による懸垂文、内)なで・みがき	
37	9620	11号住	縄文	中期後半	曽利Ⅴ	深鉢	74.5	胴	良好	長、英、雲	外)橙、内)橙	外)縄文地紋・沈線による懸垂文、内)なで	
37	9628	11号住	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	47.2	口	良好	英、赤、黒	外)にぶい黄褐、内)明黄褐、にぶい褐	外)綾杉文地紋・口唇部直下に1条の沈線・沈線による懸垂文、内)なで・みがき	
37	9636	11号住	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	42.7	胴	良好	長、英、雲、赤	外)橙、にぶい黄褐、内)にぶい黄褐	外)綾杉文地紋・沈線による懸垂文、内)なで・みがき	
37	9646	11号住	縄文	中期後半	曽利Ⅴ	深鉢	60.0	口	良好	長、雲、茶、赤、黄	外)明褐、内)暗褐	外)縄文地紋・沈線による区画文・区画内を縄文で充填、内)なで・みがき	
37	9655	11号住	縄文	中期後半	曽利Ⅴ	深鉢	39.1	胴	良好	長、英、雲、黄	外)にぶい黄褐、内)にぶい黄橙	外)ハの字状文地紋、内)なで・みがき	
37	9656	11号住	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	114.8	口	良好	長、英、雲、赤	外)明黄褐、内)にぶい黄橙、褐	外)綾杉文地紋・口唇部直下に1条の沈線・沈線による懸垂文、内)なで・みがき	
37	9661	11号住	縄文	中期末	－	深鉢	112.1	底	良好	長、英、雲、赤、黄	外)橙、内)橙、低)橙	外)縄文地紋・沈線による懸垂文、内)なで	
37	10007	11号住	縄文	中期末	－	深鉢	101.9	胴	良好	長、英、茶、黒	外)黄橙、内)浅黄	外)縄文地紋・沈線による懸垂文、内)なで・みがき	
38	9569	11号住	縄文	中期末	－	壺	73.6	胴	良好	長、英、雲、黄、赤、黒	外)にぶい褐、内)褐	外)隆線・隆線脇の沈線、内)なで	
38	9590	11号住	縄文	中期後半	曽利Ⅴ	深鉢	500.0	底	良好	長、英、白、赤、黒	外)にぶい橙、内)にぶい橙、底)橙	外)櫛歯状工具によるハの字状文・沈線、内)なで、底)なで	
38	9647	11号住	縄文	中期末	－	深鉢	39.1	胴	良好	長、英、雲、赤、黄	外)にぶい黄褐、内)にぶい黄褐	外)縄文地紋・沈線による懸垂文、内)なで	
38	9654	11号住	縄文	中期後半	曽利Ⅴ	深鉢	89.8	胴	良好	長、英、雲、赤、黄、黒	外)橙、内)明褐	外)縄文地紋・沈線による懸垂文、内)なで	
38	10008	11号住	縄文	中期末	－	深鉢	45.9	胴	良好	長、英、雲、赤、黒、茶	外)明褐、内)にぶい橙	外)縄文地文・沈線による懸垂文、内)なで	
39	1088	2号土坑	縄文	中期末	－	深鉢	47.7	胴	良好	長、英、白、赤、黒	外)にぶい黄橙、内)橙	外)縄文地紋・隆線・隆線脇の沈線、内)なで	
39	143	5号土坑	縄文	中期末	－	深鉢	20.1	口	良好	長、英、赤、黒	外)にぶい黄橙、内)にぶい黄橙	外)縄文地紋・沈線による逆U字文、内)なで・みがき	
39	144	5号土坑	縄文	中期末	－	深鉢	51.9	胴	良好	長、雲、白、赤、黒	外)にぶい黄橙、内)にぶい黄橙	外)縄文地紋・隆線、内)なで・みがき	
40	178	6号土坑	縄文	中期後半	曽利Ⅴ	深鉢	28.9	胴	良好	長、白、赤、黒	外)にぶい褐、内)にぶい褐	外)ハの字状文地紋・沈線、内)なで・みがき	
40	368	6号土坑	縄文	中期末	－	深鉢	48.9	口	良好	長、雲、白、赤、黒	外)にぶい黄褐、黒褐、内)にぶい黄橙	外)隆線・隆線脇の沈線、内)なで	
40	262	12号土坑	縄文	中期末	－	深鉢	99.8	口	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)にぶい褐、内)にぶい褐	外)縄文地紋・隆線による弧文と懸垂文、内)なで・みがき	
40	114	13号土坑	縄文	中期末	－	深鉢	140.0	口	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)にぶい橙、内)にぶい黄橙	外)縄文地紋・沈線による渦巻文と逆U字文・刺突文、内)なで・みがき	突起あり
40	653	13号土坑	縄文	中期末	－	深鉢	76.4	胴	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)にぶい黄橙、内)にぶい黄橙	外)縄文地紋・隆線による懸垂文、内)なで・みがき	
41	458	7号土坑	縄文	中期	－	深鉢	29.5	胴	良好	長、雲、白、赤、黒	外)明赤褐、内)にぶい赤褐	外)縄文地紋・隆線による懸垂文・隆線脇の沈線、内)なで・みがき	
41	648	7号土坑	縄文	中期後半	曽利Ⅴ	深鉢	24.8	胴	良好	長、雲、白、赤、黒	外)にぶい黄橙、内)にぶい黄褐	外)櫛歯状工具によるハの字状文地紋・沈線による懸垂文、内)なで	
41	346	14号土坑	縄文	中期末	－	深鉢	64.8	胴	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)にぶい褐、内)黒褐	外)縄文地紋・沈線による懸垂文、内)なで・みがき	
41	352	14号土坑	縄文	中期末	－	台付深鉢	33.0	脚	良好	長、雲、白、赤、黒	外)橙、内)明赤褐	外)なで・みがき、内)なで・みがき	透かし孔あり
41	440	14号土坑	縄文	土製品	土製品	土錘	54.0	－	良好	長、英、雲、赤、黒	にぶい黄橙	なで	長軸方向に直径6mmの孔が貫通
42	312	9号土坑	縄文	中期末	－	深鉢	75.3	胴	良好	長、英、白、赤、黒	外)明赤褐、内)にぶい橙	外)縄文地紋・沈線による懸垂文、内)なで・みがき	
42	313	9号土坑	縄文	中期末	－	浅鉢	170.8	口	良好	長、英、白、赤、黒	外)にぶい黄橙、内)にぶい黄橙	外)縄文地紋・沈線、内)なで・みがき	波状口縁
42	335	9号土坑	縄文	中期末	－	深鉢	330.0	底	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)明黄褐、内)橙、底)明黄褐	外)隆線による懸垂文、内)なで、底)網代痕・なで	
42	422	9号土坑	縄文	中期末	－	深鉢	156.2	胴	良好	長、雲、白、赤、黒	外)にぶい橙、内)橙	外)縄文地紋・沈線、内)なで・みがき	
42	863	9号土坑	縄文	中期後半	曽利Ⅴ	深鉢	44.0	口	良好	長、雲、白、赤、黒	外)にぶい黄橙、内)にぶい黄橙	外)ハの字状紋地紋・沈線による弧文、内)なで・みがき	
42	864	9号土坑	縄文	中期後半	曽利Ⅴ	深鉢	43.4	胴	良好	長、英、雲、白、黒	外)にぶい黄橙、内)にぶい黄橙	外)ハの字状文地紋・隆線による懸垂文・隆線脇の沈線、内)なで	
42	865	9号土坑	縄文	中期末	－	浅鉢	68.3	口	良好	長、雲、白、赤、黒	外)にぶい黄褐、内)橙	外)縄文地紋・沈線、内)なで	波状口縁
43	40	10号土坑	縄文	中期末	－	深鉢	155.0	胴	良好	長、雲、白、赤、黒	外)にぶい褐、内)にぶい黄橙	外)縄文地紋・隆線による懸垂文、内)なで・みがき	
43	310	10号土坑	縄文	中期末	－	深鉢	49.6	口	良好	長、英、雲、赤、白、黒	外)にぶい褐、内)にぶい橙	外)縄文地紋・沈線、内)なで・みがき	
43	211	11号土坑	縄文	中期末	－	深鉢	45.5	口	良好	長、雲、白、赤、黒	外)にぶい橙、内)にぶい黄橙	外)縄文地紋・口縁部に2条の沈線、内)なで・みがき	
43	212	11号土坑	縄文	中期末	－	深鉢	45.0	胴	良好	長、雲、白、赤、黒	外)橙、内)にぶい黄橙	外)縄文地紋・沈線による懸垂文、内)なで・みがき	
43	203	2号ピット	縄文	中期末	－	深鉢	75.6	底	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)にぶい黄橙、内)明赤褐、底)明褐	外)沈線による懸垂文、)内)なで、底)あじろ痕	
43	1842	19号土坑	弥生	中期	条痕文	甕	21.5	胴	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)にぶい黄橙、内)にぶい黄橙	外)斜行条痕文、内)なで	
44	7680	56号土坑	縄文	中期後半	曽利Ⅴ	深鉢	229.1	把手	良好	長、英、黒、赤、白	外)にぶい橙、内)にぶい黄橙	外)櫛歯状工具によるハの字状文地紋、内)なで・みがき	X字状把手
45	4792	4号住	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	3.2	胴	良好	長、英、雲、黄、赤、黒	外)灰黄褐、内)にぶい黄	外)条線地紋・隆線によるつなぎ弧文と懸垂文、内)なで・みがき	
45	4486	5号住	縄文	中期末	－	浅鉢	56.9	口	良好	長、雲、白、赤、黒	外)にぶい黄橙、内)にぶい黄橙	外)縄文地紋・沈線による区画文、内)なで・みがき	口縁部内面に隆線を1条めぐらす
45	10009	63号土坑	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	107.6	口	良好	長、英、雲、赤	外)黄褐、内)にぶい黄橙	外)綾杉文地紋・隆線による渦巻つなぎ弧文・沈線による懸垂文・隆線脇の沈線・区画内を条線で充填、内)なで・みがき	
45	2356	1号周溝墓(溝内)	縄文	中期末	－	深鉢	56.8	胴	良好	長、英、白、赤、黒	外)橙、内)にぶい黄橙	外)縄文地紋・沈線、内)なで・みがき	
45	2766	1号周溝墓(溝内)	縄文	中期後半	曽利Ⅴ	深鉢	470.0	底	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)橙、内)にぶい黄橙、底)にぶい橙	外)ハの字状文地紋・沈線による懸垂文、内)なで・みがき、底)なで	
45	2976	1号周溝墓(溝内)	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	440.0	底	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)にぶい橙、内)にぶい橙、底)にぶい橙	外)隆線による懸垂文・隆線脇の沈線、内)なで、底)なで	
45	3130	1号周溝墓(溝内)	縄文	中期後半	曽利Ⅲ	深鉢	54.5	突起	良好	白、赤、黒	外)灰黄褐、内)にぶい橙	外)肥厚帯・沈線による渦巻文と円文・口唇部に1条の沈線、内)なで・みがき	突起あり
45	3146	1号周溝墓(溝内)	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	210.6	口	良好	長、英、雲、赤、黒	外)橙、内)橙、にぶい橙	外)綾杉文地紋・隆線による懸垂文・隆線脇の沈線、内)なで・みがき	
45	3173	1号周溝墓(溝内)	縄文	中期末	－	深鉢	91.1	胴	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)にぶい黄橙、内)にぶい黄橙	外)縄文地紋・結節縄文・隆線による懸垂文、内)なで	
45	3229	1号周溝墓(溝内)	縄文	中期後半	曽利Ⅴ	深鉢	59.6	胴	良好	長、英、雲、赤、黒	外)明赤褐、内)橙	外)櫛歯状工具によるハの字状文地紋・沈線による懸垂文、内)なで・みがき	
45	3386	1号周溝墓(溝内)	縄文	中期末	－	深鉢	51.4	胴	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)灰黄褐、内)にぶい黄橙	外)隆線・隆線上に刺突文、内)なで	
45	3426	1号周溝墓(溝内)	縄文	中期後半	曽利	深鉢	71.9	胴	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)にぶい橙、内)明赤褐	外)条線地紋・隆線によるつなぎ弧文・隆線脇と隆線上の沈線・縦位波状沈線、内)なで	
45	3770	1号周溝墓(溝内)	縄文	中期後半	曽利Ⅴ	深鉢	68.6	口	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)にぶい橙、内)にぶい橙	外)櫛歯状工具によるハの字状文地紋・沈線によるつなぎ弧文、内)なで・みがき	
45	2043	2号周溝墓(溝内)	縄文	中期末	－	深鉢	83.7	口	良好	長、白、赤、黒	外)にぶい黄橙、内)にぶい黄橙	外)縄文地紋・口唇部直下に1条の沈線・沈線による区画文・区画内を縄文で充填、内)なで	3211・6587・132と同一個体
45	3211	2号周溝墓(溝内)	縄文	中期末	－	深鉢	200.0	口	良好	長、英、雲	外)にぶい黄橙、内)にぶい黄橙	外)縄文地紋・口唇部直下に1条の沈線・沈線による区画文と懸垂文・区画内に縄文を充填、内)なで・みがき	2043・6587・132と同一個体
45	3821	2号周溝墓(溝内)	縄文	中期後半	曽利Ⅴ	深鉢	53.8	胴	良好	長、英、雲	外)にぶい黄橙、内)にぶい黄橙	外)ハの字状文地紋、内)なで・みがき	
45	3864	2号周溝墓(溝内)	縄文	中期末	－	深鉢	86.0	胴	良好	長、英、白、赤、黒	外)にぶい黄橙、内)にぶい黄橙	外)縄文地紋・沈線による懸垂文、内)なで	
45	4727	2号周溝墓(溝内)	縄文	中期末	－	深鉢	103.3	胴	良好	長、雲、黄、茶、黒	外)明黄褐、内)明黄褐	外)縄文地紋・沈線による懸垂文、内)なで	
45	6587	2号周溝墓(溝内)	縄文	中期末	－	深鉢	160.3	口	良好	長、英、白、赤、黒	外)にぶい黄橙、内)にぶい黄橙	外)縄文地紋・口唇部直下に1条の沈線・沈線による区画文・区画内を縄文で充填、内)なで・みがき	2043・3211・132と同一個体
45	2046	3号周溝墓(溝内)	縄文	中期末	－	深鉢	44.4	胴	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)にぶい黄橙、内)にぶい黄褐	外)縄文地紋・隆線による懸垂文・隆線脇の沈線、内)なで・みがき	
45	2426	3号周溝墓(溝内)	縄文	中期末	－	深鉢	71.1	胴	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)明黄褐、内)にぶい黄橙	外)縄文地紋、内)なで・みがき	
45	7030	3号周溝墓(溝内)	縄文	中期後半	曽利Ⅴ	深鉢	43.3	胴	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)にぶい黄橙、内)にぶい黄橙	外)櫛歯状工具によるハの字状文地紋・沈線による懸垂文、内)なで・みがき	
46	4338	4号周溝墓(溝内)	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	79.5	胴	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)橙、内)にぶい橙	外)条線地紋・隆線による懸垂文・隆線脇の沈線、内)なで・みがき	

第5表　土器観察表

図版	遺物番号	出土位置	時代	時期	土器種別	器種	重量	部位	焼成	胎土	色調	調整・文様等	特徴
46	4710	4号周溝墓(溝内)	縄文	中期後半	曽利Ⅴ	深鉢	58.7	胴	良好	長、英、白、赤、黒	外)橙、内)にぶい黄橙	外)縦位波状条線地紋・隆線による懸垂文・隆線脇の沈線、内)なで	
46	4737	4号周溝墓(溝内)	縄文	中期後半	曽利Ⅴ	深鉢	127.0	口	良好	長、英、雲、黄、赤	外)灰黄褐、内)にぶい黄橙	外)縦位波状条線地紋・口縁部に1条の沈線、内)なで	
46	5782	4号周溝墓(溝内)	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	112.8	胴	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)橙、明褐、内)にぶい黄	外)綾杉文地紋・沈線による懸垂文、内)なで・みがき	
46	6350	4号周溝墓(溝内)	縄文	中期末	－	深鉢	144.8	口	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)浅黄、内)にぶい黄橙	外)縄文地紋・口唇部直下に1条の隆線・沈線、内)なで・みがき	
46	6600	4号周溝墓(溝内)	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	91.2	胴	良好	長、英、白、赤、黒	外)にぶい黄橙、内)橙	外)綾杉文地紋・縦位波状沈線、内)なで・みがき	
46	6781	4号周溝墓(溝内)	縄文	中期後半	曽利Ⅴ	深鉢	89.4	口	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)橙、内)にぶい橙	外)ハの字状文地紋・口唇部直下に1条の沈線、内)なで	
46	7012	4号周溝墓(溝内)	縄文	中期後半	曽利Ⅴ	深鉢	56.1	胴	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)橙、内)にぶい橙	外)ハの字状文地紋・沈線による懸垂文・縦位波状沈線、内)なで・みがき	
46	8276	4号周溝墓(溝内)	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	255.1	胴	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)にぶい黄橙、橙、内)明黄褐、にぶい黄橙	外)綾杉文地紋・隆線による懸垂文・隆線脇の沈線・縦位波状沈線、内)なで・みがき	
46	8354	4号周溝墓(溝内)	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	230.1	胴	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)黒、明赤褐、内)明赤褐	外)条線地紋、内)なで・みがき	
46	8407	4号周溝墓(溝内)	縄文	中期	－	深鉢	104.5	口	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)にぶい黄橙、内)灰黄褐	外)縄文地紋・隆線による区画文と渦巻文・隆線脇の沈線・区画内を条線で充填・縦位波状沈線、内)なで・みがき	
46	8409	4号周溝墓(溝内)	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	146.8	胴	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)にぶい黄褐、内)にぶい褐	外)綾杉文地紋・隆線による懸垂文・隆線脇の沈線、内)なで・みがき	
46	10010	4号周溝墓(溝内)	縄文	中期後半	曽利Ⅱ	深鉢	186.6	口	良好	長、英、雲、赤、黄	外)にぶい褐、内)にぶい褐	外)沈線・みがき、内)なで・みがき	
46	10011	4号周溝墓(溝内)	縄文	中期後半	曽利Ⅲ	深鉢	292.2	口	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)にぶい橙、内)にぶい橙	外)肥厚帯・沈線による渦巻文と円文・口唇部に1条の沈線、内)なで	波状口縁
46	10012	4号周溝墓(溝内)	縄文	中期後半	曽利Ⅲ	深鉢	117.0	口	良好	長、英、白、黒	外)にぶい黄橙、内)褐灰	外)重弧文・細粘土紐貼付、内)隆線・沈線・なで・みがき	
46	10013	4号周溝墓(溝内)	縄文	中期後半	曽利Ⅲ	深鉢	743.0	口～胴	良好	長、英、雲、黒	外)にぶい褐、内)にぶい褐	外)肥厚帯・条線地紋・沈線による円文・隆線による渦巻文・隆線脇の沈線、内)なで・みがき	波状口縁、大突起3単位と小突起3単位の6単位、大突起に孔あり
46	10014	4号周溝墓(溝内)	縄文	中期後半	曽利Ⅲ	深鉢	116.5	胴	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)にぶい橙、内)にぶい褐	外)刺突文地紋・沈線による区画文とわらび手状文、内)なで・みがき	
46	10015	4号周溝墓(溝内)	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	両耳壺	238.6	胴	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)褐灰、内)褐灰	外)隆線・沈線による区画文と渦巻文・区画内を条線で充填、内)なで・みがき	
46	10016	4号周溝墓(溝内)	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	113.9	胴	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)明黄褐、にぶい橙、内)橙	外)綾杉文地紋・沈線による懸垂文、内)なで	
46	10017	4号周溝墓(溝内)	縄文	中期後半	曽利	ミニチュア	28.5	口	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)にぶい黄褐、内)灰黄褐	外)沈線による渦巻文と懸垂文・口唇部に1条の沈線・縦位波状沈線、内)なで	波状口縁、波頂部に沈線による円文あり
47	2887	4号周溝墓(溝内)	縄文	中期末	－	深鉢	136.5	胴	良好	長、英、雲、赤、黒	外)にぶい橙、内)にぶい橙	外)縄文地紋・隆線・隆線脇の沈線、内)なで・みがき	
47	3226	4号周溝墓(溝内)	縄文	中期末	－	浅鉢	77.0	口	良好	長、英、雲	外)にぶい黄、内)灰黄	外)縄文地紋・隆線による懸垂文・沈線による区画文・刺突文、内)なで・みがき・隆線	口縁内面に隆線あり
47	3371	4号周溝墓(溝内)	縄文	中期	土製品	土偶	28.0	脚部	良好	長、英、白、赤、黒	外)にぶい黄橙、内)－、底)浅黄橙	外)ハの字状文・沈線・刺突文、内)－、底)刺突文	
47	5928	4号周溝墓(溝内)	縄文	中期末	－	深鉢	105.5	口	良好	長、英、雲、黄、黒	外)にぶい黄橙、内)にぶい黄橙	外)縄文地紋・口唇部直下に1条の沈線、内)なで	波状口縁
47	8488	4号周溝墓(溝内)	縄文	中期末	－	深鉢	47.1	口	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)明褐、内)橙	外)条線地紋・口唇部直下に2列の刺突列・沈線による懸垂文、内)なで・みがき	
47	10018	4号周溝墓(溝内)	縄文	中期末	－	深鉢	67.4	口	良好	長、英、雲、黄、赤	外)明黄褐、内)赤褐	外)縄文地紋・口唇部直下に1条の隆線・みがき、内)なで・みがき	
47	10019	4号周溝墓(溝内)	縄文	中期末	－	深鉢	89.7	胴	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)橙、内)にぶい黄橙	外)縄文地紋・沈線による懸垂文、内)なで	
47	9611	5号周溝墓(方台部)	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	224.2	胴～底	良好	長、英、雲、赤	外)橙、内)にぶい黄橙、底)にぶい黄橙	外)綾杉文地紋・沈線による懸垂文・縦位波状沈線、内)なで・みがき、底)網代痕・なで	
47	5588	5号周溝墓(溝内)	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	163.9	口	良好	長、英、雲、赤	外)灰褐、内)明赤褐	外)条線地紋・隆線による渦巻文と懸垂文・隆線脇の沈線、内)なで・みがき	
47	6047	5号周溝墓(溝内)	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	121.4	胴	良好	長、英、雲	外)にぶい褐、内)にぶい褐	外)綾杉文地紋・隆線による懸垂文・隆線脇の沈線・縦位波状沈線、内)なで・みがき	
47	6053	5号周溝墓(溝内)	縄文	中期後半	曽利Ⅴ	深鉢	118.4	胴	良好	長、英、赤、黒	外)にぶい黄橙、にぶい橙、内)にぶい黄	外)ハの字状文地紋・沈線による懸垂文、内)なで	
47	6442	5号周溝墓(溝内)	縄文	中期後半	曽利Ⅴ	深鉢	61.4	胴	良好	長、英、雲、赤	外)橙、内)にぶい黄褐	外)ハの字状文地紋・沈線による懸垂文、内)なで・みがき	内面にコゲあり
47	6663	5号周溝墓(溝内)	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	97.3	胴	良好	長、英、雲、赤、黒	外)橙、内)にぶい黄橙	外)綾杉文地紋・隆線による渦巻文・隆線脇の沈線、内)なで	
47	6723	5号周溝墓(溝内)	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	51.2	口	良好	長、英、雲、赤	外)黄褐、内)暗灰黄	外)綾杉文地紋・口縁部に1条の沈線・沈線による懸垂文、内)なで・みがき	口縁部に小突起あり
47	6726	5号周溝墓(溝内)	縄文	中期後半	曽利Ⅴ	深鉢	40.0	胴	良好	長、英、雲	外)橙、内)黄褐	外)櫛歯状工具によるハの字状文地紋・沈線による懸垂文、内)なで・みがき	
47	7426	5号周溝墓(溝内)	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	70.4	胴	良好	長、英、雲	外)橙、内)にぶい黄橙	外)綾杉文地紋・隆線・隆線脇の沈線、内)なで・みがき	
47	7500	5号周溝墓(溝内)	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	106.6	胴	良好	長、英、雲、赤	外)にぶい黄橙、にぶい橙、内)にぶい黄橙	外)条線地紋・隆線による渦巻文・隆線脇の沈線、内)なで・みがき	
47	7665	5号周溝墓(溝内)	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	50.9	口	良好	長、英、白、赤、黒	外)にぶい黄橙、内)にぶい黄橙	外)綾杉文地紋・沈線による渦巻文、内)なで・みがき	口縁部に小突起あり、突起の先端に沈線による渦巻文
47	7962	5号周溝墓(溝内)	縄文	中期後半	曽利	有孔鍔付土器	60.2	胴	良好	長、英、雲	外)にぶい黄橙、内)灰黄褐	外)有孔の鍔・沈線、内)なで・みがき	
47	8990	6号周溝墓(溝内)	縄文	中期末	－	深鉢	64.8	胴	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)橙、内)にぶい橙	外)沈線による懸垂文、内)なで	
47	141	2号溝	縄文	中期末	－	深鉢	74.5	胴	良好	長、雲、白、赤、黒	外)にぶい橙、内)橙	外)縄文地紋・隆線、内)なで	
48	4500	6号溝	縄文	中期後半	曽利Ⅴ	深鉢	48.4	胴	良好	長、英、白	外)にぶい褐、内)褐	外)ハの字状文地紋・沈線による懸垂文、内)なで・みがき	
48	4542	6号溝	縄文	中期末	－	深鉢	54.3	口	良好	長、英、雲、赤、黒	外)にぶい黄橙、内)橙	外)縄文地紋・口唇部直下に1条の沈線・沈線による懸垂文、内)なで	
48	6021	6号溝	縄文	中期末	－	深鉢	101.8	胴	良好	長、英、白	外)にぶい黄橙、内)にぶい黄橙	外)縄文地紋・沈線による懸垂文と逆U字文、内)なで	
48	6470	6号溝	縄文	中期末	－	深鉢	55.2	口	良好	長、英、雲、黒	外)にぶい黄橙、内)にぶい黄橙	外)縄文地紋・口唇部直下に1条の隆線・沈線、内)なで・みがき	
48	6746	6号溝	縄文	中期末	－	深鉢	78.2	胴	良好	長、英、白、黒	外)にぶい橙、内)んぶい黄橙	外)縄文地紋・沈線による懸垂文、内)なで・みがき	
48	6839	6号溝	縄文	中期後半	曽利	深鉢	122.0	口	良好	長、雲	外)明褐、内)明褐	外)沈線による斜行文、内)なで・隆線・沈線による斜行文	
48	6993	6号溝	縄文	中期末	－	深鉢	100.8	口	良好	長、英、赤、白	外)明黄褐、内)にぶい黄	外)縄文地紋・口唇部直下に1条の沈線・沈線による渦巻文、内)なで・みがき	
48	9274	6号溝	縄文	中期末	－	深鉢	50.1	口	良好	長、英、雲	外)にぶい橙、内)灰黄暗	外)縄文地紋・沈線による区画文、内)なで・みがき	
48	466	8号ピット	縄文	後半初頭	称名寺	深鉢	31.9	胴	良好	長、英、白、赤、黒	外)にぶい黄橙、内)にぶい橙	外)縄文地紋・沈線、内)なで	
48	660	9号ピット	縄文	中期末	－	深鉢	76.2	胴	良好	長、英、赤、白	外)にぶい黄褐、内)にぶい黄褐	外)縄文地紋・隆線、内)なで・みがき	
48	2804	72号ピット	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	33.0	胴	良好	長、英、雲、白、赤	外)にぶい黄褐、内)黄褐	外)条線地紋・隆線・縦位波状沈線、内)なで	
48	10021	96号ピット	縄文	中期後半	曽利Ⅴ	深鉢	27.8	胴	良好	長、英、雲、白	外)明褐、内)明褐	外)櫛歯状工具によるハの字状文地紋、内)なで・みがき	
48	10022	96号ピット	縄文	中期末	－	深鉢	41.6	胴	良好	長、英、赤	外)明黄褐、内)にぶい黄橙	外)縄文地紋・沈線による懸垂文、内)なで・みがき	
48	10020	108号ピット	縄文	中期後半	曽利	深鉢	76.7	口	良好	長、英、雲、赤	外)明褐、内)にぶい褐	外)沈線による斜行文、内)なで・みがき・隆線・沈線による斜行文	
48	1840	1号竪穴	縄文	中期後半	曽利Ⅴ	深鉢	39.9	胴	良好	長、英、雲、赤、黒	外)橙、内)にぶい橙	外)ハの字状文地紋・沈線による懸垂文、内)なで・みがき	
48	89	B区遺構外	縄文	中期前半	狢沢	浅鉢	106.2	口	良好	長、英、雲、赤、黒	外)にぶい橙、内)にぶい黄橙	外)口唇部直下に2条の角押文・屈折部に1条の指頭押圧隆線、内)なで・みがき	
48	132	B区遺構外	縄文	中期末	－	深鉢	93.0	口	良好	長、英、雲、赤、黒	外)にぶい橙、内)にぶい黄橙	外)縄文地紋・口唇部直下に1条の沈線・沈線による区画文・区画内を縄文で充填、内)なで・みがき	2043・3211・6587と同一個体
48	135	B区遺構外	縄文	中期末	－	深鉢	138.5	口	良好	長、英、雲、赤、黒	外)明黄褐、内)明黄褐	外)縄文地紋・口唇部直下に1条の沈線・沈線による懸垂文、内)なで・みがき	
48	191	B区遺構外	縄文	中期末	－	深鉢	252.4	胴	良好	長、英、雲、赤、白	外)灰黄褐、内)明褐	外)縄文地紋・隆線による逆U字文、内)なで	
48	231	B区遺構外	縄文	中期末	－	深鉢	94.2	口	良好	長、英、雲	外)にぶい橙、内)にぶい橙、にぶい黄橙	外)縄文地紋・隆線による弧文と懸垂文、内)なで・みがき	
48	255	B区遺構外	縄文	中期末	－	深鉢	76.3	胴	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)にぶい橙、に ぶい褐、内)にぶい橙	外)縄文地紋・沈線による対向U字文、内)なで・みがき	
48	303	B区遺構外	縄文	中期末	－	深鉢	67.6	口	良好	長、英、雲、白、赤	外)明赤褐、内)にぶい橙	外)縄文地紋・沈線による懸垂文、内)なで・みがき	
48	339	B区遺構外	縄文	中期末	－	深鉢	68.5	口	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)にぶい黄褐、内)にぶい黄褐	外)縄文地紋・口唇部直下に1条の沈線・沈線による逆U字文、内)なで・みがき	
48	380	B区遺構外	縄文	中期末	－	深鉢	130.8	口	良好	長、英、雲、白、黒、赤	外)にぶい黄褐、内)明黄褐、にぶい黄褐	外)縄文地紋・隆線、内)なで・みがき	波状口縁
48	420	B区遺構外	縄文	中期末	－	深鉢	39.3	口	良好	長、英、白、黒	外)にぶい橙、内)にぶい黄橙	外)縄文地紋・沈線による懸垂文、内)なで・みがき	
48	431	B区遺構外	縄文	中期末	－	深鉢	100.9	口	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)にぶい黄褐、黄褐、内)褐	外)縄文地紋・口唇部直下に1条の隆線・隆線脇の沈線、内)なで・みがき	
49	3932	C区遺構外	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	43.0	胴	良好	長、英、雲、赤、黄	外)暗灰黄、内)黒褐	外)隆線・隆線脇の沈線、内)なで・みがき	
49	3936	C区遺構外	縄文	中期後半	曽利Ⅴ	深鉢	101.4	胴	良好	長、英、雲、黄	外)橙、内)明褐	外)ハの字状文地紋・沈線による懸垂文、内)なで	
49	4724	C区遺構外	縄文	中期後半	曽利Ⅱ	深鉢	56.4	口	良好	長、英、雲、赤	外)にぶい橙、内)暗褐	外)条線地紋・隆線による渦巻つなぎ弧文・隆線上の沈線・口唇部直下に1条の沈線・区画内を条線で充填内)なで・みがき	
49	5089	C区遺構外	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	55.6	口	良好	長、雲、黄	外)黒褐、内)にぶい黄褐	外)綾杉文地紋・口唇部直下に1条の沈線・沈線による渦巻文、内)なで	
49	5889	C区遺構外	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	31.5	口	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)にぶい黄褐、内)にぶい黄褐	外)口唇部直下に1条の沈線・沈線による区画文・区画内を条線で充填、内)なで・みがき	
49	6788	C区遺構外	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	69.8	胴	良好	長、英、雲、白、赤	外)褐灰、内)黄褐	外)条線地紋・隆線によるつなぎ弧文・隆線脇の沈線・区画内を条線で充填・刺突文、内)なで・みがき	
49	6909	C区遺構外	縄文	中期	－	深鉢	67.4	口	良好	長、英、雲、赤	外)黄褐、内)橙、暗オリーブ褐	外)口縁部に1条の沈線・みがき、内)なで・みがき	
49	7418	C区遺構外	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	51.1	胴	良好	長、英、雲、白、赤	外)明黄褐、灰黄褐、内)にぶい黄褐	外)条線地紋・隆線による懸垂文・隆線脇の沈線・縦位波状沈線、内)なで・みがき	
49	7452	C区遺構外	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	61.6	胴	良好	長、英、雲、赤	外)明赤褐、内)赤褐	外)綾杉文地紋・縦位波状沈線、内)なで・みがき	
49	8042	C区遺構外	縄文	中期後半	曽利Ⅴ	深鉢	47.8	胴	良好	英、雲、黄	外)明黄褐、内)にぶい黄	外)ハの字状文地紋・沈線による懸垂文、内)なで・みがき	
49	8096	C区遺構外	縄文	中期後半	曽利Ⅴ	深鉢	119.1	胴	良好	雲、赤、茶、黄	外)明黄褐、内)にぶい黄橙	外)ハの字状文地紋・みがき、内)なで・みがき	
49	8154	C区遺構外	縄文	中期後半	曽利Ⅴ	深鉢	40.2	口	良好	長、雲、黄、黒	外)明赤褐、橙、内)にぶい橙	外)櫛歯状工具によるハの字状文地紋・口縁部に1条の沈線・沈線による懸垂文・みがき、内)なで・みがき	

第5表　土器観察表

図版	遺物番号	出土位置	時代	時期	土器種別	器種	重量	部位	焼成	胎土	色調	調整・文様等	特徴
49	8522	C区遺構外	縄文	中期末	―	深鉢	122.9	胴	良好	長、英、雲、茶	外)にぶい黄橙、内)明黄褐	外)縄文地紋・隆線による弧文と懸垂文、内)なで	
49	9592	C区遺構外	縄文	中期	―	深鉢	91.3	胴	良好	長、英、雲、赤、黒	外)にぶい橙、内)明赤褐	外)沈線・みがき、内)なで	
49	10023	C区遺構外	縄文	中期後半	曽利Ⅱ	深鉢	60.9	口	良好	長、英、雲、赤、黒	外)にぶい褐、内)灰黄褐	外)縄文地紋・結節縄文、内)なで・みがき	
49	10024	C区遺構外	縄文	中期後半	曽利Ⅱ	深鉢	82.1	胴	良好	長、英、雲、赤、黄	外)にぶい赤褐、黄褐、内)赤褐	外)条線地紋・頚部に3条の沈線・みがき、内)なで・みがき	
49	10025	C区遺構外	縄文	中期後半	曽利Ⅲ	深鉢	216.4	口	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)にぶい黄橙、内)にぶい黄橙	外)刺突文地紋・肥厚帯・沈線による渦巻文・口唇部に沈線による渦巻文、内)なで・みがき	口縁部に突起あり、突起の先端に沈線による渦巻文
49	10026	C区遺構外	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	102.6	口	良好	長、英、雲、赤、黒	外)橙、内)にぶい黄褐	外)条線地紋・肥厚帯・沈線による渦巻文と懸垂文、内)なで・みがき	
49	10027	C区遺構外	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	78.4	口	良好	長、雲、白、赤、黒	外)にぶい褐、内)にぶい橙	外)綾杉文地紋・隆線・沈線、内)なで・みがき	波状口縁、突起に孔あり
49	10028	C区遺構外	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	79.0	口	良好	長、英、雲、黒	外)黄橙、内)にぶい褐	外)条線地紋・沈線による区画文と懸垂文・区画内を沈線で充填、内)なで・みがき	
49	10029	C区遺構外	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	73.7	口	良好	長、英、雲、赤、黒、茶	外)にぶい黄褐、内)にぶい黄褐	外)綾杉文地紋・隆線による弧文・口唇部直下に1条の沈線・沈線による区画文・区画内を条線で充填、内)なで・みがき	
49	10030	C区遺構外	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	浅鉢	90.9	口	良好	長、英、雲、黄、赤、黒	外)橙、内)にぶい褐	外)綾杉文地紋・口唇部直下に2条の沈線・沈線による懸垂文・縦位波状沈線、内)隆線・なで・みがき	口縁部に小突起あり
49	10031	C区遺構外	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	63.8	口	良好	長、英、雲、赤、黒、黄	外)にぶい褐、内)灰褐	外)綾杉文地紋・沈線による区画文と懸垂文・縦位波状沈線、内)なで・みがき	
49	10032	C区遺構外	縄文	中期後半	曽利Ⅳ	深鉢	56.8	口	良好	長、雲、赤、茶	外)明黄褐、内)にぶい黄橙	外)条線地紋・隆線による区画文・隆線脇の沈線・区画内を条線で充填、内)なで・みがき	
49	10033	C区遺構外	縄文	中期後半	曽利Ⅴ	深鉢	43.7	口	良好	長、英、雲、赤、黄、黒、紅	外)橙、内)明赤褐	外)縄文地紋・沈線による区画文と弧文と懸垂文・区画内を縄文で充填、内)なで・みがき	
49	10034	C区遺構外	縄文	中期末	―	壺	160.3	胴	良好	長、英、雲、赤、黒	外)明褐、内)灰褐	外)縄文地紋・隆線・隆線脇の沈線、内)なで・みがき	
49	10035	C区遺構外	縄文	中期後半	曽利Ⅴ	深鉢	86.7	胴	良好	長、英、雲、黒、茶	外)にぶい黄橙、内)黄灰	外)への字状文地紋・沈線による懸垂文、内)なで	
49	10036	C区遺構外	縄文	中期後半	曽利Ⅴ	深鉢	54.0	口	良好	長、英、雲、赤	外)にぶい黄橙、明黄褐、内)にぶい黄橙	外)口唇部直下に1条の沈線・沈線による逆U字文、内)なで・みがき	
59	5598	55号土坑	弥生	中期	条痕文	壺	32.4	胴	良好	長、英、雲、黒	外)にぶい黄橙、内)にぶい黄橙	外)横位条痕文、内)横位条痕文・斜行条痕文	
59	5840	55号土坑	弥生	中期	条痕文	壺	16.6	胴	良好	長、英、雲、赤、黒	外)にぶい黄橙、内)にぶい黄橙	外)横位条痕文、内)なで	
59	5873	55号土坑	弥生	中期	条痕文	壺	11.6	口	良好	長、英、雲、白、黒	外)にぶい黄、内)黄褐	外)横位条痕文、内)なで	
59	5874	55号土坑	弥生	中期	条痕文	壺	28.4	胴	良好	長、英、雲、白、黒	外)にぶい黄褐、内)明黄褐	外)横位条痕文、内)なで	
59	5990	55号土坑	弥生	中期	条痕文	壺	24.5	胴	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)明黄褐、内)にぶい黄褐	外)横位条痕文・縦位条痕文、内)なで	
59	6040	55号土坑	弥生	中期	条痕文	壺	11.7	胴	良好	長、英、雲、赤	外)褐灰、内)オリーブ黄	外)横位条痕文・斜行条痕文、内)なで	
59	6743	55号土坑	弥生	中期	条痕文	壺	19.2	胴	良好	長、英、雲、赤、黒	外)浅黄橙、内)にぶい黄橙	外)羽状条痕文、内)なで	
59	8587	55号土坑	弥生	中期	条痕文	甕	19.9	胴	良好	長、英、雲、赤、黒	外)浅黄、内)浅黄	外)斜行条痕文、内)なで・みがき	
59	8590	55号土坑	弥生	中期	条痕文	壺	53.3	胴	良好	長、英、雲、赤、黒	外)褐灰、内)にぶい黄橙	外)縦位条痕文・横位条痕文、内)なで	
59	8680	55号土坑	弥生	中期	条痕文	甕	156.5	口～胴	良好	長、英、雲	外)にぶい黄、内)にぶい黄橙	外)上から横→縦→横→縦→横位条痕文、内)なで	補修孔あり、8997と同一個体
59	8685	55号土坑	弥生	中期	条痕文	甕	21.9	胴	良好	長、英、雲、赤、黒	外)にぶい黄橙、内)にぶい黄橙	外)斜行条痕文、内)なで	
59	8689	55号土坑	弥生	中期	条痕文	甕	10.0	口	良好	長、英、雲、黒	外)にぶい褐、内)灰褐	外)口縁部押圧刻み・横位条痕文、内)なで	
59	8701	55号土坑	弥生	中期	条痕文	甕	5.0	口	良好	長、英、雲	外)黒褐、内)にぶい褐	外)口唇部刻み目・横位条痕文、内)なで	
59	8728	55号土坑	弥生	中期	条痕文	甕	88.2	胴	良好	長、英、雲、赤、黒	外)にぶい黄橙、内)黄褐、明黄褐	外)斜行条痕文、内)なで・みがき	
59	8742	55号土坑	弥生	中期	条痕文	壺	17.7	胴	良好	長、英、雲	外)にぶい黄橙、内)灰黄褐	外)縦位羽状条痕文、内)なで	
59	8768	55号土坑	弥生	中期	条痕文	甕	51.3	口	良好	長、英、雲、赤、黒	外)にぶい褐、内)にぶい黄褐	外)横位条痕文、内)なで・みがき	
59	8797	55号土坑	弥生	中期	条痕文	甕	39.5	胴	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)明黄褐、内)明黄褐	外)縦位羽状条痕文、内)なで	
59	8921	55号土坑	弥生	中期	条痕文	甕	18.4	胴	良好	長、英、雲、白、黒	外)にぶい黄、内)にぶい黄橙	外)斜行条痕文、内)なで	
59	8935	55号土坑	弥生	中期	条痕文	壺	12.7	胴	良好	長、英、雲、赤、黒	外)褐灰、内)にぶい黄橙	外)羽状条痕文、内)なで	
59	8936	55号土坑	弥生	中期	条痕文	壺	48.1	底	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)赤褐、黒褐、内)褐、底)黒褐	外)横位条痕文、内)なで、底)あじろ痕	
59	8943	55号土坑	弥生	中期	条痕文	壺	50.2	胴	良好	長、英、赤、黒	外)にぶい黄橙、内)浅黄	外)羽状条痕文・横位条痕文、内)なで	
59	8994	55号土坑	弥生	中期	条痕文	壺	22.4	胴	良好	長、英、雲、白	外)にぶい褐、内)にぶい褐	外)横位条痕文・縦位羽状条痕文、内)なで	
59	8994-2	55号土坑	弥生	中期	条痕文	壺	23.6	胴	良好	長、英、雲、赤、黒	外)浅黄、内)浅黄	外)縦位状条痕文・横位条痕文・縄文、内)なで	
59	8996	55号土坑	弥生	中期	条痕文	甕	12.6	胴	良好	長、英、雲、赤、黒	外)褐灰、内)にぶい黄橙	外)斜行条痕文、内)なで	
59	8997	55号土坑	弥生	中期	条痕文	甕	88.9	胴	良好	長、英、雲	外)にぶい黄、内)にぶい橙	外)上から横→縦→横→斜位条痕文、内)なで	8680と同一個体
59	8998	55号土坑	弥生	中期	条痕文	甕	24.5	胴	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)にぶい黄橙、内)にぶい黄	外)横位条痕文、内)なで	
59	9001	55号土坑	弥生	中期	条痕文	壺	62.9	胴	良好	長、英、雲、黒	外)にぶい黄、内)にぶい黄	外)斜行条痕文・横位条痕文、内)なで	
59	9011	55号土坑	弥生	中期	条痕文	壺	11.1	胴	良好	長、英、雲、赤、黒	外)浅黄橙、内)にぶい黄褐	外)羽状条痕文、内)なで	
59	9013	55号土坑	弥生	中期	条痕文	壺	23.2	口	良好	長、英、雲、白	外)にぶい黄橙、内)にぶい黄橙	外)横位条痕文・縦位条痕文、内)なで	
59	9062	55号土坑	弥生	中期	条痕文	壺	97.1	胴	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)いぶい黄橙、内)明黄褐	外)横位条痕文、内)なで	
59	9064	55号土坑	弥生	中期	条痕文	壺	15.1	胴	良好	長、英、雲、赤、黒	外)褐灰、内)にぶい黄橙	外)横位条痕文・羽状条痕文、内)なで	
59	9069	55号土坑	弥生	中期	条痕文	甕	27.9	胴	良好	長、英、雲、赤、黒	外)にぶい黄褐、内)黄褐	外)斜行条痕文、内)なで	
59	9070	55号土坑	弥生	中期	条痕文	甕	26.3	胴	良好	長、英、雲、赤、黒	外)にぶい黄橙、内)にぶい黄橙	外)斜行条痕文、内)なで・みがき	
59	9104	55号土坑	弥生	中期	条痕文	甕	27.8	胴	良好	長、英、雲、赤、黒	外)浅黄、内)浅黄	外)斜行条痕文・横位条痕文、内)なで	挺口縁、胴部の粘土接合部での割れ
59	9107	55号土坑	弥生	中期	条痕文	壺	24.1	胴	良好	長、英、雲	外)にぶい黄橙、内)にぶい黄橙	外)横位条痕文、内)なで	
59	9150	55号土坑	弥生	中期	条痕文	壺	34.2	口	良好	長、英、雲、白、黒	外)にぶい黄橙、灰黄褐、内)にぶい黄橙	外)口縁部に3条の沈線・横位条痕文、内)なで	9290と同一個体
59	9151	55号土坑	弥生	中期	条痕文	壺	7.1	胴	良好	長、英、雲	外)にぶい褐、内)褐	外)沈線・横位条痕文、内)なで	
59	9172	55号土坑	弥生	中期	条痕文	甕	18.3	胴	良好	長、英、雲、赤	外)にぶい黄橙、内)明黄褐	外)斜行条痕文、内)なで	
59	9259	55号土坑	弥生	中期	条痕文	壺	451.0	底	良好	長、英、雲、赤、黒	外)にぶい橙、内)にぶい橙、底)にぶい橙	外)胴部に2本のU字状沈線・沈線間を縄文で充填・下半部横位条痕文・みがき、内)なで、底)網代痕、なで	
59	9259-3	55号土坑	弥生	中期	条痕文	壺	13.1	胴	良好	長、英、雲、赤	外)褐灰、内)明褐	外)縦位羽状条痕文、内)なで	
59	9372	55号土坑	弥生	中期	条痕文	甕	20.5	口	良好	長、英、雲、黒	外)にぶい黄褐、内)にぶい黄褐	外)横位条痕文、内)なで	
61	689	1号住	弥生	中期	条痕文	甕	49.9	口	良好	長、英、雲、赤、黒	外)にぶい橙、内)にぶい褐	外)口唇部に刻み・斜行条痕文、内)なで	
61	714	1号住	弥生	中期	条痕文	甕	22.5	胴	良好	長、英、雲、赤、黒	外)橙、内)にぶい褐	外)斜行条痕文、内)なで	
61	747	1号住	弥生	中期	条痕文	壺	21.5	口	良好	長、英、雲、赤、黒	外)橙、内)橙	外)口唇部に刻み・口縁部に刻み目突帯、内)なで	965と同一個体
61	965	1号住	弥生	中期	条痕文	壺	14.8	口	良好	長、英、雲、赤、黒	外)橙、内)橙	外)口唇部に刻み・口縁部に刻み目突帯、内)なで	747と同一個体
61	1235	1号住	弥生	中期	条痕文	壺	15.8	胴	良好	長、英、雲、赤、黒	外)灰褐、内)灰褐	外)横位条痕文・縦位羽状条痕文、内)なで	
61	1262	1号住	弥生	中期	条痕文	甕	28.4	口	良好	長、英、雲、赤、黒	外)灰褐、内)にぶい褐	外)口唇部に刻み・斜行条痕文、内)なで	
61	1272	1号住	弥生	中期	条痕文	甕	28.4	胴	良好	長、英、雲、赤、黒	外)灰褐、内)橙	外)横位条痕文、内)なで	
61	1309	1号住	弥生	中期	条痕文	甕	27.9	口	良好	長、英、雲、赤、黒	外)にぶい橙、内)にぶい橙	外)横位条痕文、内)なで	
61	1434	1号住	弥生	中期	条痕文	壺	21.9	胴	良好	長、英、雲、赤、黒	外)にぶい褐、内)にぶい橙	外)斜行条痕文、内)なで	
61	1481	1号住	弥生	中期	条痕文	甕	40.1	胴	良好	長、英、雲、赤、黒	外)暗褐、内)橙	外)横位条痕文、内)なで	
61	1511	1号住	弥生	中期	条痕文	甕	28.3	胴	良好	長、英、雲、赤、黒	外)灰褐、内)にぶい褐	外)斜行条痕文、内)なで	
61	5849	5号住	弥生	後期	ハケメ	甕	11.9	口	良好	長、英、雲、赤、白、黒	外)にぶい黄橙、内)にぶい黄橙	外)口唇部に刻み・ハケメ・なで、内)なで・みがき	
61	9290	9号住	弥生	中期	条痕文	壺	15.6	口	良好	長、英、雲、白、黒	外)灰黄褐、内)にぶい黄褐	外)口縁に3条の沈線・横位条痕文、内)なで	9150と同一個体
61	9653	11号住	弥生	中期	条痕文	壺	43.1	底	良好	長、英、雲、黄、赤、黒	外)にぶい黄橙、内)にぶい黄橙、底)にぶい黄橙	外)横位条痕文、内)なで、底)あじろ痕	
61	9657	11号住	弥生	中期	条痕文	壺	52.6	胴	良好	長、英、雲、赤、黄	外)にぶい黄、内)黄灰	外)横位条痕文、内)なで	
61	9658	11号住	弥生	中期	条痕文	壺	49.6	胴	良好	長、英、雲、赤、黄、黒	外)にぶい黄橙、内)にぶい黄褐	外)横位条痕文、内)なで・みがき	
61	9659	11号住	弥生	中期	条痕文	壺	17.8	胴	良好	長、英、雲、黄	外)褐灰、灰黄褐、内)黒褐	外)横位条痕文、内)なで	
61	10037	11号住	弥生	後期	無紋	高坏	12.0	口	良好	長、白、赤、黒	外)橙、内)橙	外)ハケメ・みがき、内)なで・みがき	
61	10038	11号住	弥生	中期	条痕文	壺	25.2	胴	良好	長、英、雲、赤、黄	外)にぶい橙、にぶい褐、内)にぶい黄橙	外)横位条痕文、内)なで	
61	2875	1号周溝墓(溝内)	弥生	中期	条痕文	甕	17.1	胴	良好	長、英、白、黒	外)にぶい黄橙、内)にぶい黄橙	外)斜行条痕文、内)なで	
61	8269	1号周溝墓(溝内)	弥生	中期	条痕文	甕	9.1	胴	良好	長、英、雲、白、黒	外)にぶい黄橙、内)にぶい黄褐	外)斜行条痕文、内)なで	
61	3257	4号周溝墓(溝内)	弥生	中期	条痕文	壺	20.7	胴	良好	長、英、白、赤、黒	外)にぶい黄橙、内)にぶい黄橙	外)横位条痕文・縦位条痕文、内)なで	
61	4496	4号周溝墓(溝内)	弥生	中期	条痕文	甕	18.7	胴	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)にぶい黄褐、内)にぶい黄橙	外)横位条痕文、内)なで	

第5表　土器観察表

図版	遺物番号	出土位置	時代	時期	土器種別	器種	重量	部位	焼成	胎土	色調	調整・文様等	特徴
61	5263	4号周溝墓(溝内)	弥生	中期	条痕文	壷	19.5	胴	良好	長、英、雲	外)にぶい赤褐、内)明赤褐	外)沈線による円文・横位条痕文、内)なで	
61	5610	4号周溝墓(溝内)	弥生	中期	条痕文	壷	15.7	胴	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)にぶい黄橙、内)にぶい黄橙	外)縦位条痕文・横位条痕文、内)なで	
61	6467	4号周溝墓(溝内)	弥生	中期	条痕文	壷	58.3	底	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)灰黄褐、内)にぶい黄橙、底)にぶい黄橙	外)斜行条痕文、内)なで、底)木葉痕	
61	6530	4号周溝墓(溝内)	弥生	中期	条痕文	甕	26.1	胴	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)にぶい橙、内)にぶい黄橙	外)斜行条痕文、内)なで	
61	6739	4号周溝墓(溝内)	弥生	中期	条痕文	壷	7.1	口	良好	長、英、白、赤、黒	外)にぶい橙、内)にぶい橙	外)口縁部に刻み目突帯、内)なで	
61	6941	4号周溝墓(溝内)	弥生	中期	条痕文	甕	21.3	口	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)にぶい橙、内)にぶい橙	外)横位条痕文、内)なで	
61	7158	4号周溝墓(溝内)	弥生	中期	条痕文	壷	7.5	胴	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)にぶい橙、内)にぶい橙	外)横位条痕文、内)なで	
61	7267	4号周溝墓(溝内)	弥生	中期	条痕文	壷	40.7	胴	良好	長、英、雲、赤、黒	外)にぶい黄、内)浅黄	外)羽状条痕文、内)なで	
61	7309	4号周溝墓(溝内)	弥生	中期	条痕文	壷	82.9	胴	良好	長、英、雲、赤、黒	外)浅黄、内)にぶい黄橙	外)縦位条痕文・横位条痕文、内)なで	
61	7390	4号周溝墓(溝内)	弥生	中期	条痕文	壷	18.2	胴	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)にぶい黄橙、内)にぶい黄橙	外)横位条痕文・斜行条痕文、内)なで	内)コゲ
61	7888	4号周溝墓(溝内)	弥生	中期	条痕文	甕	9.2	口	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)灰褐、内)灰褐	外)口唇部に刻み目・横位条痕文、内)なで	
61	8392	4号周溝墓(溝内)	弥生	中期	条痕文	壷	17.3	胴	良好	長、英、白、赤、黒	外)にぶい黄橙、内)にぶい黄橙、にぶい黄褐	外)横位条痕文、内)なで	
61	10039	4号周溝墓(溝内)	弥生	中期	条痕文	壷	21.1	胴	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)明赤褐、内)明赤褐	外)横位条痕文、内)なで	
61	5954	5号周溝墓(溝内)	弥生	中期	条痕文	甕	17.6	胴	良好	長、英、雲、赤、黒	外)灰黄褐、内)にぶい黄橙	外)横位条痕文、内)横位条痕文・なで	
61	6196	5号周溝墓(溝内)	弥生	中期	条痕文	甕	8.0	胴	良好	長、英、雲、赤、黒	外)にぶい褐、にぶい褐	外)沈線、内)横位条痕文	
61	6437	5号周溝墓(溝内)	弥生	中期	条痕文	壷	14.9	胴	良好	長、英、雲、赤	外)にぶい黄橙、内)にぶい黄橙	外)横位条痕文・縦位条痕文、内)なで	
61	6794	5号周溝墓(溝内)	弥生	中期	条痕文	甕	17.2	口	良好	長、英、雲、赤、黒	外)黄褐、内)明黄褐	外)縦位条痕文、内)なで	
61	7110	5号周溝墓(溝内)	弥生	中期	条痕文	壷	23.9	胴	良好	長、英、雲、赤、黒	外)にぶい黄橙、内)にぶい黄橙	外)横位条痕文、内)なで	
61	7115	5号周溝墓(溝内)	弥生	中期	条痕文	壷	58.0	口	良好	長、英、雲、赤、黒	外)明黄褐、内)橙	外)口縁部に刻み目突帯・縦位条痕文、内)なで・みがき・口唇部内側に3条の沈線	
61	7290	5号周溝墓(溝内)	弥生	中期	条痕文	壷	38.5	胴	良好	長、英、雲、赤、黒	外)にぶい黄橙、明黄褐、内)にぶい黄橙	外)羽状条痕文・横位条痕文、内)なで	
61	7292	5号周溝墓(溝内)	弥生	中期	条痕文	壷	11.7	口	良好	長、英、雲、赤、黒	外)にぶい橙、内)にぶい褐	外)口縁部に刻み目突帯・横位条痕文、内)なで	
61	7296	5号周溝墓(溝内)	弥生	中期	条痕文	壷	40.2	胴	良好	長、英、雲、赤、黒	外)にぶい橙、内)にぶい橙、橙	外)横位条痕文・斜行条痕文、内)なで	
61	7432	5号周溝墓(溝内)	弥生	中期	条痕文	壷	43.8	胴	良好	長、英、雲、赤、黒	外)にぶい黄橙、内)にぶい黄橙	外)縦位羽状条痕文・横位条痕文、内)なで	
61	8209	5号周溝墓(溝内)	弥生	中期	条痕文	壷	12.6	胴	良好	長、英、雲、赤、黒	外)にぶい黄橙、内)にぶい黄橙	外)斜行条痕文・横位条痕文、内)なで	
61	8210	5号周溝墓(溝内)	弥生	中期	条痕文	壷	32.0	胴	良好	長、英、雲	外)暗灰黄、内)にぶい黄橙	外)横位条痕文、内)なで	
61	8214	5号周溝墓(溝内)	弥生	中期	条痕文	甕	18.4	胴	良好	長、英、雲、赤	外)橙、内)にぶい黄橙	外)縄文・斜行条痕文、内)なで	
61	8739	5号周溝墓(溝内)	弥生	中期	条痕文	甕	18.3	胴	良好	長、英、雲	外)にぶい黄橙、内)にぶい黄褐	外)横位条痕文、内)なで	
61	8806	5号周溝墓(溝内)	弥生	中期	条痕文	甕	18.0	口	良好	長、英、雲、赤	外)にぶい黄橙、内)にぶい黄橙	外)口唇部に幅広の押圧刻み・横位条痕文、内)なで	
61	10040	5号周溝墓(溝内)	弥生	中期	条痕文	壷	22.7	胴	良好	長、英、雲、赤、黒	外)明褐、内)明赤褐	外)横位条痕文、内)なで	
61	10041	5号周溝墓(溝内)	弥生	中期	条痕文	壷	17.0	胴	良好	長、英	外)にぶい黄橙、内)にぶい黄橙	外)横位条痕文、内)なで	
61	10042	5号周溝墓(溝内)	弥生	中期	条痕文	甕	15.7	胴	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)にぶい黄褐、内)にぶい黄褐	外)横位条痕文、内)なで	
62	3986	5号周溝墓(方台部)	弥生	中期	条痕文	甕	13.1	胴	良好	長、英、雲、赤、黒	外)にぶい黄褐、内)にぶい黄褐	外)横位条痕文、内)なで	
62	4000	5号周溝墓(方台部)	弥生	中期	条痕文	甕	16.3	胴	良好	長、英、雲、赤、黒	外)にぶい黄橙、内)にぶい黄褐	外)横位条痕文、内)なで	
62	4925	5号周溝墓(方台部)	弥生	中期	条痕文	壷	23.1	口	良好	長、英、雲、赤、黒	外)明黄褐、内)にぶい黄橙	外)口縁部に刻み目突帯、内)横位条痕文	
62	5699	5号周溝墓(方台部)	弥生	中期	条痕文	甕	13.1	胴	良好	長、英、雲、赤、黒	外)にぶい黄褐、内)明褐	外)横位条痕文、内)なで	
62	7244	5号周溝墓(溝内)	弥生	中期	条痕文	壷	59.9	底	良好	長、英、雲、赤	外)明黄褐、内)にぶい黄橙、底)明黄褐	外)斜行条痕文、内)なで、底)なで	
62	9238	5号周溝墓(方台部)	弥生	中期	条痕文	甕	41.5	口	良好	長、英、雲、赤、黒	外)にぶい黄橙、内)にぶい黄橙	外)口唇部に沈線・斜行条痕文、内)なで	
62	9439	5号周溝墓(方台部)	弥生	中期	条痕文	甕	14.6	胴	良好	長、英、雲、赤、黒	外)明褐、内)にぶい褐	外)横位条痕文、内)なで	
62	9533	5号周溝墓(方台部)	弥生	中期	条痕文	甕	26.4	胴	良好	長、英、雲、赤、黒	外)にぶい黄橙、内)にぶい黄橙	外)斜行条痕文、内)なで	
62	9568	5号周溝墓(埋葬主体部)	弥生	中期	条痕文	壷	13.4	胴	良好	長、英、雲、赤、黒	外)灰黄褐、内)にぶい黄橙	外)横位条痕文・縦位羽状条痕文、内)なで	
62	9637	5号周溝墓(方台部)	弥生	中期	条痕文	甕	28.6	胴	良好	長、英、雲、赤、黒	外)にぶい黄橙、内)にぶい黄橙	外)横位条痕文、内)なで	
62	9638	5号周溝墓(方台部)	弥生	中期	条痕文	甕	19.6	胴	良好	長、英、雲、赤、黒	外)灰黄褐、内)明褐	外)横位条痕文、内)なで	
62	9639	5号周溝墓(方台部)	弥生	中期	条痕文	壷	52.3	胴	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)浅黄橙、褐灰、内)黄橙	外)横位条痕文・縦位条痕文、内)なで	小型
62	10043	5号周溝墓(溝内)	弥生	中期	条痕文	壷	35.6	胴	良好	長、英、雲、赤、黒	外)にぶい黄橙、内)にぶい黄橙	外)横位条痕文、内)横位条痕文・なで	
62	10044	5号周溝墓(溝内)	弥生	中期	条痕文	壷	15.7	胴	良好	長、英、雲、赤、黒	外)にぶい黄橙、内)にぶい黄褐	外)斜行条痕文、内)なで	
62	8801	6号周溝墓(溝内)	弥生	中期	条痕文	壷	38.1	胴	良好	長、英、雲、赤、白、黒	外)橙、明黄褐、内)にぶい黄橙	外)羽状条痕文・横位条痕文、内)なで	
62	5563	6号溝	弥生	後期	無紋	甕	2.9	口	良好	白、赤、黒	外)橙、内)にぶい橙	外)なで、内)なで	
62	366	6号ピット	弥生	中期	条痕文	甕	34.5	口	良好	長、英、雲、赤、黒	外)にぶい黄橙、内)にぶい黄橙	外)斜行条痕文、内)なで・みがき	
62	659	10号ピット	弥生	中期	条痕文	甕	25.5	胴	良好	長、英、雲、赤、黒	外)にぶい褐、内)にぶい橙	外)斜行条痕文、内)なで・みがき	
62	10045	108号ピット	弥生	後期	櫛描波状文	壷	26.6	頸部	良好	長、英、白、黒	外)明黄褐、内)にぶい黄橙	外)櫛描波状文、内)ハケメ・みがき	
62	10046	110号ピット	弥生	後期	櫛描波状文	壷	17.3	胴	良好	長、英、雲	外)にぶい黄橙、内)明黄褐	外)櫛描波状文、内)なで・みがき	
62	476	A区遺構外	弥生	中期	条痕文	甕	12.6	口	良好	長、英、雲、赤、黒	外)にぶい褐、内)橙	外)口縁部に刻み目突帯・突帯直下に沈線・斜行条痕文、内)なで	
62	737	A区遺構外	弥生	中期	条痕文	甕	21.9	胴	良好	長、英、雲、赤、黒	外)にぶい橙、内)橙	外)斜行条痕文、内)なで	
62	738	A区遺構外	弥生	中期	条痕文	壷	22.5	胴	良好	長、英、雲、赤、黒	外)橙、内)にぶい橙	外)横位条痕文・斜行条痕文、内)なで	
62	1317	A区遺構外	弥生	中期	条痕文	甕	15.8	胴	良好	長、英、雲、赤、黒	外)にぶい褐、内)にぶい橙	外)横位条痕文、内)なで	
62	1549	A区遺構外	弥生	中期	条痕文	甕	13.7	口	良好	長、英、雲、赤、黒	外)灰褐、内)にぶい橙	外)口唇部に刻み・横位条痕文、内)なで	
62	1809	A区遺構外	弥生	中期	条痕文	甕	15.2	胴	良好	長、英、雲、赤、黒	外)橙、内)にぶい褐	外)横位条痕文、内)なで	
62	1858	A区遺構外	弥生	中期	条痕文	壷	6.2	口	良好	長、英、雲、赤、黒	外)橙、内)にぶい橙	外)口縁部に刻み目突帯・横位条痕文、内)なで	
62	1938	A区遺構外	弥生	中期	条痕文	甕	20.9	口	良好	長、英、雲、赤、黒	外)灰褐、内)橙	外)斜行条痕文、内)なで	
62	1329	C区遺構外	弥生	中期	条痕文	甕	103.1	底	良好	長、英、雲、赤、黒	外)橙、内)にぶい橙、底)にぶい橙	外)斜行条痕文、内)なで、底)木葉痕	内)みこみ部に炭化物が付着
62	4117	C区遺構外	弥生	中期	条痕文	壷	9.8	胴	良好	長、英、雲、白、赤	外)明赤褐、内)赤褐	外)波状条痕文、内)なで	
62	10047	C区遺構外	弥生	中期	条痕文	壷	23.2	口	良好	長、英、雲、赤、黄、黒	外)褐、内)灰黄褐	外)口縁部に刻み目突帯・横位条痕文、内)なで	
62	10048	C区遺構外	弥生	中期	条痕文	甕	7.2	口	良好	長、英、黄、黒	外)にぶい褐、内)にぶい褐	外)横位条痕文、内)なで	
62	10049	C区遺構外	弥生	中期	条痕文	甕	24.8	胴	良好	長、英、雲、黄	外)オリーブ褐、内)赤褐	外)斜行条痕文、内)なで	
62	10050	C区遺構外	弥生	中期	条痕文	甕	35.1	胴	良好	長、英、雲、赤	外)灰褐、内)黄褐	外)斜行条痕文、内)なで	
62	10051	C区遺構外	弥生	中期	条痕文	甕	33.1	胴	良好	長、英、雲、赤	外)にぶい黄橙、内)灰黄	外)斜行条痕文、内)なで・みがき	
65	2760	2号周溝墓(溝内)	弥生	後期	ハケメ	壷	11.4	胴	良好	長、英、雲、白、赤	外)にぶい赤褐、内)にぶい黄褐	外)ハケメ、内)なで・みがき	
65	2942	2号周溝墓(溝内)	弥生	後期	ハケメ	甕	23.4	胴	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)にぶい黄褐、内)にぶい黄橙	外)ハケメ、内)なで・みがき	
65	3023	2号周溝墓(溝内)	弥生	後期	無紋	壷	233.7	胴	良好	長、英、雲	外)明赤褐、にぶい橙、内)にぶい黄褐	外)無紋、内)ハケメ	
65	7029	3号周溝墓(溝内)	弥生	中期	沈線文	壷	6.7	胴	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)褐、内)明褐	外)工字文風沈線、内)なで	
66	4422	4号周溝墓(溝内)	弥生	後期	無紋	壷	86.7	底	良好	長、英、雲、赤、黒、白	外)明黄褐、内)にぶい褐、底)赤褐	外)なで・みがき、内)なで・みがき、底)なで	
66	1841	4号周溝墓(溝内)	弥生	後期	無紋	壷	116.8	底	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)にぶい橙、内)にぶい黄橙、底)にぶい黄橙	外)ハケメ、内)横ハケメ・なで、底)ハケメ	剥離した部分にもハケメあり
66	6358	4号周溝墓(溝内)	弥生	後期	ハケメ	壷	28.9	胴	良好	長、英、雲、白、黒	外)にぶい橙、灰褐、内)にぶい橙	外)ハケメ、内)なで	
71	5998	5号周溝墓(方台部)	弥生	後期	無紋	高坏	17.4	口	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)にぶい橙、内)橙、にぶい褐	外)なで・みがき、内)なで・みがき	
71	6481	5号周溝墓(溝内)	弥生	中期	条痕文	甕	15.7	胴	良好	長、英、雲、赤、黒	外)灰黄褐、内)にぶい黄橙	外)横位条痕文、内)なで	
71	8593	5号周溝墓(溝内)	弥生	後期	ハケメ	甕	1,623.0	ほぼ完形	良好	長、英、雲、赤、黒	外)にぶい橙、内)橙、底)にぶい橙	外)口唇部に刻み・ハケメ、内)ハケメ・みがき、底)木葉痕	外)上半部にコゲ、内)下半部にコゲ
71	9572	5号周溝墓(埋葬主体部)	弥生	中期	条痕文	甕	17.1	胴	良好	長、英、雲	外)明褐、内)にぶい橙	外)斜行条痕文、内)なで	
74	4283	6号周溝墓(溝内)	弥生	後期	ハケメ	高坏	40.6	口	良好	長、英、雲、赤、黒	外)にぶい橙、明赤褐、内)にぶい橙、赤褐	外)ハケメ・なで、内)ハケメ・なで	内外)赤色塗彩
74	7213	6号周溝墓(溝内)	弥生	後期	ハケメ	壷	96.0	口	良好	長、英、雲、赤、黒	外)にぶい赤褐、内)にぶい橙	外)ハケメ・なで、内)ハケメ・なで	外)赤色塗彩
74	9668	7号周溝墓(溝内)	弥生	後期	ハケメ	甕	1,297.0	ほぼ完形	良好	長、英、雲、赤、黒	外)にぶい橙、内)にぶい橙、底)にぶい橙	外)口唇部に刻み・なで・ハケメ、内)なで・はけめ、底)なで	外)上半部にコゲあり

第5表　土器観察表

図版	遺物番号	出土位置	時代	時期	土器種別	器種	重量	部位	焼成	胎土	色調	調整・文様等	特徴
74	2262	8号周溝墓(溝内)	弥生	後期	櫛描波状文	甕	279.0	口	良好	長、英、雲、赤、黒	外)にぶい黄橙、内)にぶい橙	外)櫛描波状文・櫛描簾状文・斜走短線文・なで・ハケメ・口唇部に刻み、内)なで・ハケメ	
76	676	1号住	平安	－	甲斐型	甕	44.0	口	良好	長、英、雲、赤、黒	外)橙、内)にぶい橙	外)ナデ、内)ナデ	
76	978-2	1号住	平安	－	鉄製品	刀子	5.4	刀身	－	－	－	－	
76	1106	1号住	平安	－	須恵器	突帯付四耳壺	255.0	胴	堅緻	長、英、黒	外)緑灰、内)緑灰	外)ナデ・タタキメ、内)ナデ	
76	1271	1号住	平安	－	甲斐型	坏	90.5	口～底	良好	長、英、雲、赤、黒	外)にぶい橙、内)にぶい橙、底)にぶい褐	外)ロクロナデ・ヘラケズリ、内)ロクロナデ、底)回転糸切り後ヘラケズリ	
76	1304	1号住	平安	－	甲斐型	甕	43.3	口	良好	長、英、雲、赤、黒	外)にぶい赤褐、内)にぶい赤褐	外)縦ハケメ・ナデ、内)ヨコハケメ・ナデ	
76	1445	1号住	平安	－	甲斐型	甕	38.0	口	良好	長、英、雲、赤、黒	外)赤褐、内)明赤褐	外)タテハケメ・ナデ、内)ヨコハケメ・ナデ	
76	1737	1号住	平安	－	甲斐型	甕	74.4	胴	良好	長、英、雲、赤、黒	外)褐、内)にぶい赤褐	外)タテハケメ・ナデ、内)ヨコハケメ・ナデ	
76	1887	1号住	平安	－	甲斐型	甕	82.7	底	良好	長、英、雲、赤、黒	外)にぶい赤褐、内)にぶい橙、底)にぶい赤褐	外)タテハケメ、内)ヨコハケメ、底)木葉痕	
76	1928	1号住	平安	－	甲斐型	甕	77.2	底	良好	長、英、雲、赤、黒	外)にぶい赤褐、内)にぶい褐、底)にぶい赤褐	外)タテハケメ、内)ヨコハケメ、底)木葉痕	
77	467	2号住	平安	－	甲斐型	甕	74.1	胴	良好	長、英、雲、白、黒	外)にぶい赤褐、内)にぶい赤褐	外)タテハケメ、内)ヨコハケメ	
77	638	2号住	平安	－	甲斐型	甕	36.3	口	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)褐、内)褐	外)タテハケメ・ナデ、内)ヨコハケメ・ナデ	
77	813	2号住	平安	－	甲斐型	甕	36.2	口	良好	長、英、雲、白、黒	外)にぶい赤褐、内)褐	外)タテハケメ・ナデ、内)ヨコハケメ・ナデ	
79	2012	3号住	平安	－	甲斐型	坏	54.6	口～底	良好	白、赤、黒	外)明赤褐、内)橙、底)橙	外)ロクロナデ・ヘラケズリ、内)ロクロナデ、底)回転糸切後ヘラケズリ	内)放射状の暗文
79	2699	3号住	平安	－	甲斐型	蓋	28.3	つまみ	良好	白、赤、黒	外)橙	外)ロクロナデ	宝珠形のつまみ部
79	2777	3号住	平安	－	甲斐型	坏	37.6	口～底	良好	白、赤、黒	外)橙、内)橙)底)橙	外)ロクロナデ・ヘラケズリ、内)ロクロナデ、底)ヘラケズリ	内)放射状の暗文
79	2808	3号住	平安	－	須恵器	甕	90.1	胴	堅緻	白、赤、黒	外)灰、内)灰	外)タタキメ、内)ナデ	
79	2945	3号住	平安	－	甲斐型	甕	53.5	胴	良好	雲、白、赤、黒	外)にぶい赤褐、内)にぶい赤褐	外)タテハケメ、内)ヨコハケメ	
79	4568	3号住	平安	－	甲斐型	甕	85.9	胴	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)にぶい赤褐、内)にぶい赤褐	外)タテハケメ、内)ヨコハケメ	
79	4572	3号住	平安	－	甲斐型	甕	75.1	底	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)にぶい橙、内)にぶい赤褐、底)にぶい橙	外)タテハケメ、内)ヨコハケメ	
79	4700	3号住	平安	－	甲斐型	甕	47.5	口	良好	長、英、雲、白、黒	外)にぶい褐、内)褐灰	外)タテハケメ・ナデ、内)ヨコハケメ・ナデ	
79	4899	3号住	平安	－	その他の土師器	ロクロ甕	100.0	胴	良好	英、白、赤、黒	外)橙、内)にぶい橙	外)ロクロナデ、内)ロクロナデ	
79	4908	3号住	平安	－	甲斐型	坏	79.0	口～底	良好	白、赤、黒	外)浅黄橙、内)にぶい黄褐、底)浅黄橙	外)ロクロナデ・ヘラケズリ、内)ロクロナデ、底)回転糸切後ヘラケズリ	内)放射状の暗文
81	2652	4号住	平安	－	甲斐型	皿	55.6	口	良好	赤、黒	外)橙、内)明赤褐、底)橙	外)回転ヘラケズリ・ロクロナデ、内)ロクロナデ、底)回転ヘラケズリ	
81	2954	4号住	平安	－	甲斐型	蓋	74.0	胴	良好	長、白、赤、黒	外)明赤褐、内)明赤褐	外)ロクロナデ、内)ロクロナデ	外)宝珠形のつまみ部 内)渦巻状の暗文
81	3045	4号住	平安	－	甲斐型	坏	51.1	口～底	良好	白、赤、黒	外)橙、内)橙、底)にぶい橙	外)ロクロナデ・ヘラケズリ、内)ロクロナデ、底)ヘラケズリ	内)放射状の暗文
81	3170	4号住	平安	－	甲斐型	坏	44.0	口～底	良好	白、赤、黒	外)にぶい赤褐、内)にぶい赤褐、黒褐、底)明赤褐	外)ロクロナデ・ヘラケズリ、内)ロクロナデ、底)ヘラケズリ	内)放射状の暗文、底)墨書
81	3205	4号住	平安	－	甲斐型	坏	106.3	口～底	良好	黒、赤	外)にぶい橙、橙、底)橙	外)ロクロナデ・ヘラケズリ、内)ロクロナデ、底)ヘラケズリ	内)放射状の暗文、底)墨書「文」?
81	3210	4号住	平安	－	その他の土師器	坏	121.0	口～底	良好	白、赤、黒	外)橙、内)にぶい橙、底)橙	外)ロクロナデ・ヘラケズリ、内)ロクロナデ	内)放射状の暗文、底)磨耗
81	3220	4号住	平安	－	甲斐型	坏	94.3	底	良好	雲、白、赤、黒	外)橙、内)橙、底)橙	外)ロクロナデ・ヘラケズリ、内)ロクロナデ、底)回転糸切後ヘラケズリ	内)放射状の暗文
81	3544	4号住	平安	－	甲斐型	坏	92.2	口～底	良好	白、赤、黒	外)橙、内)にぶい黄橙、底)明赤褐	外)ロクロナデ・ヘラケズリ、内)ロクロナデ、底)ヘラケズリ	内)放射状の暗文、底)墨書「文」?
81	4451	4号住	平安	－	甲斐型	高台坏	94.8	口～底	良好	白、赤、黒	外)橙、内)橙、底)橙	外)ロクロナデ、内)ロクロナデ、底)ロクロナデ	底)削り出し高台
81	4576	4号住	平安	－	甲斐型	坏	65.1	口	良好	白、赤、黒	外)橙、内)明赤褐	外)ロクロナデ・ヘラケズリ、内)ロクロナデ	内)放射状の暗文
81	4903	4号住	平安	－	甲斐型	皿	31.7	口～底	良好	白、赤、黒	外)橙、内)橙、底)にぶい褐	外)ロクロナデ・回転ヘラケズリ、内)ロクロナデ、底)回転ヘラケズリ	
81	5064	4号住	平安	－	甲斐型	蓋	89.6	口	良好	白、赤、黒	外)橙、内)にぶい黄橙	外)ロクロナデ、内)ロクロナデ	つまみ部は欠損
82	2692	4号住	平安	－	須恵器	甕	86.1	胴	堅緻	長、英、赤、黒	外)黒褐、内)灰黄褐	外)タタキメ、内)当て具痕・ナデ	
82	2948	4号住	平安	－	須恵器	甕	260.0	胴	良好	長、英、雲、黒	外)赤褐、内)褐灰	外)タタキメ、内)当て具痕・ナデ	
82	2953	4号住	平安	－	須恵器	甕	58.4	口	良好	雲、白、赤、黒	外)灰赤、内)灰、褐灰	外)ナデ、内)ナデ	
82	3003	4号住	平安	－	甲斐型	甕	192.6	底	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)にぶい赤褐、内)にぶい褐	外)タテハケメ、内)ヨコハケメ	
82	3047	4号住	平安	－	甲斐型	甕	63.7	口	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)橙、内)にぶい赤褐	外)タテハケメ・ナデ、内)ヨコハケメ	
82	3084	4号住	平安	－	須恵器	甕	240.0	胴	堅緻	長、英、赤、黒	外)灰褐、灰オリーブ、内)灰黄褐	外)タタキメ、内)当て具痕・ナデ	
82	3085	4号住	平安	－	須恵器	甕	102.5	胴	堅緻	長、英、赤、黒	外)灰褐、内)灰黄褐	外)タタキメ、内)当て具痕	
82	3183	4号住	平安	－	甲斐型	甕	60.0	口	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)にぶい褐、内)黒褐	外)タテハケメ・ナデ、内)ヨコハケメ・ナデ	小型
82	3280-2	4号住	平安	－	甲斐型	甕	62.2	口	良好	長、雲、白、赤、黒	外)にぶい赤褐、内)にぶい赤褐	外)タテハケメ・ナデ、内)ヨコハケメ・ナデ	小型
82	3284	4号住	平安	－	須恵器	甕	129.5	胴	堅緻	長、英、黒	外)褐灰、橙、内)灰黄褐	外)タタキメ、内)当て具痕・ナデ	
82	3284-2	4号住	平安	－	須恵器	甕	300.0	胴	堅緻	長、英、赤、黒	外)暗赤褐、内)にぶい黄	外)タタキメ、内)ナデ	内)付着物あり
82	3477	4号住	平安	－	その他の土師器	羽口	48.4	胴	良好	長、英、白、赤、黒		－	フイゴの羽口
82	4398	4号住	平安	－	須恵器	甕	280.0	胴	良好	長、英、雲、赤、黒	外)褐灰、内)にぶい黄橙、褐灰	外)タタキメ、内)ナデ	内)付着物あり
82	4403	4号住	平安	－	須恵器	甕	380.0	胴	堅緻	長、英、赤、黒	外)灰赤、内)にぶい黄橙	外)タタキメ、内)ナデ	
84	3620-2	5号住	平安	－	甲斐型	坏	24.2	口	良好	白、赤、黒	外)橙、内)にぶい褐	外)ロクロナデ・ヘラケズリ、内)ロクロナデ	内)放射状の暗文
84	4813	5号住	平安	－	甲斐型	皿	62.5	底	良好	白、赤、黒	外)橙、内)橙	外)ロクロナデ・回転ヘラケズリ、内)ロクロナデ、底)回転糸切後回転ヘラケズリ	
84	4821	5号住	平安	－	その他の土師器	ロクロ甕	70.6	胴	良好	長、英、白、赤	外)にぶい褐、内)にぶい赤褐	外)タタキメ・ロクロナデ、内)ロクロナデ	
84	6060	5号住	平安	－	その他の土師器	ロクロ甕	87.5	底	良好	長、英、雲、黒	外)にぶい褐、内)にぶい褐、底)にぶい橙	外)ロクロナデ、内)ロクロナデ、底)回転糸切	
84	6522	5号住	平安	－	甲斐型	甕	106.1	口	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)褐灰、内)褐	外)タテハケメ・ナデ、内)ヨコハケメ・ナデ	
84	6522-2	5号住	平安	－	甲斐型	甕	51.6	胴	良好	長、英、雲、白、赤、黒	外)にぶい赤褐、内)にぶい黄褐	外)タテハケメ、内)ヨコハケメ	
84	6524	5号住	平安	－	その他の土師器	ロクロ甕	87.1	口	良好	長、英、白、赤、黒	外)灰褐、内)にぶい褐	外)ロクロナデ、内)ロクロナデ	
84	6556	5号住	平安	－	甲斐型	皿	19.8	口～底	良好	白、赤、黒	外)暗灰黄、内)にぶい褐、底)暗灰黄	外)ロクロナデ・回転ヘラケズリ、内)ロクロナデ、底)回転ヘラケズリ	
84	6638	5号住	平安	－	甲斐型	坏	39.3	底	良好	白、赤、黒	外)にぶい赤褐、内)にぶい赤褐、底)にぶい褐	外)ロクロナデ・ヘラケズリ、内)ロクロナデ、底)回転糸切後ヘラケズリ	内)放射状の暗文
84	6768	5号住	平安	－	その他の土師器	ロクロ甕	71.0	胴	良好	長、英、白、赤、黒	外)にぶい黄褐、内)にぶい褐	外)ロクロナデ、内)ロクロナデ	
84	6769	5号住	平安	－	甲斐型	坏	24.7	口	良好	英、白、赤、黒	外)褐、内)にぶい褐	外)ロクロナデ・ヘラケズリ、内)ロクロナデ	
84	6819	5号住	平安	－	甲斐型	坏	6.3	底	良好	白、赤、黒	底)にぶい褐	底)ロクロナデ・ヘラケズリ	底)墨書
84	6870	5号住	平安	－	甲斐型	坏	19.8	底	良好	英、白、赤、黒	外)にぶい赤褐、内)にぶい赤褐、底)明赤褐	外)ヘラケズリ、内)ロクロナデ、底)ヘラケズリ	内)放射状の暗文
85	6471	5号住	平安	－	その他の土師器	ロクロ甕	149.6	胴	良好	長、英、白、赤、黒	外)にぶい褐、内)灰褐	外)ロクロナデ・タタキメ、内)ロクロナデ	
85	6868	5号住	平安	－	甲斐型	甕	116.9	胴	良好	長、雲、白、赤、黒	外)にぶい赤褐、内)にぶい赤褐	外)タテハケメ、内)ヨコハケメ・なで	
85	9605	10号住	平安	－	甲斐型	坏	22.2	底	良好	白、赤、黒	外)橙、内)橙、底)橙	外)ロクロナデ・ヘラケズリ、内)ロクロナデ、底)回転糸切後ヘラケズリ	内)放射状の暗文
85	9607	10号住	平安	－	甲斐型	坏	11.7	口	良好	英、白、赤、黒	外)橙、内)橙	外)ロクロナデ・ヘラケズリ、内)ロクロナデ	内)放射状の暗文
85	9608	10号住	平安	－	甲斐型	甕	12.6	胴	良好	長、英、雲、黒	外)にぶい赤褐、内)にぶい赤褐	外)タテハケメ、内)ヨコハケメ	
85	9609	10号住	平安	－	甲斐型	甕	23.7	胴	良好	長、英、雲、赤、黒	外)にぶい赤褐、内)にぶい赤褐	外)タテハケメ、内)ヨコハケメ	
85	2171	50号ピット	平安	－	土製品	土錘	16.7	－	良好	長、英	オリーブ黒	なで	長軸方向に直径5mmの孔が貫通

第6表　石器観察表

図版	遺物番号	出土位置	器種	石材	最大長(mm)	最大幅(mm)	最大厚(mm)	重量(g)	備　考
50	895	1号住	石鏃	黒曜石	(20.0)	14.0	4.5	(0.9)	凹基有茎。先端部・茎部欠損。
50	7063	5号周溝墓(溝内)	石鏃	黒曜石	(23.0)	(14.5)	2.9	(0.5)	凹基無茎。先端部・片脚欠損。
50	7097	5号周溝墓(溝内)	石鏃	黒曜石	(23.6)	(12.8)	4.1	(0.9)	凹基有茎(飛行機鏃)。片脚・茎部欠損。
50	7172	5号周溝墓(溝内)	石鏃	黒曜石	25.5	14.7	3.5	0.9	凹基無茎。
50	7502	5号周溝墓(溝内)	石鏃	黒曜石	17.5	13.3	4.0	0.6	凹基無茎。
50	7685	4号周溝墓(溝内)	石鏃	黒曜石	(15.7)	(11.5)	2.5	(0.2)	凹基無茎。両脚先端欠損。
50	8238	6号住	石鏃	黒曜石	14.0	10.5	2.6	0.2	凹基無茎。
50	9010	55号土坑	石鏃	黒曜石	23.0	16.4	5.4	1.5	平基無茎。弥生中期の土坑から出土。
50	9377	8号住	石鏃	黒曜石	(22.0)	(13.5)	4.5	(1.0)	凹基有茎。先端部・両脚・茎部欠損。
50	10054	5号周溝墓(溝内)	石鏃	黒曜石	20.0	16.0	4.8	1.1	凹基無茎。
50	10055	C区遺構外	石鏃	チャート	15.6	12.3	2.8	0.4	凹基無茎。
50	10056	8号住	石鏃	黒曜石	(17.7)	(13.6)	3.3	(0.7)	凹基無茎。先端部・両脚欠損。
50	10057	8号住	石鏃	黒曜石	(16.0)	(14.7)	2.0	(0.3)	凹基無茎。先端部・片脚欠損。
50	5865	9号住	楔形石器	黒曜石	18.2	11.8	9.7	1.5	上下端部に階段状剥離あり。一部に自然面を残す。
50	8378	6号住	楔形石器	黒曜石	24.2	14.1	4.0	1.5	上下端部に階段状剥離あり。
50	9174	6号住	楔形石器	黒曜石	32.0	39.5	11.5	12.9	上端部につぶれ・階段状剥離あり。下端部に階段状剥離あり。一部に自然面を残す。
50	9298	8号住	楔形石器	黒曜石	33.1	24.4	7.6	6.4	上下端部に階段状剥離あり。一部に自然面を残す。
50	9368	9号住	楔形石器	黒曜石	20.4	23.0	6.8	2.5	上端部につぶれ・階段状剥離あり。下端部に階段状剥離あり。一部に自然面を残す。
50	10058	8号住	楔形石器	黒曜石	26.3	18.4	4.3	1.6	上下端部に階段状剥離あり。一部に自然面を残す。
50	9598-2	8号住	楔形石器	黒曜石	27.2	23.3	6.6	3.4	上下端部に階段状剥離あり。一部に自然面を残す。
50	5791	C区遺構外	削器	黒曜石	35.2	21.6	8.1	6.4	正面右辺が刃部。一部に自然面を残す。
50	8979	8号住	削器	黒曜石	47.8	33.3	10.3	17.7	正面上端部～左辺～下端部が刃部。上下端部に階段状剥離があるので、楔形石器の可能性あり。
50	2196	C区遺構外	加工痕のある原石	黒曜石	44.0	22.6	11.0	8.6	正面に平坦剥離による調整加工あり。背面に自然面を残す。折れ面あり。
50	7852	5号周溝墓(溝内)	加工痕のある原石	黒曜石	72.4	24.5	20.5	35.1	正面・裏面に大きめの剥離と平坦剥離による調整加工あり。一部に自然面を残す。
50	2206	C区遺構外	石核	黒曜石	30.0	50.2	22.0	24.7	2回剥離したのみ。正面右側の剥離が古く、左側の剥離が新しい。どちらの剥離もウートラパッセ。正面右側辺を中心に剥片剥離面より新しい小剥離あり。大部分に自然面を残す。
51	6655	4号周溝墓(溝内)	石核	黒曜石	14.0	21.7	30.5	8.1	各側面で2回ずつの剥離をしている。大部分に自然面を残す。
51	10059	8号住	石核	黒曜石	25.0	26.4	32.0	17.0	打面は打面再生されている。大部分に自然面を残す。
51	2019	2号周溝墓(方台部)	石核	黒曜石	37.0	24.0	14.8	12.3	正面上方からの2回の剥離はさほど大きくないので、剥片剥離を目的としたものではなく、調整剥離の可能性あり。背面に自然面を残す。
51	8986	8号住	石核	黒曜石	41.0	43.0	30.7	43.1	剥片剥離の作業面は正面の1面のみ。大きめの剥片を剥離した後は小さめの剥片、あるいは頭部調整しただけで剥離作業を終了している。周囲に小剥離痕あり。下端部の剥離は割れ。大部分に自然面を残す。
51	140	B区遺構外	打製石斧	ホルンフェルス	109.0	43.5	13.0	65.3	不整形な短冊形。
51	909	1号溝	打製石斧	ホルンフェルス	114.0	46.0	19.5	79.3	短冊形。
51	5016	4号周溝墓(溝内)	打製石斧	凝灰岩	119.0	52.5	23.0	109.8	撥形。
51	7130	5号周溝墓(方台部)	打製石斧	砂岩	124.0	56.5	17.0	180.0	撥形。一部に自然面を残す。
51	7324	6号溝	打製石斧	ホルンフェルス	114.5	72.0	18.0	162.3	撥形。
51	8001	5号周溝墓(溝内)	打製石斧	ホルンフェルス	113.0	54.0	20.0	140.1	撥形。背面に自然面を残す。
52	66	B区遺構外	打製石斧	ホルンフェルス	113.0	52.5	13.0	82.2	短冊形。
52	93	B区遺構外	打製石斧	ホルンフェルス	127.0	47.0	20.0	142.6	撥形。
52	277	B区遺構外	打製石斧	ホルンフェルス	(111.0)	(55.5)	(26.0)	(144.5)	撥形。刃部欠損。
52	755	7号土坑	打製石斧	ホルンフェルス	(96.0)	(60.0)	(26.0)	(165.0)	体部片。形態不明。
52	771	9号土坑	打製石斧	頁岩	115.0	44.0	17.0	79.1	短冊形。
52	4278	C区遺構外	打製石斧	ホルンフェルス	125.0	69.0	27.0	214.6	撥形。一部に自然面を残す。
52	8322	4号周溝墓(溝内)	打製石斧	ホルンフェルス	108.0	53.5	15.0	106.5	短冊形。
52	8697	7号住	打製石斧	ホルンフェルス	(100.0)	53.0	24.5	(150.4)	撥形。基部欠損。
52	8891	9号住	打製石斧	頁岩	(90.5)	(44.0)	(16.0)	(59.5)	短冊形。刃部欠損。
52	10061	C区遺構外	大形粗製石匙	砂岩	130.0	78.0	25.5	193.6	斜型。
52	6002	C区遺構外	大形粗製石匙	ホルンフェルス	55.0	87.0	13.0	38.8	横型。
52	7775	C区遺構外	磨製石斧	蛇紋岩	(66.0)	(45.0)	(24.0)	(138.4)	刃部片。欠損後、折れ面から右側面にかけて磨り痕があるので、磨石に転用された。刃部先端につぶれが確認できるので、敲石にも転用された。
52	8329	4号周溝墓(溝内)	磨製石斧	蛇紋岩	(58.0)	(60.5)	(28.5)	(144.2)	刃部片。
52	9532	8号住	磨製石斧	凝灰岩	87.0	(21.5)	6.0	(16.5)	小型。上下端が刃部。下端の刃部一部欠損。
52	9596	6号住	磨製石斧	蛇紋岩	(64.0)	23.0	12.0	(28.8)	小型。刃部欠損。側辺部に剥離痕あり。再加工か。
53	337	9号土坑	横刃形石器	粘板岩	(55.5)	(89.5)	(11.5)	(45.1)	一部欠損。
53	10062	C区遺構外	横刃形石器	ホルンフェルス	82.5	(190.0)	30.0	(485.0)	一部欠損。正面に自然面を残す。
53	3828	3号周溝墓(溝内)	磨石類	安山岩	131.0	92.0	63.0	743.0	正面に凹み2箇所、裏面に凹み1箇所、上面に敲打面あり。
53	6982	5号周溝墓(溝内)	磨石類	安山岩	126.0	76.0	64.6	678.0	正面に凹み2箇所、右側面に凹み2箇所(小さな凹み9箇所)、裏面に凹み3箇所あり。
53	8085	5号周溝墓(溝内)	磨石類	安山岩	127.0	65.5	51.5	495.0	正面に凹み6箇所、裏面に凹み4箇所あり。
53	9551	5号周溝墓(溝内)	磨石類	凝灰岩	112.5	84.0	55.5	599.0	正面に凹み2箇所、右側面に磨面1箇所、裏面に凹み3箇所あり。
53	10063	B区遺構外	磨石類	玄武岩	(119.0)	70.0	60.0	(600.0)	正面に凹み4箇所・磨面1箇所(右側面まで及ぶ)、裏面に凹み1箇所あり。
54	179	6号土坑	磨石類	安山岩	136.0	88.0	62.5	750.0	正面に凹み2箇所、右側面に凹み2箇所、裏面に凹み3箇所あり。
54	4262	5号周溝墓(方台部)	磨石類	安山岩	124.0	98.0	55.0	662.0	正面に凹み2箇所、右側面に凹み2箇所、左側面に凹み1箇所、裏面に凹み2箇所あり。
54	5059	6号住	磨石類	安山岩	94.5	62.0	45.0	351.4	正面に凹み3箇所、裏面に凹み5箇所あり。
54	8435	6号住	磨石類	安山岩	91.0	70.0	41.0	331.0	正面に凹み3箇所あり。
54	8908	7号住	磨石類	安山岩	112.0	68.0	48.0	500.0	正面に凹み1箇所あり。
54	9303	9号住	磨石類	玄武岩	108.0	87.0	65.0	540.0	正面に凹み4箇所、裏面に凹み3箇所あり。
54	9523	8号住	磨石類	安山岩	112.0	102.0	58.5	760.0	正面に凹み5箇所、裏面に凹み4箇所あり。
54	10064	9号住	磨石類	安山岩	118.5	66.0	42.5	365.4	正面に凹み4箇所、裏面に凹み6箇所あり。
55	198	B区遺構外	磨石類	玄武岩	141.0	93.0	67.0	591.0	正面に凹み5箇所、右側面に凹み3箇所、左側面に凹み2箇所、裏面に凹み3箇所あり。
55	254	2号溝	磨石類	安山岩	114.0	87.0	78.0	1,030.0	正面に凹み2箇所(小さな凹みの集まり)、下面に敲打面あり。

第6表　石器観察表

図版	遺物番号	出土位置	器種	石材	最大長(mm)	最大幅(mm)	最大厚(mm)	重量(g)	備　考
55	3126	1号周溝墓(溝内)	磨石類	安山岩	114.0	85.0	50.5	552.0	正面に凹み3箇所、裏面に凹み3箇所あり。
55	6046	5号周溝墓(溝内)	磨石類	安山岩	100.0	60.0	46.0	387.0	正面に凹み3箇所、右側面に凹み3箇所、裏面に凹み2箇所あり。下端部欠損。
55	9340	8号住	磨石類	安山岩	109.0	96.0	50.5	560.0	正面に凹み3箇所、裏面に凹み3箇所あり。
55	10065	7号住	磨石類	玄武岩	103.5	79.5	50.0	495.0	正面に凹み2箇所あり。
55	10066	1号組石	磨石類	玄武岩	136.5	79.0	65.0	813.0	正面に凹み1箇所、右側面に磨面2箇所、左側面に磨面1箇所、上面に敲打面1箇所、下面に敲打面2箇所あり。弥生時代
56	436	14号土坑	磨石類	安山岩	87.0	86.0	84.0	630.0	正面に凹み1箇所、右側面に凹み10箇所あり。
56	2066	54号土坑	磨石類	凝灰岩	152.0	59.0	44.0	495.0	正面に凹み2箇所あり。
56	2821	1号周溝墓(溝内)	磨石類	安山岩	96.0	90.0	67.0	615.0	正面に凹み2箇所、裏面に凹み1箇所あり。
56	3831	2号周溝墓(溝内)	磨石類	安山岩	101.0	82.0	49.0	510.0	正面に凹み2箇所、裏面に凹み2箇所あり。
56	8648	6号住	磨石類	安山岩	123.5	78.0	53.0	673.0	正面に凹み4箇所・磨面1箇所、裏面に凹み1箇所あり。
56	10067	1号組石	磨石類	安山岩	130.0	91.5	49.5	620.0	正面に凹み1箇所、右側面に磨面1箇所あり。
56	10068	7号住	磨石類	安山岩	113.5	77.0	52.0	555.0	正面に凹み2箇所、裏面に凹み4箇所あり。
56	650	9号土坑	礫器	凝灰岩	123.5	54.0	41.0	342.2	下端部が刃部。刃部は磨耗している。
56	717	1号住	礫器	ホルンフェルス	80.0	65.0	39.0	219.2	刃部は正面側からの剥離。
57	7226	9号住	石核	凝灰岩	94.0	115.5	50.5	701.0	正面に求心的な剥離あり。一部に小剥離あり。礫器の可能性あり。
57	405	9号土坑	石皿	安山岩	(134.0)	(78.0)	(77.0)	1,010.0	2つの破片が接合。
57	2820	1号周溝墓(溝内)	石皿	安山岩	(182.0)	(244.0)	(98.0)	(2,480.0)	正面にはき出し口のある作業面、裏面に凹み13箇所あり。上半部欠損。
57	10069	6号住	石皿	安山岩	(163.0)	(196.0)	(51.0)	(1,600.0)	正面にはき出し口のある凹みの浅い作業面、裏面に凹み5箇所あり。上半部欠損。
57	10070	54号土坑	石皿	安山岩	207.0	186.0	86.0	4,310.0	正面に凹みの浅い作業面、裏面に凹み2箇所あり。
57	10073	55号土坑	石皿	安山岩	182.0	172.0	62.0	2,060.0	正面にはき出し口のある作業面、裏面に凹み10箇所あり。半分に2分割されていた。弥生中期の土坑から出土。
57	8084	5号周溝墓(溝内)	多孔石	安山岩	199.5	129.5	83.0	2,890.0	正面に凹み2箇所あり。
57	10071	B区遺構外	多孔石	安山岩	177.5	105.0	102.5	2,380.0	正面に凹み2箇所、右側面に凹み2箇所あり。
57	10072	9号土坑	多孔石	安山岩	269.5	131.0	96.0	3,780.0	正面に凹み13箇所、裏面に凹み4箇所あり。
62	10052	1号組石	打製石斧	砂岩	220.0	92.0	38.0	676.0	石鍬。撥形。裏面に自然面を残す。弥生中期の組石遺構の近くから出土。
85	10053	5号住	砥石	砂岩	(166.0)	(159.5)	(108.0)	(2,260.0)	作業面は溝状に3条凹んでいる。周囲が欠損している。平安住居から出土。

第7表　5号周溝墓埋葬主体部出土品観察表

図版番	遺物番号	出土位置	器種	材質	最大長(mm)	最大幅(mm)	最大厚(mm)	重量(g)	備　考
68	9583	埋葬主体部中央やや南東寄り	鉄剣	鉄	655.0	37.0	7.0	360(保存処理後)	刃関双孔をもつ短茎の鉄剣。茎の長さ30mm・幅10～20mm。孔の径2mm。正面と裏面の一部に鞘の残骸と思われる木質部あり。正面が上になって出土した。7箇所で折れている。
69	9584	埋葬主体部中央	鉄釧	鉄	102.0	81.0	50.0	159.8(保存処理後)	幅6mm前後・厚さ2mmの断面形三角形の1本の鉄材を螺旋状に巻き上げている。巻き上げは15巻で、上下に端部が確認できる。土圧で扁平になっている。表面の一部に付着布がある。鉄材の外面に稜をもつ。手首側の幅62mm、肘側の幅78mm。
69	10074	埋葬主体部南西側	ガラス玉	ガラス	(5.5)	(5.0)	(3.0)	(0.0890)	ガラス玉の破片。アルカリ石灰ガラス。一部にガラス玉の表面と孔内表面が残る。引き伸ばし技法により製作された。他3点より青みが濃い。
69	10075	埋葬主体部南東側	ガラス玉	ガラス	(4.8)	(3.9)	(2.5)	(0.0332)	ガラス玉の破片。アルカリ石灰ガラス。一部にガラス玉の表面が残る。引き伸ばし技法により製作された。
69	10076	埋葬主体部南東側	ガラス玉	ガラス	(4.1)	(3.8)	(2.5)	(0.0354)	ガラス玉の破片。アルカリ石灰ガラス。一部にガラス玉の表面が残る。引き伸ばし技法により製作された。
69	10077	埋葬主体部南東側	ガラス玉	ガラス	(4.5)	(2.8)	(2.7)	(0.0384)	ガラス玉の破片。アルカリ石灰ガラス。一部にガラス玉の表面と孔内表面が残る。引き伸ばし技法により製作された。

第8表　旧石器時代石器属性表

図版	図番号	注記	器種	石材	推定原産地	成形加工	刃部属性	素材打面形態	打面巾(mm)	素材剥離角(°)	素材技術	調査区	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)
17	1	8	ナイフ形石器	黒曜石	蓼科冷山群	HD/刃潰し	素刃	調整	6.7	90	S'I	B区	67.4	35.2	10.2	15.7
17	2	15	ナイフ形石器	黒曜石	蓼科冷山群	HD/刃潰し	素刃	欠損	Z	Z	HD?	B区	48.0	35.8	14.5	12.5
17	3	6943	石刃	頁岩	—	なし	なし	平坦	3.9	110	S'D	C区4周溝	94.5	35.9	13.5	34.8
17	4	94	使用痕剥片	黒曜石	蓼科冷山群	なし	MF	欠損	Z	Z	S'I?	B区	56.7	27.4	9.9	10.4
17	5	9096	縦長剥片	水晶	—	なし	なし	線状	Z	Z	HD?	C区8住	33.3	12.3	4.8	1.6
17	6	6	楔形石器	黒曜石	蓼科冷山群	HVD	なし	Z	Z	Z	HVD	B区	41.9	23.9	11.4	9.1
17	7	8129	石核転用削器	黒曜石	諏訪星ヶ台群	なし	MF	切子打面	6.5	110	S'D	C区5周溝	58.7	29.0	16.3	15.9
17	8	拡張1	使用痕剥片	黒曜石	諏訪星ヶ台群	なし	MF	平坦(節理面)	5	110	S'D	C区6住	49.0	37.4	12.9	23.5
18	9	1950	縦長剥片	黒曜石	蓼科冷山群	なし	なし	平坦	3	90	S'I	B区	37.7	32.7	6.7	6.1
18	10	78	石刃	黒曜石	蓼科冷山群	なし	なし	調整	3.9	95	S'I	B区	68.9	49.5	22.1	31.6
18	11	300	石核成形剥片	黒曜石	蓼科冷山群	なし	なし	平坦	2.4	95	S'I	B区2溝	40.7	45.9	12.7	17.5
18	12	119	剥片断片	黒曜石	蓼科冷山群	なし	なし	欠損	Z	Z	不明	B区	37.0	25.5	7.4	4.5
18	13	456	打面再生剥片	黒曜石	蓼科冷山群	なし	なし	点状	Z	Z	HD	B区	19.8	24.0	5.1	1.8
18	14	74	剥片	黒曜石	蓼科冷山群	なし	なし	点状	Z	Z	不明	B区	21.1	17.4	5.6	1.3
18	15	643	剥片	黒曜石	蓼科冷山群	なし	なし	平坦	9.1	100	HD	B区16土	18.4	28.1	9.1	3.2
18	16	9203	剥片	黒曜石	諏訪星ヶ台群	なし	なし	平坦	7.1	150	HVD	C区6住	36.7	23.2	12.0	6.0
18	17	拡張2	石刃	黒曜石	蓼科冷山群	なし	なし	欠損	Z	Z	HD?	C区6住	50.8	28.5	17.0	19.7
18	18	1949	二次加工剥片	黒曜石	蓼科冷山群	反HD・叩折	素刃	加工欠	Z	Z	HD?	B区	47.1	29.0	13.9	17.3
18	19	9600	剥片	黒曜石	蓼科冷山群	なし	なし	平坦	17.4	110	HD	C区	30.5	34.0	19.4	11.8
18	20	374	原石	黒曜石	蓼科冷山群	Z	Z	Z	Z	Z	Z	B区9土	35.9	21.0	7.8	7.4

※1は石刃の可能性あり

第9表　頭無A遺跡出土黒曜石製石器産地推定結果

判別図法・判別分析からの最終推定結果

研究室年間通番	分析番号	整理番号	推定産地
MK09-00109	KKN-1	6	蓼科冷山群
MK09-00110	KKN-2	8	蓼科冷山群
MK09-00111	KKN-3	15	蓼科冷山群
MK09-00112	KKN-4	74	蓼科冷山群
MK09-00113	KKN-5	78	蓼科冷山群
MK09-00114	KKN-6	94	蓼科冷山群
MK09-00115	KKN-7	119	蓼科冷山群
MK09-00116	KKN-8	300	蓼科冷山群
MK09-00117	KKN-9	374	蓼科冷山群
MK09-00118	KKN-10	456	蓼科冷山群
MK09-00119	KKN-11	643	蓼科冷山群
MK09-00120	KKN-12	1949	蓼科冷山群
MK09-00121	KKN-13	1950	蓼科冷山群
MK09-00122	KKN-14	8129	諏訪星ヶ台群
MK09-00123	KKN-15	9203	諏訪星ヶ台群
MK09-00124	KKN-16	9600	蓼科冷山群
MK09-00125	KKN-17	拡張1	諏訪星ヶ台群
MK09-00126	KKN-18	拡張2	蓼科冷山群

判別図法による推定結果と判別分析による推定結果

判別図判別群	判別分析					
	第1候補産地			第2候補産地		
	判別群	距離	確率	判別群	距離	確率
TSTY	TSTY	1.57	1	TSHG	31.25	0
TSTY	TSTY	3.23	1	TSHG	31.2	0
TSTY	TSTY	4.46	1	TSHG	29.66	0
TSTY	TSTY	17.27	0.92	TSHG	27.46	0.0008
TSTY	TSTY	1.35	1	TSHG	27.95	0
TSTY	TSTY	0.73	1	TSHG	24.45	0
TSTY	TSTY	7.38	1	TSHG	27.76	0
TSTY	TSTY	2.25	1	TSHG	28.12	0
TSTY	TSTY	0.76	1	TSHG	26.3	0
TSTY	TSTY	2.6	1	TSHG	28.43	0
TSTY	TSTY	9.31	1	TSHG	41.78	0
TSTY	TSTY	0.97	1	TSHG	19.24	0
TSTY	TSTY	2.15	1	TSHG	28.69	0
SWHD	SWHD	5.96	1	WDTN	121	0
SWHD	SWHD	6.19	1	SBIY	130.56	0
TSTY	TSTY	3.36	1	TSHG	20.66	0
SWHD	SWHD	18.63	1	SBIY	80.85	0
TSTY	TSTY	12.04	1	TSHG	53.87	0

推定結果表の見方

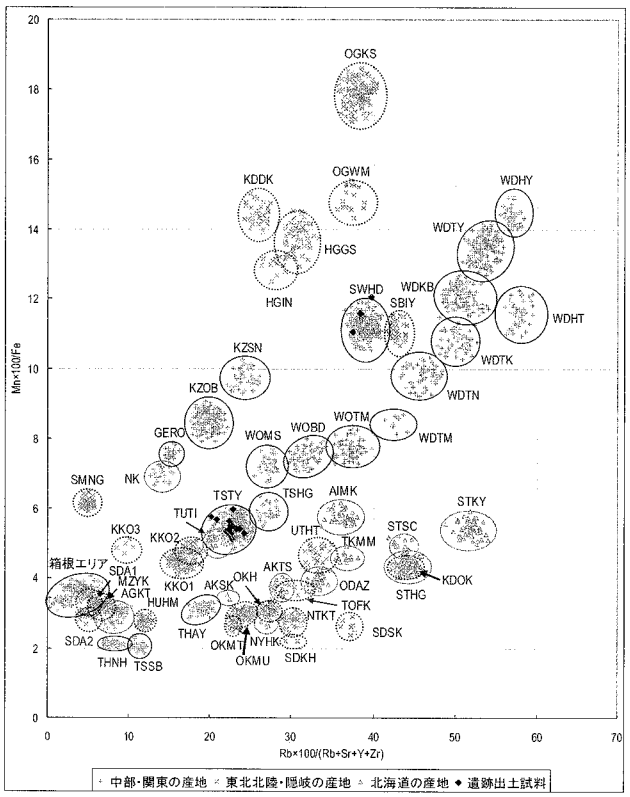
右側の表　判別図判別群：判別図法によって推定された産地
判別分析と結果が異なるときは"*"をつけて示す。

判別分析：第1候補産地…判別分析により推定された産地の第1候補
第2候補産地…判別分析により推定された産地の第2候補

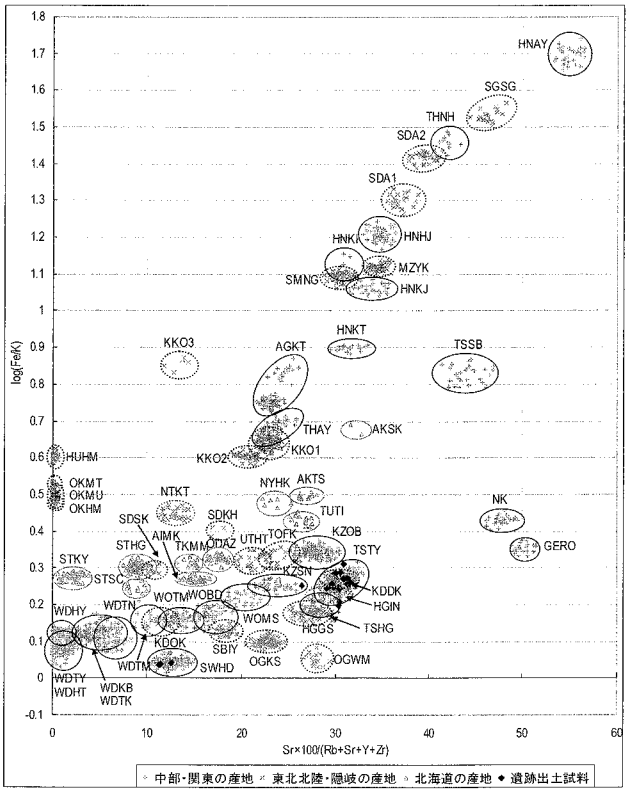
判別群　候補産地記号
→ 判別図法による産地と通常は一致する。

距離　試料から候補産地までのマハラノビス距離
→ 値が小さいほど候補産地と類似性が高い。

確率　試料が候補産地に属する確率
→ 1に近いほど類似性が高い。



第 92 図　黒曜石産地推定判別図 1



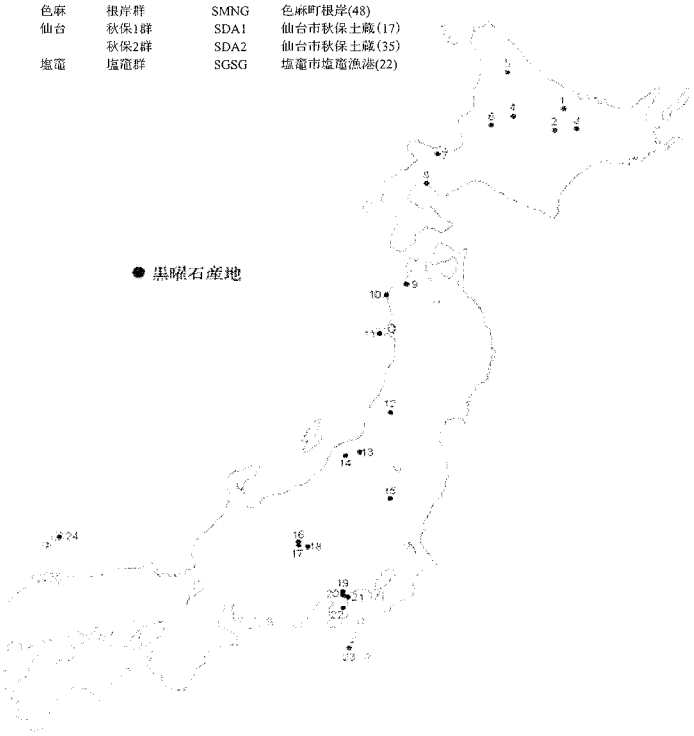
第 93 図　黒曜石産地推定判別図 2

第10表　判別図に用いた産地原石判別群（SEIKO SEA-2110L蛍光X線分析装置による）

都道府県	地図No.	エリア	新判別群	旧判別群	新記号	旧記号	原石採取地(分析数)
北海道	1	白滝	八号沢群		STHG		赤石山山頂(19)、八号沢露頭(31)、八号沢(79)、　黒曜の沢(6)、魏加林道(4)
			黒曜の沢群		STKY		
	2	上士幌	三股群		KSMM		十三ノ沢(16)
	3	置戸	安住群		ODAZ		安住(25)、清水ノ沢(9)
	4	旭川	高砂台群		AKTS		高砂台(6)、雨鈴台(5)、春光台(5)
			春光台群		AKSK		
	5	名寄	布川群		NYHK		布川(10)
	6	新十津川	須田群		STSD		須田(6)
	7	赤井川	曲川群		AIMK		曲川(25)、土木川(15)
	8	豊浦	豊泉群		TUTI		豊泉(16)
青森	9	木造	出来島群		KDDK		出来島海岸(34)
	10	深浦	八森山群		HUHM		八森山公園(8)、六角沢(8)、岡崎浜(40)
秋田	11	男鹿	金ヶ崎群		OGKS		金ヶ崎温泉(37)、脇本海岸(98)
			脇本群		OGWM		脇本海岸(16)
山形	12	羽黒	月山群		HGGS		月山荘前(30),朝日町田代沢(18),箱引町中沢(18)
			今野川群		HGIN		今野川(9)、大鍋川(5)
新潟	13	新津	金津群		NTKT		金津(29)
	14	新発田	板山群		SBIY		板山牧場(40)
栃木	15	高原山	甘湯沢群	高原山1群	THAY	TKH1	甘湯沢(50)、椛沢(20)
			七尋沢群	高原山2群	THNH	TKH2	七尋沢(9)、自然の家(9)
長野	16	和田(WD)	鷹山群	和田峠1群	WDTY	WDT1	鷹山(53)、小深沢(54)、東餅屋(36)、芙蓉ライト(87)、　古峠(50)、土屋橋北(83)、土屋橋西(29)、土屋橋南(68)、　丁字御領(18)
			小深沢群	和田峠2群	WDKB	WDT2	
			土屋橋北群	和田峠3群	WDTK	WDT3	
			土屋橋西群	和田峠4群	WDTN	WDT4	
			土屋橋南群	和田峠5群	WDTM	WDT5	
			芙蓉ライト群		WDHY		
			古峠群		WDHT		
		和田(WO)	ブドウ沢群	男女倉1群	WOBD	OMG1	ブドウ沢(36)、ブドウ沢右岸(18)、牧ヶ沢上(33)、牧ヶ沢下(36)、高松沢(40)
			牧ヶ沢群	男女倉2群	WOMS	OMG2	
			高松沢群	男女倉3群	WOTM	OMG3	
	17	諏訪	星ヶ台群	霧ヶ峰系	SWHD	KRM	星ヶ塔第1鉱区(36)、星ヶ塔第2鉱区(36)、星ヶ台A(36)、星ヶ台B(11)、水月霊園(36)、水月公園(13)、　星ヶ塔のりこし(36)
	18	蓼科	冷山群	蓼科系	TSTY	TTS	冷山(33)、麦草峠(36)、麦草峠東(33)、渋ノ湯(29)、　美し森(4)、八ヶ岳7(17)、八ヶ岳9(18)、双子池(34)
			双子山群		TSHG		双子池(26)
			擂鉢山群		TSSB		擂鉢山(31)、鬼甲池(8)
神奈川	19	箱根	芦ノ湯群	芦ノ湯	HNAY	ASY	芦ノ湯(34)
	20		畑宿群	畑宿	HNHJ	HTJ	畑宿(71)
			黒岩橋群	箱根系A群	HNKI	HKNA	黒岩橋(9)
	21		鍛冶屋群	鍛冶屋	HNKJ	KJY	鍛冶屋(30)
静岡			上多賀群	上多賀	HNKT	KMT	上多賀(18)
	22	天城	柏峠群	柏峠	AGKT	KSW	柏峠(80)
東京	23	神津島	恩馳島群	神津島1群	KZOB	KOZ1	恩馳島(100)、長浜(43)、沢尻湾(8)
			砂糠崎群	神津島2群	KZSN	KOZ2	砂糠崎(40)、長浜(5)
島根	24	隠岐	久見群		OKHM		久見バーライト中(30)、久見採掘現場(18)
			箕浦群		OKMU		箕浦海岸(30)、加茂(19)、岸浜(35)
			岬群		OKMT		岬地区(16)
その他			NK群		NK		中ッ原1G、5G(遺跡試料),原石産地は未発見

佐々木繁喜氏提供試料（まだ地図には入れていない）

青森	小泊	折腰内群	KDOK	小泊市折腰内(8)
岩手	北上川	北上折居1群	KKO1	水沢市折居(36)、花巻日形田ノ沢(36)、石小赤沢(22)
		北上折居2群	KKO2	水沢市折居(23)、花巻日形田ノ沢(8)、雫石小赤沢(2)
		北上折居3群	KKO3	水沢市折居(5)
宮城	宮崎	湯ノ倉群	MZYK	宮崎町湯ノ倉(54)
	色麻	根岸群	SMNG	色麻町根岸(48)
	仙台	秋保1群	SDA1	仙台市秋保土蔵(17)
		秋保2群	SDA2	仙台市秋保土蔵(35)
	塩竈	塩竈群	SGSG	塩竈市塩竈漁港(22)



第 94 図　日本の黒曜石産地

第11表　頭無A遺跡出土黒曜石産地組成

エリア	判別群	記号	試料数	%
和田(WO)	ブドウ沢	WOBD	0	0
	牧ヶ沢	WOMS	0	0
	高松沢	WOTM	0	0
和田(WD)	芙蓉ライト	WDHY	0	0
	鷹山	WDTY	0	0
	小深沢	WDKB	0	0
	土屋橋北	WDTK	0	0
	土屋橋西	WDTN	0	0
	土屋橋南	WDTM	0	0
	古峠	WDHT	0	0
諏訪	星ヶ台	SWHD	3	16.67
蓼科	冷山	TSTY	15	83.33
	双子山	TSHG	0	0
	擂鉢山	TSSB	0	0
天城	柏峠1	AGKT	0	0
箱根	畑宿	HNHJ	0	0
	鍛冶屋	HNKJ	0	0
	黒岩橋	HNKI	0	0
	上多賀	HNKT	0	0
	芦ノ湯	HNAY	0	0
神津島	恩馳島	KZOB	0	0
	砂糠崎	KZSN	0	0
高原山	甘湯沢	THAY	0	0
	七尋沢	THNH	0	0
新津	金津	NTKT	0	0
新発田	板山	SBIY	0	0
深浦	八森山	HUHM	0	0
木造	出来島	KDDK	0	0
男鹿	金ヶ崎	OGKS	0	0
	脇本	OGWM	0	0
羽黒	月山	HGGS	0	0
	今野川	HGIN	0	0
北上川	折居1群	KKO1	0	0
	折居2群	KKO2	0	0
	折居3群	KKO3	0	0
宮崎	湯ノ倉	MZYK	0	0
仙台	秋保1群	SDA1	0	0
	秋保2群	SDA2	0	0
色麻	根岸	SMNG	0	0
塩竈	塩竈港群	SGSG	0	0
小泊	折腰内	KDOK	0	0
魚津	草月上野	UTHT	0	0
高岡	二上山	TOFK	0	0
佐渡	真光寺	SDSK	0	0
	金井二ッ坂	SDKH	0	0
隠岐	久見	OKHM	0	0
	岬地区	OKMT	0	0
	箕浦	OKMU	0	0
白滝	8号沢	STHG	0	0
	黒曜の沢	STKY	0	0
	赤石山頂	STSC	0	0
赤井川	曲川	AIMK	0	0
豊浦	豊泉	TUTI	0	0
置戸	安住	ODAZ	0	0
十勝	三股	TKMM	0	0
名寄	布川	NYHA	0	0
旭川	高砂台	AKTS	0	0
	春光台	AKSK	0	0
不明産地1	NK	NK	0	0
下呂石		GERO	0	0
合計			18	100

不可など	0	
総計	18	

第12表　縄文土器遺構別内訳表

遺構名	中期前半					中期後半									中期	土製品					後期		晩期	合計
	五領ヶ台	狢沢	新道	藤内	井戸尻	曽利	曽利Ⅱ	曽利Ⅲ	曽利Ⅳ	曽利Ⅴ	中期末	台付土器	壺・両耳壺	有孔鍔付		土偶	土鈴	土錘	焼成粘土塊	ミニチュア土器	称名寺	堀之内		
1号住				1						15					10					1				27
				21.5						392.5					54.6					30.9				499.5
2号住											3				1									4
											157.6				19.6									177.2
3号住						1			6						15								1	23
						3.1			127.9						189.1								8.8	328.9
4号住									4	1					11									16
									27.2	21.6					52.6									101.4
5号住							4		13	6	1				102				2					128
							116.9		230.8	113.3	56.9				1028.9				10.8					1557.6
6号住						290		2	238	8			46	2	65	3	1			6				661
						6159.5		77.5	10050.4	101.9			7006.6	355.6	489.2	30.8	14.1			36.4				24322.0
7号住							1		42	3			13		55									114
							4.6		2162.5	29.9			532.4		468.6									3198.0
8号住						143	3	2	484	29	1	2	2		337									1,003
						4003.7	30.2	495.5	25670.2	577.7	96.7	49.3	1052.6		2872.6									34848.5
9号住					1	327			201	30	15	1	4		16					1	3			599
					35.1	5227.4			5007.5	1576.2	570.0	51.0	143.5		100.4					3.6	164.1			12878.8
10号住									6	2					22									30
									87.3	42.0					220.8									350.1
11号住						12			51	41	35		1		131									271
						243.9			873.7	1657.5	775.0		73.6		1550.5									5174.2
1号土坑											1				1									2
											13.5				6.2									19.7
2号土坑											2				1									3
											54.4				47.7									102.1
4号土坑									1															1
									57.2															57.2
5号土坑						1	1			1	5				1									9
						24.1	14.0			17.2	142.4				4.8									202.5
6号土坑										1	2				2									5
										28.9	66.5				71.4									166.8
7号土坑										2					3									5
										51.7					45.5									97.2
8号土坑															1				6					7
															4.4				11.8					16.2
9号土坑									1	2	30	2												35
									23.4	87.4	1179.9	60.7												1351.4
10号土坑											7	1			2									10
											312.6	19.9			8.8									341.3
11号土坑											9													9
											263.2													263.2
12号土坑											6													6
											223.7													223.7
13号土坑											2				1									3
											216.4				9.1									225.5
14号土坑											5	1						1						7
											188.1	33.0						54.0						275.1
25号土坑															1									1
															17.4									17.4
37号土坑										1														1
										11.9														11.9
42号土坑										1														1
										23.8														23.8
44号土坑															2									2
															20.8									20.8
46号土坑															1									1
															4.5									4.5
48号土坑															1									1
															1.7									1.7
49号土坑															1									1
															18.4									18.4
51号土坑										1					1									2
										6.6					5.2									11.8
54号土坑											1				2									3
											18.6				35.3									53.9
55号土坑									23				1		94				1					119
									139.6				48.7		708.6				4.3					901.2
56号土坑						1			3	1					3									8
						18.1			13.1	229.1					12.5									272.8
59号土坑															4									4
															48.7									48.7
60号土坑															1									1
															6.8									6.8
62号土坑									1						1					1				3
									5.3						14.8					1.5				21.6
63号土坑									1						9									10
									107.6						253.4									361.0

上段：点数（個）、下段：重量（g）

第12表　縄文土器遺構別内訳表

遺構名	中期前半					中期後半									中期	土製品					後期		晩期	合計
	五領ヶ台	狢沢	新道	藤内	井戸尻	曽利	曽利Ⅱ	曽利Ⅲ	曽利Ⅳ	曽利Ⅴ	中期末	台付土器	壷・両耳壷	有孔鍔付		土偶	土鈴	土錘	焼成粘土塊	ミニチュア土器	称名寺	堀之内		
2号ピット											5 108.2				1 13.1									6 121.3
5号ピット											1 6.1				2 17.3									3 23.4
8号ピット																					1 31.9			1 31.9
9号ピット											1 76.2													1 76.2
17号ピット											1 19.2													1 19.2
36号ピット															1 22.7									1 22.7
47号ピット															1 8.7									1 8.7
49号ピット															1 4.2									1 4.2
72号ピット									1 33.0															1 33.0
74号ピット															2 2.0									2 2.0
83号ピット															1 4.3									1 4.3
96号ピット									2 14.6	2 33.6	1 41.6				1 21.2									6 111.0
106号ピット									1 10.3						2 30.0									3 40.3
108号ピット						1 76.7			4 32.3						1 7.8									6 116.8
110号ピット									1 11.9															1 11.9
1号周溝墓(方台部)									1 5.8						11 96.6									12 102.4
1号周溝墓(溝内)						17 858.2		1 54.5	67 1365.0	42 1408.4	22 605.1		1 52.0		154 2586.3									304 6929.5
2号周溝墓(方台部)									1 12.5	5 129.3					4 34.2					1 6.1				11 182.1
2号周溝墓(溝内)						2 34.3		1 35.2	9 129.4	6 160.4	10 824.9				60 964.5									88 2148.7
3号周溝墓(方台部)									1 12.3	2 60.9					4 94.2									7 167.4
3号周溝墓(溝内)						2 45.5			1 21.4	3 61.3	2 115.5		1 36.3		7 60.3									16 340.3
4号周溝墓(方台部)						1 49.4			25 290.8	7 106.4	13 554.4				72 917.1									118 1918.1
4号周溝墓(溝内)						31 962.5	3 136.8	14 1119.5	504 11239.1	95 2213.0	55 3346.2		12 687.0		803 13389.7	1 28.0			5 22.4	3 37.8				1,526 33182.0
5号周溝墓(方台部)									27 627.7	7 214.8	5 156.6		1 15.7		79 868.3					1 5.2	1 7.9	1 9.7		122 1905.9
5号周溝墓(溝内)						7 121.0	1 19.1		244 5045.6	50 1062.7	11 401.4	1 9.3	2 114.6	1 60.2	484 6684.5				3 12.3	1 2.1				805 13532.8
5号周溝墓(主体部)						1 9.3			4 65.3	3 73.1	4 62.9				4 116.3									16 326.9
6号周溝墓(溝内)									5 58.0	2 50.4	4 133.5		1 130.1		14 160.7									26 532.7
7号周溝墓(溝内)							1 6.0		7 71.6	2 19.4					15 264.2									25 361.2
8号周溝墓(溝内)															2 54.1									2 54.1
1号竪穴										1 39.9														1 39.9
2号溝		1 6.2									2 92.4													3 98.6
3号溝										1 20.7					2 24.1									3 44.8
4号溝									1 4.8						1 5.7									2 10.5
6号溝						14 345.2			51 657.4	33 643.3	36 1135.4				271 2573.7									405 5355.0
8号溝															1 2.8									1 2.8
A区遺構外	8 195.9		1 15.4						1 18.5	2 14.2					44 413.8									56 657.8
B区遺構外		2 110.4			2 25.8	7 108.7			1 14.5	8 54.8	258 6515.8	1 44.5			9 264.0									288 7138.5
C区遺構外			1 19.3			13 299.1	3 199.4	2 227.0	274 5559.5	36 1011.5	60 1553.8		2 185.1		356 5663.9				1 1.2	2 8.5				750 14728.3
合　計	8 195.9	3 116.6	2 34.7	1 21.5	3 60.9	871 18589.7	17 527.0	22 2009.2	2,308 69885.0	452 12347.3	616 20084.7	9 267.7	87 10078.2	3 415.8	3,308 43763.2	4 58.8	1 14.1	1 54.0	18 62.8	17 132.1	5 203.9	1 9.7	1 8.8	7,758 178941.6

上段：点数（個）、下段：重量（g）

第13表　弥生土器遺構別内訳表

遺構名	中期				後期											合計
	条痕文		沈線	突帯	櫛描波状文		ハケメ					無文				
	甕	壺	壺	壺	甕	壺	甕	壺	壺(赤色塗彩)	高坏	高坏(赤色塗彩)	甕	壺	壺(赤色塗彩)	高坏	
1号住	131 1029.6	50 447.3					1 7.9									182 1484.8
3号住	1 11.3	1 3.7					3 7.2							1 8.5		6 30.7
5号住	7 40.5	1 8.6					1 11.9									9 61.0
6号住	1 20.0	5 77.7								1 12.3						7 110.0
7号住												1 2.9				1 2.9
8号住	4 22.8															4 22.8
9号住	5 42.8	3 35.9					1 3.4									9 82.1
10号住		2 15.2														2 15.2
11号住	34 246.7	10 212.3								3 17.9					1 12.0	48 488.9
2号土坑	1 8.6															1 8.6
19号土坑	1 21.5															1 21.5
20号土坑	3 16.2	1 2.9														4 19.1
55号土坑	109 1198.0	73 1483.2														182 2681.2
56号土坑	1 10.7															1 10.7
6号ピット	1 34.5															1 34.5
10号ピット	2 30.4															2 30.4
21号ピット	1 3.4															1 3.4
23号ピット	2 8.4															2 8.4
78号ピット								1 7.7								1 7.7
108号ピット					1 9.5	1 26.6										2 36.1
110号ピット						1 17.3										1 17.3
1号周溝墓(溝内)	2 26.2													1 1.7		3 27.9
2号周溝墓(方台部)														1 3.0		1 3.0
2号周溝墓(溝内)							1 23.4	1 11.4					2 233.7			4 268.5
3号周溝墓(溝内)			1 6.7													1 6.7
4号周溝墓(方台部)	1 6.1													1 2.3		2 8.4
4号周溝墓(溝内)	23 271.9	15 339.7			5 10.4		1 12.0	8 184.2		1 2.2			2 203.5	2 18.6		57 1042.5
5号周溝墓(方台部)	18 232.8	6 83.5		1 23.4						1 17.4						26 357.1
5号周溝墓(溝内)	100 824.8	98 1073.1					10 1623.0							3 32.3	1 17.4	212 3570.6
5号周溝墓(主体部)	1 17.1	3 26.7														4 43.8
6号周溝墓(溝内)	4 49.8	1 38.1							1 96.0		1 40.6					7 224.5
7号周溝墓(溝内)	3 31.8						1 1297.0									4 1328.8
8号周溝墓(溝内)					1 279.0											1 279.0
1号組石	1 3.8	1 1.8														2 5.6
2号溝	1 1.9															1 1.9
4号溝	1 11.4															1 11.4
6号溝	4 38.6	2 15.7			4 10.5		1 3.9					1 2.9	4 28.2	5 20.6		21 120.4
A区遺構外	72 554.7	26 223.2			1 4.2											99 782.1
B区遺構外	6 45.5															6 45.5
C区遺構外	37 316.4	10 158.4	1 9.8		2 16.8									4 32.0		54 533.4
合　計	578 5178.2	308 4247.0	2 16.5	1 23.4	14 330.4	2 43.9	20 2989.7	10 203.3	1 96.0	6 49.8	1 40.6	2 5.8	8 465.4	18 119.0	2 29.4	973 13838.4

上段:点数(個)、下段:重量(g)

第14表　平安土器遺構別内訳表

遺構名	甲斐型								黒色		その他の土師器						須恵器					灰釉陶器		土製品	合計
	赤彩高台坏	赤彩丸底坏	内黒坏	高台坏	皿	蓋	甕	小型甕	坏	高台坏	坏	皿	甕	ロクロ甕	羽釜	羽口	坏	高台坏	蓋	甕	壺	碗	壺	土鐘	
1号住	14 81.8	98 375.7			11 65.3	2 17.0	562 3871.2		24 243.0	1 18.0	15 102.6		29 121.9				1 4.9			9 216.0	8 294.0				774 5411.4
2号住		1 1.2					52 589.4				4 14.2														57 604.8
3号住	13 199.3	19 42.3				1 28.8	125 1231.5						6 31.6	22 429.1						1 90.1					187 2052.7
4号住	21 612.7	70 274.8		1 94.8	16 264.5	11 198.4	173 2006.2	8 200.5			9 196.0		3 13.5			1 48.4				11 1840.6					324 5750.4
5号住	29 242.0	27 81.0	2 1.8		5 88.4		57 631.8		6 50.2		9 40.5		8 29.9	25 644.5			2 24.0								170 1834.1
6号住		4 5.4			1 6.4				2 10.9		1 3.2														8 25.9
7号住		6 14.4	1 1.5				1 1.5				4 16.1												1 16.3		13 49.8
8号住		14 22.4			2 7.3		4 14.7		5 14.1		3 8.5										1 10.4				29 77.4
9号住	6 16.4	63 104.6			4 29.1	1 1.3	14 53.7		7 19.2				3 21.0				4 15.6		1 1.6	2 48.8		1 4.4			106 315.7
10号住	2 33.9				1 4.7		25 147.9				1 8.4		1 12.6							1 21.5					31 229.0
11号住		2 3.4							1 10.2	1 6.1															4 19.7
1号土坑											1 0.8														1 0.8
22号土坑		1 2.2																							1 2.2
37号土坑							1 1.9																		1 1.9
39号土坑							1 6.2																		1 6.2
40号土坑					1 2.1								1 1.0												2 3.1
41号土坑		1 0.9																							1 0.9
45号土坑					1 1.7																				1 1.7
47号土坑		1 1.7																							1 1.7
49号土坑		2 2.5																							2 2.5
52号土坑		1 1.4																							1 1.4
55号土坑		10 19.3					3 6.6																		13 25.9
56号土坑							3 7.3																		3 7.3
57号土坑		1 1.6																							1 1.6
63号土坑							2 9.6																		2 9.6
23号ピット	1 0.9																								1 0.9
25号ピット									1 2.2																1 2.2
27号ピット	1 1.5																			1 54.6					2 56.1
44号ピット		1 0.5																							1 0.5
50号ピット																								1 16.7	1 16.7
57号ピット							1 1.8																		1 1.8
59号ピット		1 0.9																							1 0.9
69号ピット											1 2.4														1 2.4
94号ピット																				1 42.6					1 42.6
1号周溝墓(方台部)		1 2.6																	1 5.2						2 7.8
1号周溝墓(溝内)		21 26.4					3 5.3		1 5.7		8 36.8		1 7.9				1 5.5	1 10.3		1 7.6					37 105.5
2号周溝墓(方台部)	1 3.7						1 14.4										1 1.6			1 16.3					4 36.0
2号周溝墓(溝内)		8 12.4			1 1.7		4 16.1				1 3.0														14 33.2
3号周溝墓(溝内)									1 2.4																1 2.4
5号周溝墓(方台部)		7 9.5					3 14.2		3 8.1																13 31.8
4号周溝墓(溝内)	5 18.9	28 55.3		2 12.2	2 10.9		10 103.3		5 8.1		8 18.5		2 63.1	1 17.7	1 60.5		1 1.6			2 86.4					67 456.5
5号周溝墓(方台部)		10 15.9					3 6.6				1 1.6									1 18.8					15 42.9
5号周溝墓(溝内)	11 50.5	93 194.3	1 1.6	3 29.4	10 90.4	3 30.0	49 260.8		9 33.2		13 70.2		8 45.1	4 80.3			1 2.0			2 45.5					207 933.3
6号周溝墓(溝内)		2 4.1					1 4.7						1 5.1												4 13.9
1号組石								1 2.8																	1 2.8
1号濠																				3 107.7					3 107.7
2号濠							1 2.9						1 7.2												2 10.1
3号濠		4 5.5			1 4.1		1 2.8													1 63.8					7 76.5
4号濠		2 3.9			1 6.3				1 3.8											1 36.1					5 50.1
5号濠		4 5.8																							4 5.8
6号濠	7 13.4	72 97.8		1 9.4	2 4.9		37 154.7		9 17.5		10 29.1		2 16.4				5 20.2			5 99.3	2 24.5				152 487.2
8号濠		1 0.8																							1 0.8
A区遺構外	1 1.9	9 10.3			2 7.8	1 1.9	15 66.9		3 11.8		6 13.3		3 5.1							2 25.9					42 144.9
B区遺構外		9 12.5					3 8.5		6 10.6		11 29.5		4 78.3				2 23.5			5 59.4					40 222.3
C区遺構外	17 58.7	124 231.6		1 8.9	4 39.5	1 4.3	38 229.2		12 44.9		16 71.6	1 8.5	6 45.9				5 75.6		1 3.0	14 519.8	1 12.2	1 1.2			242 1357.9
合　計	129 1335.6	718 1644.9	4 4.9	8 154.7	65 635.4	20 281.7	1,193 9471.7	9 203.3	96 495.9	2 24.1	122 669.3	1 8.5	79 505.6	52 1171.6	1 60.5	1 48.4	23 174.5	1 10.3	3 9.8	64 3400.8	12 341.1	2 5.6	1 16.3	1 16.7	2,607 20691.2

上段：点数(個)、下段：重量(g)

第15表　出土石器遺構別内訳表

遺構名	黒曜石												チャート		打斧	大粗匙	横刃形	礫器	磨石類	石皿	多孔石	磨斧	石核	加工礫	剥片(その他の石	砥石	合計
	石鏃	削器	掻器	楔形	F	MF	RF	石核	原石	加工原石	破片	砕片	石鏃	剥片													
1号住	1 0.9				3 5.6	3 7.3	1 7.2								1 156.9			1 219.2	1 388.6						3 30.4		14 816.1
2号住				1 0.8																							1 0.8
3号住																			2 148.0								2 148.0
4号住						1 1.1		1 6.1																			2 7.2
5号住				1 0.7	4 1.3	1 1.9																				1 2260.0	7 2263.9
6号住	1 0.2			6 18.7	82 109.2	23 45.0	5 6.0	4 42.8	1 0.8	2 20.6	4 4.0	2 0.2			1 39.7				8 3294.4	1 1600.0		1 28.8			3 86.3		141 5296.7
7号住					3 2.2										1 150.4				3 1550.0								7 1702.6
8号住	7 35.9	1 17.7		8 19.5	135 221.8	25 72.2	5 9.0	2 61.7	3 22.5		1 5.6			1 1.8	1 28.5				10 3188.5			1 16.5			5 784.7		205 4485.9
9号住				9 11.9	24 24.2	5 11.6	3 4.7	3 39.5			2 5.8			1 2.3	1 59.5			1 70.2	4 1405.4				1 701.0		2 14.7		56 2350.8
10号住					4 0.6	1 0.4				1 3.4																	6 4.4
11号住					16 15.4	1 0.5		1 2.9																	1 13.6		19 32.4
5号土坑																									1 39.6		1 39.6
6号土坑																			1 750.0								1 750.0
7号土坑															1 165.0												1 165.0
9号土坑															1 79.1		1 45.1	1 342.2	2 979.3	1 1000.0	1 3780.0						7 6225.7
10号土坑					1 5.9																						1 5.9
14号土坑																			1 630.0						4 126.0		5 756.0
34号土坑																									1 15.7		1 15.7
41号土坑																		1 290.2									1 290.2
54号土坑																			1 495.0	1 4310.0							2 4805.0
55号土坑	1 1.5			3 3.2	9 7.9	6 10.2	2 1.5	2 4.3						1 4.0						1 2060.0					1 2.7		26 2095.3
56号土坑																									1 5.7		1 5.7
2号ピット					1 0.4																						1 0.4
23号ピット					1 1.0																						1 1.0
110号ピット				1 1.5																							1 1.5
1号周溝墓(溝内)						1 0.3		2 7.1	2 29.3										3 1537.8	1 2480.0							9 4054.5
2号周溝墓(溝内)					2 2.8		1 1.7		1 21.1										2 771.3								6 796.9
2号周溝墓(方台部)								1 12.3																			1 12.3
3号周溝墓(溝内)																			2 1407.0								2 1407.0
4号周溝墓(溝内)	2 3.3			2 2.3	41 60.4	8 19.0	2 3.9	4 31.1	1 23.7		1 3.1				3 277.6				2 479.8			1 144.2			3 5.4		70 1053.8
4号周溝墓(方台部)				1 1.4	6 10.4	1 1.5									1 93.2												9 106.5
5号周溝墓(溝内)	7 5.0			9 11.1	76 80.8	22 31.5	3 3.1	4 83.9	1 2.5	3 58.7	1 0.3	1 0.1			3 268.7				5 2754.0		1 2890.0				5 119.2		141 6308.9
5号周溝墓(方台部)					4 4.6	2 9.7	2 2.5								1 180.0				1 662.0						5 81.6		15 940.4
5号周溝墓(主体部)					1 0.1	1 0.5	1 1.2																				3 1.8
6号周溝墓(溝内)						3 4.1																			1 3.2		4 7.3
7号周溝墓(溝内)					2 2.3	1 1.3																					3 3.6
1号溝															3 157.8												3 157.8
2号溝																			1 1030.0								1 1030.0
4号溝																			1 580.0								1 580.0
6号溝	1 0.3			2 3.4	12 23.9	1 1.5		2 7.0							2 191.6									1 46.1	1 3.9		22 277.7
A区1号組石															1 676.0				2 1433.0								3 2109.0
A区遺構外				1 2.6	2 1.3										2 21.7												3 25.6
B区遺構外				1 1.6	6 7.7			2 23.6			2 1.6				6 580.9				7 2760.0		1 2380.0						25 5755.4
C区遺構外		1 6.4			19 78.6	5 11.0	1 2.9	2 37.6	1 1.7	2 33.3	1 0.7	1 0.2	1 0.4	1 0.6	1 214.6	2 232.4	1 485.0		2 807.6			1 138.4					42 2051.4
合　計	20 47.1	2 24.1	0 0.0	45 78.7	454 668.4	111 230.6	26 43.7	30 359.9	10 101.6	8 116.0	12 21.1	4 0.5	1 0.4	4 8.7	30 3341.2	2 232.4	2 530.1	4 921.8	61 27051.7	5 11450.0	3 9050.0	4 327.9	1 701.0	1 46.1	37 1332.7	1 2260.0	878 58945.7

上段:点数(個)、下段:重量(g)

Ａ区近景（北から）

Ｂ区北側近景（北から）

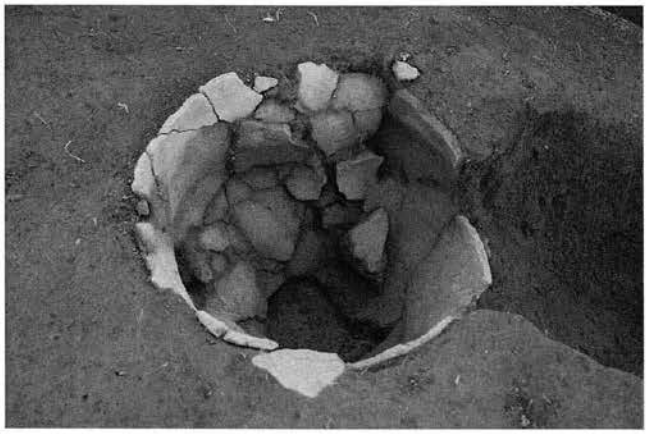
Ｃ区北側近景（南から）

Ｃ区南側近景（北から）

６号住居跡

６号住居跡　炉

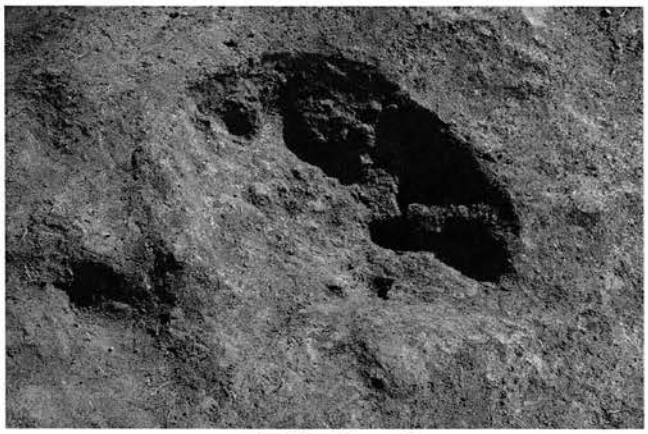
６号住居跡　１号埋甕



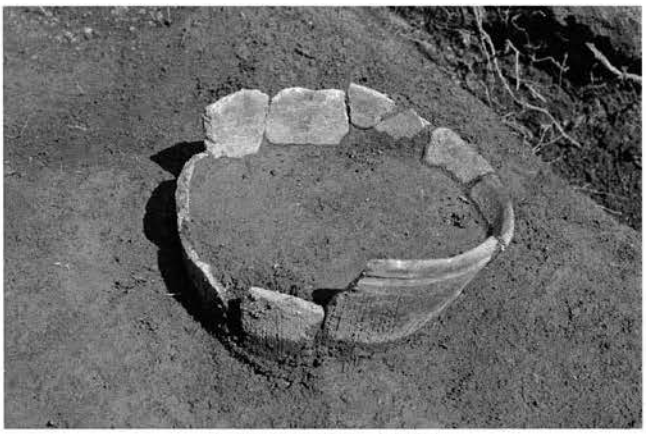
６号住居跡　２号埋甕

図版２

７号住居跡

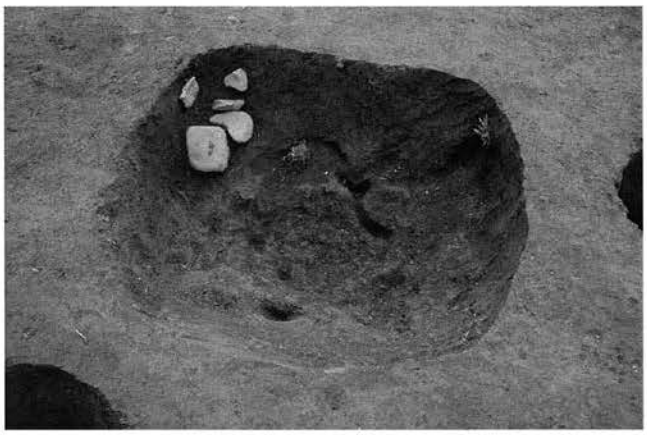


７号住居跡　炉



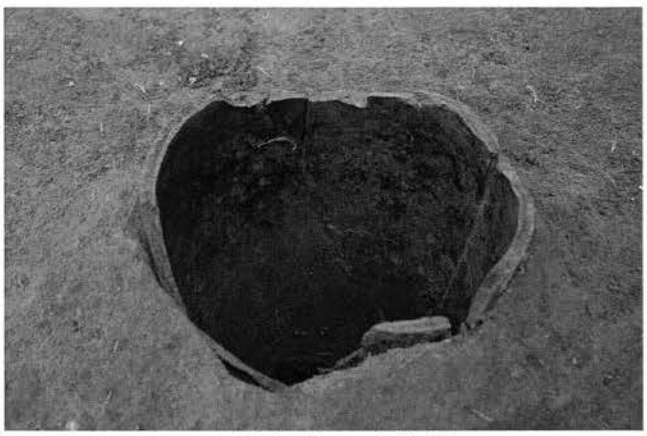
７号住居跡　埋甕

８号住居跡



８号住居跡　１号炉

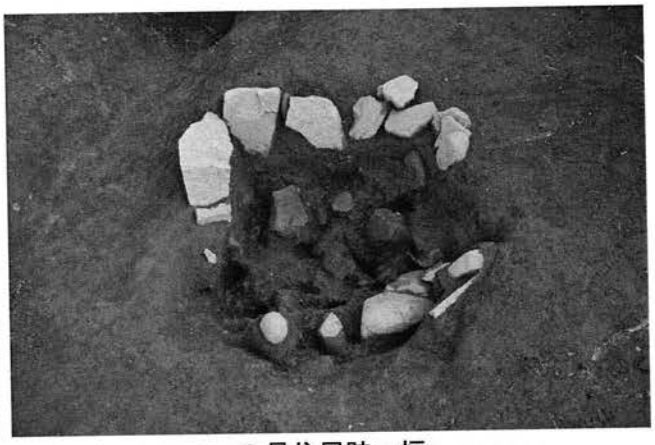
８号住居跡　２号炉



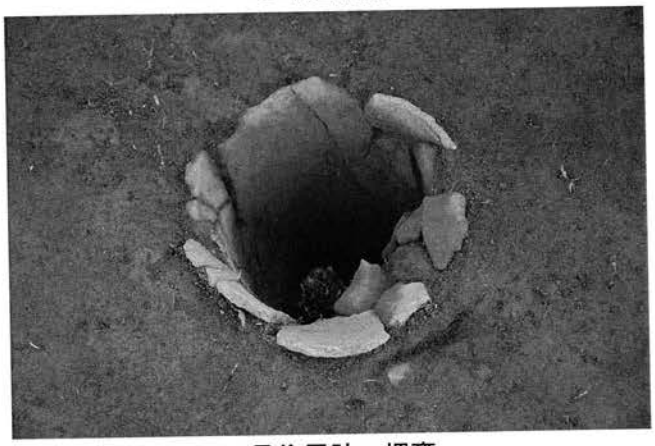
８号住居跡　１号埋甕

８号住居跡　２号埋甕

９号住居跡

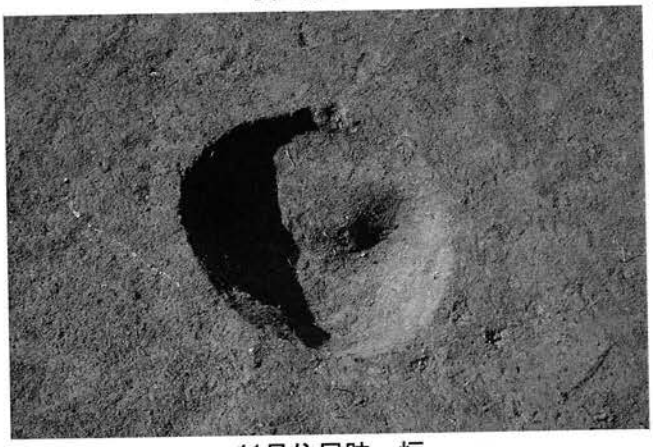


９号住居跡　炉

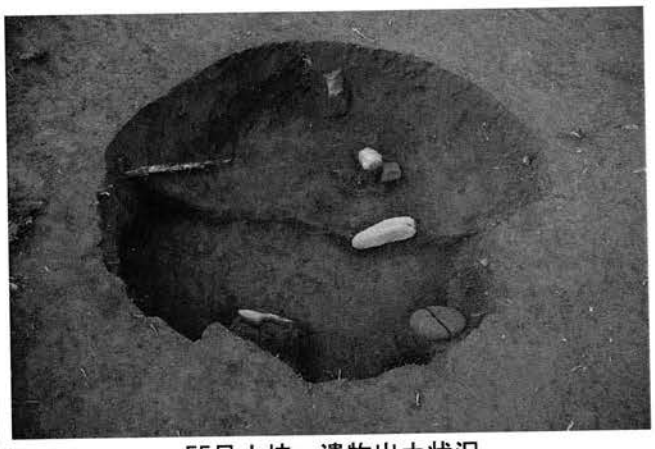


９号住居跡　埋甕

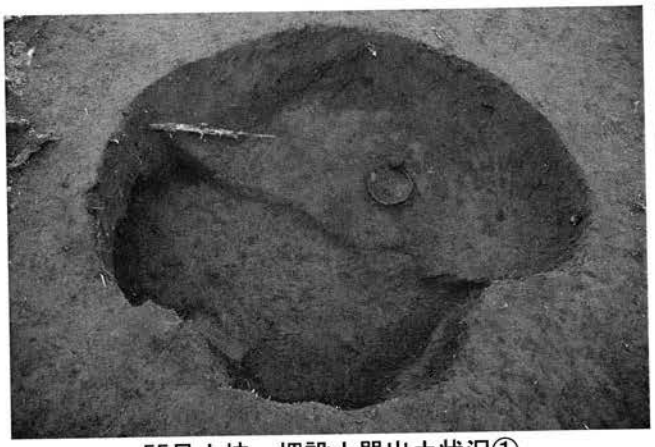
11号住居跡



11号住居跡　炉



55号土坑　遺物出土状況



55号土坑　埋設土器出土状況①

55号土坑　埋設土器出土状況②

図版４

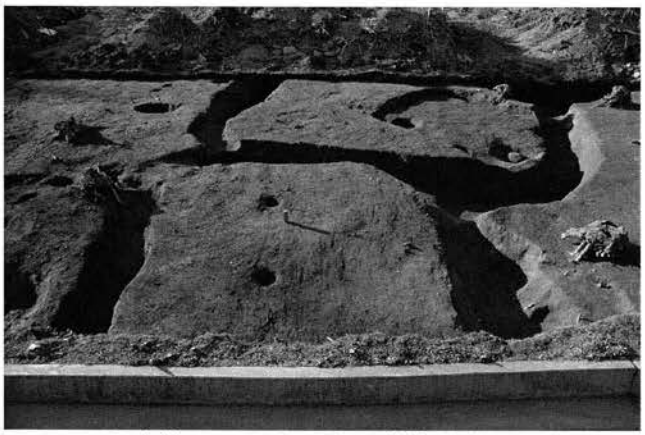
１号組石遺構周辺　遺物出土状況①

１号組石遺構周辺　遺物出土状況②

１号組石遺構①

１号組石遺構②

１号周溝墓（北から）



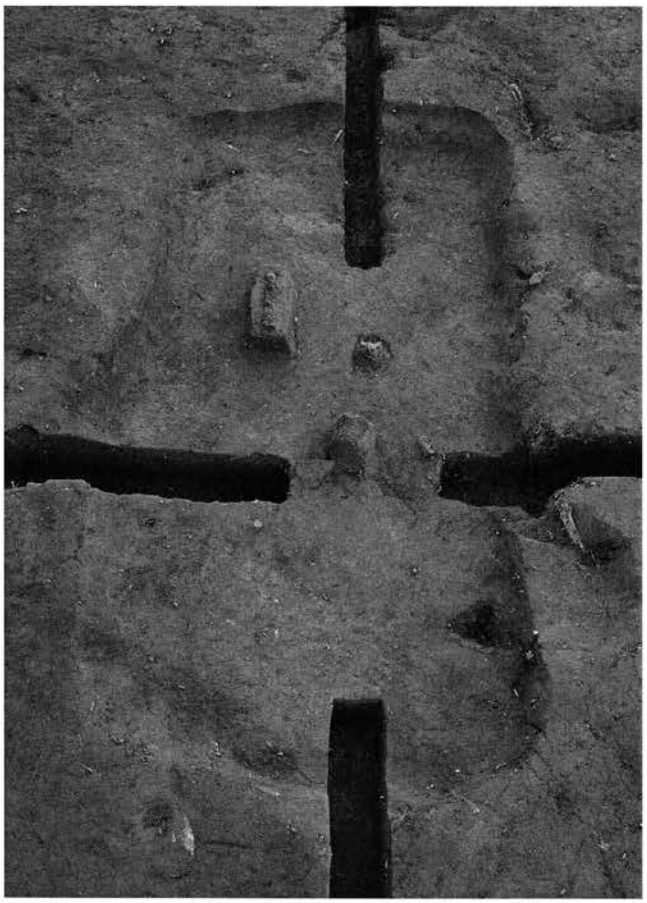
２号（奥）・３号（手前）周溝墓（東から）

４号周溝墓①（南から）

４号周溝墓②（北から）

５号周溝墓①（西から）

５号周溝墓②（南から）



５号周溝墓　埋葬主体部①（北から）

５号周溝墓　埋葬主体部②（東から）

５号周溝墓　埋葬主体部③（南東から）

鉄剣（手前）と鉄釧（奥）①

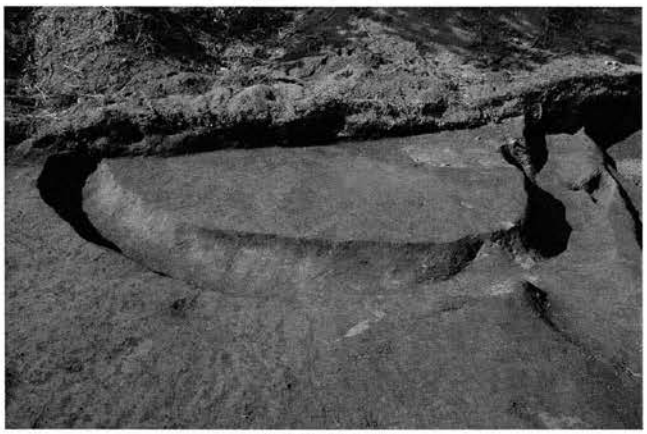
鉄剣（左）と鉄釧（右）②

図版６

５号周溝墓　鉄剣出土状況

５号周溝墓　鉄釧出土状況

５号周溝墓　甕出土状況

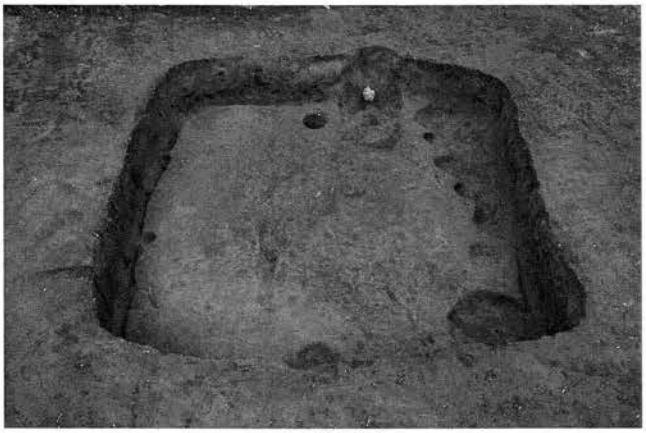


６号周溝墓

７号周溝墓

７号周溝墓　甕出土状況

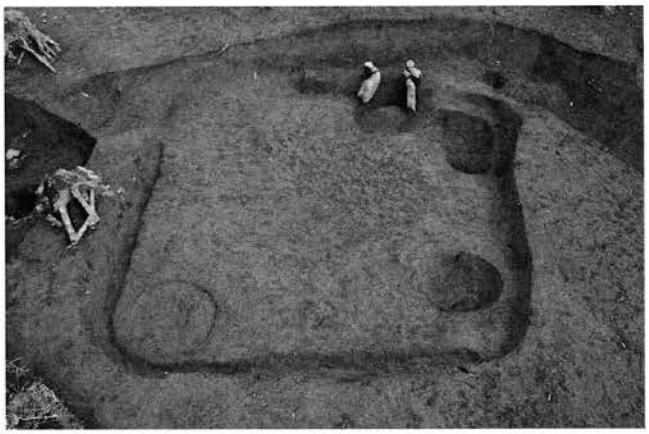
８号周溝墓



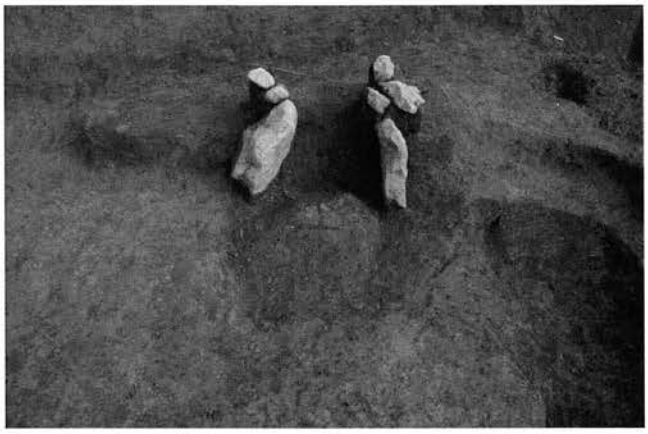
１号住居跡

１号住居跡　カマド

２号住居跡



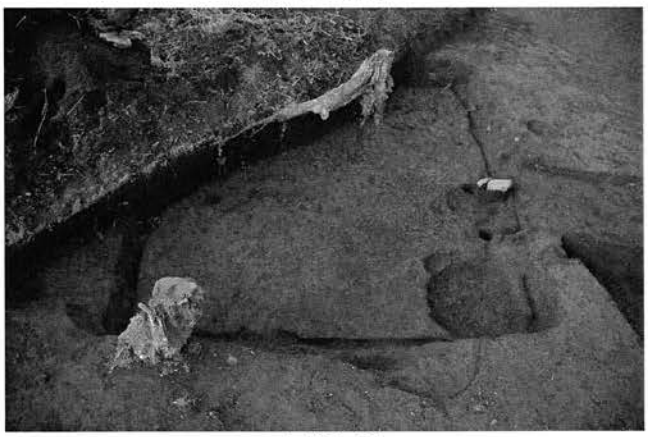
３号住居跡



３号住居跡　カマド

４号住居跡

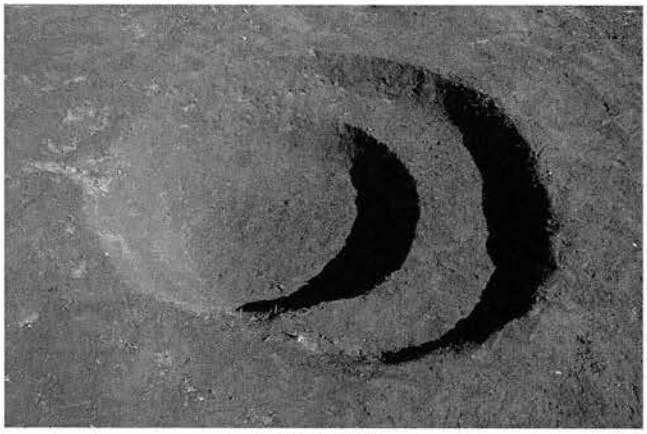
４号住居跡　カマド



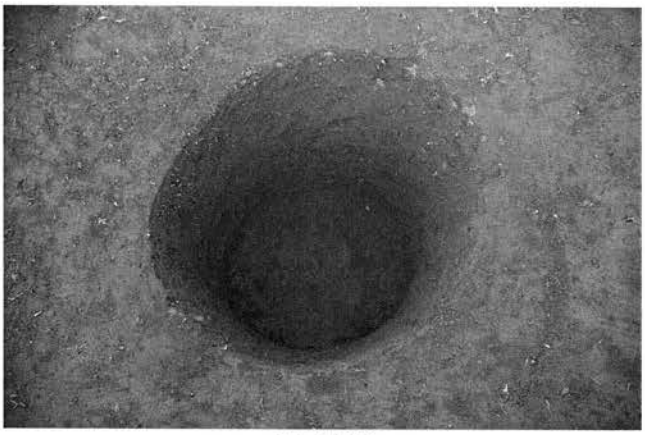
５号住居跡

５号住居跡　カマド

図版８



５号土坑



９号土坑

54号土坑　遺物出土状況①

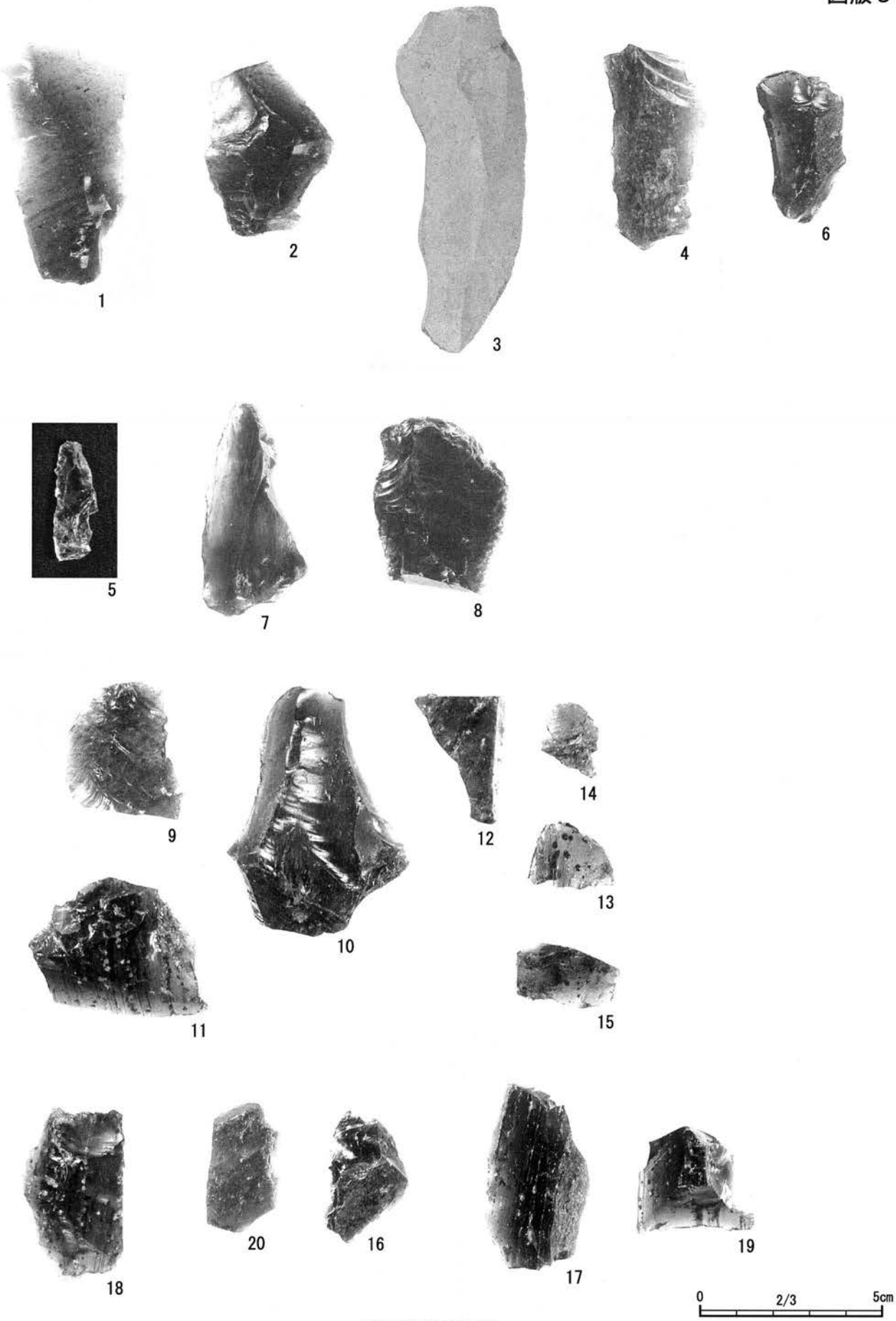
54号土坑　遺物出土状況②

61号土坑

６号溝

Ｂ区　土坑・ピット群

Ｃ区　土坑・ピット群



旧石器時代石器

図版10

6号住　1号埋甕(9451)

6号住　2号埋甕(9538)

6号住(8904)

7号住　埋甕(9667)

9号住　埋甕(9539)

8号住　1号埋甕(9597)

8号住　2号埋甕(9598)

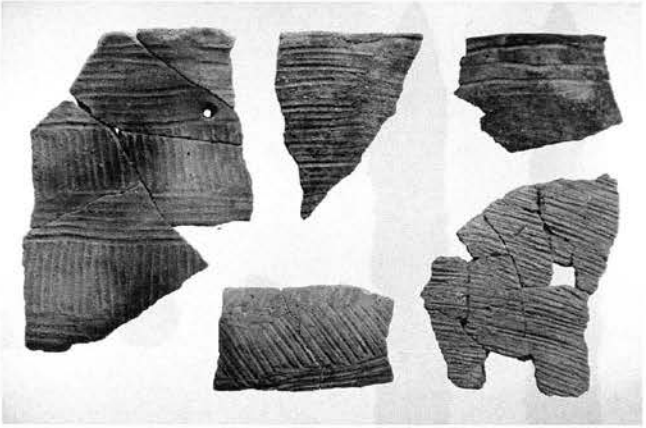
8号住　1号ピット(9531)

8号住(9541)

8号住(9542)

8号住(8959)

55号土坑(9259)

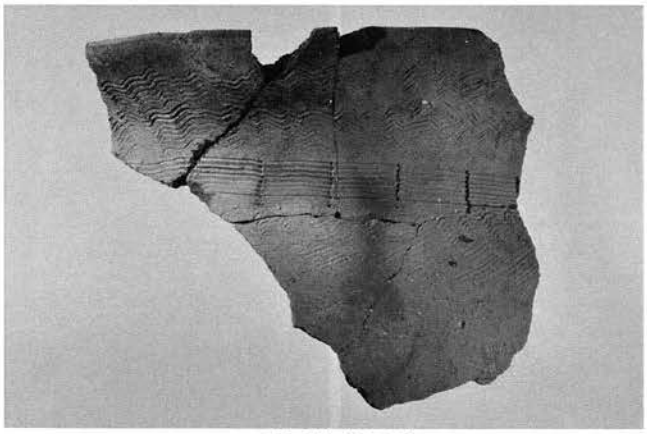


55号土坑 出土土器

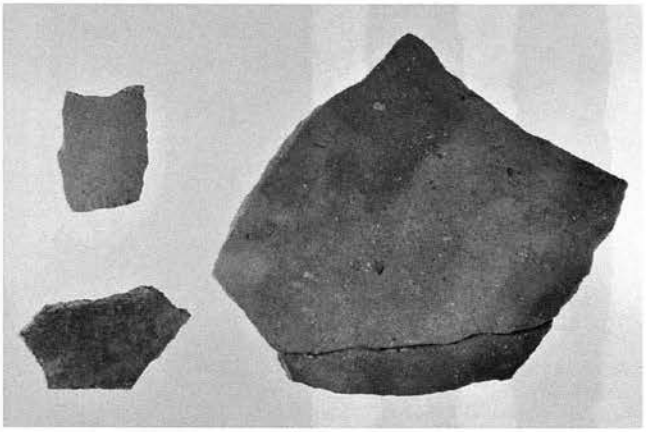
5号周溝墓(8593)

7号周溝墓(9668)

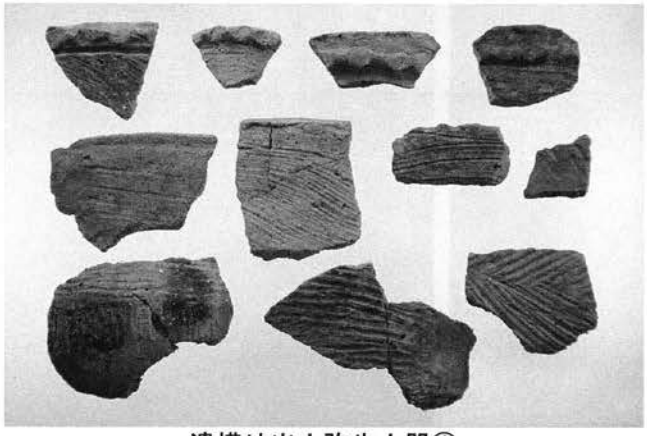
6号周溝墓(7213)



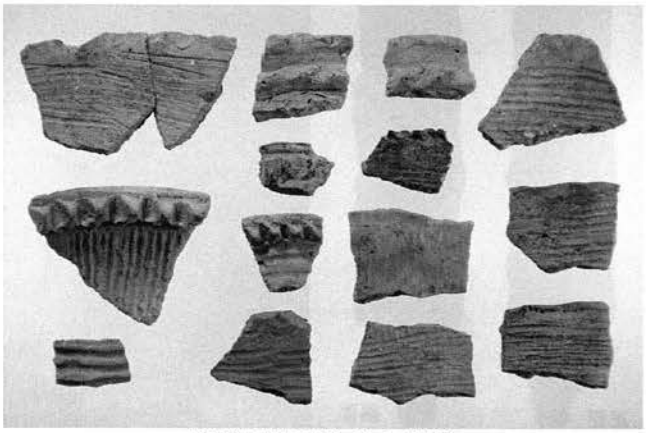
8号周溝(2262)



2号周溝墓 出土土器

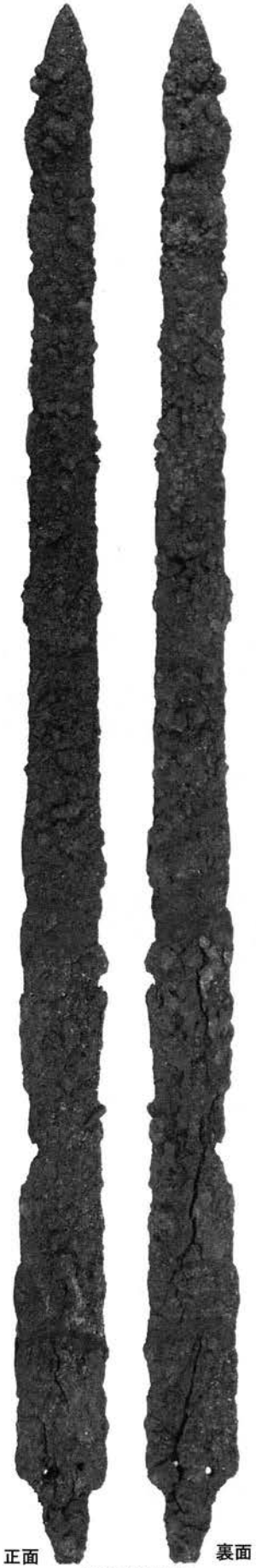


遺構外出土弥生土器①



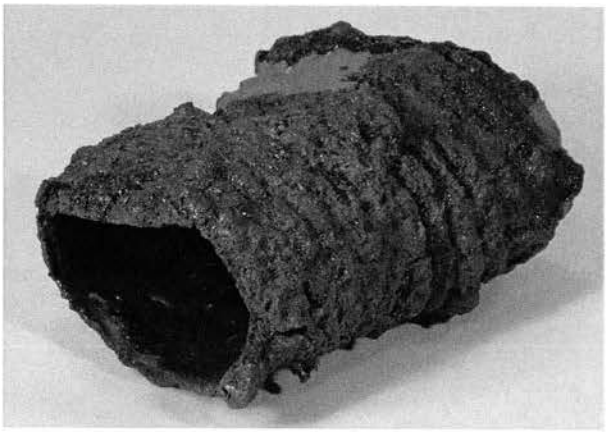
遺構外出土弥生土器②

図版12



鉄剣(9583)

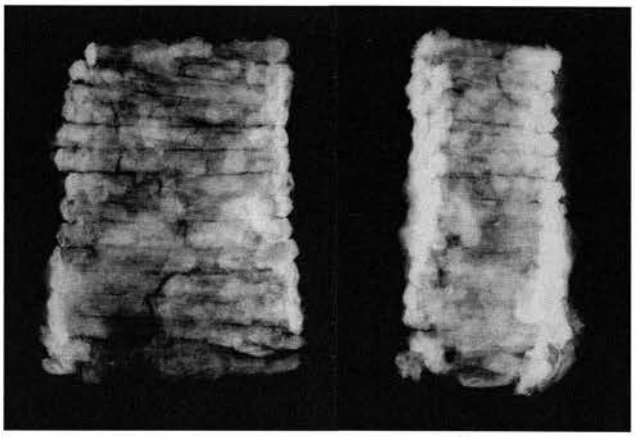
ガラス玉片

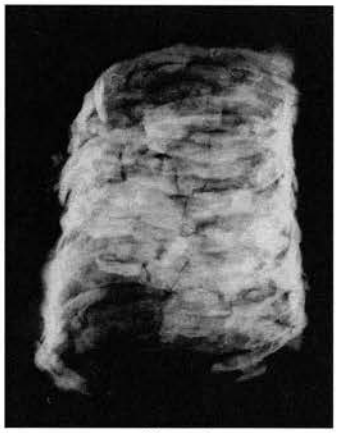

鉄釧(9584)

鉄釧・正 面

右側面

裏 面


鉄釧X線写真(正面)　(側面)


(斜め)

鉄剣　木質部拡大

鉄釧　付着布拡大

報告書抄録

ふりがな	かしらなしえーいせき
書名	頭無Ａ遺跡
副書名	中山間活性化ふれあい支援農道整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査
巻次	
シリーズ名	北杜市埋蔵文化財調査報告
シリーズ番号	32
編著者名	村松佳幸　角張淳一　沓名貴彦
編集機関	北杜市教育委員会
所在地	〒408-0188　山梨県北杜市須玉町大豆生田961-1　TEL 0551-42-1373
発行年月日	西暦　2008年3月31日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯 °′″	東経 °′″	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
頭無Ａ遺跡	山梨県北杜市長坂町塚川地内	192091	4117	35° 49′ 05″	138° 23′ 31″	20061016～ 20070222	2,600	中山間活性化ふれあい支援農道整備事業

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
頭無Ａ遺跡	散布地	旧石器	なし	旧石器	蓼科冷山群黒曜石が主体
	集落跡	縄文	中期後半の竪穴住居跡５軒、土坑11基、ピット１基、炉跡１基	縄文土器、石器、土偶、土鈴、土錘、焼成粘土塊	
	集落跡・その他の墓	弥生	中期の組石遺構１基、中期の土坑１基、後期の周溝墓８基	弥生土器、石器、鉄剣、鉄釧、ガラス玉片	５号周溝墓に埋葬主体部が残り、そこから鉄剣・鉄釧・ガラス玉片が出土
	集落跡	平安	竪穴住居跡６軒	平安土師器、須恵器、灰釉陶器、土錘、刀子	
		不明	土坑55基、ピット129基、溝７条、竪穴状遺構１基		

要約	旧石器時代の散布地 縄文時代中期後半の集落跡 弥生時代中期の集落跡 弥生時代後期の墓域 平安時代の集落跡

北杜市埋蔵文化財調査報告第 32 集

頭無A遺跡

2008 年 3 月 25 日　印刷
2008 年 3 月 31 日　発行

編集・発行　北杜市教育委員会
〒408-0188　山梨県北杜市須玉町大豆生田 961-1
TEL　0551-42-1111(代)

印　　刷　須玉印刷
〒408-0112　山梨県北杜市須玉町若神子 3931
TEL　0551-42-2346